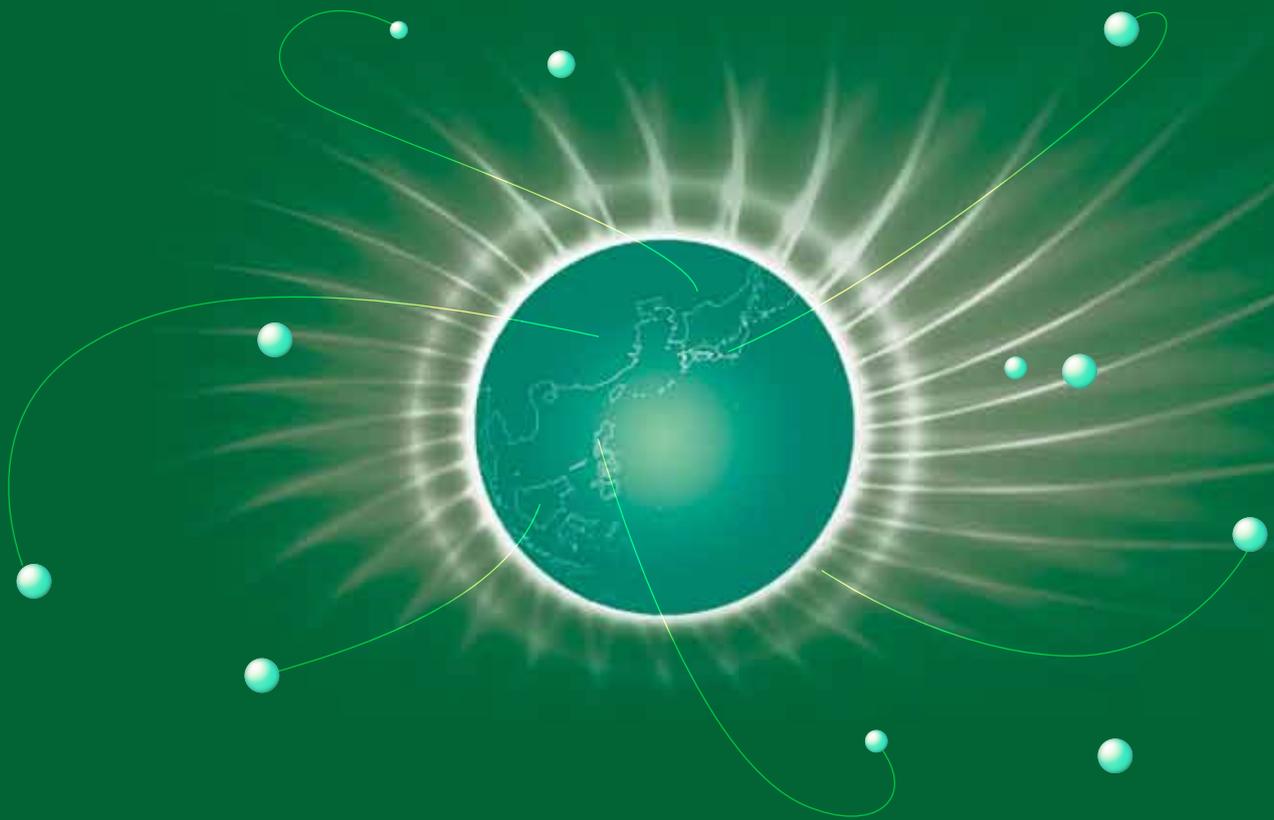


CIAS Discussion Paper Series No. 29

東アジア地域研究モノグラフ・シリーズ I

亀田治メモランダム

(旧 KDD 同軸海底ケーブル建設事業覚書)



京都大学地域研究統合情報センター

2013年3月31日

CIAS Discussion Paper Series No. 29

東アジア地域研究モノグラフ・シリーズ I

亀田治メモランダム

(旧 KDD 同軸海底ケーブル建設事業覚書)

京都大学地域研究統合情報センター

2013 年 3 月 31 日

目 次

解題：日本の海底同軸ケーブル建設事業と「亀田治メモランダム」（貴志俊彦）	2
亀田治氏：略歴	5
メモランダム略語一覧	5
『亀田治メモランダム』	
Memorandum 1 （1974年6月14日～1975年6月30日）	7
Memorandum 2 （1975年7月1日～1976年8月3日）	39
Memorandum 3 （1976年8月4日～1977年11月30日）	73
Memorandum 4 （1977年12月1日～1978年12月29日）	117
Memorandum 5 （1979年1月4日～1980年3月31日）	155
Memorandum 6 （1980年4月1日～1981年7月14日）	195
Memorandum 7 （1981年7月15日～1982年8月31日）	237
Memorandum 8 （1982年9月1日～1984年2月17日）	275
主要参考文献一覧	304

解題：日本の海底同軸ケーブル建設事業と「亀田治メモランダム」

貴志 俊彦

このメモランダムは、亀田治氏（1924－2012）が、旧国際電信電話株式会社（以下、KDD と略）の本社在職期間（1974年6月14日～1984年3月31日）に記した個人的な覚書である。A4サイズの大学ノート8冊に手書きで書かれた原資料の表紙には、「Memorandum」の文字のほか、1から8の通し番号がふられ、各冊の執筆期間が書かれている。

亀田氏がKDDに在職したのは、1961年9月1日に入社してから、84年3月31日に退職するまでの23年余りであり、本メモランダムは、その後半期の本社勤務時期の記録となる。この間のKDDにおける亀田氏の役職は、次頁「略歴」のとおり、KDD 研究所次長、海底線建設本部技術部長、海底線建設本部海底線部長、海底線技術部審議役などであった。また、77年8月からKDD 退職までの期間、KDD100%子会社の日本アジア海底ケーブル(株) (NASC) の取締役も兼任している。この「略歴」から見てもわかるとおり、亀田氏はKDDにおいて、海底ケーブル建設事業一筋にかかわってきたエンジニアであった。

さて、戦後日本にとって最初の対外的な海底ケーブルは、1964年にKDDが対米国向けに敷設した太平洋横断ケーブル(TPC-1)だった。サンフランシスコ講和条約発効後、約14年を経て、ようやく東京とホノルルの間が、同軸海底ケーブルで直接連結された。

同軸海底ケーブルとは、中心軸の導体とこれを同心的に囲む外部導体を往復線として、電気信号を伝送させる通信方式にもとづくもので、多数の電話を同時に送受信できる一方、長距離や大陸棚で使用される場合、減衰した電気信号を増幅するための増幅中継器や、温度変化による利得を一定に制御できる増幅装置が必要となる。この通信技術は、すでに1930年代、米国のベル研究所が着手していたが、実際の事業利用は戦後のことで、1956年にスコットランドとニューファンドランド間に敷設された大西洋横断電話ケーブル(TAT-1)が最初のことだった。TPC-1の敷設は、米国の対アジア向け国際戦略や、戦後復興を希求していた日本の経済戦略などの目的とが一致するものだった。とはいえ、日本にとっては、太平洋を越えて、米国のみならず、戦後世界につながる事ができた画期的な事業のひとつであったことは間違いない。日本の世界からの通信孤立状況は、TPC-1でもって解消されるきっかけを掴んだのである。その先鋒にたったのがKDD チーム(KDD, KCS, OCC+メーカー)であり、彼らが衛星通信と同軸海底ケーブルの普及に社運をかけたことは、このメモランダムからもうかがえる。

TPC-1 敷設の成功以降、KDD は、下記のとおり、60年代から90年代初頭まで、諸外国との間で同軸海底ケーブルを建設していく（国内の敷設はNTTが担当）。

1964年	太平洋横断ケーブル (TPC-1)	二宮 (神奈川) - グアム - ハワイ	9,800km
1969年	日本海ケーブル (JASC)	直江津 (新潟) - ナホトカ	890km

*1975年	第2太平洋横断ケーブル (TPC-2)	具志頭村 (沖縄) - ハワイ	9,350km
*1976年	日中間海底ケーブル (ECSC)	荅北 (熊本) - 南匯 (上海)	870→1,033km
*1977年	沖縄ールソンケーブル (OLU)	具志頭村ークリマオ (フィリピン)	1,390km
*1979年	沖縄ー台湾間海底ケーブル (OKITAI)	具志頭村ー頭城	680km
*1980年	日本ー韓国間海底ケーブル (JKC)	浜田 (島根) - 釜山	290km
*1984年	沖縄ケーブル	具志頭村ー二宮	1,720km
1989年	第3太平洋横断ケーブル (TPC-3)	千倉 (千葉) - グアムーハワイ	9,070km
1990年	香港ー日本ー韓国ケーブル (H-J-K)	香港ー千倉ー濟州島	4,587km
1992年	第4太平洋横断ケーブル (TPC-3)	千倉ーグアムーハワイ	9,900km

上記リストのうち、亀田氏がかかわった海底ケーブル建設事業には、*印をつけている。亀田氏が KDD 本社在職中の期間は、KDD がとくに近隣アジアとの間で同軸海底ケーブルの敷設を推進した時期であり、日本と中国大陸、台湾、韓国、フィリピンなど東南アジア諸国、そして72年に米国から「返還」された沖縄とを、直接交信できる通信インフラであったことがわかりただけだと思う。これらは、戦後日本と世界および周辺アジア諸地域との情報ネットワークとして機能しただけでなく、国際的な安全保障の面からみれば反共包囲網として機能することが意図されていたが、同時に東側諸国の中国やソ連にとっても西側世界につながる重要な通信ネットワークとして期待されていたインフラであったことも看過すべきではない。

また、「亀田メモランダム」の本文からは、これら同軸海底ケーブルの建設が、東南アジア地域の経済開発支援の一環として位置づけられていたことも見て取れる。具体的な名称としてあがっている海底ケーブルは、タイーマレーシアーシンガポール、東西マレーシア (ペナンーメダン)、シンガポールーインドネシア、シンガポールーメダンなどである。これらの事業に実際に従事するのは、NEC や富士通、商社だが、KDD はコンサルティング資料作成や入札の協力、海洋調査の実施、ケーブルの保守などの面で、日本企業の海外進出をサポートしていた。

こうした海底ケーブル建設事業は、KDD 一社単独で実施できるものでなく、国内はもちろん海外の通信関連会社、電気メーカー、船舶会社、さらには通信関連学会なども協力が必須であった。そのため、亀田氏自身は学究肌の性格にもかかわらず、そうした社内外との調整・企画役としても尽力されていた。アテンドなども相当な頻度に及ぶ。こうした企業活動で培われた密な人間関係は、ライバル関係という枠組みを超えて、退職後も続くのがケーブル・ビジネスの魅力かもしれない。海底ケーブルにとって「信頼性」がキーワードのひとつだが、事業面における人間関係においても、これが活かされてきたように思える。

このメモランダムには、高度経済成長期の管理職や、“日本丸”に乗船したこうしたビジネスマンたちの姿も描かれており、経営史的視点からいってもきわめて興味深いものがある。海外との通信ケーブル建設事業の展開は、KDD が社をあげて進めたものであり、社内の各部署、

研究所などとの調整や連携も、重要な仕事だった。それゆえ、上司や部下との情報の共有（連絡カードなど）、会議や打ち合わせの数だけでなく、オフタイムにおける飲食会や休日のゴルフ、趣味のコントラクトブリッジも含めて、高度経済成長の日本人ビジネスマンの姿を映し出している。海底線建設本部を拠点として、自ら専門とする電気工学の専門知識を活かしつつ、休む間もなく仕事をしている氏の姿が、このメモランダムには描き出されている。

いずれにせよ、KDD が 20 世紀後半に主導した対外海底ケーブル建設事業は、日本の命運と直接・間接に関係していたにもかかわらず、学術界ではそれに相応しい研究はなされてこなかった。このメモランダムが、これまでのこうした研究の空白に与える意味は少なくない。

最後に蛇足ながら、このメモランダムに関する留意事項を申し添えておきたい。KDD の企業文書、たとえばメモランダムでも出てくる社内でやりとりされる「連絡カード」のみならず、外国企業との交渉過程で纏められる「ミニッツ（議事録）」などは、日本の企業史研究にとっても、きわめて歴史価値が高いものであった。しかし遺憾なことながら、こうした一次資料は、（理由は不明だが）KDD が KDDI へ改組される過程で破棄されてしまった。この「亀田メモランダム」は、あくまで個人的な活動の備忘録であり、KDD の企業運営を明らかにするだけの重要な協議や議論の内容は描かれてはいない。にもかかわらず、KDD の一次資料が欠落する状況のなかで、なおかつ KDD ビジネスマンの活動記録として 10 年近くにも亘っていることを考えあわせると、このメモランダムが個人の備忘録以上の意味をもつものであると認めざるを得ない。

ただ、備忘録という性格上、公開を前提としたものでなかったため、時代的な表記法、表記の乱れ、事実の誤認もあろうかと思う。しかし、記録と保存を重視される亀田氏の志を受けて、入力にあたっては修正を施さず（明らかな誤りはルビ「ママ」と付記）、なるべく原文に近い形で再現することを心がけた。この点、利用される方々にもご理解いただきたい。

なお、亀田氏は 2012 年末にご逝去された。亀田氏が、生前にこの個人資料の公開を快諾されたことに対して、遅まきながら感謝申し上げるとともに、ご自身も企業資料の保存に意を注がれてきたその姿勢には敬服の念を抱かずにはいられない。ご生前に、このメモランダムの復刻を見ていただきたかったが、それも今となってはかなわない。ご冥福を祈るばかりである。

【付記】 KDD の海底ケーブル建設事業のうち、1976 年に開通した日中間海底通信ケーブルをめぐっては山川出版社より刊行を予定している。あわせて、ご参照いただければ幸いである。

【亀田治氏：略歴】

1924年 大正13 東京都生まれ
1941年 昭和16 成城高等学校尋常科修了
1943年 昭和18 成城高等学校卒業，東北大学工学部通信工学科入学
1946年 昭和21 東北大学工学部通信工学科卒業，通信省電気試験所入所仙台駐在
1948年 昭和23 電気試験所辻堂分室（神奈川県藤沢市）に異動
1949年 昭和24 通信省が二分して電気通信省設置
1952年 昭和27 日本電信電話公社発足，武蔵野電気通信研究所勤務
1961年 昭和36 電電公社退職
，国際電信電話株式会社（KDD）入社，海底線建設部調査役
1962年 昭和37 東北大学より工学博士号授与
1963年 昭和38 KDD 二宮海底線建設工事事務所所長
1964年 昭和39 KDD 二宮海底線中継所長，副参事
1965年 昭和40 KDD 研究所有線伝送研究室長
1968年 昭和43 KDD 研究所有線システム研究室長
1971年 昭和46 KDD 研究所次長，参事
1974年 昭和49 KDD 本社海底線建設本部技術部長
1977年 昭和52 日本アジア海底ケーブル㈱取締役兼任
，KDD 本社海底線建設本部海底線部長
1978年 昭和53 理事に任命
1983年 昭和58 KDD 本社海底線技術部審議役
1984年 昭和59 KDD 退職，日本アジア海底ケーブル㈱取締役退職，富士通顧問就任
2012年 平成24 死去

【略語一覧】

「亀田メモランダム」は，個人的な記録のため，さまざまな略語が使われている。参考のために，下記にその主要なものをあげておく。

Al ケーブル アルミケーブル	C&W または CW ケーブル&ワイヤレス(英国)
ANZCAN Australia-New Zealand-Canada Cable	CBC Contract Bridge Club
ATT The American Telephone&Telegraph Co.	CCITT Comite Consultatif International
BPO 英国郵便公社	Telegraphique et Telephonique
BTL British Telecommunications Laboratories	CGRA 交通部国際電台(台湾)
Backhaul Mux	CNET 国立電信電話研究センター(フランス)
Br. ブリッジ(カードゲーム)	COMSAT Communications Satellite Co.

ECL イースタン・カーライナー(株)	PTT 郵政電信電話省(フランス)
ETPI Eastern Telecommunications Philippines, Ins.	PTD 郵電省(タイ)
FJT 富士通(株)	RCA RCA Global Communications, Inc.
GC または G.C. ゴルフ倶楽部	SCARAB 調査作業用潜水艇
GNTC Great Northern Telegraph Company (Denmark)	SPT 上海市郵電管理局
IEE The Institution of Electrical Engineers (England)	STC Standard Telephones and Cables
IRU Indefeasible Right of User	TAI-LU 台湾ールソン ケーブル
ISS 国際宇宙ステーション	TAS
ITDC 国際電信開発(台湾)	TASMAN
ITMC 聯通整合系統股份有限公司(台湾)	TLX テレックス
ITT ITT WORLD COMMUNICATIONS INC.	TMS ケーブル
ITU International Telecommunication Union	TPC Trans-Pacific Cable (太平洋横断ケーブル)
JASC 日本海ケーブル	TSC 台湾ーシンガポール ケーブル
JTEC (財)海外通信・放送コンサルティング協力	Tender Document 入札仕様書
KCS 国際ケーブル・シップ(株)	WE Co ウェスタン・エレクトリック
KEC KDD エンジニアリング・アンド・ コンサルティング	WUI Western Union International, Inc
Letter of Intent 基本合意書	引合 取引の前に条件を問い合わせること
M-S-T Malaysia-Singapore-Thailand	回統部 本社回線統制部
MJ マージャン	海 本社海底建設本部
MOC 商業省(韓国)	海技 本社海底建設本部技術部
MOL 商船三井	海建 本社海底建設本部建設部
MPT 郵政省(日本)	回網部 本社回線統制部
NASC 日本アジア海底ケーブル(株)	海洋課 本社海底建設本部建設部海洋課
NK 日本ー韓国ケーブル	技計部 本社総合企画室技術計画担当部
Nm nanometre=10億分の1メートル	技専 技術専門家会議
OCC 日本太平洋海底電線	業専 業務専門家会議
OKITAI 沖縄ー台湾ケーブル	業務部 本社海底建設本部業務部
OLUHO 沖縄ールソンー香港ケーブル	研 KDD 研究所
OSROK The Office of Supply of the Republic of Korea	総企 本社総合企画室
OT →OKITAI	東支 KDD 東京支社
OWA アジア海洋(株)	保二 本社保全部保全第2課
	有シ研 KDD 研究所有線システム研究室

Memorandum 1

(KDD 本社)

1974年6月14日～1975年6月30日

1974年（昭和49年）

6月

- 14日（金）
- ・海底線建設本部 技術部長の発令.
 - ・郵政省電監室, 監理官, 参事官に挨拶廻り.
 - ・研究所にて挨拶.
- 15日（土）
- ・研究所にて資料等整理.
- 17日（月）
- ・研究所室長会で挨拶, 次長会.
 - ・夜, TPC 開通 10 周年, 副社長招宴.
- 18日（火）
- ・研究所にて, 整理.
 - ・中込副所長に事ム引継.
- 19日（水）
- ・本社へ着任.
- 20日（木）
- ・役員会にて, 沖縄陸揚局工事の打合せのため New York に職員派遣する件につき説明, 了承を得る.
 - ・NK 方式分科会 14:00~.
 - ・沖縄陸揚局起工式.
 - ・弘報室より TPC 建設に関する NHK ラジオの電話インタビューの依頼あり.
- 21日（金）
- ・日中業務専門家会議（第3回）の出席者からの報告会.
 - ・NHK ラジオ電話インタビュー, 編成局前田氏より連絡のあと, 秋山アナウンサーと事前打合せ（午前）, 午後 2:40 より約 10 分間, 新 TPC につき話す.
 - ・海建本部打合会. 14:00~.
 - ・夜, 志村取締役招宴.
- 22日（土）
- 週休.
- 24日（月）
- ・局所長会議.
 - ・技術部 次長, 課長と今後の仕事の進め方, 体制について協議.
 - ・局所長への社長招宴.
- 25日（火）
- ・NTT へ異動の挨拶.
 - ・北原技師長, 緒方総務理事（不在）, 山内技術局長（不在）, 前田次長, 山本施設局長（不在）, 興次長, 清水計画局長, 小口研究開発本部長（不在）, 海外連絡室長など.
 - ・局所長会議個別会議. 16:40~.
- 26日（水）
- ・海建本部連絡会.
 - ・局所長会議最終日, 副社長挨拶.
 - ・日中ケーブル関連.
対業者, CS-5M 仕様説明, (海, 業務部主催). 14:00~16:00.
 - ・新川元常務送別会, (研究所主催), 飯田橋会館.
- 27日（火）
- ・東北大学 佐藤教授 来訪.
 - ・50 年卒業生の KDD 応募の件: 急で学生の方も決心がつかぬため見合わせる事になったと

のこと。

- ・7月にURSI シンポジウム(London)へ出席されるとのことで、大島常務よりのせん別を渡す。(秘書課, 内山秘書役扱い)。
- ・八芳園にて, 研究所, 元主管研究室による歓送会に出席。
- ・総合開発センタ和田技術開発担当部長より Tel. 現在, 有シ研で等化関係の開発に従事中の増山君の扱いについて。

- 28日 (金)
- ・志村取締役のところへ, 松田次長とともに, 苓北陸揚局建設に関する役員会資料作成につき打合せ。
 - ・永田課長と日中ケーブルの電氣的布設の諸設備発注計画につき協議。
 - ・NK 海底同軸合同委員会 (第5回), 於パレスホテル. 15:00~17:30.
 - ・分科会委員も交え, 懇親パーティ。
- 29日 (土)
- 研究所に行く。
- ・所長に日中ケーブル建設に伴ない, 研究所の協力を依頼, とくに, システム設備および工程管理に関し, 適任者を異動させること, および, 電氣的布設に専門家の助力を要することを説明. 基本的に, 協力は当然のことと考えるが, 具体的には関係次室長とも協議のうえ考えたい旨返答あり. なお, 鍛冶次長にも同様の主旨を伝え, 追って具体的に協議することとする。

7月

- 1日 (月)
- ・今後の作業計画の検討
- 2日 (火)
- ・OCCにケーブルの検査状況を視に行く。
 - ・WE Co, Mr. Andreasen, Mr. Henkel と会う。ケーブルの検査データをもらう件について了解を得る。Mr. Andreasen 他1名は, 8月~9月に日本を去るとのこと。
 - ・中川調査役から検査要員の問題をきく。
- 3日 (水)
- ・海建本部連絡会. a.m. 10:00~12:00.
 - ・夜, 千代田電機星沢氏, 電通大武井教授と会食懇談。
- 4日 (木)
- ・苓北陸揚局局舎建設の役員会資料の作成につき松田次長と協議。
- 5日 (金)
- ・部長会出席。
- 6日 (土)
- 午後より, CBC Summer Party に出席のため, 日光へ行く。
- 7日 (日)
- ・参議院選挙。
- 8日 (月)
- ・新宿国際通信センター完工披露。
- 9日 (火)
- ・役員会資料作成 (苓北陸揚局局舎建設)。

- 10日 (水) ・研究所へ行き、新宿へ送るため資料を整理、コンテナに詰める。
- 11日 (木) ・午前、要員関係打合せ。(海・本部、技術要員関係)。
・ECL、秋丸氏(情報部長)にTel. .
電子学会、東京支部見学会に関し打合せ。
- 12日 (金) ・部長会なし。
・海建本部 連絡会。15:00 ~17:00。
・吉田課長より、CS-5Mのカップリング試作費を開発費として中国側に請求することの困難性につき、説明あり：日中ケーブルの機材発注後に試作ができるため、矛盾を生じること。業務部、経理部とも協議する(実情は以上の通りだが、開発費として中国に請求はする)ように指示。
- 13日 (土) ・永田課長、青柳、嶋谷君から、日中ケーブルの電氣的布設用設備について検討状況の報告あり。使用ケーブル種別により、布設回数とケーブル接続場所がどのようになるか具体的検討を指示。
- 15日 (月) ・苓北陸揚局局舎建設の役員会審議は、経理部で設備計画の見直しについて次週23日に役員会へかけるので、それと一緒にかけるよう鶴岡取締役より要望されたと志村取締役より連絡あり。
・経理部主催、設備計画の見直しについての説明会。
- 16日 (火) 志村取締役より。
社長より、苓北陸揚局の宿舎について、苓北に2軒でもおけないか、(1. 保全上。2. 地元との融和上。3. 経費節減上。)検討を指示された。
- 17日 (水) ・海建本部 連絡会。
・経理部案の設備計画の修正に基き、苓北局の建設計画の見直しを進める。
- 18日 (木) ・経理部に苓北局の建設計画の修正を提出。
・高呂氏歓迎会。
- 19日 (金) ・部長会。
・志村取締役に苓北局建設の役員会審議を8月1日に延ばすことの下承を得る。
・午後、新宿移転のため、整理、梱包。
・研究所 Beer Party。
- 20日 (土) ・永田課長より、電氣的布設の役員会資料の説明を受ける。
・午後、研究所にて、新川杯ブリッジトーナメント。
- 22日 (月) ・本日より新宿センターにて執務。
・志村取締役に苓北陸揚局、電氣的布設の役員会資料検討状況を説明。
- 23日 (火) ・保全部長、保三課長に苓北陸揚局の建設にからみ、要員問題の検討を進める必要のあることを説明、今後の協力を依頼。
・相模工大、大久保教授にTel. , 除却測定器の払下げの件。
・日中ケーブルのケーブル種別を決めるため、今後の作業の進め方につき、吉田課長、石井調査役らと協議。
その一環として、木下課長らより、埋設調査結果の報告をきく。

- 24日 (水) ・ 荅北陸揚局役員会資料につき、志村取締役、副社長に説明、8月1日にかけることを了承する。
・ 13:50 羽田発 北海道札幌出張。(通信学会 49年度全国大会).
- 25日 (木) ・ AM 特別講演.
・ PM1:00~, 有線通信B座長.
・ 夜, 懇親会に出席.
- 26日 (金) 学会.
- 27日 (土) 学会.
16:45 札幌発.
- 29日 (月) ・ 社長に荅北陸揚局建設に関する役員会資料を説明, 了承を得る.
・ 日中ケーブルのケーブル種別選定について, 関係者と討議.
・ 日中ケーブルに関する業者からの proposal の検討結果の報告をきく.
・ 電氣的布設の役員会資料について関係者と討議.
・ 中野朝安氏より, 小池さんの紫綬褒章の授賞候補すいせんについて, 手紙くる.
- 30日 (火) ・ 日本電子部品信頼性センターの第1回評議員会に出席.
以後は笹本研究所長と交替する.
・ 大手町診療所に寄る.
・ 要員問題について.(松田次長).
職員部としては, 10名の配員を当面考えているとのこと.
これを, 技術2, 線路3, 施設3, 海洋2と配員する: 了承.
- 31日 (水) 本部連絡会
- 8月**
- 1日 (木) ・ 荅北陸揚局の局舎建設について, 役員会へかけ, 了承を得る.
・ 技術部会用資料作成のため, 技術各課と打合せ.
・ 松下技研, 中野朝安氏来訪.
小池勇二郎氏の紫綬褒章の授賞候補としてすいせんを依頼さる.
- 2日 (金) ・ WE Co, の Mr. Andreasen, Mr. Henkel 来訪.
新宿センタービルの見学, 志村取締役へ表敬 後, 32Fで昼食.
・ (財) 日本電子部品信頼性センターの評議員会出席報告を志村取締役, 大島常務に行なう.
・ 海建委技術部会: 14:00~. 日中間海底ケーブル業務専門家会議の対処方針のうち, 技術分科会関係について.
・ 業務部会: 15:00~17:00. 同上対処方針の審議, 業者の見積書の提出方式に対する中国の意見とそれに対する回答の方針について.
- 3日 (土) 休暇
- 5日 (月) ・ 社長室小関課長に, 小池勇二郎氏の授賞候補すいせんの件, 日本電子部品信頼性センターの件など処理を依頼.
・ 海建本部連絡会. 10:00~12:30.
・ 電子通信学会東京支部見学会の対象調査.

道路交通管制システムについて、警察庁岡本交通調査官にきく。

- 6日 (火) ・小関課長より。
小池氏の叙勲について、郵政省の関係者にきいた所、一般の叙勲と異り、紫綬褒章はそれ程うるさくない、功績調書を出せばよい、その中に KDD 関係の業績を挙げ、その点を KDD に了解を求めればよいのではないか、大島常務あての書信でも出してもらい、社長室（総務課）で処理する。
中野氏にその旨 伝える。

添付：8/6 付メモの内容：

KDD

小関 社長室 審議担当 1
347-7677

郵政省 叙勲関係

紫綬褒章は一般の叙勲程うるさくない。

功績調書を出せばよい、その中に KDD 関係の業績をあげればよい、その際、KDD に了解を求める、例えば、大島常務あて Letter で。

- ・どこの役所を通すのか。
- ・誰が世話をやいているのか。

- 7日 (水) ・織田部長と、日中ケーブルの国際入札提案（中国からの）に対する回答につき、志村取締役
に説明。
・OCC 滝鼻取締役、笠原営業課長 来訪。
・ケーブル資材の値上りで、西独—スエーデン、中中、TPC 等は赤字である。
・日中ケーブルは、無外装であれば、工期も楽である、外装では鉄線の手配と値上がりで
苦しい。
・ソ連から引合いで、NEC が CS-5M 560nm を propose している。
・A1 ケーブルについては、郵政省に協力し、資材を出している。
・適当な時期に（1976 年頃か）ライン（主として Core ライン）を増したい。
生産量が 5 割は上る、工期の短縮を発注者も希望するので、増ラインを実現するつもり
である。
・1.7" ケーブルの製造設備を考えている、なお NTT では 2" or それ以上の大口径ケーブル
の製造を望んでいるが、設備投資が 150~200 億にのぼり、それに見合う受注が期待でき
ないと、実施は無理である。
・研究所鍛冶次長より。
新納君が本社への異動を承諾した、代りの者を考えてほしいと連絡あり、了承する。
・有シ研全員による歓送会あり。

- 8日 (木) ・OCC 鳴海常務、来訪。
・電子通信学会東京支部役員会、機械振興会館。17:30~。

- 9日 (金) ・吉田、石井両君から、A1 ケーブル開発に関し、郵政に求められて行なった予算作成上の作
業につき説明を受ける。
・富士通 斎藤（二郎）氏と懇談。

- 10日~13日
・夏休み

- 14日 (水) ・荅北陸揚局の要員について、社長室（審議担当 1 課）主催の打合会に出席。

- 15日 (木) ・警察庁岡本氏に Tel. , 学会東京支部見学会は、NHK 放送センターの見学希望が多いため、道路交通管制システムは次の機会にしたい旨伝え、了解を得る。
・相模工大大久保教授より依頼の、除却測定器等譲渡の件。
清水業務部次長を通じ、資材部より、整々社に申し出てもらい、整々社から本社への協議を受けて処置したいと連絡あり。
大久保教授に伝える。
・志村取締役にて電氣的布設用設ビの準備手配についての役員会資料説明。
- 16日 (金) 二宮海底線中継所 出張。
海底ケーブル方式の技術講演(日中間海底ケーブルの技術的諸問題)。
- 17日 (土) ・電氣的布設用設備手配の役員会資料につき、永田、江幡両君と協議。
- 19日 (月) ・海建本部連絡会。(AM 10:00～)。
・夕刻より、埋設機実験視察のため、小林部長とともに、鹿島海岸に出張。
- 20日 (火) ・鹿島海岸にて、埋設機の海浜実験を見る。
- 21日 (水) ・東北大 佐藤(まり)教授 来訪。
石川君と昼食、古橋取締役、有竹常務の室へ案内。
・中国より、業ム専門家会議のため、9月上旬に来日するとの連絡入る。
- 22日 (木) ・午前、CS-12M 分科会。
開進委に対する報告の審議。
・午後、日中間業ム専門家会議に対する準備打合せ。
業ム部、技術部、建設部、資材部で、日程と、業務、技術各分科会間の調整など。
- 23日 (金) ・海底線建設委員会。
・日中間業ム専門家会議対処方針。
・第2TPC の分担金(沖縄陸揚局関係)。
・電氣的布設用設ビの準備手配。
- 24日 (土) 週休
- 26日 (月) ・海建本部連絡会。(午前)。
・東北大 KDD 同窓会。
- 27日 (木) ・郵政省電監室にて、A1 ケーブル開発のための準備打合せ。(10:00～11:30)。
OCC 滝鼻氏、NTT 福富氏、KDD 亀田、(総企) 小林課長。
・日中間業ム専門家会議の技術分科会関係の役員会資料作成。
- 28日 (水) ・開進委に対する CS-12M 分科会報告の作成打合せ。
開技 高橋、研 中井、海建 木下など。
大体の文案、構成を決める。
・社長、副社長に、役員会提出資料(日中間業ム専門家会議対処方針、および電氣的布設用設備の準備手配)の事前説明。
・鈴木欽也君来訪：調3号埋設機の話など。

- 29日 (木) ・役員会にて、日中間業務専門家会議の対処方針(案)を織田業ム部長と共に説明、了承を得る。
・夕刻、苓北へ出張。
全日空熊本行にて、熊本着、木下課長と落ち合う。
- 30日 (金) ・木下課長と熊本県庁 企画開発部、交通計画課、農政部へあいさつ。
広域農道建設に、事業調整ヒがついたとの話あり。
本渡へ向い、県为天草事ム所へあいさつ。
苓北へ向い、町役場を訪れたのち、富岡の宿舎に着く。
- 31日 (土) ・町役場、漁協へあいさつ。
陸揚地点の視察後、三洋水路測量 松崎専務と、天草下島の海岸を車で見て廻る。

9月

- 1日 (日) 朝、苓北を発ち、熊本から 空路東京へ帰着。
- 2日 (月) ・海建本部連絡会。
・志村取締役にて、要員問題につき、職員部長との話し合ったことを報告。
・郵政省電監室 水内参事官 来訪。
CS-12M方式の開発における、体制、進み方等につき説明。
・日中ケーブルの建設費につき、長計15号と現状との照合を行なう。
- 3日 (火) ・役員会にて、電氣的布設用設備の準備手配につき説明、了承を得る。
・天草における広域農道建設のため、事業調整費がついた件で、郵政省 佐瀬参事官を訪問、その促進方に対し謝意を表す。
・午後、新技術開発推進委員会。13:30~17:30。
12MHz方式分科会の報告を行なう。
- 4日 (水) ・午前、埋設工法開発打合会。9:30~12:00。
KDD 志村取締役、和田、小林、亀田、各部長他。
KCS 広島専務、江副取締役。
・午後、富士通小山工場へ出張。
船上溶接封止装置の開発状況を見る。
- 5日 (木) ・日中ケーブルの業者からの proposal と KDD 仕様書との差異についての検討：永田、徳江、高崎、細谷君ら。
- 6日 (金) ・午前、郵政主催 A1 ケーブルの開発推進のための予備打合(吉田課長出席)。
・要員問題について、線路課長らと協議。
・中国より、9/12 発 9/14 東京着の電文来る。
- 7日 (土) 週休
- 9日 (月) ・埋設工法の第2段階開発の推進について、役員会資料を作成。
志村取締役に同行し、副社長、社長に事前説明し、役員会へかけることので了承を得る。
・海建本部連絡会。16:30~17:30。
・衆院通信委(10日午前)における質問の回答準備。(沖縄におけるケーブル陸揚に関する質問が出る予想一質問者 土橋委員)。

- 10日 (火)
- ・ NTT 施設局副島伝送課長に、設備計画における物価上昇率の見込値について問い合わせ、北爪部長（総企室）に伝える。
 - ・ 通研 南氏 来訪。（二宮中継所見学の件で松田次長のところへ来訪）。等化工法関係者と昼食。
 - ・ 防衛庁中摩氏（池尻 技術本部技術部長）より Tel. ，海底ケーブルの布設について。
 - ・ 富士通 斎藤二郎氏 来訪。
西独一スーデンケーブルの布設工事の見学希望については、① KDD からの見学は富士通としては歓迎する。② 乗員数に制限があるので、1名にしてほしい。③ KDD が自費で来ることを望む、とのこと。これに対し、未だ先のことであるし、その頃、日中ケーブルが忙しく人を出せるかどうか分からない、今のところ、可能性を確かめただけと理解してもらいたい、と返事。
 - ・ 研究所道下次長と、信学会米沢賞すいせん候補の件等 打合せ。
- 11日 (水)
- ・ 米国一ホンジュラスケーブル計画に関する、ATT Mr. Tuttle から志村取締役あての来信について、志村取締役から、メーカーへ問い合わせ後、返電を打つよう指示あり。
 - ・ 研究所 中込次長に Tel. ，学会費値上げの調査に関する件。
 - ・ 日中ケーブル 業務専門家会議に対する準備打合せ。15:00～。
海建本部，資材部。
- 12日 (木)
- ・ KDD 同友会懇親会。15:00～16:30。
 - ・ KCS 江副部長より、埋設工法の第2段階開発に当り、① 修理工法に関する船首改造費、② 総合訓練費の増額の希望あり。
現段階で計画額をこれ以上増すことは好ましくなく、内容を見ると実施段階で適宜処理できるように思われるので、計画は変更を加えず、におくことで了解を得る。
- 13日 (金)
- ・ 米国フロリダ一中米ホンジュラス間ケーブルについて、日本の方式も考慮したいとの ATT の意向に基づき、メーカーに inquiry を ATT から出すための、information を送るべく手配、夕刻 TLX 発送。
 - ・ 総企室藤原部長より、回線統制システムの第2部会（監視設備関係）に技術課長をメンバーとして出してほしいと要請あり、了承。
 - ・ 通研 田畑室長より、Tel. .
1. CCITT の Green Book に supplement として、Cable Ship の list があるが、KDD は KDD 丸をこれにのせるよう contribution を出すことを考えていないか、NTT で目下、津軽丸、黒潮丸を出すかどうか検討中とのこと。
2. 郵政の A1 ケーブル開発推進のため、予備調査資料の作成を割当てられた。
#3 ケーブル方式の将来動向。
#9 ケーブル方式の具備すべき機械的、電氣的条件。
CS-12M 海底中継方式の通研所内資料（成果報告 NO. 8583）を資料として出したいが、この資料を KDD に送るので検討してほしい。
 - ・ 埋設工法開発関係者の慰労パーティ。
- 14日 (土)
- ・ 日中ケーブル第3回業ム専門家会議の準備打合せ。
志村取締役，織田業務部長。
 - ・ 同会議の中国代表団を羽田で出迎え、19:50. JAL62.
- 16日 (月)
- ・ 敬老の日のふりかえり休暇。
 - ・ ホテルニューオータニにて、中国代表団と昼食。
- 17日 (火)
- ・ 日中ケーブル第3回業務専門家会議始まる。
午前，表敬 後，議題，日程の協議。

発注に関する基本的問題が折合わず，休会．

- 18 日
(水) ・発注に関する問題について，社内で検討．
技術関係は併行して，業務と別に審議する様提案．
・前日，中国代表団は富士通を訪問，その模様を富士通山崎部長他が説明に来る．
・夜，副社長招宴．
- 19 日
(木) ・役員会にて，埋設工法の第2段階開発について伺い，了承さる．
・日中業務専門家会議 再開．
・午後より，技術分科会を併行して開く．
- 20 日
(金) ・技術分科会に出席．
・夜，成城梅組同窓会．
- 21 日
(土) ・技術分科会．(9:00～11:00)．
業務関係は開かれず．
午後より，中国代表団は，2つに別れ，関西と，荅北に旅行．
- 24 日
(火) ・日中ケーブル業専，技術分科会．
ケーブル，ルート関連の討議．
- 25 日
(水) ・日中，業専，技術分科会．
システム設計書の討議，議論併行し，1時中断．
志村取締役と対策協議．
・住商 上田氏 来訪．
・F 斎藤（二郎）氏より，米国－南米間のケーブル計画引合いに関する情報あり．
- 26 日
(木) ・総合開発センター 和田部長と CS-12M 方式開発実施計画の役員会提出に関し，協議．
・日中，業専，技術分科会の進め方につき，SPT 王，袁氏，KDD 志村，亀田で協議，明日より再開することとなる．
- 27 日
(金) ・日中業専，技術分科会の討議再開．
システム設計書，ケーブル構成等の討議．
- 28 日
(土) ・引続き，技術分科会．
電氣的布設設備の審議．
- 30 日
(月) ・中国側の都合（午後 NEC 訪問）で午前中のみ 技術分科会．
・午後，技術分科会での問題点の整理のため，技術部，建設部 関係者間で打合せ．

10 月

- 1 日
(火) ・日中業専技術分科会．
本日より，2 班で仕様書の検討．
中国側が午後富士通訪問のため，午前中のみ会議．
・志村取締りに技術分科会の状況報告．
・総合開セより，高橋，杉本，山下 3 名借役．
・夜，研究所合気道部 坂口，樽松，武田，東，初見君らと懇談．
- 2 日
(水) ・技術分科会：仕様書の検討を継続．
・技術課長と，システム設計書の問題点とその処理について協議．

- 3日 (木) ・日電、富士通より単独見積り書が提出され、KDD、中国両者でこれらを受け取る。
・午前、有シ研 中井、新納、若林君ら来て、遮蔽ケーブルの適用基準に関する検討結果を説明、本社側とともに討議。
・昼、上記3名と昼食。
- 4日 (金) ・N、Fよりの単独見積り書の検討を日中とも別個に行なうため、会議はなし。
・今後の発注問題に関する中国との討議方法につき、社内関係者間で打合せ。
・中国との技術的討議に関する今後の進め方につき、次・課長らと協議。
- 5日 (土) ・日中業専技術分科会。9:30～17:00。
・これからの討議予定。
・中継器、等化器の仕様書審議を行なう。
- 7日 (月) ・日中業専技術分科会。9:30～18:00。
・日程の協議。
・システム構成の討議で、ほぼケーブル数量を決める。
- 8日 (火) ・日中業専技術分科会
発注数量を決めるための討議。
端局関係、業者提出資料表、予備品、付属品等。
・午前、役員会に、和田部長に同行出席。
CS-12M方式(49年度)の開発実施について、了承を得る。
- 9日 (水) ・日中業専技術分科会。
・遮蔽付ケーブルの遮蔽効果と適用表。
・ケーブル、中継機等の数量につき討議、合意。
・業者提出資料表の討議。
・午後より、業務分科会の要請で、契約書作成に必要な技術分科会での討議、検査、据付工事、要員訓練等。
- 10日 (木) ・体育の日
SPTの連中を鎌倉へ案内。
- 11日 (金) ・中国側代表団が、今後の進め方につき、内部で協議したいとのことで、日中間の会議なし。
・新技術開発の進め方につき、開進委で新しい方向を検討するため、各プロジェクトリーダーの意見を求められる。
技術開発担当和田部長とCS-12M方式の開発プロジェクトの進め方について協議。
・夜、東北大同窓会東京支部総会に出席：霞ヶ関ビル 東海クラブ。
- 12日 (土) ・日中間会議なし。
・東北大 野口、木村教授来訪、大泉教授の学術会議立候補に対する応援について。
・日中業務専門家会議の次週以降の討議日程につき、社内討議。
(志村取締役、海建本部 業ム・技術、資材部)。
- 14日 (月) ・日中業専技術分科会。9:30～11:30。
・ // 業務分科会。14:00～17:00。業者接衝の進め方の討議。
- 15日 (火) ・日中専・技術分科会。9:30～17:00。
業者提出の技術提案書をKDD/SPT仕様書に照合し、差異につき討議。
- 16日 ・業者との技術接衝の資料準備のため、技術分科会なし。

- (水) ・午後、業務分科会に出席。15:00～17:00。
N, F 両社より、単独見積りの詳細説明が個別にあり。
- 17日 (木) ・日中ケーブル用設備に関する対業者技術接衝。10:00～17:00。
仕様書等の説明を行ない、これによる業者からの技術資料、価額見積りの提出を発注数量、要求。
・SPTと工事計画の協議方法につき打合せ、明日の議題とすることとする。
- 18日 (金) ・技術分科会。9:30～12:00。
・SPTは午後、KDD丸にて埋設機見学。
・午後、業務分科会から、製造業者、商社を呼び、通告。
15:00～、N, F両社に共同応札を採ることを通告。
16:00～三井、朝陽の両商社に、二社を選んだことを通告。
・電子通信学会東京支部役員会に出席。17:30～19:30。
- 19日 (土) ・SPTは富士通に行き、技術分科会なし。
・午後、埋設部会：13:00～19:00。
埋設工法の開発の進め方等につき討議。
- 21日 (月) ・SPT古河電工千葉工場へ行き、技術分科会なし。
・第4回当事者会議、技術専門家会議の予定につき、業ム部長、志村取締役と協議。
・永田課長、徳江補佐と、電氣的布設に関する作業に対し、研究所からどのように協力を求めるかにつき協議。
- 22日 (火) ・中国代表団、ビザの滞在延期手続きのため、午前中会議なし。
・業者より、端局据付工事Hの見積書が出され、A局について、KDDのみ、業者から説明を受ける。
・午後の業務部会にて、上記を報告。
・社長室より、24日の衆院通信委にて沖縄陸揚地に関する質問が予想されるので、その答弁資料作成の依頼あり。
- 23日 (水) ・建設日程と完成時期につき、SPT王氏と会談（KDD側 志村取締役、亀田）。
・午後、技術分科会。
- 24日 (木) ・技術分科会。
午前、希望納期、測定器の討議のほか、OCCから検査に関する問題点をきく。
午後、業者から中継器、等化器、端局の仕様に関する意見提出、据付工事の見積（B局分）、予備部品の信頼度に関する資料の提出あり、説明をきく。
- 25日 (金) ・技術分科会。
午後 14:30～17:00。
・日中ケーブル関係会議の開催予定案を作成。
・富士通営業、B局据付工事費の修正案を持参。
- 26日 (土) ・志村取締役と王建中氏と今後の会議日程に関する会談に同席。
日程案を説明。
- 28日 (月) ・相模工大 大久保教授にTel.、測定器の払下げは、希望通りになったとのこと。
山根需給課長にお礼の電話をする。
・午後、KDD/SPT技術分科会、工事に関する打合せ等。

- 29日 (火) ・午後，KDD/SPT 技術打合せ.
- 30日 (水) ・午前，SPT と技術関係打合せ，技術会議の日程等.
・午後，公開施設の視察に通研へ行く.
夜，通研 線路会.
- 31日 (木) ・上海市郵電管理局長より，副社長あて，技術専門家会議の開催について来電.
(10月30日付).
・午後，業務分科会に出席，価額問題，議論併行す。(夜 7:40 まで).
- 11月**
- 1日 (金) 休暇
うずしお会コンペに参加.
- 2日 (土) ・上海にて開催の第2回技術設計専門家会議の役員会資料作成.
・副参事 管理記録 提出.
- 4日 (月) 振替え 休日.
同門会ゴルフコンペ.
- 5日 (火) ・非管理者，及び3類・4類管理者，管理者記録 提出.
・副社長に，日中ケーブル技術専門家会議出席の役員会資料説明.
・総企室 関次長，日ー比ー香港ケーブルの技術専門家会議の件，16号長計に対する将来プロジェクトののせ方の件で協議に来る.
- 6日 (水) ・社長に役員会資料の事前説明.
・海底ケーブル建設準備事務所に関する，社長室(文書課)主催の打合会に出席.
・午後，CS-12M 統括班 打合せ：FT 終了後の処置について.
- 7日 (木) ・役員会に，“日中ケーブル技術設計専門家会議の開催ならびに出席について”資料説明：
了承を得る.
・日中ケーブル，中継器関係 業者打合せ，(第1回).
・業務分科会に出席：契約書に対する業者意見の聴取(午前).
：上記に対する日中間協議(午後).
- 8日 (金) ・午前，業務分科会に出席：契約書の審議.
・午後，技術分科会：契約書附属書の内容を審議し，固める.
・副社長名で，SPT 副局長へ，技術設計専門家会議に関する写真電報発信，出席者名を通知.
- 9日 (土) ・前記 写真電報発信につき，志村取締役へ報告.
・執務月報(9, 10月分)作成.
- 11日 (月) ・中国側と契約書に対する業者側意見の審議. 10:00~12:30.
午後，附属書について審議. 15:00~17:30.
業務側と附属書について協議. 18:00~22:30.
業務会議で，価額契約額 決定.(36億円).
- 12日 (火) ・朝，王，袁両氏 志村取締役を訪問：附属書について，再び修正意見を申し出る.
・11:30，外務省にて旅券申請，木下課長同行.
・学会東京支部見学会(NHK 放送自動化システム)にて，あいさつ. 14:00.

- ・埋設部会 欠席。
夜，三井物産の招宴。
- 13日 (水)
 - ・午前，埋設部会。
 - ・業務専門家会議報告書に，予備機材に対する確認を加える。
 - ・夜，中国側の招宴。
- 14日 (木)
 - ・付属書 に対する修正意見が，SPT より再び出る。
 - ・契約書調印。
 - ・外務省に旅券をとりに行く。16:30。
- 15日 (金)
 - ・部長会に出席。
 - ・海底線建設準備室に対する建設本部内打合せ。
- 16日 (土) 週休
 - 技術課レク旅行（綱代）に参加。
- 18日 (月)
 - ・午前，社長室（文書課主催）と沖縄工事事ム所設置に関する打合せ。
 - ・午後，有楽町へ種痘に行く。
- 19日 (火)
 - ・日中技術専門家会議の準備打合せ。
 - ・埋設部会。13:30～。
 - ・日中技術専門家会議の対処方針を役員会へかけることとなり，副社長に事前説明。
 - ・熊本県庁 島田，徳永両氏 来訪，広域農道建設予算の陳情について。
夜，招待。
- 20日 (水)
 - ・OCC と日中用ケーブルの製造打合せ。
 - ・午前：埋設部会。
 - ・社長に，役員会資料の事前説明。
 - ・日中技術専門家会議の準備打合せ。（出席者間）。
 - ・小林（見）部長より，沖縄要員についての協議あり。
- 21日 (木)
 - ・役員会に，日中技術設計専門家会議の対処方針をかけ，了承を得る。
 - ・会議資料の準備。
- 22日 (金)
 - ・部長会，に出席。
 - ・会議資料の準備。
- 11月25日～12月4日
第2回技術専門家会議に出席のため，上海に出張。

12月

- 5日 (木)
 - ・午後出社。
 - ・帰着の報告を社長，副社長，志村取締役に行なう。
- 6日 (金)
 - ・第4回日中海底ケーブル会議の日程について，業務部清水次長と協議。
 - ・塚田課長（総企，海プロ担当）から，要員計画に関する総企室での審議状況をきく。

	50年度	51年度	52年度	53年度	54年度
海沖縄	8+3	+4*		+2	
	(施設要員) 共通要員				
茶北		7	+1*		

	本社	(施設要員)	共通要員		
	—8	—7		—18	—14
	(技術要員)				
	・午後、海建本部連絡会.				
7日 (土)	週休.				
9日 (月)	・郵政・電監室にて、A1 ケーブル開発費の分担に関する打合せ。(午後). 受益者負担の立場から、民間も負担し、官民協力の体制で開発を進めることとして大蔵省に予算要求をしたいとの郵政側説明に対し、KDD は協力することとなる.				
10日 (火)	・沖縄、苅北の中継所の要員について、社長室主催の関係部長間打合せに出席.				
11日 (水)	・埋設部会。(午後). ・郵政・電監室より、A1 ケーブル開発企画の作成に対する協力の慰労宴に招かれる。 水内参事官と懇談.				
12日 (木)	・副社長より、「衛星通信による教育」の問題に関する資料を求められ、ALOHA 計画、CAI (Computer Assisted Instruction) 等の資料をまとめる。 ・役員会にて、日中ケーブル第2回技術専門家会議(上海、11/26~12/3)の報告を行なう。 ・夕刻より研究所へ行き、難波さんの叙勲祝賀パーティに参加。 石川、小関、新堀君らと懇談(むら).				
13日 (金)	・部長会に出席 ・第4回日中ケーブル会議の対応方針案。 日ー比ー香港ケーブル Working Group 会合の対処方針案(総企室作成)を吉田、石井君と検討 ・永田課長、矢口、小林君らから、CS-5M 中継器部品の高信頼度化作業工程の承認を求めるメーカーからの資料について説明報告を受ける.				
14日 (土)	週休.				
16日 (月)	・本部連絡会 第4回日中ケーブル会議の対処方針案の検討.				
17日 (火)	・中国に対する技術情報の開示に関する問題の検討。 ・永田課長、江幡主任から、電氣的布設作業のための KDD 丸改装案(KCS 検討)の説明報告を受ける.				
18日 (水)	・午後、研究所長を訪ね、日中ケーブルにおける技術情報の提供に関し、とくに電氣的布設のソフトウェアについて、関係者を交え協議。 ・研究所としては、絶対に出しては困るということはない。 ・これに対し、適当な対価を求めることに賛成する。 ・適当な対価に対する算定のため、今迄の開発経費を見積る。 ・日本郵船杯 Br. に出席.				
19日 (木)	・海建委資料の準備。 ・海上保安庁水路部 川上部長以下と海建本部関係者間の懇談会に出席.				

- ・永田，徳江両君と懇談.
- 20日 (金) ・海底線建設委員会.
 - ・沖繩ー比ー香港ケーブル会議の対処方針.
 - ・日中海底ケーブル会議（第4回）の対処方針
- 21日 (土) 週休，川越.
- 23日 (月) ・副社長に「CAI 技術の動向」を原田秘書を通じ届ける.
 - ・海建本部連絡会（14:00～）.
 - 沖ー比ー香ケーブルとアルミケーブル開発との関連が論議.
 - ・東大海洋研 奈須所長と懇談，木村常務以下.
- 24日 (火) ・役員会にて，第4回日中ケーブル会議の対処方針について伺い，了承を得る.
 - 同日，沖ー比ー香ケーブル計画に関する KDD/ETPI/C&W 会合の対処方針（総企室）.
 - 沖繩海底線工事事務所の設置（社長室）の案件が審議さる.
- 25日 (水) ・日電 本郷氏来訪，ソ連からの海底ケーブル引合いのため，訪ソし技術的打合せした件の報告あり.
 - ・ATT Mr. McCullough あて，ハワイグロムケーブル布設における LL 号乗船に関し，KDD からの要員削減の通報を TLX で出す.
 - ・技術部 忘年会.
- 26日 (木) ・中国 SPT あて，システム第3次設計書（第2稿）を送付.
 - ・埋設部会.
- 27日 (金) ・総企室 関次長より，明年1月の KDD/ETPI/C&W 会合に，技術からも参加した方がよいとの増田常務の意向があるので，適任者について考慮してほしいと話しあり，了承.
 - ・研 中井有シ研究室長 来訪，通研での CS-12M 開発（高信頼度部品）が終了し，資料が渡されたと報告あり.
 - 明年，NK 方式分科会で正式受理とすること，開進委で報告するための資料をつくることを考えるよう指示.
 - ・OCC 斎脇氏 来訪：日中ケーブル関係，アルミケーブル開発などにつき懇談.
 - ・NEC 斎藤氏 来訪：香港ケーブルについては，N, F 間で話し合っ，6/4 で協力し，N がメインになろうとの話あり，cost について，STC 側の情報取得を依頼.
 - ・北原文書課長：沖繩海底線工事事務所の設置について，あとは職員部が発令等について検討することとなる，その辺を打合せる.
 - ・夜，石井君より自宅に Tel. あり，KDD/ETPI/C&W 間の香港会合へ随行することとなったとの報告あり.
- 28日 (土) 仕事納.

1975年（昭和50年）

1月

- 4日 (土) ・ 仕事始めの式.
- 6日 (月) ・ 織田, 小林両部長らと郵政, NTTへ新年の挨拶廻り.
・ 海建本部 連絡会議. (15:30~).
- 7日 (火) ・ ハワイグロム間ケーブル布設に対する KDD 職員の LL 号乗船の件につき, 役員会資料を作成し, 副社長, 社長へ事前説明.
・ 電通大 松崎教授 来訪.
学生への一般教養教材として, ケーブル, 衛星の映画フィルム借用の依頼.
広報室 望月社員を紹介し, 資料を提供, 便宜を図る.
・ NTT 横浜都市管理部 米沢部長に Tel. .
竹川氏より依頼の越ヶ谷局電話の件につき, 調査を依頼.
加入者ケーブル工事のため, 2月下旬~3月下旬との話し.
・ 横須賀通研石田氏に Tel. .
伝送同門会 GC の件, 箱根湯の花に決め, 3月23日(日)をとる.
・ 沖縄海底線工事事ム所要員について, 打合せ. (取締役, 小林部長, 阿部課長).
- 8日 (水) ・ CS-12M 海底中継器高信頼部品の技術資料関係で, 通研 田畑室長に Tel. .
次のような見解を得る.
1. 中国に対しては, とくに新規の開発は今回はないので, 適宜示してもよい.
2. 開発は KDD の委託により行なったので, KDD に渡したあとは, KDD の自由でよい.
3. 発表公開については, とくに考えてないが, 部品関係者とも発表形式を協議する.
未だ評価試験を継続中のものもあるので, 時期は, 6ヶ月位先になるう.
これに対し
1. 中国へ出した情報については, 次回 方式分科会で報告する.
2. 中国との技術情報の取扱いの協定に基づき, 「第三者との共同開発」の線で処理すること.
ことを述べ, 了解を得る.
・ 日大鶴岡教授来訪.
- 9日 (木) ・ 役員会に, 「ハワイグロム間海底ケーブル敷設への職員の派遣」について伺い, 了承を得る.
・ 技術部 次課長と, 日中ケーブル会議における「技術協力の討議」に対する基本方針を打合せ.
また, 苓北中継所の要員削減に伴ない, 通信機械設備における対策をどのように考慮すべきかを協議.
- 10日 (金) ・ 部長会に出席.
・ (海) 幹部会. (役員, 部長間打合せ). 14:30 ~17:00.
- 11日 (土) 週休
(海) 技術部若手 13名 自宅へ来訪.
- 13日 (月) ・ (海) 幹部会の発足に伴ない, 技術部内打合せ会の定期開催につき, 次・課長と協議.
毎週月曜日午前に, 調査役以上で開くこととする.
・ 中国に対する技術協力の基本的考え方につき, 海建本部内で協議 (10:00~12:30).
・ 石井・高崎君の海外出張歓送昼食会.
・ 事業計画の組合説明に対する基本方針の打合せ (社長室主催). (14:00~16:30).

副社長，関係役員，関係室部長．

新聞切抜「苦しい時こそ心構えが大切——菅野社長年頭あいさつ要旨」(略)

- 14日 (火) ・第4回日中間海底ケーブル会議に出席のSPT代表団を羽田空港に出迎え。
 ・中国代表団のKDD表敬の席に列席。
 ・夜，代表団の副社長招宴。
- 16日 (木) 第4回日中間海底ケーブル会議開催。
 午前，全体会議。午後より技術分科会。14:00～17:30。
 以降，会議に出席。
- | | | | |
|---------|----------|------------------|--------------|
| 17日 (金) | 技術分科会 | システム第2次設計書の協議， | 検査関係の協議 |
| 18日 (土) | 〃 | (午前のみ) 第3次設計書の協議 | |
| 20日 (月) | 〃 | 同上 | |
| 21日 (火) | 〃 | 同上 | 部品関係の工場視察の協議 |
| 22日 (水) | 〃 | 同上 | |
| 23日 (木) | 〃 | 同上 | |
| 24日 (金) | 〃 | 1975年作業計画 | 技術協力の予備討議 |
| 25日 (土) | 〃 (午前のみ) | 同上 | |
- 25日(土)午後～26日(日)
 熱海への遊覧案内。
- 27日 (月) 全体会議。(午前10:00～12:00) 第2次設計書 確定
 技術分科会 (午後のみ) 訓練，技術協力など 主要項目の討議を終る。
 部品製造工程表の対メーカー打合。(15:30～18:00)。
 夜：建設費概算について社内検討(18:30～22:00)。
- 28日 (火) 業務分科会 (午前のみ) 建設費概算 KDD/SPT 工場視察実施。
海底線建設委員会(第18回)。(15:00～17:30)。
- 29日 (水) 石井君より，沖ー比ー香港ケーブルに関する香港会議ミニッツの内容説明を聞く。
- 30日 (木) 志村ー劉 会談(19:30～21:30)。京王プラザホテルで，終了後，社内検討。
- 31日 (金) 業務分科会。
- 2月**
 1日 同上 午後，妥協可能項目の社内検討。

(土)

3日 同上

(月) ・通信学会，通信方式研究専門委，委員を研究所山口室長と交替希望の旨を重井委員長に伝え了解を得る。

4日 全体会議 (9:00～10:00) 会議要項.

(火) 業務分科会 (14:00～17:00).
三井物産等商社，メーカーからの SPT，KDD 招宴.

5日 ・技術分科会 14:30～18:00，開進委あるも，欠席.

(水) 残った問題の協議.
技術協力について説明，討議.
・業務部長と，次回専門家会議の日程，について協議.

6日 ・技術分科会. 9:30～12:00.

(木) 残った問題の協議.
・第2次設計書，会議要項の署名. 14:00～.
・SPT 代表団からの招宴.

7日 ・志村取締役，織田部長と，次回専門家会議の日程について協議.

(金) 3月31日(月)出発，4月1日から約2週間の会期とする案を SPT に示すこととする.
・SPT 代表団 離日，羽田空港へ見送りに行く.
・夕刻，海建本部関係者の慰労会合.

8日 週休，研究所コンペに参加.

(土)

10日 ・熊本県庁より，天草広域農道の建設予算の関係省庁への説明のため，県庁関係者に先ず KDD

(月) から早期必要性の説明をしてほしいと要請あり(松田次長受)，今週後半に行くこととする.
・日中ケーブル会議の役員会報告資料の準備.(2/13. 報告予定).
・OCC 神奈川製造所(出田町)にて，外装ライン，ケーブルタンクの新設備等を視察.

11日 祝日

(火)

12日 ・副社長，社長へ，第4回日中ケーブル会議の役員会報告の事前説明を織田部長と行なう.

(水) ・能力開発課 村越君と，沖縄における業ム知識講座について打合せ.
3月3日～6日に沖縄へ行くこととする.

13日 ・役員会に，第4回日中ケーブル会議の報告を，織田部長と共に行なう.

(木) ・午後，織田部長と郵政電監室 佐瀬参事官を訪問，上記会議の報告.
・郵政・電監室主催 A1 ケーブル方式の開発体制に関する準備打合せ.(小関，吉田課長出席).

14日 ・通研 石田調査役 来訪：同門会コンペの打合せ等.

(金) ・海建本部幹部会.

17日 ・横須賀通研 松浦 海洋通信研究室長 来訪

(月) ・住友商事 上田部長に Tel. ，鶴岡氏より依頼の件.
・新 海底同軸ケーブルの開発計画に関する社内打合せ. 15:20～16:15.
副社長，以下関係役員，部長出席.(社長室主催).

- 郵政省への KDD 意見に関する審議。
- ・石井君に命じ、沖ー比ー香港ケーブルに対する日本方式の建設計画線表を作成。
(総企室より、郵政への説明資料とする予定)。
- 18日 (火)
- ・朝、木村常務のもとで、A1 ケーブル開発の分担に関する郵政省案を検討 (志村、亀田、吉田、小関)。
 - ・志村取締役より、
 - ・沖ー比ー香ケーブルの次回 Working Group 会合について、増田常務が郵政省と協議された結果。
 - 1. 次回会合期日を C/W 提案の 3 月 17 日から、4 月へ延ばすことを日本は提案する。
 - 2. 検討資料として、次のものを早急に作成する。
 - 1) 沖ー比区間の日本方式による構成案。
CS-5M d 12M について銅ケーブルでどうなるか。
システム建設価額の算定をこれにより行なうが、業者への問い合わせは、慎重に行なう要あり。
 - 2) C/W との交渉に用いる資料として、比ー香区間の CS-12M 方式の構成案。
これは、無外装ケーブル、埋設とし、14M 方式、A1 ケーブル、外装との価格比較に利用する。
- 以上の資料の早期作成の指示あり、吉田、石井両君に以上を伝え、資料検討を指示。
以上の件は関係者以外、秘とすること。(A1 ケーブル開発事項との関連のため)。
- 19日 (水)
- ・松田次長より。
天草における、農道の建設費に関連して、出京中の苓北町長、町議会議長らが、NTT の同軸伝送路の建設計画の変更の可能性を問題にしているとのこと。
NTT 関係者と協議のため、社内関係部門と協議するよう指示。
 - ・富士通 小山工場に出張。
海底中継器の製造工場の拡張後の状況を視察。
- 20日 (木)
- ・吉田課長より、小関課長とともに昨日郵政にて、アルミケーブル開発分担に関する KDD 意見を述べた模様の報告あり。志村取締役、木村常務にも報告。了承を得る。
 - ・業ム知識講座の講演原稿作成。
- 21日 (金)
- ・都内積雪 15cm。
 - ・業ム知識講座の原稿作成。
- 22日 (土)
- ・吉田課長より、昨 21 日郵政で行なわれた、アルミケーブル開発分担に関する関係各社間の打合せ状況の報告あり。
 - ・石井君より、沖ー比ー香ケーブルの方式構成案の報告を受ける。
- 24日 (月)
- ・午前、技術部内連絡会：調査役 以上。
 - ・午後、日中ケーブル用国内伝送路建設に関する打合せ会を主催。
出席：社長室長、伝送施設部 富田部長、次長、伝送課長、海建本部 三部長、松田、阿部。
 - ・志村取締りに沖ー比ー香の CS5M, 12M による System configuration およびその機材費概算を説明。
福治部長も来席し、今後の業者引合いにつき協議。
- 25日 (火)
- ・志村取締りに、広域農道およびその伝送路建設上の問題点を説明。
NTT に伝送路建設に対する考え方を、農道建設状況の説明と併せてきくことを検討することとする。
 - ・午後、埋設部会。

- 26日 (水) ・木村常務に、沖一比一香のケーブル方式構成の検討結果を説明。
 ・広域農道伝送路に関し、志村取締役、富田伝送施設部長と、NTT 山本施設局長を訪問、NTT の考え方をきく。
 ・沖一比ケーブル機材の業者引合いについて、総企、福地部長と打合せ。
- 27日 (木) ・沖一比ケーブルに関する業者引合いについて、志村取締役、木村常務に資料説明。
 ・午後、技術部、建設部間で、日中ケーブルの布設計画に関する打合せ。
- 28日 (金) ・沖一比ケーブルの引合いのための予備的協議をN、Fと個別に行なう。
 N:関本取締役、F:新堀取締役、K:志村取締役、亀田。
 ・Nは、東南アケーブルについて、主導的立場をとってFと協力するとの、N、F幹部間の話し合いが2年前にあった。
 ・布設工事は可能である。Nの場合、Mr. Waldic に工事面を頼むことができる。
 ・納期的に問題はない。普通2年、急げば18ヶ月。
 ・OCCとは個別に志村取締役より、輪かくを示す。
 ・アルミケーブル開発に対する、専門委員の問題について、志村取締役と大島常務へ伺う。
 研究所から主査を出すことは好ましくない、とくに、研究室長を出すことは、いろいろ問題があろう、海建本部の方がよいのではないか。
 ・本部幹部会。
 ・福地部長に、沖一比ケーブル引合いに関し、メーカーと予備協議を行なったことを報告。

3月

- 1日 (土) ・海建本部ゴルフ コンペ。(志村杯)。
- 3日 (月) ・沖縄、熊本 出張。
 午後、沖縄通信事ム所、沖縄報話局を視察。(総務課長案内)。
 壺川社宅を見て、ポートホテル 泊。
- 4日 (火) ・通信事ム所会議室にて、業務知識講座の講演。10:00~12:00。
 ・午後、技術課長の案内で、南部戦跡、玉泉洞、知念海岸などを廻り、その間、具志頭海岸にて、沖縄陸揚局の建設状況を視察。
- 5日 (水) 午前、船越調査役の案内で首里王城跡を見学。
 空港にて、志村取締役役を出迎え、そのまま、熊本へ向う。
 熊本駅にて松田次長と会い、とぎやホテル泊。
- 6日 (木) 熊本県庁にて、企画開発部幹部と会い、農道建設に関する問題について話し合い、午後、農政部長に日中ケーブル用国内伝送路につき、NTTへ要望した経緯、日中ケーブルの建設進捗状況を説明し、農道建設の促進方を要望。農政部長からは、予算、工期について、かなり困難な点のあることが述べられた。
 夜、関係者を招待。
- 7日 (金) 朝、九州通信局を訪問、長田局長に会い、県庁で前日話した模様の概略を伝え、なお、今後とも充分連絡をとりたい旨を述べる。
 午前11:29 熊本駅発、福岡より空路帰京。
- 8日 (土) ・出社し、吉田課長より、1. 日中ケーブル第3回技術専門家会議用資料(施工設計第3稿素案)の説明。2. 沖一比一香ケーブルの関係の報告。3. アルミケーブル関係の報告等をきく。

- ・志村取締役に、熊本県庁での打合せ状況を報告。
- 10日 (月)
- ・(海) 技術部打合せ。(定例)。
 - ・NEC 本郷部長来訪。
沖一比ケーブルの見積りに関し、とくに、布設工事費、システム設計等の質問あり。
(回答) 1. 海洋調査はKDDで計画、よって見積り不要。 2. KDDによる工事はKDDで算定する。 KCSをNECがサブとする時、NECで要すると思われる分のみ見積ること。
3. TASMANの時C/Wが出した工事費を参考にして、KCS以外を使って工事する時の見積りも可能なら出すこと。
 - ・資材部長に、沖一比ケーブル見積りの件につき、協議。資材部長より鶴岡取締に伺って、計画段階であるから、海建本部でメーカーと接渉してよいとの了解を得る。
- 11日 (火)
- ・午前、晴海ふ頭にて、NTT黒潮丸の見学。
 - ・午後、沖一比一香ケーブルの建設保守協定KDD案の検討。(総企室 主催) 打合会。
 - ・SPTへ送付するシステム第3次設計書第3稿の校閲。
- 12日 (水)
- ・通研 石田調査役 伝送同門会のことで来訪。
 - ・NEC 営業 斎藤(文)部長 来訪、沖一比一香ケーブルの見積りについて。
1. NECがprime contractorとなり、F, OCCをsubとする、工事の面で必要があれば、商社もsubとする、商社を上立てることはしない。
2. 延べ払いの件で通産省へcontactしてよいか。
2については、総企室福地部長と相談し、輸銀の融資条件は輸出上の政策として決まるので、現段階でメーカーから直接通産にきくのは好ましくない。郵政省から通産省へ話すことになっている。
よって、85%に対し、7.5%、5年と云う、英国と同条件で算定してもらえばよい、と返事することとする。
 - ・OCC 滝鼻部長ほか 来訪：日中ケーブルで契約した、ケーブル長の問題について話しあり。
 - ・志村取締に、新海底同軸ケーブル方式開発の社内体制案について説明。
和田部長ともよく協議するよう指示あり。
 - ・人事発令
沖縄工事事ム所長など。
日隅調査役 技術部へ。
- 13日 (木)
1. 研究所との連絡打合せ 9:30~12:00. 研 鍛冶, 中井, 栗原.
協力を円滑にするため、意思疎通を図りたい。
 2. アルミケーブル方式開発における中継器開発計画(50年度分)について、NEC, Fujiと打合せ。13:00~14:45.
・設計目標は統一をはかる。
・試作数量は各社、ユニット3台、増巾器2台として経ヒを見積る。
・電食、筐体等NTTの分担開発から生じる回路への影響は、もしあれば早く出してもらおう。
 3. 海建委(19回)。15:00~17:00.
日中間ケーブルの第4回業務専門家会議、第3回技術専門家会議の対処方針案の審議。
 4. 中野朝安氏より依頼の小池勇二郎氏の授彰運動について、小松参事、古橋取締に説明、短波送信管の開発についてKDDがその設計の指導に与った事実の確認を古橋取締役よりして頂くことのできることを得る。
- 14日 (金)
- ・開発センター 和田部長と、アルミケーブル開発に対する社内体制について協議。
9:30~10:00.
郵政からの委託は海建本部で受け、社内開発については開発センターから、海建本部、研究所に要請することで考えることとする。

- 17日 (月) ・技術部内打合せ(定例).
・ECLよりNECへ移った田畑氏あいさつに来訪.
・ECL森下氏(基幹伝送研究部)エコーサプレッサーの使用方法につき回統部十二課長補佐を訪ね、打合せ終了後、来訪.
・日中ケーブル第3回技術専門家会議への出席について事案決定文書作成.
・去る3月6日熊本県庁で行なった農政部との打合せの報告作成.
- 18日 (火) ・新技術開発推進委員会 13:30～17:00.
新海底同軸ケーブル方式(A1同軸ケーブル方式)の開発項目につき、その背景を説明.
- 19日 (水) ・部内監査.
西田部長、里見課長による海建本部技術部の監査に答える.
・A1ケーブル方式用中継器の開発計画案を3/26日までにMPTに提出するため、NEC、FUJITSUと打合せ。(試作計画、所要経費など).
・日大鶴岡教授 来訪.
- 20日 (木) ・松下技研 中野技術部長より、依頼の短波送信管開発に関する小池氏功績の certificate につき、古橋取締役の了解を得、その手続きについて社長室と協議.
・公印を必要とすれば、会社として手続きをふむ必要あり、その場合は開発についての証明となるので研究所から起案を出してもらうのがよい。(文書課 補佐).
・松下技研中野部長に問い合わせたところ、公印でなくでもよい、とのことなので、古橋取締役の名前で出すこととする.
・沖一比一香ケーブルの建設保守協定案に対する成蹊大山本教授の意見をきくための、総企室主催打合せに出席. 14:00～16:30.
・NEC 斎藤部長、FUJI 三村次長を伴ない、沖一比ケーブルの建設費見積りの中間報告に来訪. 再検討して、25日までに適正な案を提出するよう要請.
- 22日 (土) ・志村取締役の要請でNEC 斎藤部長の来訪を求め、見積りについて努力を要請.
・沖一比沖一比一香ケーブルの専門家会合における技術の terms of reference について、技術課長らと協議. これに関連し、建設を管理する機関のあり方を討議.
- 23日 (日) ・伝送同門会 G.C.
- 24日 (月) ・SPTより、3月22日付で、4月7日より技術、業務専門家会議を開きたいとの来電.
- 25日 (火) ・苓北局建設に伴なう保守体制への準備、および、新海底同軸方式用中継器の開発計画を郵政省へ提出する件について技術課長と協議.
・埋設部会. 13:30～15:30: 於 KCS 会議室.
・日中業務専門家会議における建設費概算の対処方針案について、志村取締役、織田部長と協議. (18:00～21:00).
・志村取締役に、郵政から求められている新海底同軸方式用中継器の開発計画案を説明.
- 26日 (水) ・OCC 滝鼻部長、寺西課長 来訪、志村取締役より、沖一比ケーブル計画のケーブル見積り価額に対する意見を示し、努力を要請. (9:00～10:00).
・NEC 斎藤部長 来訪: 沖一比ケーブル計画の建設費見積りを持参.
志村取締役と共に一層の努力を要望.
・海底線建設委員会. (14:00～17:00).
1. 沖一比沖一比一香ケーブルの KDD/C&W/ETPI 会合の対処方針.
2. 沖縄局海岸のトレンチの追加工事.

3. 日中・業務専門家会議の対処方針.

- 27 日 (木)
- ・第3回技術専門家会議における討議用資料を SPT へ送付.
 - ・ NEC 斎藤部長 来訪：沖一比ケーブルの建設費の見積りのフォーム，内容について協議.
 - ・ CS-XA 方式用中継器の開発計画案を，郵政に説明 (3/26) した模様について技術課長より報告あり，MPT からさらに KDD, N, F 間の分担等について案の提出を求められており，その回答について協議.
- 28 日 (金)
- ・ CS-XA 方式用中継器の開発に対する MPT からの協力要請への回答案につき，志村取締役，木村常務に報告，説明：了承を得る.
 - ・ これの社内処理については，下打合せの段階なので，関係役員，副社長に説明，了承を得て MPT に出す.
 - ・ 正式に委託が出た段階で，受託について役員会へかける.
 - ・ 社長室と充分打合せておくこと.
 - ・ 海建本部幹部会. 14:00~17:30.
日中ケーブル：建設費概算の役員会資料.
 - ・ NEC 関本氏，斎藤氏，沖一比ケーブルの建設費見積りを持参.
(1976 年度末時点の価格で算出).
- 29 日 (土)
- ・ 整理
- 31 日 (月)
- ・ 成城 菊池先生 来訪，古田夫人，藤間夫人同行.
 - ・ NEC 本郷部長，鳥丸課長 来訪.
 - 沖一比ケーブル見積りの技術的条件について.
 1. 工事関係：turn key として充分責任を持てるか.
 2. 中継器：12M 用が 5M 用に比し，割高の理由.
経済化には部品の信頼度保証法の見直しも必要と思う。(NEC).
 3. 端局：HFL のみを二重化した。(NEC).
 4. ケーブル：白ジャケットとした，西独一スウェーデンもそうしている。(NEC).
 - ・ 織田部長と共に，社長に日中専門家会議対処方針の役員会議資料を事前説明.

4 月

- 1 日 (火)
- ・ 会社創業記念式典.
 - ・ 記念パーティ，観劇に出席.
- 2 日 (水)
- ・ アルミケーブル方式用中継器の開発計画に関する MPT への回答について，大島，増田，鶴岡各役員に説明，了承を得る.
 - ・ 日中技術専門家会議 (第3回) 出席者のミーティング. (10:30~12:10).
 - ・ SPT より，ケーブル完成品検査表に対する意見を述べた写真電報来る.
 - ・ NEC 斎藤氏，田辺氏，沖一比ケーブル，比一香ケーブルの見積り内訳持参.
内容不備のため，再検討を依頼.
 - ・ 夜，業務部長，総括課長と懇談.
- 3 日 (木)
- ・ 役員会に，日中ケーブル，業務・技術専門家会議の対処方針を伺い了承を得る.
 - ・ 荅北陸揚局建築工事の起工式 (4 月 14 日) に社長出席のため，情況説明に資する広域農道建設状況の資料作成.
 - ・ 昼，石井，日隅両君の昇任・昇格祝，昼食.
- 4 日 (金)
- ・ 日中専門家会議出席者の業務・技術合同打合せ. (10:30~11:45).
 - ・ 郵政省電監室 (13:00~15:30).
 1. 佐瀬参事官に，日中ケーブル専門家会議の対処方針を説明.

- 2. 飯島参事官と、新海底同軸ケーブル方式用中継器の開発計画について打合せ。
・役員、関係部室、KCS に上海出張のあいさつ。
- 5日 (土)
 - ・専門家会議へ持参する資料の整理。
 - ・松田次長に不在中の処理事項につき指示。
- 7日 (月) 9:00 羽田発 上海へ。
- 8日(金)～16日(水)
 - 第3回日中間海底ケーブル技術専門家会議。
- 17日 (木) 16:40 上海発。東京へ。
- 18日 (金)
 - ・志村取締役へ帰国報告。
 - ・織田部長より預かった建設費概算の協議に関する請訓の書類を清水次長に渡し、志村取締りに説明。
 - ・訓令の案文作成に協力。
 - ・織田部長へ清水次長から、志村取締りの訓令を伝達するのに立会う。
- 19日 (土)
 - ・吉田課長と第3回技術専門家会議の報告書につき、協議。
- 21日 (月)
 - ・Ok-Ph-HK ケーブル 打合せ。9:30～12:00。
 - ・KDD/ETP/CW マニラ会合 報告。志村取締役より。
 - ・今後の作業予定。(業ム関係)。塚田課長。
 - ・技術部定例打合せ。13:40～15:30。
 - ・日中ケーブル、技術専門家会議(第3回)の状況。
 - ・松田次長、永田課長より、諸作業の推渉状況報告。
 - ・社長、副社長に帰国 報告。
- 22日 (火)
 - ・NEC 本郷部長、田畑氏と Ok-Ph-HK ケーブル関係で協議。
 - 1. 技術的問題で、打合せをもちたい。
 - 2. turn key にして、布設工事がうまくできるか。
 - 4/28 に再度打合せることとする。
- 23日 (水)
 - ・伝送施設部主催：日中国内伝送路の賃借回線数に関する打合せ。(午前)。
 - 松田次長に代理出席してもらう。
 - ・Ok-Ph-HK ケーブル技術関係 打合せ。14:30～17:20。
 - 志村取締役以下、海建本部 主要メンバー、出席。
 - tender document の検討、作成等、今後の作業予定について。
 - ・4/24 開催の参院通信委に対する答辯資料の作成。18:00～21:30。
 - ・日中 第4回業ム専門家会議における建設費概算の協議、合意に達す。
 - ・東シナ海における埋設実験 開始。
- 24日 (木)
 - ・日中間、第3回技術専門家会議の役員会報告資料のとりまとめ。
- 25日 (金)
 - ・CS-12M 海底中継器の利得増加につき、検討経緯を研究所 中井、湯口両君から聞く。
 - 0-Ph-HK ケーブルへの適用は時期尚早と判断される。

- ・業務専門家会議の出席者（業務部長以下4名）上海より帰国。
- 26日
(土)
- ・第3回技術専門家会議の役員会報告とりまとめ。
 - ・Ok-Ph-HK ケーブルの資料検討。
- 28日
(月)
- ・沖一比一香ケーブルの引合に関する業者（NEC, OCC）との打合せ。（13:30～16:30）。
 1. 中継器の利得上昇について。
 2. turn key case おける引合いの範囲について。
 3. ケーブルジャケットの白ポリエチレン使用について。
 - ・総企室福地部長，（海）業務部長，輸出入銀行へ延払いの問題をききに行く。
（海）技術側より，松田次長に同行してもらう。
- 30日
(水)
- ・執務月報，管理記録表作成。
 - ・新納君より，LL号の布設作業（ハワイグワム間第2次）に参加した模様の報告を受ける。
 - ・Ok-Ph-HK ケーブルの建設保守協定の説明打合せ 13:30～17:30。
塚田課長より報告と説明。
 - ・日中専門家会議 出席者に対する志村取締役の慰労宴（32F）。
 - ・Mr. Powel より来電。Mr. Bird が来日，とのこと。
- 5月
- 1日
(木)
- ・副参事管理記録表を担当役員に提出。
 - ・C&W Mr. Bird CCITT SGXV 会合（京都にて開催中）へ出席のため来日し，Mr. Powel の手紙と Draft Tender Document を持参。
石井君を派し，羽田空港にて，これを受理。
 - ・Mr. Bird と Draft Tender Document に対する意見交換を5/9に行なうべく手配。
- 2日
(金)
- ・Mr. Powel に 返電。
 - ・志村取締に，上記の件を報告，Mr. Bird との討議の準備打合せを5/7午前に行なうこと，同日午後，Committee メンバー間の会議をもつこと，5/9のMr. Bird 来訪に際しての接待などを打合せ。
 - ・本部内各課関係者と Tender Document の作成，検討方針につき打合せ。
- 6日
(火)
- ・Mr. Bird の持参した Draft Tender Specification を検討。
 - ・富士通 斎藤二郎氏 来訪：金門へ行く相談。
 - ・NEC 斎藤部長来訪：CW の Draft Tender Document について。
- 7日
(水)
- ・午前，9:30～12:00。
 - ・Ok-Ph-HK ケーブル Tender Document 作成方針の打合せ を主催。
志村取締，海建本部，資材部関係者。
 - ・午後，13:30～。
沖一比一香ケーブル，調整委，小委，KDD 代表の打合せ，福地部長同席，今後の進め方の討議。
- 8日
(木)
- ・Mr. Bird との Discussion 準備。
 - ・Mr. Bird 17:00 京都より CCITT 会合を終え，来京。
夜，志村取締の招待（三井ビル，55F.）。
- 9日
(金)
- ・Mr. Bira と CW 作成の Draft Tender Document につき討議。
午前：Part1, Part2, について，支払条件を中心の討議。
午後：Part3 について，技術的討議

- 10日 (土) ・電子通信学会 東京支部役員会, 総会に出席. 11:50~13:35.
Mr. Powell より, 5月20日より London で会合を開きたいと来電あり.
・Mr. Bird と夕食. (京王プラザ, プルニエ).
- 12日 (月) ・沖-比-香ケーブル London 会合出席につき, 連絡カードで社長まであげる.
・役員会へ, 出席についてかけ, 対処方針は文書処理するとの方針が出る.
- 13日 (火) ・役員会に, 沖-比-香ケーブル ロンドン会合出席について伺い了承を得るとともに, 日中
専門家会議の報告を行なう.
・午後, 13:30~.
沖-比-香ケーブル Tender Document につき, メーカーと打合せ.
・吉田課長より, CS-XA ケーブルの開発に関する MPT との打合せ状況の報告あり (5月8日).
・MPT よりの委託契約が, KDD, メーカーと共同になる点につき, メーカーは KDD による一括
受託を希望し, 契約形式が共同になっても, KDD を代表としてメーカーから KDD に委任し
て実行したいとのことで, N: 斎藤, 福井, 本郷氏, F: 三村氏来訪. 一応了承するが, なお,
社内で検討することとする.
・CS-XA ケーブルの開発 受託に関する, 社内処理は, 木村, 大島, 志村, 関係役員の協議に
より, 開発センターが行なうこととなり, 海建本部は協力することとなる.
・熊本県庁 島田, 林田両氏来訪, 夜, 接待 (渋谷, 佐賀).
- 14日 (水) ・午前, 沖-比-香ケーブル, ロンドン会合出席者 打合せ.
志村, 亀田, 清水, 塚田, 石井, 松本(一), 織田, 松田 同席.
- 15日 (木) ・ロンドン会合対処方針案文 作成 (塚田, 清水).
・メーカーと Tender Doc, 打合せ.
・CS-XA 方式開発に伴なう, 工業所有権の取扱いについて, 社内協議.
社長室 主催, 海建本部, 法務室, 研究所 特許課, 開発センター技術担当.
・London 事ム所へ電話連絡. 15:00~.
・NEC 斎藤部長 来訪. OPH ケーブルの組織表持参.
・Tender Document Part 3 の KDD コメントにつき検討. (ケーブル, Rep. 関係).
- 16日 (金) ・富士通 三村, 山口氏 来訪. 9:15~10:00.
西独-スエーデンケーブルに関する情報: FTZ より示された spec. の内容. ⑥.
布設は終わり, システム調整中, 6/25 開通予定.
デンマーク-ノルウェーケーブル引合中: 150km, 36M 1" ケーブルになりそう.
・OPH ケーブル Tender Document Part 3, 端局装置関係の KDD コメントにつき検討.
(10:30~11:30)
・織田部長と共に, 郵政省 電監室佐瀬参事官を訪問. 14:00~15:30.
日中専門家会議の報告, および, OPH ケーブルの London 会合開催について.
・OPH ケーブル London 会合の対処方針について, 増田常務へ説明, 後, 副社長の決裁を得る.
(16:20)
・NEC 斎藤部長ら 来訪.
志村取締役他関係者に, フィリピンへ輸出する場合の税金関係について説明あり.
・London 会合 出席者の打合せ.
- 17日 (土) ・London 会合の準備.
- 18日 東京空港発, London へ向う.
- 20日(火)~23日(金)

Londonにて、C&W、ETPIと調達関係の会合。

25日 東京帰着。
(日)

26日 午後より出社。
(月) ・技術部関係者にLondon会合の状況、を説明。

27日 ・午前、建設部関係者にLondon会合、の状況を説明。
(火) ・London会合報告書の作成。
・吉田課長より、CS-XA方式に関するMPTとの打合せ状況、および苓北陸揚局の要員削減に伴う問題の今後の処理について社長室と打合せた状況の報告あり。

28日 ・NECに沖一比一香ケーブルの引合書を手交。(資材部、海建本部) 14:00~15:30。
(水) ・NEC田畑氏と、上記に関し、今後の技術関係の進め方を協議。
・竹内彦太郎氏の叙勲祝、飯田橋会館。18:30~20:00。

29日 休暇。(休養)。
(木)

30日 ・OLHケーブルの当面の作業計画につき、松田、石井両君に指示。
(金) ・OLHケーブルのTender Spec.の技術問題について、NEC(F, OCC)と打合せ、London会合の状況説明と今後の進め方について。
・中国SPTより、次回技術専門家会合につき、7月上旬、約10日間で東京開催に同意する旨の来電。
・株主総会。
社長交替、技師長が置かれる。

31日 技術課レク旅行(山中湖)に参加。
(土)

6月

2日 ・建設保守協定(沖一比一香ケーブル)の作成を今後、どの様に進めるかにつき、志村取締役、
(月) 織田部長、塚田課長、亀田、で協議。(10:00~12:00)。

3日 ・研究所にて、所長、副所長、鍛冶、師岡次長、中井、山村室長、と打合せ。(13:30~17:00)。
(火) 海建本部、亀田、松田、吉田、永田、阿部。
(1) 沖一比一香ケーブルのこれまでの経緯説明。
(2) これに対する研究所の協力。
・CS-12Mはまだ開発段階なので、開発センターに了解を求める。
・専門家の協力は、研究所に依頼するか、開発センターの作業班として協力してもらうか。
(3) 海建本部、開発センター、研究所間で話し合い、志村取締役から大島常務にも話してもらう。

4日 ・会長、社長の就任あいさつ。(10:00~10:30)。
(水) ・建設保守協定(沖一比一香)の作成に関する、関係部門間打合せ(国際部主催)。問題点を各部にわりふる、6月20日まで回答する。
・上記の件、および、技術会議の準備について、技術部内で打合せ(15:00~16:00)。
・開発センターに、協力関係の協議:(和田部長出張中、宮原次長、和田部長に再度話す)。
・斎藤二郎氏と懇談。

- 5日 (木) ・役員会に、0-L-H, ロンドン会合 報告。
 ・0-L-H 関係, 本部技術関係者打合せ。
 ・技術会議の準備, 当面の作業計画など。
- 6日 (金) ・NEC 斎藤部長, 田畑氏他と, 0-L-H Tender Document の質問事項につき打合せ (資材部, 業ム部, 技術部)。10:00~11:30。
 ・CW より TLX, 技術会議の出席者名と来日予定の通知あり。
 ・London 事ム所に Tell, 技術会議の Agenda について, Mr. Powell の意見ききたし。
- 7日 (土) ・出社, 整理。
 ・WC Mr. Slade より, 志村取締役あて, 回線関係の提案の TLX 来る。
- 9日 (月) ・志村取締りに報告。
 1. CW よりの来電 (回線関係)。
 2. 沖一比一香ケーブル技術会議の Agenda と対処方針案。
 3. 研究所専門家の協力。
 ・開セ, 和田部長に, CS-12M の開発成果の利用と, 専門家の協力を得る方法について協議。
 ・必要な専門家を兼務とするのが良いが, それでなければ, 研究所に直接依頼でなく, 開発センター作業班に, 開発を促進するよう依頼して専門家を協力させることが好ましい, との意見を得る。
 ・志村取締役より。
 1. 技術会議の Agenda が CW より来たら, それにより方針的なものがあると判断されれば, 役員会に審議としてかける, ないようなら, 報告として, 会議の性格, 内容を役員会で説明することが望ましいとの, 副社長の意見とのこと。
 後者の場合は, 社長室に相談すること。
 2. 技術協力の問題は, 技師長に諮ったところ, 開発センターに建設業務を協力依頼するのは不相当と思われるとの意見があった。
 *これに対し, 和田部長の意見を述べたところ。
 (1) 兼務が研究所, 開発センターとも最適と云うのであれば, その候補者を選定し, その線を押す。
 (2) 開発センターには, 仕様書の早期作成方を依頼すること, なお検討の指示あり。
 ・郵政省電監室に ロンドン会合の報告を清水次長と行なう。
- 10日 (火) ・吉田課長に, 0-L-H ケーブル技術小委員会の開催について役員会に報告の形であげることにつき, 社長室 (総務課) に協議してもらう。
 その結果, この種のもの (周知的性格) を報告として役員会にあげるのは好ましくない, 対処方針は社長決定になるので, これが役員会審議の必要なしと, 社長が判断すれば, 事案決定の処理でよい, その了承を社長まで伺って処置されたいとのこと。
 ・以上の点を志村取締りに報告し, CW から Agenda が来てから, 社長に, 事案決定ですませることの了承を伺うこととする。
 ・吉田課長と, 研究所への協力依頼問題につき協議。
 ・健康診断。
- 11日 (水) ・開発センター和田部長と技術協力問題を協議。
 海建本部としては, 研究所の専門家を移籍または兼務とすることを筋として押してみる, 開発センターへの開発促進については, これと並行して, 必要事項について依頼する。
 ・CW より 0-L-H ケーブル回線を当初は 4kHz で使用する提案あり, 総企室で検討中とのことで, 塚田課長と協議し, 必要あれば, 来週の技術会議で討議の場をつくる, こととする。

- 12日 (木) ・木村技師長に KDD/CW/ETPI 技術会議におけるあいさつ文案を届ける。
 ・技術会議の準備を進める。
- 13日 (金) ・技術会議（沖一比一香ケーブル）対処方針事案決定。
 ・NEC 斎藤、田畑氏来訪：端局関係で装置の二重化、監視装置の複雑化など CS-12M 方式の標準方式では、価額が高くなる、NEC の簡略化案を出したいが、どうするか：NEC 案をオプションで出すよう指示。
 ・O-L-H 技術会議の準備打合せ：15:00～18:00。
 ・（海）技術課、線口課、施設課。
- 14日 (土) ・OLH 技術会議の準備。
- 15日 (日) Mr. Powell, Mr. Bird を羽田に出迎え。午前。
 Mr. Histed, Mr. Hinchcliffe を羽田に出迎え。午後。
- 16日(月)～20日(金)
 沖一比一香ケーブル 第1回技術小委員会 東京会合 開催
 16日、夜、木村技師長 招宴。
 18日夜、副社長招宴。
- 21日 (土) ・Mr. Chan を除く、CW, ETPI の代表5名を二宮、箱根に案内。
 ・Messrs. Powell, Bird 夜 羽田発。
 ・松田次長に代理で、要員問題につき、職員部長と話し合うよう指示。
- 22日 (日) ・Messrs. Histed, Hinchcliffe を 羽田に見送り。
- 23日 (月) ・志村取締に技術小委員会の報告。
 ・午後の経営合理化委員会にて、職員部より要員関係の資料があるので、沖一比一香ケーブル計画の進展に伴う海建本部の要員増につき、志村取締のもとで、協議：委員会で審議の結果、4名増が認められたとのこと、また、荅北の要員、保守態勢について、25日、技師長、技術役員が協議するので、その資料を作成するよう指示あり。
 ・業務部に、技術小委員会の結果を説明。
- 24日 (火) ・富士通より、西独一スエーデンケーブルの布設状況の報告あり。10:00～12:00。
 ・NEC 斎藤、田畑両氏の来訪を求め、CW, ETPI との協議状況を説明。
 ・荅北の保守要員に関する問題の資料作成。（松田次長）。
- 25日 (水) ・沖一比一香ケーブル建設保守協定に関する東京会合の打合せ。（国際部 主催）。
 10:00～12:00。
 ・午後、技師長、技術役員会議にて、荅北の要員問題が協議され、保全部、回統部で、この問題を検討することになったとのこと。
- 26日 (木) ・資材部長らと、O-L-H ケーブルの調達問題について協議。
 今度の発注は、ETPI が発注者となるので、資材部が発注業務を行なうことはない、そこで、資材関係の専門家として、海建本部がCW, ETPI と接衝するとき、協力をする立場でよといというこで合意。
 ・OLH、技術会議の役員会報告を作成。
 ・新海底同軸ケーブルの開発委託につき、役員会審議（開セ）。

- 27 日
(金)
- ・埋設部会. (9:30~11:00).
 - ・OLH, 東京会合 打合せ (国際部主催). 14:00~16:30.
 1. 7月7日~9日の会合対処方針の検討.
 2. 会合の進め方.
 - ・日中ケーブル 中国検査班 来日.
 - ・松田次長より電話連絡あり, 中国側は, 直ぐに KDD と検査関係の協議を行ないたいとのこと. 明日 日程等をホテルで協議するよう指示.

28 日(土)~29 日(日)
線路課レク旅行: 伊豆下田.

- 30 日
(月)
- ・中国検査班 KDD 来訪, 表敬後, KDD, SPT 間 打合せ.
 - ・CS-XA 開発会議, 推進連絡会 合同会議に出席. (郵政省主催). 14:00~15:00.
 - ・中国検査班許団長と, 次回技術専門家会議の開催時期につき, 協議.
 - ・中国検査班に対する 技師長 招宴.

Memorandum 2

(KDD 本社)

1975年7月1日～1976年8月3日

1975年（昭和50年）

7月

- 1日
(火)
- ・午前、運転免許更新（小金井）。
 - ・沖一比一香ケーブル 建設保守協定のなかの、保守に関する問題につき、保全部、回統部と協議。
 - ・(海) 亀田, 小林, 吉田, 石井, (保) 諸岡, (回) 十二。
 - ・明日2日, 国会衆院・逓信委にて, KDDに対する質問があるので, その答弁資料を作成。
- 2日
(水)
- ・中国との次回専門家会合を東京で開くため, SPTに対する招請電報を作成。
- 3日
(木)
- ・沖一比一香ケーブル 東京会合打合せ. 14:30~17:00 (国際部主催)
 - ・会合の進み方。
 - ・建設保守協定 案文。
 - ・6月分建設推渉状況報告の検討。
- 4日
(金)
- ・午前, 志村取締役とKDD丸にて, 第1次改装, 船上等化用設備を視察。
 - ・午後, 技師長 主催, 沖縄・苓北陸揚局 保守・運用打合せ. 14:00~16:30.
大島, 小池, 志村 各役員. 保全・回統・管理・総企・海技 各部長。
- 5日
(土)
- ・東京会合 資料 準備。
- 6日
(日)
- ・羽田空港へ, Mr. Powell 他を出迎え。
- 7日
(月)
- ・沖一比一香, 東京会合 (第1回 調整委員会)。
 - ・技術分科会にて, 協定 第14項の審議。
 - 夜, 副社長招宴。
- 8日
(火)
- ・OLH, 調整委, 全体会議に出席。(午後)。
- 9日
(水)
- ・日中, 技術専門家会議 (東京, 7/22~8/5) の対処方針案を作成。
 - OLH, 調整委, 全体会議。
 - ・研究所 鍛冶次長に Tel. 要員問題を協議。
 - 松田次長に具体的相談に行かせることとする。
- 10日
(木)
- ・NEC, Tech. Spec. について, 田畑氏と打合せ。(10:00~11:30)。
 - ・NEC 斎藤, 川辺氏ら, price informaiton をもってくる。
 - 志村取締りに同席し, 説明を受ける。なお, 資料を要求し, 明日受け取ることとする。
 - ・OLH, 調整委, 全体会議. 16:00~18:00.
 - 東京会合 終了。
- 11日
(金)
- ・朝, Mr. Powell らを羽田まで送る。
 - ・OLH, マニラ会合 (7/14~7/17) の対処方針を作成, 事案決定処理。
 - ・郵政省電監室 佐瀬参事官を訪れ, OLH 技術小委の報告と。マニラ会合のあいさつ。
 - ・NEC 斎藤, 川辺氏, price schedule を持参。
- 12日
- ・マニラ会合の準備

- (土)
- 13日 (日) ・O-L-H 調整委員会 準備会合 (マニラ) に出席のため、羽田出発。
長崎資材部長、織田業務部長、塚田課長、吉田課長 同行。
- 14日 (月) ~16日 (火) 会議。
7月15日(火) , NEC, STC より Tender を受理。
- 17日 (木) 帰着。
- 18日 (金) ・志村取締役へ会議状況を報告。
・織田部長と 次回調整委の準備作業につき協議。
・海建本部 関係者に、次回調整委の準備のための所要作業を説明。
1. STC への質問。
2. 技術評価資料の作成。
- 19日 (土) 休み。
- 21日 (月) ・人事異動 (参事, 副参事 クラス) 発令。
・マニラ会合の役員会報告作成。
- 22日 (火) ・NEC 斎藤, 田畑氏他を呼び、マニラ会合の状況を説明し、CW からの質問に対する回答の準備を要請。
・陸揚局保守 に関する役員会説明。(回統部, 保全部, 海建本部)
松田次長に代理出席してもらう。
・第4回 日中技術専門家会議に出席の SPT 代表団を羽田に出迎え。
- 23日 (水) ・日中技術専門家会議 開始。
(第4回)
・第2回調整委員会 (マニラ) の対処方針案を技師長, 副社長, 社長に説明。
・STC Tender の検討状況を担当者から聞く (ケーブル, 中継器関係)。
・人事問題で研究所鍛冶次長に Tel。
・陸揚局保守の考え方の組合説明, (市原部長) 松田次長に立会いを頼む。
・SPT 代表の技師長招宴。
- 24日 (木) ・役員会にて、沖-比-香ケーブル 第2回調整委の対処方針案を説明 (関 業ム部長, 織田資材部長. と同席)。前週の調整委準備会合報告は、時間の都合で説明省略。
・午後、MPT 日高参事官に、沖-比-香ケーブルに関する報告 (関, 織田両部長と同行)。
・NEC と、CW, KDD の技術関係質問事項につき検討。
- 25日 (金) ・織田部長他関係者と、沖縄 - ルソン間の KDD 丸による布設費の検討。
・ケーブル, 中継器担当者と、NEC, STC 両提案の技術評価につき協議。
・STC に技術事項の質問を送付。
・安藤電気 岡村社長 来訪。
- 26日 (土) ・マニラにおける調整委員会の資料準備。
・NEC からの回答, Tender 正誤表のとりまとめを NEC と共に行なう。
- 27日 ・沖-比-香 第2回調整委に出席のため、マニラに向け 羽田出発。

- (日) (志村取締役, 織田, 清水, 塚田, 石井, 亀田の6名).
- 28日(月)～8月2日(土) 第2回調整委員会 会合.
・調達問題 につき 協議.
・業者 折衝.
- 3日
(日) ・excursion.
・建設保守協定の協議のため, 尾畑国際部長, 福地部長, 里見, 新井の4名マニラ到着.
- 4日(月)～8日(金) 第3回調整委員会 会合.
・建設保守協定に関する協議.
・その間, 技術問題につき, Mr. Powell, Mr. Histed と話し合う.
- 9日
(土) ・KLM863 便にて, 帰着.
- 11日
(月) ・志村取締役, 尾畑, 福地, 織田 各部長と共に, マニラで行われた調整委員会の状況を副社長に報告. (10:30～11:30)
・マニラ会合の状況を, 技術部・建設部の関係者に説明し, 今後の所要作業について打合せ. (14:00～16:30)
・沖縄海底線工事事務所に発令された, 線路課 小林(康) 社員の歓送会に参加.
- 12日
(火) ・志村取締役以下, マニラ会合出席者で, 会合報告の検討. (10:00～11:30)
・上記報告を臨時関係役員会にて行なう (15:00～17:30).
・NEC 田畑氏来訪: 沖-比-香ケーブルの諸問題について協議.
・東北大穴山教授より Tel.
・KDD への志望者多し, KDD の応募について, 状況を知りたい.
・今年は例年より遅いが, 例年通り, 1名はすいせんを頂くことになろう.
本年度の選考主任
・大学院 : 穴山教授. (電器). 0222-22-1800(内 3223).
・電気工学 : 虫明 〃
・電子 〃 : 柴田 〃
・通信 〃 : 竹田 〃
・佼成病院.
- 13日
(水) ・京極さん 来訪
・職員部 曾根課長補佐より, 東北大学へ来年度採用について, すいせん依頼を9月下旬～10月上旬に行ってほしいとのこと.
石川君と相談.
- 14日
(木) ・新給与体制の説明を, 技術部管理者に行なう.
- 15日
・沖-比-香ケーブル: 建設費の分担, 回線割当, 保守費の分担等につき, 基本(金的)的了解が未解決のため, Letter of Intent の発出が遅れる.
・技術事項の処理は, そのまま進めることとする
- 16日
(土) 休み.
- 18日(月)～19日(火) 短期人間ドックに入る.

(中野佼成病院).

- 20 日 (水)
- KEC 松岡理事より, 西独-スウェーデンケーブルの映画を見る件について Tel. あり, 日本語版を KDD 社内に見せる計画を建てたいとのこと.
 - 吉田課長と, 0-L-H ケーブルの G/SG レギュレーションについて, KDD 意見を CW に Tel. ex する件の協議.
- 21 日 (木)
- 富士通 新堀常務以下, デンマーク-ノルウェーケーブルを受注したことについて挨拶にくる.
 - 東洋興信所より, 人事録掲載の勧誘, 断る.
 - 石川, 柴田両君と懇談.
- 22 日 (金)
- 執務月報 (4 月~7 月分) 作成, 提出.
 - 日中ケーブル, 第 4 回技術専門家会議の報告書の承認を, 中国へ送信.
 - 0-L-H ケーブル 第 2 回技術小委員会 (香港) の準備のため, メーカー, 資材部, 業務部等との打合せを計画するよう, 技術課長に指示.
- 25 日 (月)
- 第 2 回技術小委員会 (香港) への出席に関する事案決定, 対処方針について, 技術課と協議.
 - 午後, 原家告別式に参列のため早退.
- 26 日 (火)
- 沖縄 - ルソン間の海洋調査結果について, 海洋課の報告をきく. (10:00~11:30).
 - 志村取締役より, ジョルダンへの ITU 技術協力の専門家派遣について, 永田課長が候補に上っているので, 本人の意向を確かめるよう指示あり, 本人と昼食を共にし, 意向をきき, 志村取締役に報告.
 - NEC と, 製造線表その他につき, 技術打合せ (14:15~16:30) メーカー 田畑, 奥村氏, KDD 亀田, 吉田, 永田, 松本, 石井.
- 27 日 (水)
- 0LH ケーブル 第 2 回技術小委員会 (香港) の出席者についての 事案決定の処理を進める.
 - 和田部長より, CS-12M 方式の開発を進めるに当り, 海建本部の専門家を参加させることについて, 協議あり, 了解する.
 - 沖-比-香ケーブルのパイロットについて, 役員説明用の資料作成.
- 28 日 (木)
- NEC 田畑氏より
 - 製造工程表を, 再検討し, た. A5 等化器とケーブルの一部が, 3 月~4 月になるので, proposal で出した 18 ヶ月の納期を over する. Letter of Intent に対する返事を, 納期 18~20 月で出したい.
 - 業ム, 資材の関係者 (塚田, 織田両氏) に協議し, 技術側としては極く 1 部の機材の納期が 4 月になっても, 工事上何ら支障はなく, 契約形式に合わせて, 不満足なものを作られるのは困る.
よって, 本契約の際に一部に納期の特例を求めることを, 了承事項とするようにしたい. これを, ホンコンの技術会議で CW/ETPI の了解を得る.
 - 以上を田畑氏に伝え, Letter of Intent の受領回答に, 18~20 ヶ月と述べることは, 大部分の機材が遅れる印象を与えるので誤解を招く恐れがある. 営業とも相談するよう話す.
 - delivery schedule の作成について, 資材部長と協議.
 来週, 打合せることとする.
- 29 日 (金)
- 0LH 第 2 回技術小委員会 (香港) の対処方針を役員会にかけるため, 技師長, 副社長, 社長に事前説明.
 - 上記会合の資料準備について, 技術課長, 線路課長と協議.
 - NEC 田畑氏より.

1. 契約に必要な技術仕様の作成について
 - ・KDD でも proposal を見直しているの、 NEC の検討結果と合わせて来週打合せたい。
2. 納期の問題について、
 - ・18ヶ月を守ることは、ケーブルが難しそう。
 - ・契約は一応 Proposal の通り、18ヶ月で機材製造が終ることにし、今度の技術会議で、工事計画に合わせて納期を定め、それを19ヶ月目、あるいは20ヶ月目に指定する恰好にした方がよいのではないか。

9月

- 1日 (月) ・永田課長をジョルダンへの ITU 技術協力専門家として、すいせんする事案が決定となる (海外協力室 所管)。志村取締役役に報告。
 ・第2回技術小委員会 (香港) の出席者名を香港 CW に通知。
- 2日 (火) ・役員会に沖 - ルソン - 香港ケーブル 第2回技術小委員会の対処方針を伺い了。承さる
 ・上記会合の準備打合せ：出席者他関係者。15:00～18:30。
- 3日 (水) ・CW より、NEC に対する契約のための技術 spec. の改訂案が TEL. EX で来る。
 ・NEC proposal の見直しについて、担当者と協議
- 4日 (木) ・資材部主催で、NEC と沖 - 比 - 香ケーブルの契約書案について打合せ。(16:00～18:00)。
- 5日 (金) ・契約書案のなかの、支払い条件の項について、塚田課長より問題点をきく。香港で、C- Stanton から CW 案をきき、対 STC と対 NEC の間に大きな差異があれば、東京に連絡し、必要あれば、C-Stanton から塚田課長に電話するよう求めることとする。
 ・NEC-proposal の spec. 化について、関係者の作業を check。
 ・織田資材部長より、機材の最終的な契約価格について協議 (19:30～20:00)
- 6日 (土) ・O-L-H 技小委 (2) の資料準備。
- 7日 (日) PM 003. 10:00AM にて羽田発、香港へ向う。
- 8日 (月) ～15日 (月) 香港にて、沖 - 比 - 香ケーブル 第2回技術小委員会。
 15日 PM 008 16:00 香港発 帰国。
- 16日 (火) ・NEC 斎藤部長他、田畑氏を呼び、沖繩 - ルソン間の契約書作成に必要な作業を説明。(11:00 AM～12:00)。
 ・CW Mr. Cooper-Stanton 来日
- 17日 (水) ・OLH 技小委 (2) の資料整理。
 ・職員部曾根補佐より、東北大物理修士課程の亀田君が KDD への就職の可能性をききにきたので、内容をきいてほしいとのこと。
 ・物理系では、採用が難しい旨説明する。
- 18日 (木) ・東北大 佐藤 (まり) 教授の9月2日付の手紙を見る。以前の採用試験問題の入手希望。小関君に話し、職員部から入手してもらう。

- ・佐藤教授に Tel. し、来週届けると約す。
 - ・OLH ケーブル機材発注に関し、その delivery 関係の手紙を NEC に出す。
- 19 日 (金)
- ・ Mr. Cooper-Stanton と NEC への発注機材の delivery schedule の form につき打合せ。NEC と Mr. C-Stanton との打合せに出席し、delivery schedule について協議。(15:00~16:30)。
 - ・吉田課長と懇談。
- 20 日 (土) 週休
- 22 日 (月)
- ・東北大へ就職学生のすいせんに関し訪問の件。小関君が行かれないので、小生が行くことにし、手続きをとる。
 - ・織田資材部長、塚田課長と NEC との契約について協議 (schedule について)。
 - ・HLO 第 2 回技小委の役員会報告作成。
- 23 日 (火)
- ・志村取締役へ、状況報告。(10 月~12 月の主要業務、OLH 契約関係 等)。
 - ・ Mr. Cooper-Stanton に対する志村取締役の昼食招宴に同席。
 - ・契約書に refer される NEC からの letter の取りまとめ、ETPI の nominee として KDD が何をなすかを契約時に ETPI から NEC に通知する letter の内容等につき、塚田課長と打合せ Mr. Cooper-Stanton に協議してもらう。
- 24 日 (水)
- ・祝日。秋分の日。
- 25 日 (木)
- ・ Specification に refer する Tendec と NEC の手紙の reference 記号が spec. に記載されたものと契約書作成の最終段階で定めたものと異なってきたので、この処理につき Mr. Cooper-Stanton に塚田課長を通じ問い合わせる。
 - ・役員会に、沖-比-香ケーブル 第 2 回技術小委員会 (香港) の報告を行なう。
- 26 日 (金) ~28 日 (日) 仙台出張
- ・51 年度採用のすいせん依頼のため、東北大学を訪問。
- 29 日 (月)
- ・KCS に対し、沖縄-ルソン-香港ケーブル計画につき説明。
KDD : 志村取締役, 小林, 亀田, 吉田。
KCS : 広島, 斎藤, 江副 各役員, 畠山, 大槻, 吉田船長, 定金
 - ・ルート構成につき、再度打合せることとなる。
- 30 日 (火)
- ・総合企画室 福地部長, 里見次長, 今井課長と打合せ。
海底本部 関, 亀田。
タイ国 PTD スリプミ長官が 10 月に来日するので、社長と会談の際、東南アケーブルについてどのように打合せかの協議を行なう。
- 10 月
- 1 日 (水)
- ・うずしお会 GC。
- 2 日 (木)
- ・特記事項なし
- 3 日
- ・部長会に出席。

- (金)
 - ・埋設部会.
 - 埋設機の海岸実験, 埋設工法の海洋実験等の計画の審議.
 - ・京極, 三原両君の歓送会. (新宿クラブ).
- 4日
 - ・出社.
 - (土) 永田課長より, 英語研修の状況をきく.
- 6日
 - (月)
 - ・施設課 阿部課長より, 沖縄海底線中継所の所属について, 文書課から意見を求められているとのことで, 小林建設部長と共に協議.
 - ・沖縄の地域的条件, 地元, NTT 沖縄通信管理局との接衝等を考慮すると, 本社直轄より, 沖縄通信事業所の管理下におく方が好ましいとの結論になる.
 なお, この場合, 沖縄通信事業所の技術課を強化することを要望することとする (同意見は, 回統部にもあるとのこと).
 将来, 沖縄 - 比 - 香ケーブルの建設時には, 中継所へ工事実施指令を出すことになるだろうが, 通信事業所経由で文書を出せば問題なかろうとのこと.
 - ・国際部長と 二, 三の問題を話し合う.
 1. IRU 販売会議の際の, 説明用技術資料の作成と, CW との協議.
 2. 回線利用協定 (IRU 購入者との) における, 特許条項の必要性:
 - ・CW はもともと建保協定作成の時から, 特許条項を入れることは考えていない.
 - ・業ム部長より
 沖 - 比 - 香ケーブルの調整委の仕事と, 各小委への付託業ムの明確化について, 志村取締役より, 各小委代表との打合せたいとのこと.
- 7日
 - (火)
 - ・午後より, 埋設機海岸実験視察のため, 茨城県大洋村に出張.
 - 京大 土木, 島教授らと同行.
- 8日
 - (水)
 - ・雨天のため, 埋設機実験は翌日に延期
 - 埋設機を見るのみで帰京.
 - ・午後, 本社.
 - 志村取締りに状況報告.
 1. 埋設機実験延期の件.
 2. 永田課長の英語研修受講状況と, 語学力審査および ITU 側の受け入れ審査, 内定の予定について.
 3. 上記に伴う, 後任者の選定について. (技師長に資料を提出するよう指示あり)
 4. 日中ケーブルのケーブル圧力・温度係数の調査試験に関する, NTT 通研との協同実施について.
 5. 上記に関連して, NK 合同委員会の開催について. NTT 幹事と協議するよう指示あり.
 - ・徳江補佐より, SPT に発出する写真電報について.
 - ・中継器の抜取り試験用サンプルの指定については了承.
 - ・システム等化器について, 端局装置の検査スケジュールを通知することで, カバーするよう指示.
 - ・OLH ケーブルの NEC との 製造連絡会の設置について.
- 9日
 - (木)
 - ・日隅君に, OLH ケーブルに関し, 次の作業を指示.
 1. 調整委の下で行うべき作業の遂行状況 (技小委の付託事項に照して).
 2. 契約書の規定により, KDD が nominee として行うべき作業と, メーカーが 果すべき義務の把握.
 - ・阿部課長より,
 苓北工事事業所の設置について, 役員会議了承になったと文書課より連絡があった.
 要員の人選については, 目下社長室等で検討中.

- 10日 (金) ・ 体育の日
- 11日 (土) ・ 永田課長，松田次長と，線路課長の後任候補者について 協議.
- 13日 (月) ・ 要処理問題. (当面).
1. 線路課長の 後任 選定：関係部門と協議の要あり.
2. 会議出席者の 選定：沖一比一香，日中の会議出席者に対する案 査定. 夫々の会議議題と，建設作業の実施（検査，試験等）との関連を考慮する.
3. NK 合同委員会の開催：NTT 幹事と協議する.
・ 上記1に関し，中込副所長，松本職員部長に状況を話す.
・ 午後，新技術開発推進委員会（第28回）14:00～17:00.
- 14日 (火) ・ NK 合同委員会の開催について，横須賀通研 渡辺部長に電話で協議し，次週の方式分科会で相談することとする.
・ 吉田課長と，日中ケーブル当事者会議，OLH 第3回技小委の議題につき協議.
・ 夜，庶務部 庶務課長 高瀬氏と懇談.
- 15日 (水) ・ 線路課長の後任について 案を作成し，志村取締役，木村技師長の承認を得，以後 社長室と協議を進めることとする.
・ OLH ケーブルの今後の進め方について検討.
調整委の下で，KDD の社内部門とどのように連携していくか.
- 16日 (木) ・ 調整委員会に関する打合せ.
志村取締役，織田，尾畑，関各部長.
・ 電通学会 東京支部役員会.
- 17日 (金) ・ 部長会
・ 志村取締役より，ロンドン出張の際，STC の視察の機会をもったらどうか，と話あり，ロンドン高松事ム所長に Tel. : CW に打診を依頼するとともに，Agenda につき問い合わせを依頼.
・ OLH 製造連絡会. 13:30～16:00.
・ 尾畑国際部長と IRU 販売会議用資料の協議.
- 18日 (土) ・ 研究所 ゴルフ コンペに参加.
- 20日 (月) ・ 午前，佼成病院にて，胃の X 線検査.
・ 沖一比一香 第3回技術小委員会の出席者の事案決定処理を進める.
ロンドン事務所より，STC の工場訪問可との連絡あり.
・ 新技術開発推進委員会（第29回）：長計17号の新技術開発計画の審議.
- 21日 (火) ・ 研究所の CS-12M 開発グループの主要メンバーと打合せ. 9:30～12:00.
沖一比一香ケーブル計画の進展状況を海建本部より説明.
・ NTT 緒方総務理事より Tel.
電通学会 東京支部の見学会の案として，警察庁の道路交通管制システムが16日の支部役員会に上ったが，警察庁通信局長の津沢氏に問い合わせたところ，可能との返事を得たので，2月中旬を目標に進めてほしいとのこと.
・ 直ちに，津沢氏と連絡をとる.
・ 埋設部会. (午後).

- 22日 (水) ・NK 合同委員会, 方式分科会のため, 横須賀通研へ.
・定年退職者 技術系 12 名の歓送会に出席. (国際通信センタービル).
- 23日 (木) ・会社の 定期健康診断 受検. (午前)
・電信電話記念日 祝宴に参加. (帝国ホテル).
・夜, 埋設用装備の試験視察のため, 夜行にて, 下関へ出張.
- 24日 (金) ・三菱重工下関造船所にて, KDD 丸船上の埋設装備試験状況を見る.
夜, 日本サルベージ幹部と懇談. (森社長, 江副取締役 (KCS), 木村技師長, 志村取締役)に同席.)
門司泊.
- 25日 (金) ・下関.
- 26日 (土) 朝, 下関発 新幹線で帰京.
- 27日 (月) ・志村取締役の指示を受け, OLH 技小委 (3) の対処方針案 資料を修正
- 28日 (火) ・警察庁 宮野氏より, 東京支部見学会について連絡あり.
また, 津沢局長からも Tel. あり.
・新技術開発推進委員会. (14:30~18:30).
- 29日 (水) ・技師長, 社長に 役員会資料 (技小委対処方針案) の事前説明.
・志村取締役に, OLH 技小委 (3) の提出資料の説明と, 出席者打合せ.
- 30日 (木) ・OLH 技小委 (3) (ロンドン) 会合の対処方針策につき, 役員会に伺い, 了承を得る.
・定期人事管理記録表 (副参事, 三類, 四類) を作成, 提出.
・東京支部見学会の件に関し, 学会事ム局大柴氏に Tel.
- 31日 (金) ・午前, 佼成病院にて, X-Ray の結果をきく.
・出社し, OLH 技小委ロンドン会合の 資料準備.
・夜, 10:05 SK980 にて, 羽田 出発 ロンドンへ向う.

11月

3日 (月) ~8日 (土) ロンドンにて, 第3回 技小委会合. 11月6日 (木) STC 工場視察.

10日 (月) 帰着.

- 11日 (火) ・Mr. Slade からの回線使用計画に関する CW の要求 (letter) を, 国際部長, 福地部長等関係者に渡す.
・同友会こん親会 (16:00~)
・志村取締役に技小委ロンドン会合の状況報告 (17:00~19:00)
- 12日 (水) ・NEC 海外伝送通信部長 大城氏 来訪
ソ連への CS-5M 方式用機器の契約に関する問題について.
・技小委ロンドン会合の役員会報告の作成について, 吉田, 石井両君と協議.

- 13日 (木) ・志村取締役, 小林部長とともに, NEC 玉川工場 訪問.
日中ケーブル用 中継器, 端局装置の製造状況を見る.
・永田君の後任問題につき, 社長室小関課長と協議.
技師長に相談のうえ, 追ってさらに社長室と協議することとする.
- 14日 (金) ・午前, 佼成病院にて, 胃カメラの検診を受ける.
・中野区役所にて, 印鑑再登録
・第5回 日中当事者会議の 対処方針案の作成について, 松田, 吉田両君と協議.
・沖縄海底線中継所の 要員服務 について, 労厚部主催の関係部間打合せに出席: 仮眠を認めるかどうか, の協議. (17:00~17:30)
- 17日 (月) 沖縄ールソンー香港ケーブル 第1回運用/財務合同会合 (ロンドン) の報告と今後の作業方針打合せ. (国際部 主催). 14:00~17:00 .
- 18日 (火) ・日中ケーブル 第5回当事者会議 対処方針の打合せ. (14:00~16:30)
志村取締役, 関, 松田, 猪股, 吉田.
・OLH 技小委 (3) (ロンドン) の役員会報告資料作成. 志村取締りに説明, 了承を得.
- 19日 (水) ・日中ケーブル 当事者会議 対処方針の役員会資料を技師長に事前説明.
・ケーブル船利用協定文の CW model の内容について, 塚田課長と検討.
・SPT の中継器, 端局の検査団に対する 志村取締りの招宴 (横浜アスターホテル).
- 20日 (木) ・日中ケーブル 当事者会議 (第5回) の対処方針案を役員会にかけ, 了承を得.
(関, 小林両部長とともに).
・17号長計・海底プロジェクト関係の建設線表と要員計画を総企室の依頼により作成.
- 21日 (金) ・部長会に出席.
・線路課 関係者から, 日中ケーブルのケーブル長調整のための, 切断長決定指示に関し, 温度係数の標準値を求めた経緯をきく.
- 22日 (土) ・17号長計作成のための, 海底線プロジェクト建設線表と要員計画の基礎資料の要約を志村取締りに報告.
・日中ケーブル 電氣的布設における工事計画 (乗船人数, 時間配分等) の requirement を 12月19日の埋設に関する KDD, KCS 打合会議に提出するよう指示あり.
- 24日 (月) ・勤労感謝の日 (23日) のふりかえり休日.
- 25日 (火) ・役員に, OKLUHO 技小委 (3) の報告.
・次課長, 課長補佐と懇親. (はやし)
- 26日 (水) ・建設部・KCS 間で OKLU のケーブルルート, スラックの打合せを行なったが, 意見の一致を見られずとのこと.
- 27日 (木) ・志村取締りへ報告と意見具申.
(1) ETPI より通報の STC repeater の検査について: 全体計画を見て計画を建てたい.
ロンドン事務所の協力も得たらどうかとの suggestion あり.
(2) 課長以上の身上調査を作成提出.
(3) Protection cable について: OCC と磨耗強度について打合せ, 確信を得たい. この arrange につき, 吉田, 永田両君に指示.

- (4) KEC 依頼の海底ケーブルの本の執筆につき、構成の意見提出。
OKLU のケーブル・ルートの最終決定が pending になっているが、NEC に対しては契約の履行上、SLD の通知を出す必要があり、将来の変更は可能条件で、NEC へ指示を出すことの了承を得る。
- 吉田、永田両課長へ指示
 1. NEC へ OKLU の Production Schedule と Straight Line Diagram (issue 1) を通知することの処理。
 2. 日中ケーブルに関し、業者より適宜 progress report を出させる必要があるため、資材部と協議すること。
(陸上ケーブルの中国への積み出しが、実施されたにも拘らず、海建本部へは情報がもたらされなかった事例に鑑み、また、SPT が早期納入を希望した VDF 等もどうなっているか、定かではない)。
 3. ケーブル・ルート (OKLU) とスラックについて、KCS の完全な合意が得られてないが、計画スラック 3.34% をルートに割りふって、コースデビエーションに対する KCS の要望が満たされる度合を算定すること。
 4. 前出の、protection cable に対する OCC との打合せの arrange.
 - 午後、早退。佼成病院へ。
- 28 日 (金) • KDD 労働組合ストライキ、電話局へ応援に、次課長、調査役ら出向。
• NEC 斎藤(文)部長より、ソ連の訪日団は、12 月来日の予定が延び、明年 1 月になろうとのこと。
• CW より、技小委(3)のミニッツ 来着。
• 松下技研 中野朝安氏、小池勇二郎氏の叙勲のお祝いに 来社。
古橋取締役を紹介、お礼。
- 29 日 (土) 週休。
年末 1 時金妥結との電話連絡あり。
- 30 日 (日) TPC-2. 沖縄沖にて最終接続。
- 12 月**
- 1 日 (月) • 日中ケーブル 第 5 回当事者会議に出席のため、第 1 陣の専門家グループ 10 名、上海に向け出発。
• 郵政省電監室 小林副参事官、土田係長に 第 2 回、第 3 回の OKLUHO 技小委の報告。(14:00~15:00)。
• 渡辺研究室 同窓会。(目白、日立クラブにて)。18:00~20:30。
• NTT 緒方総務理事に、沖縄~本州ケーブルについてのコメントをきく。
• MPT に調整を図るに適する人がいればよいが、…。
• KDD, NTT 間で話し合う場があるとよい。
- 2 日 (火) • 午後より、沖縄海底線中継所 開所式 に接待役として出席のため、石谷課長とともに沖縄へ出張。
- 3 日 (水) • 沖縄海底線中継 開所式。
終了後、沖縄 - グワム間の ライン・アップテストの状況を見る。
- 4 日 (木) • 海洋博覧会 を見て 帰京。
- 5 日 • 午前 部長会。(10:00~11:30)

- (金) ・午後、国際部主催の OKLUHO 調整委員会の対処方針打合せ (14:30~16:00)
志村、鶴岡取締役 出席。
・ NEC 田中事務所長代理へ、日中ケーブル中継器：検査の取り運びにつき、改善方を要望。
- 6日 (土) ・志村取締に、上海で開催中の日中ケーブル会議 技術部会の状況報告。
- 8日 (月) ・羽田空港に、日中ケーブル 第5回当事者会議出席のため上海へ出発の志村取締役、小林部長を見送る。(AM 7:30~8:00).
志村取締役より依頼の件、矢島秘書役へ伝える。
・石井君に、今週の部長会に資料(第3回 OKLUHU 技小委報告)を準備するよう指示。
・ロンドン事務所 高松所長あて、手紙を作成。
- 9日 (木) ・ロンドン事務所に、第3回技小委関係資料、STC 工場試験に関する件の手紙を送付。
・ NEC 村上传送事業部長、田畑、本郷氏 来訪。
・日中ケーブル用中継器検査等の取り運びの不備な点の釈明に来る。
・ OKLUHO IRU 販売会議用技術資料として、CS-12M のカタログ作成を要望。
・来年1月~2月の東京における OKLUHO 調査委、技小委の際の工場見学の都合をきく。
・学会 東京支部見学の件につき、学会 大柴氏と Tel. 打合せ。
大柴氏より、警視庁広報課と打合せ、2月6日 14:00~ と定めた連絡あり、会告を出すことにつき、緒方支部長に報告、了承を得る。
・接続訓練中の SPT 職員5名の招宴。(横浜アスターホテル)
- 10日 (水) ・富士通 小山工場へ 出張。
・日中ケーブル用機器の製造・試験状況視察。
給電装置の対向試験、中継器、端局装置(荅北向け)等を見たほか、一般搬送機器、電子交換機の工場を見る。
- 11日 (木) ・ OCC 滝鼻部長 他 と OKLU の プロテクションケーブル について打合せ。(9:30~11:00).
低密度 PE と高密度 PE の摩耗比較実験を依頼。
・塚田課長と、調整委員会の運営と KDD 社内組織との関連問題の討議。
・木下課長と昼食を共にし、日中ケーブル会議(上海)の状況をきく。
- 12日 (金) ・部長会 OKLUHO 技小委(3)の報告を提出。
・ ATT と TPC-2 の運用保守会議が開かれ(保全部 主催 12/11~12/12)、来訪の Messrs. Meierdiercks, F.G. Morris, Nihei, Palmieri との昼食会(回統部長招宴)に出席。
・日中ケーブルの電氣的布設に関する試験実施について、KCS 江副部長の来訪を受け、永田課長と共に協議。(14:00~15:00).
・51年度事業計画の総企室への提出案。KDD 丸の使用計画の保全部への提出案につき、永田、石井君らから説明をきく。(16:00~17:00)
・伝送同門会 忘年会(新橋会館) 18:30~20:30

添付資料：報告事項(自 50.12. 8~至 12.16)

志村取締役 殿
海底線建設本部 技術部長 亀田

1. 先に NEC より連絡のあったソ連通信省海底ケーブルミッションの訪日計画については、本年12月上旬の予定が、明年1月に変更された旨、NEC 斎藤部長より通知があった。

2. ITU 技術協定専門家の派遣について KDD ジュネーブ事務所から海外協力室へ入った情報によると、アンマン UNDP の予算逼迫により受入れが大幅に遅れることとなり、永田課長の赴任は 1977 年 5 月以降となる見込みとのことである。(連絡カード 海協 273. 50. 12. 8)
なお、海外協力室では、ITU ジュネーブ本部から日本郵政省への公式連絡をまって、延期が事実の場合は措置を講ずることとしたいとしている。
3. SPT の接続訓練受講者 4 名および通訳 1 名は、所定の訓練を終了し、中継器検査を終了した 2 名とともに 12 月 12 日上海へ向け帰国した。
4. 12 月 10 日、富士通小山工場にて、日中ケーブル用機器の製造状況ならび検査状況を視察した。給電装置(南匯側 NEC 製、荅北側 FUJITSU 製)の対向試験が行なわれていたが、良好な動作を示しているものと認められた。その他、中継器、端局装置の製造・検査も順調に進行しているものと認められた。
5. 日中ケーブルの電氣的敷設のための船上端局(富士通製)は、立会試験を終了後、12 月始めより KDD 丸に搬入し据付けを完了して現在調整中である。
6. TPC-2 の沖縄ーグワム間ラインアップ試験は 12 月 11 日に終了し、良好な結果を得ている。
7. TPC-2 の運用・保守会議が、保全部主催で東京で開かれた(12 月 11 日～12 日)。ATT 側出席者は Messrs. C. Meierdiercks, F. G. Morris, Nihei, R. M. Palmieri の 4 氏である。
8. 12 月 16 日に予定されていた TPC-2 の開通記念行事は、諸般の事情により実施が延期された。(庶務部長発信連絡カード 50. 12. 8 付)
9. 沖縄ールソンー香港ケーブルのバシー海峡部に特殊保護ケーブルを使用する必要性の有無を検討するため、OCC 滝鼻部長以下と打合せをもち、追加実験を依頼した。(12 月 11 日 資料 1. 別添)
10. プロジェクト計画・主要施策事項の推渉状況・予定に関する資料の作成方につき社長室より各部室に要請があり、当本部より別添資料 2 を作成し提出した。(12 月 12 日)
11. 沖縄ルソンー香港ケーブル技術小委員会のコンビーナーから調整委員会メンバーへ提出されたリポートに対する KDD 委員のコメント案を別添資料 3 のように作成した。

—以上—

添付資料

- 1 特殊保護深海ケーブルの必要性の検討について
- 2 プロジェクト計画および主要施策事項の推渉状況
- 3 CW Mr. Davies, ETPI Mr. Bane あて、技術小委員会リポートに対するコメントのテレックス案文

=====
13 日 週休。
(土)

- 15 日 ・当面の処理事項の処理を進める。
(月)
1. OKLUHO 技小委リポートに対する KDD コメント案の作成。
 2. STC 工場視察報告のとりまとめ。
 3. 志村取締役出張中の報告事項のとりまとめ。

- 16日 (火) ・前記事項のとりまとめ，作成の処理を行なう。
・日中ケーブル 当事者会議に出席の 志村取締役以下全員 帰国。
- 17日 (水) ・志村取締役に，「報告」(前記3)を提出。
・技術部 忘年会。
- 18日 (木) ・永田君の件につき，志村取締より，宮取締りの希望として，ヨルダン派遣まで，伝施部へ移籍し，海事衛星等の業務へ従事させたいとの意見が示されたが，本人の希望はどうか確かめるよう指示あり。
本人は，このまま海建本部で仕事を続けたいとの希望を確かめ，直接志村取締にその旨を話させる。
・OLH ケーブルの共同外建設設備に関し，業務分担を協議するため，伝施部，回統部，海建本部間で打合せ。(14:00～16:00)。
・OLH 第4回調整委員会と 第4回技術小委員会の開催期日の調整の必要性について，国際部長と協議，とくに，従来の予定を変える要なしと云うことで合意。
- 19日 (金) ・午前，佼成病院にて，胃カメラ検査。
・午後 出社。
OLH, IRU 販売会議用 Brochure draft の検討。
KDD が分担する OKLU 区間の資料の作成方針につき，石井，日隅君に指示。
- 22日 (月) ・OKLUHO 技小委 (4) 東京会合の議題および日程，出席者の問い合わせのテレックスにつき，検討を吉田係長に指示。
・ロンドン事ム所に，CW の X-マス休暇をきき，KDD の正月休みを知らせるよう依頼。
- 23日 (火) ・技小委レポートに対する KDD コメントを志村取締名で CW, ETPI に発信。
・OKLU の機材検査につき，メーカーと打合せするための資料 (検査要領) を線路課長らと打合せ
- 24日 (水) ・特記事項なし。
・午後，佼成病院にて，胃カメラの検査結果を聴くため，早退。
- 25日 (木) ・OLH 技小委 (4) の対処方針，および STC における工場試験への参加につき，1月に役員会へかける準備を進めるよう，技術課長に指示。
・関部長より。
昨日，志村取締と国際部長が協議し，次回調整委 (東京) の事ム局を海建本部におくこととしたので，諸般の準備を業務部で進めるに当り，技術部の協力を得たいとのこと，了承する。
- 26日 (金) ・大日電線 六戸君より
第3回電気学会進歩賞の候補に 同社 山内氏を代表として，「超高压用乾式架橋 PE ケーブルの開発」が挙げられているので，研究所 中込氏 (選衡委員となっている) にすいせんを頼みたいとのこと，了承し，直ちに中込氏に Tel. 情報として，大日電線で開発した，光ファイバーの話しをきく。
LED による 0.87 ミクロン波長の光で，最小 1.9dB/km，平均 3 dB/km 程度のものが得られている。通常，4000 円/m or more であるが，それより安価に提供できるとのこと。
- 27日 (土) 沖縄 - ルソン - 香港ケーブル IRU 販売会議用資料のうち，OKLU 区間の英文技術資料を，石井，日隅，京極君らと作成。 29日夜，ファクシミリで電送の予定とする。
昼，32F で昼食慰労。

1975年12月

29日 仕事 納め.
(月)

1976年（昭和51年）

1月

- 5日
（月）
- ・仕事始め。
 - 10:00～ 会長，社長の訓示。
- 6日
（火）
- ・CW，ETPIより，正月休暇中に入電したTLXを見る。
 - ・STC工場での試験参加についての対処方針案の作成につき，石井君に指示。
 - ・第4回技小委（東京）の対処方針案につき，吉田課長と協議。
- 7日
（水）
- ・OKLUHOケーブルの電氣的布設設備の手配について線路課，技術課の関係者と打合せ。（10:00～11:00）。
 - ・OKLUHO調査委の会議出席者について塚田課長と打合せ。
 - ・保全部長に，出席方を要請。了承を得る。
- 8日
（木）
- ・STC工場へ試験のための職員派遣については，社長室に問い合わせた結果。役員会審議の必要はなく，事案決定処理で充分との見解を得たので，その線で処理をはかることとする。
 - ・CW，ETPIに対するTLX返電の処理を進める。
 - ・OKLUHO調整委員会 東京会合の資料準備につき，塚田業務課長と打合せ。
- 9日
（金）
- ・“国際通信の研究”誌に掲載するTPC-2の原稿作成。
- 12日
（月）
- ・“国際通信の研究”誌のためのTPC-2原稿脱稿。
 - ・OKLUHO調査委 東京会合における'75年の回顧の技術関係資料につき塚田課長と打合せ。
- 13日
（火）
- ・永田，中川両君より，OKLUのケーブル製造計画につき説明報告あり。
- 14日
（水）
- ・調整委員会（沖－比－香ケーブル）東京会合の準備打合せ。14:00～17:00。
志村取締役，尾畑，関，秋本，亀田 各部長，塚田課長。
会議の対処要領について討議。

「公社が局長級人事」（新聞記事あり：略）

- 15日
（木）
- ・成人の日。
 - 嶋谷君の結婚式披露に出席。
- 16日
（金）
- ・OKLUHO調整委員会 東京会合の対処方針に関する打合せ。14:30～19:00
志村，鶴岡取締役，国際部，経理部，総企室，海建本部の関係者出席。
 - ・ソ連ケーブルミッションのKDD来訪（1月23日）に関し，その準備について石谷課長と協議。
 - ・NEC提出のOKLU区間 progress report をCW，ETPIに送付。
- 17日
（土）
- ・出社。
 - 社内の海底ケーブル技術研修講演の原稿準備。
- 19日
（月）
- ・午前 佼成病院。胃カメラ検査。結果OK。
 - ・午後，OCC新山下工場へ行く。（永田，中川，細谷同行）。
・押出機を増設し，生産増張のneckを解消するとのこと。

- ・ OKLU のケーブル製造開始状況を見る。
 - ・ shore-end cable の送り先は、シンガポールとなっているが、ラッシュバージの定期船がマニラへ寄っていて、都合がよいので、マニラへ送るようにはできないか、次の TSC で CW へきいてみることにする。
- 20 日 (火)
- ・ 前夜、富士通鶴静氏からの依頼の件。人事課曾根補佐へ問い合わせる。同君が電話局へ確かめたところによれば。
 - ・ 年齢条件があるが、一応応募して、試験の結果により判断したいとのこと。なお、採用後は、社員へ転用することになるので、アルバイトのつもりでは困るとのこと。
 - ・ ソ連ミッションの KDD 訪問の目的につき、NEC 大城事業部長へ問い合わせる。なお、確かめて、回答すること。
 - ・ NTT 通研 近藤貞吉調査役 (情特部) に Tel. 学会 東京支部 見学会における始めのあいさつ依頼、了承を得る。
 - ・ 吉田、永田両君より。NEC の中継器製造上の問題につき、志村取締役より話があり、NEC の管理体制につき、KDD でもよく監督する要ありとのこと。昨年 12 月に 事業部長に 改善方要望の注意を与えた旨 話す。
- 21 日 (水)
- ・ 江幡調査役より、A 等化器 (日中ケーブル用) の特性指定を富士通に与えるに 当り、その内容説明を受ける。
 - ・ ソ連ケーブルミッションの KDD 訪問、KDD 丸見学に対するスケジュールの打合せを関係者と行なう。
- 22 日 (木)
- ・ OLH 技術小委 東京会合の準備打合せを関係者 (技術、線路、海洋、施設の各課) と行ない、資料、受け入れ方等を検討 (13:30~16:30)
- 23 日
- ・ ソ連ケーブルミッション来訪：打合せ事項が、とくに海建本部と関係なくなつたので、KDD 丸の見学案内のみ世話する。(小林部長他、案内)。
 - ・ OLH 調整委 東京会合 の 進み方の協議打合せに出席。14:00~17:00 志村取締役、国際部、経理部、総企、海建本部、資材部長。
- 24 日 (土)
- ・ OKLH 区間のケーブルルート、スラックについて、KDD、KCS の討議が行われ、その模様につき、吉田課長から報告あり。
 - ・ 海底ケーブル技術研修の講演原稿 作成。
- 26 日 (月)
- ・ OLH 調整委員会 の 資料準備につき塚田課長と打合せ。
 - ・ OLH 技小委の 資料準備のため、永田課長、日隅調査役と協議。
 - ・ 社長のインタビュー用資料として海底ケーブルに関するメモの作成方につき、遠藤秘書より依頼あり、松田次長に作成を命じる。
- 27 日 (火)
- ・ 技術研修講演「海底ケーブル通信」、研修所による。10:00~12:00
 - ・ 事業計画の労組への説明に関する方針の打合せ。(社長室主催) 役員、関係部長間 14:00~17:00.
 - ・ OLH 技小委 (4) の対処方針案に関する役員会資料を、技師長、副社長に事前説明。
- 28 日 (水)
- ・ OLH 調整委 第 4 回会合 始まる。午前 全体会議 に出席。午後、Financial Group におけるケーブル船利用に関する討議に参加。その技術的問題について、Mr. Powell と討議するための資料作成。
 - ・ 社長に、OLH 技小委 (4) の対処方針 (案) を事前説明。ルソンの Shore end cable 工事に英国船を使うことについて、十分にそれでよいことを確かめよと、コメントあり、(KDD 丸で実施しない点につき、経済性その他であとで不

- 利益を蒙らないよう注意せよとのこと).
- ・夜, OLH 調整委会合出席者に対する副社長招宴.
- 29日 (木) ・役員会に, OLH 技小委 第4回会合の対処方針案を伺い, 了承を得.
 ・Mr. Powell とケーブル船の technical capability につき討議.
- 30日 (金) ・午後, 調整委 全体会議.
 ・51年度設備計画の労組への説明. (小林部長に委嘱).
- 31日 (土) ~2月1日 (日)
 ・OLH 調整委会合 出席者に同行し, 沖縄 出張.
- 2日 (月) ・ETPI Mr.Histed OLH 調整委会合へ参加.
 ・Messrs. Powell, Histed と 今後の技小委会合予定を協議.
 ・第4回 技小委会合の準備
 ・木村技師長のあいさつ文の作成.
 ・会合資料の作成.
- 3日 (火) ・OLH 調整委会合 最終日.
 ・夜, NEC による 調整委会合出席者 に対する招宴.
- 4日 (水) ・OLH 技術小委員会 第4回会合 開始.
- 5日 (木) 同会合 夜, 技師長招宴.
- 6日 (金) " 昼, 三井ビルマンダリンパレス
- 7日 (土) " 夜, はとバスで都内観光.
- 9日 (月) CW, ETPI 代表団, NEC, OCC, KDD 丸視察.
- 10日 (火) 同会合最終日. 夜, Mr. Powell を羽田に見送り.
- 11日 (水) 建国の日.
 CW, ETPI 代表団, 沖縄へ.
 朝ホテルにて, Mr. Histed に 調整委メンバーへの報告を渡す.
- 12日 (木) ・志村取締役技小委の模様を報告.
 ・国際部長宛 Mr. Murphy (ITT) から, STC の幹部の KDD 訪問につき来信あり, 海建本部で処理してほしいとのこと, 了承得る.
 ・NTT 技術局 村上次長より Tel.
 NK 合同委員会の開催につき, 相談あり.
 3月~4月に開催を目途に, それぞれの社内幹部の意向を確かめることとする.
- 13日 (金) ・技小委 (4) の役員会報告.
 : 調整委員会の報告を先般したところであり, 技小委の会合ではそれ程大きい問題もないと思われるので, 資料提出でよからうとの志村取締役の意向をうけ,

- その線できり進めることとする。
- NEC より、村上传送通信事業部長ほか、田中事業部長代理、斎藤（文）営業部長、宮崎海外伝送通信事業部長代理、田畑氏 来訪。
 OLUHO ケーブルの推進に当り、責任分担の明確化、連絡の緊密化、他メーカーとの連けい強化を図る点について、NEC の体勢案を説明、了承する。
- 14 日
 (土) • 役員会提出の 技小委 (4) 報告を検討。
- 16 日
 (月) • OLUHO 第 4 回技小委会合の結果 action をとるべき問題を整理し、検討打合せ、を開くよう技術課長に指示。
 • 志村取締役母堂死去のため、通夜に弔問。
 • 織田資材部長と、OLUHO 機材の契約修正に関する ETPI からの通知のうち、技術関係につき協議確認。
 • ロンドン出張中の永田課長より Tel. あり。
- 17 日
 (火) • STC より、Mr. Cottrell, Mr. Lawrance が、ITT Mr. Murphy の案内で来訪。
 Mr. Dudridge が退任し、後任の General Manager となった Mr. Cottrell の表敬が主たる目的であった。
 • 安藤電気 岡村社長 来訪。
- 18 日
 (水) • 社長室より、技小委 (4) の役員会報告と資料提出でなく、口頭でしてほしいと要請あり、資料提出は定期的なものに限りたいとのこと、了承。
 • 志村取締役に、STC 幹部との会談模様を報告。
- 19 日
 (木) • 役員会に、LOH 技小委 (4) 会合の報告。
 • 夕刻、ロンドンの永田君から線路課に Tel. . あり、出張の延伸を希望しているとのこと。ロンドン事務所へ電話し、詳細な日程と、延伸理由を知らせるよう依頼
- 20 日
 (金) • 朝 9:10 ロンドンより Tel.
 フランスへ寄るため、出張を延伸したいとのことなので、予定外のこと延伸は認められない故、予定通りの行動をとるよう指示。
 • OLH TSC ミニッツを精読し、処理すべき問題を整理。
- 21 日
 (土) • 執務月報。12 月、1 月分をかく。
- 23 日
 (月) • OLH 技小委 第 4 回会合のミニッツに基づき、今後とるべき action について、本部内関係者と打合せ。(技術課、線路課、海洋課、施設課)。10:00~12:00。
 • 永田・矢口両君 STC 工場試験への立会いのためのロンドン出張から帰着。概略報告をうける。
 • NEC 幹部らと懇談。(泉華荘)。18:30~
- 24 日
 (火) • 職員部村上課長、要員関係について次の異動案の協議に来る。
 1. KCS 定金氏を業務部へ異動(調査役) : (3 月頃の異動)
 2. 業務部柴田調査役を技術部へ異動 : (3 月頃の異動)
 3. この異動に伴う、要員数の調整は、荅北へ出すことで行なう。
 4. 若手の学卒 1 名(青柳、嶋谷、小林の何れか)を 7 月に荅北へ出す。
 5. 高崎主任を調査役に昇格させ、荅北へ駐在させる。
 以上の点 了承す。
 • 夜、RCA Murphy 社長招宴。

- 25日 (水) ・ OLUHU プロジェクト 簡易パート図 作成.
 ・ NTT 技術局 村上次長より Tel. . .
 3月下旬に NK 合同委を開く目途で、予備協議を3月5日夕刻より、KDD ビルで開くこととする.
 ・ 夜、技小委 (4) の事務局員 慰労.
- 26日 (木) ・ 松田次長に指示.
 1. 日中ケーブルの布設、苓北への配員、等を考慮して、技術部の動員計画を検討すること.
 2. 執務月報の提出.
 3. 業界紙等の関連記事の切り抜き.
 ・ 施設課から発送する ETPI への TLX を検討し、指示を与える.
 ・ 関 業務部長、中近東、南欧への海外出張から帰着.
 職員部から 2/24 に話しのあった人事の件、および日中ケーブルの専門家会議の予定について協議.
- 27日 (金) ・ 志村取締役より、第4回 OLUHO 技小委の convenor report について、とくに異議はないので、その旨コメントを起案するよう指示あり.
- 3月**
- 1日 (月) ・ TPC-2 の建設記録を「国際通信の研究」に掲載するに当り、ATT から得た資料を引用することの了解を求めるため、Mr. McCoullough へて letTel. を作成.
 ・ 松田次長より、職員部からの情報の報告.
 1. KCS 定金君の異動は、KCS の希望により、日中ケーブル布設後となるう。
 2. 苓北への海建本部職員の転出は、建設部から 2名予定。
 3. 技術部の学卒1名を、現場へ出してほしい。(苓北、沖縄は空きがないので、他局所へ出すことになるう)。見返りに、1名もらう。
 ・ 業ム部 高橋、柴田、技術部 石井君らより、51年度実施計画案(海建本部の分)の説明あり.
- 2日 (火) ・ Mr. Davies, Mr. Bane へて、OLUHO 技小委 (4) の convenor report に対する KDD のコメントを TLX.
 ・ 海底ケーブル プロジェクト推進連合会 (KDD/メーカー間) を主宰. 13:00~14:30
- 3日 (水) ・ 郵政省の催促を受け、アルミケーブル用中継器開発の委託契約に基づく、開発実施計画を早急に提出。(吉田課長処理). NEC, FUJITSU にも了解をとるよう指示.
 (郵政省の会計検査に際し、契約で定められた実施計画の提出が、資材部で処理した契約事項の締結経緯の連絡が不十分であったため遅れていることが判明し、至急処理の必要を生じた.)
 ・ OLUHO ケーブル船利用に関する打合せを主催. 13:30~16:30.
 国際部、保全部、海建本部 (技術務、業ム部) 間で協議.
 ・ OLUHO 調整委 (4)、技小委 (4) の両会合の報告を郵政省電監室に対し行なうことについて、関 業務部長 と協議.
- 4日 (木) 特記事項なし.
- 5日 (金) ・ 松田、永田両君より、日中ケーブルの電氣的布設工事(布設後のシステム調整を含む)における、KDD 丸、南匯、苓北 各所の配員体制につき、案の説明を受ける.
 KDD 丸、南匯におけるリーダーとして、永田、徳江をそれぞれ当てる案を採るよう指示(線路課の重要業務として、総力をあげるよう要望す).

- ・CS-12M FT システムの NTT 譲渡のための布設替工事にトラブルを生じたため、NTT との海底同軸中継方式合同委員会の開催への影響が懸念され、志村取締に意見を伺う。今のところ、急に予定を変更する理由もなく、上記問題は、円満解決を望んでいるので、従前通りの計画で進めてもよいのではないかと、との意見を受ける。
 - ・合同委員会 開催について、NTT 側幹事（渡辺、村上 両氏）と打合せ。 16:00～17:30

- 6 日 週休.
- (土) 中野税務署へ、確定申告に行き、住宅所得控除、医療費控除による税金の還付を申告。

- 8 日
 - ・NK 合同委員会の開催期日について、技師長、大島常務に都合を伺い、3月29日を第1候補として、NTT 村上次長に連絡したが、NTT 側は国会の関係を考慮すると、4月2日（金）がよいとのこと。
 - 再度、技師長に諮り、4月2日でよいとのことになる。
 - ・日中専門家会議が4月12日より開かれる公算大となり、業務部長と日程、人選等につき協議。

- 9 日
 - ・技術部 次課長会議。 11:00～12:00.
 - (火) 日中専門家会議の議題、対処方針案の作成。スケジュール、OLUHU 技小委の会合に備えての準備等につき打合せ。
 - ・NTT 村上技術局次長に Tel. . . . 9:10～
 - NK 合同委の開催を4月2日にすることに同意の旨 連絡。
 - ・榎本秘書役に、NK 合同委会合後の技師長招宴パーティの件を依頼。
 - ・研究所 中井 有シ研究室長 来訪：NK 方式分科会の件につき協議。
 - ・NEC 田畑氏 来訪：日中ケーブルの NEC 担当組織表 および、ケーブル関係のカタログ案持参説明を受ける。 17:00～17:40

- 10 日
 - ・研究所 中井室長より Tel. . . .
 - (水) 研究所に対するケーブルプロジェクト現況の説明打合せ会：16日（火）AM.
 - NK 方式分科会 17日（水）PM にしたいとの連絡。 了承。
 - ・MPT 小林電監室副参事官に Tel. : OLUHO 関係の会合状況を12日（金）AM に報告することとなる。

- 11 日
 - ・OLUHO ケーブルのバシー海峡部に特殊保護ケーブルの使用が必要であるか否かの判断のため、OCC に依頼した PE の摩耗実験結果につき、永田君より報告があり、建設部 小林、木下、技術部 亀田、吉田、永田で、その結果の評価判定打合せを行なう。（10:00～10:45）
 - ・通研における 第18回研究発表会に出席、海洋中継所に関する発表をきく。（13:30～17:00）び、第4回技小委

- 12 日
 - ・郵政省 電監室 小林副参事に、OLUHO 第4回 調整委（1/28～2/3、東京）および第4回技小委（2/4～2/10、東京）の会合の報告。 10:10～11:20.
 - (金) 日中ケーブル用電氣的布設設備の設置状況を視察に、KDD 丸へ行く。（15:30～17:30）
 - 13日より航海中のKDD丸で、これら設備を動作させる訓練が行われる。その際に、設備の動作のみならず、作業グループが各自の分担を十分に認識し、有機的に組織体として動くよう、運用面についても、訓練するよう要望。

- 13 日 出社.
- (土)

- 15 日
 - ・永田課長に指示。
 - (月) 1. OLUHU ケーブルに特殊保護ケーブルを使用する必要性について、先のOCCによる実験結

- 果に対する考察をまとめること。
2. 日中ケーブルの電氣的布設作業の際の組織的運用を考慮すること。
- 51年度開発項目に関する、開発推進委員会資料（開発センター作成）を検討。
 - 夜、石谷課長と懇談。
- 16日 (火)
- 研究所にて、笹本所長以下関係者と、沖縄～ルソン～香港ケーブルについて説明打合せ：現況、今後の計画、要協力事項など。10:00～12:00。
あと、中込副所長の案内で、画像シミュレータ、quick Fax、簡易Faxを見る。
(13:15～14:00)
 - TPC2の建設記録（KDD Journal用）へ引用するATT資料について、Mr. McCulloughよりコメントあり、その回答について技術課長と協議。
- 17日 (水)
- SPTより、中継器検査に3名来日、あいさつに来る。(10:00)
- 午後、海底同軸ケーブル方式に関するNTT/KDD合同委員会の方式分科会（第24回）、を主宰。13:00～15:40
 - 志村取締役、4月開催の日中ケーブル専門家会議の人選につき、伺う。
 - 回統部 竹内部長より、上記会議への回統部よりの出席参加につき協議あり。
- 18日 (木)
- 松田次長に指示
 1. NK合同委員会への提出資料の作成
 2. 副社長訪中の際の技術関係参考資料の作成。
 3. 日中技術専門家会議の対処方針案の作成。 - パシー海峡部に特殊保護ケーブルを使用することの可否につき検討し、CS-12M方式の無外装ケーブルで充分との結論を得たので、志村取締役に報告。このケーブル種別選定については、事案決定処理をするよう指示あり。
- 19日 (金)
- NTT技術局 村上次長にTel.：合同委員会に対するMPT電気通信監理官の扱いについて、来週NTT技師長の意見をきくとのこと。
 - ルソンにおける陸上ケーブル接続作業に関し、機材の輸送手続き上の問題があるとのこと。ETPIとの協議方法につき、海洋課長らと協議。
 - CBCの定例会合に、MPT電監室 日高参事官と出席。
- 22日 (月)
- NEC 田畑氏来訪
沖縄～ルソンケーブルの機器製造に当り、とくに給電装置、C-TerminalについてはF社がその図面、構造詳細等をNに対し秘したいため、承認函提出、検査、取扱説明書提出をF/KDD間で直接に行いたいとし、KDDの諒承の下にN/F間で覚書を交わしたいとのこと。これに対し、
 1. NECがmain constructorとなることは、契約の際にメーカー間で取極めことで、KDDが指示したわけではない、よって、KDDは、NECが総括の責任を有していると理解している。
 2. その上で、N、F間で、NF間の問題を話し合うべきで、ある。
 3. KDDの諒承するには、何らかの文書処理を要しようが、契約に抵触するようなことはできない。
 4. NがFに一部の責任を負わせても、Nが全責任をもつものでなければ困る。 - 以上のコメントを述べ、田畑氏了解。
 - 以上の件、織田資材部長に伝え、同意見を得る。
 - 学会大柴氏よりTel. 数学講習会の参加者数の確認を求められ、研究所 中込副所長に連絡し、4～5名と返事。
 - 有シ研 中井室長 方式分科会報告の文案をもって来訪。
正を加え、NTT側と協議してもらうこととする。
 - ノバ工芸 久布白氏と会う。18:00。

- 23日 (火)
- ・吉田君より、OLUHO ケーブルに対する国内伝送路の準備が、回線計画上は2SG となっているので、従来3SG と考えていた点と異なることに問題ありと報告あり。業務部とも協議し、社内の意見をまとめて、CW, ETPI に調整委の問題として提示すべきであると指示。
 - ・志村取締役より、海建本部 3 部長に、KEC より依頼の海底ケーブルの専門書執筆に対する話しあり。
 - ・NTT 村上技術局次長より、合同委員会後のパーティに、MPT 佐野管理官を招く件につき、NTT もとくに異議なしと連絡あり。18:00.
- 24日 (水)
- ・中井 有シ研究室長 NK 方式分科会報告(案)をもって来訪。NTT のコメントは、3/26 まで得られないとのこと。
 - ・小林部長とともに、木村技師長に、合同委に提出する方式、布設埋設両分科会報告の説明を行なう。
- 25日 (木)
- ・MPT 佐野監理官に Tel. . . 合同委員会後の懇親会に出席するとの返事を得る。
 - ・合同委員会資料とする「KDD における海底ケーブルの近況」について木村技師長に説明、了承を得る。
 - ・原田 社長秘書より、ECL 米川氏について尋ねられる。凸版ムーア KK 小林常務(元大蔵省勤務)より社長に、米川氏がインクジェットの専門家ときいているので会いたい、KDD に紹介者がいないかとの話があり、知っていれば紹介の労をとってもらいたいとのこと、調査を約す。
- 26日 (金)
- ・通研 石川慶一氏に Tel. 前夜の件につき、米川氏のことをきき、現在プリンター研究室長で、小生が知る米川元庸氏であることを確かめる。
 - ・日中技術専門家会議の対処方針案の作成を進める。
- 27日 (土)
- ・日中技術専門家会議の対処方針案の作成を進める。
- 29日 (月)
- ・日中技専対処方針案について、建設部、回統部、保全部 各部にコメントを求める。
 - ・新技術開発推進委員会に出席。13:30~16:00.
- 30日 (火)
- ・織田資材部長、関部長と、OLUHO ケーブルのルソン側陸上ケーブル、アースケーブルの手配について協議、織田部長より提案。契約数量の変更は、ETPI/NEC/KDD 間で処理されたが、L/C の変更には時間を要するので、4 月に輸送するための通関手続きが間に合わない。そこで、原契約の総量を変えないように、沖縄向けのケーブル長を短かくしておき、その分をルソン側ケーブルに振り向けた形で、通関処理をしたい。沖縄向けケーブルは、L/C の変更をすませてから、輸出申請をするので、今年終り頃になろう。
 - ・工事上は問題なし。
 - ・ケーブルはもうできているので、約6ヶ月の保管をOCC が承知するか。
 - ・delivery schedule の変更の処理をどう行なうか。(契約の変更処理)について検討の要あり。
 - ・NEC 出版の「海底ケーブル通信」の項目、執筆分担につき、打合せ。(14:30~16:00) (志村、関、小林、松田)。
- 31日 (水)
- ・日中技専対処方針案 志村取締りに説明。
 - ・沖一本ケーブルにつき、福地部長と協議。
 - ・KEC 出版「国際海底ケーブル通信」の執筆につき、吉田、永田両課長に説明。
 - ・OLU 電氣的布設設備の準備手配につき、線路課関係者と協議。

昭和 51 年度

4 月

- 1 日 (木) ・ 創業記念日.
帝国ホテルにて記念式典, パーティ 夜, 芸術座にて観劇.
- 2 日 (金) ・ 日中技術専門家会議 (5) の準備打合せ. 9:30~12:00.
出席者ほか, 関係者.
・ 第 6 回 NK 海底同軸ケーブル中継方式合同委員会 15:30~17:30
夜, 中井, 湯口, 北村君らと懇談 (独逸亭).
- 3 日 (土) ・ 出社. 資料整理.
- 5 日 (月) ・ KDD 丸 埋設総合試験に東シナ海へ 出航.
志村取締役, 小林部長, 永田課長ら乗船.
・ 本社表彰式, 40 年勤続, 20 年勤続, 業ム改善 等.
- 6 日 (火) ・ 日中ケーブル・ケーブル船利用協定案の検討.
・ 吉田課長に, 日中技専会議 期間中の, OLUHO ケーブル技小委 (5) の準備につき指示.
- 7 日 (水) ・ 吉田課長より, MPT 電監室における AL ケーブル FT の打合せの報告あり.
・ 日中ケーブル技・業専門家会合の対処方針に関する役員会資料案を, 関部長と共に社長に
事前説明.
・ 小関君 ロンドン事ム所長に異動につき, 石川, 柴田君らと歓送 (渋谷)
- 8 日 (木) ・ 役員会へ, 日中専門家会議対処方針を伺い, 了承を得る.
・ メーカーと, ケーブル推進連絡会. 13:30~15:20
・ 日中ケーブルの布設工事に関し, KDD 丸の作業上必要な措置を SPT にとってもらおう件につ
き, KCS と打合せ. 15:30~16:15
KDD 亀田, 木下.
KCS 広島, 斎藤, 大槻.
- 9 日 (金) ・ 社長, 副社長, 大島常ム, 古橋取締りに, 日中専門家会議出発のあいさつ.
・ 部長会へ出席.
・ 日中技術専門家会議の準備打合せ. 13:30~16:30
・ NEC 田畑氏へ Tel. . .
OLU ケーブルのケーブル製造期間の変更希望について, その根拠となるいきさつ等をきい
た上で, 回答したいと連絡.
・ 東北大同窓会, 小関君の歓送, 新入社員の歓迎. (飯田橋会館).
- 10 日 (土) ・ 出社.
・ 資料整理.
・ 上海出張中の処理事項を松田次長に連絡.
・ 新納君と, 日中ケーブル建設に際しての研究所の協力問題につき, 懇談.
・ 竹中君より, 郵政 日高参事官との話しをきく.
- 11 日 (日) ・ 日中ケーブル 第 5 回技術専門家会議に出席のため, 羽田 発.
- 12 日 払暁, 北京着. 北京飯店で仮眠.

(月) 北京発 上海着. 日程協議. 夜, 副局長招宴. 上海大厦 泊.

13日(火)～22日(木) 会議.

17日: 上海市博物館.
18日: 蘇州遊覧.
19日: 上海側端局.
20日: 郵電1号.
21日: 南匯陸揚局.

23日 帰国
(金)

24日 ・ 出社.
(土) 線路課ストライキの対策.
志村取締役にて会議の概要報告.

26日 ・ 社長, 副社長, 技師長, 大島常務に帰国挨拶と会議の概要報告.
(月) ・ OLUHO 技小委 出席者の人選.
・ 吉田課長より, 上海出張期間中の報告あり.

27日 ・ 建設本部関係者に, 日中技術専門家委員会報告と説明の打合せ. 10:15～12:00.
(火) ・ OLUHO 技小委 (5) の対処方針案の検討.
・ 早朝にストライキ解除.

28日 ・ 日中技専 (5) の役員会への報告の作成.
(水) ・ OLUHO 技小委 (5) の対処方針案を志村取締役に説明.

29日 天皇誕生日.
(木)

30日 ・ OLUHO 技小委 (5) (マニラ) の対処方針案を, 技師長, 副社長, 社長に事前説明.
(金) ・ 金門製作所 斎藤 (二郎) 常務 来訪.

5月

1日 ・ 志村取締役に, 定期管理表 (副参事) を提出.
(土) ・ 永田課長の異動上申を行なうべきかにつき, 小関君とも相談のうえ, 出さないこととし,
志村取締役の了承を得る.
・ 午後
KDD 丸への日中ケーブル機材の積込状況, T-T 接続の状況等を視察. (志村取締役に 同行)

4日 ・ CW の Mr. Powell, Mr. Slade 来訪.
(水) ・ 6月下旬の IRU 販売会議 (香港) の準備打合せ. 10:00～16:30

6日 ・ 役員会にて OLUHO 技小委 (5) (マニラ) の対処方針 (案) を伺い, 了承を得る.
(木) ・ 日中技専 (5) の報告は, 本日の審議案件が多いため, 次回廻しとなり, 関部長に要約をか
いて渡す, 徳江線路課長補佐が同席し, 必要あれば補足することとする.
・ また, OLUHO の電氣的布設用設備の手配に対する役員会審議は, 次週にもち越したため,
説明を小林部長に依頼し, 永田課長を同席させることとする.
・ NEC 斎藤部長より Tel. . . .
クリマオービガン間のマイクロ設備の入札は, 米の Farinon 社に落ちることになったが,
なお, ETPI と交渉を続けているとのこと. 理由は, ビガンーマニラ間 300Km のマイクロ

設備が Farinon 社製であるため、保守上ビガンークリマオ間も同社製品を使いたいためとのこと。

- 7 日 (金)
- NEC 田畑氏来訪
 - OLUHO の IRU 販売会議には、メーカーの資料は使用しないことに CW との話し合いがなつたことを伝える。
 - CS5M の試作中継器ユニットを、中国から提供を求められている件につき、意見をきく：メーカーとしては、販売したものの処置については、user に委せざるを得ないとのこと、なお、NTT の了解の必要性を示唆される。
 - OLUHO 技小委 (5) の準備打合せ。15:00～16:30。
 - 電氣的布設のため、KDD 丸および南匯への出張者の激励パーティ。飯田橋会館にて、線路課および研究所の関係者と懇談。18:30～20:30。
- 8 日 (土)
- 職員部へ提出する、3 類、4 類、および一般社員の定期管理表等を作成し、松田次長へ提出するよう依頼。
 - OLUHO 技小委 (5) の準備：資料整理。
 - 午後、郵政省電監室 日高参事官宅で、郵政省の新井氏、KDD の井上、竹中君らとブリッジ。
- 10 日 (月)
- 羽田発 15:00 PR421 で、マニラへ向う。
 - 空港へ行く途中、研究所へ寄り、笹本所長に、日中ケーブル電氣的布設工事に対する研究所からの協力を謝意を表す。

※11 日(火)～19 日(水)は記述なし。

- 20 日 (木)
- 志村取締役役に、技小委 (第 5 回、マニラ) 会合の様態を簡単に報告。
 - 松田次長より、不在中の状況の報告を受ける。
- 21 日 (金)
- NEC 田畑氏ら関係者の来訪を求め、OLUHO 技小委 (5) の関係事項を説明し、処理を直ちにかかる要のあるものについて、促進方を要望。(9:30～10:00)
 - 新技術開発推進委員会に出席 (13:30～17:00)。
 - 日中ケーブルの KDD 丸布設工事開始に伴ない、連絡班設置さる。
- 22 日 (土)
- 航洋丸乗船中の 田原調査役 発病、上海の病院へ移送するとの連絡が KDD 丸より来る。
 - 直ちに、家族に通知すると共に、勝又診療所長にも連絡。
 - KDD 丸布設工事開始。(14:30)
 - 田原調査役は上海の病院に収容され、手当てを受け、意識を回復しつつあるとの報により、一旦、帰宅。
 - 夜、電話にて、勝又診療所長より、田原氏の普段の健康状態をきく。大島常務よりも電話あり。
- 23 日 (日)
- 01 時過ぎ、連絡班より電話あり、田原氏の病状悪化とのことで、南匯よりしきりと電話があるとのこと、直ちに、会社へかけつける。
 - 中国側より、田原氏の家族を至急呼びよせる様、要請あるも、夫人のパスポート作成の必要あるため、月曜まで待つ他なし。
 - 中川顧問にも相談。(KCS 広島専務の助言による)。
 - 中国大使館へ、石谷課長を伴ない、パスポートの相談に行く。
 - 田原氏死去の報入る。(15 時頃)。
 - 直ちに、関部長その他応援者を呼び、今後の措置を協議。
 - 志村取締役に連絡し、石谷課長をとりあえず、上海に派遣することとする。
 - 田原家を弔問。

- ・ 9時過ぎ帰宅.
- 24日 (火)
 - ・ 田原未亡人来社, パスポート申請手続き書類を日中旅行社員に作成させる. (10:30)
 - ・ 田原未亡人に同行し, 外務省に中川顧問を訪れ, 直ちに, パスポートの作成の口添えを得て, 旅券課で作成. (16:00).
 - ・ 田原氏令嬢 New Youk より帰国し, 直ちに会社へ来る. (17:00)
 - ・ 吉田課長に, OLUHO TSC (5) の役員会報告の件, 等を指示.
- 25日 (火)
 - ・ KDD 丸の布設が, 底質の固い場所で, 速度を落さざるを得なくなったとのことで, 対策を種々協議.
 - ・ 田原氏遺族に同行し, KDD 代表として上海へ赴く志村取締役を羽田に見送る. (14:00~16:00)
 - ・ 中川顧問にお世話になったことを秘書課長に連絡, お礼の電話をかける.
 - ・ 外務省旅券課長にも, お礼の電話をかける.
 - ・ 夜9時迄, 工事状況の連絡本部に詰める.
石谷課長らと電話で各種の連絡.
小林部長に田原氏の件につき, 発病時の状況調査を依頼.
- 26日 (水)
 - ・ 副社長, 中国大使館へ訪礼 (関部長同行). 11:00 .
 - ・ KEC 松本業務部長より, KDD 社史の編集について説明あり.
 - ・ 上海の石谷課長と電話で各種の連絡.
 - ・ 上海にて, 故田原調査役の追とう式と火葬が執行される.
 - ・ 関部長, 木下課長らと, 職員部へ提出する田原氏発病から死亡に至るまでの経過報告を協議作成.
- 27日 (木)
 - ・ 朝, 上海の石谷課長より電話連絡あり. 志村取締役, 田原氏遺骨の帰国予定等をきく.
 - ・ 日中ケーブル布設工事は難航しながらも, 順調に進む.
- 28日 (金)
 - ・ NEC 本郷部長 来訪し, 日中ケーブルの R-30 の修復の件につき, 話す.
 - ・ 石井補佐に, OLUHO TSC5 の役員会報告資料のかき直しを指示.
 - ・ 羽田に 田原氏 遺骨を出迎える. (13:30).
 - ・ 夜, 田原家通夜, 弔問. (18:00~).
 - ・ 会社にて, 連絡本部に詰める. (ケーブル探線).
- 29日 (土)
 - ・ 日中ケーブル 連絡本部に1日詰める.
 - ・ 探線 不成功
- 30日 (日)
 - ・ 日中ケーブル 連絡本部に詰める.
 - ・ 天候不良のため, 探線作業を行なえず.
- 31日 (木)
 - ・ 朝よりケーブル探線, 探線機により捕線に成功, の情報入る. (20:00).
 - ・ 板野社長に呼ばれ, ケーブル探線の状況をきかれる (. 18:00).
 - ・ KCS 森社長, 広島専務, 志村取締役と, ケーブル探線不成功の場合の対策を協議. (18:30~)
 - ・ 潜水夫によるケーブル捕線につき, 日本海洋工事より話しをきく. (11:30~).
 - ・ NEC 村上 伝送通信事業部長, 田畑, 本郷氏ら来訪.
R30 の SV 発振停止の件につき, 対策を協議. (16:00~17:00).
 - ・ 夜 01:20 まで, KDD 丸との連絡状況をきく.

6月

- 1日 (火)
 - ・ 庶務部にて, 原田氏の葬儀関係を打合せ.
小林 建設部長名の弔辞を作成.

- 2日 (水) ・田原氏の葬儀に、葬儀副委員長を 小林部長に代り、代行。
 ・志村取締役の指示により、田原氏の処遇等について、労厚部長、社長室総務課長と懇談。
- 3日 (木) ・役員会に、OLUHO 技小委 (5) の会合報告。
 ・勝又診療所長より、田原氏の労災問題について、検討するための資料入手の依頼あり。
 また、KCS を通じ、KDD 丸船送を勝又所長との連絡をはかる。
 ・KDD 丸 横浜入港
- 4日 (金) ・小林建設部長 に田原氏に関する情況 (処遇等) を伝達。
 ・羽田へ、帰国する王建中氏ら一行を見送る。(12:30~15:00)
 ・日中ケーブル布設 (第1次) 工事の問題点の検討と今後の対策につき、KDD, KCS 間の関係者打合せ。(KCS, 役員会議室, 16:30~19:30).
 ・郵政にて開かれた、アルミケーブル方式開発の海洋実験計画の打合せについて、社長に説明を意図したが、次週廻しとなる。
 ・KEC 谷山部長より、「国際海底ケーブル通信」の企画について説明あり。
- 5日 (土) ・出社。
 ・雑用整理。
- 7日 (月) ・日中ケーブル第2次以降の布設における問題点と対策につき、KDD, KCS 間の関係者打合せ。(KCS 役員会議室, 9:30~12:30, 14:00~16:30).
 ・OLUHO IRU 販売会議における技術的説明用スライドの作成につき、業者と打合せ。
 ・日中ケーブル第1次布設の際の R-30(SV 停止)に対する処置について、NEC と打合せた結果の報告が、永田課長よりあり。
 再検査をしたが、現象が再現せず、そのまま、第2, 3次布設時の予備とし、別途製造の中継器 (9月完成) と取替後、入念に検査をすることとする。
 ・夜、研究所にて、IMP Maceh. (井上, 竹中, 森田らと)
- 8日 (火) ・創立 25 周年の記念行事の一つとして、企画された 社史編集のため、執筆を担務する「海底ケーブル通信」の項の仮目次案を作成
 ・NTT 九州電気通信局、高橋敏郎局長に Tel. . . .
 参院通信委員の苓北視察に随行するための下見として、6月16日~17日に同局長が苓北工事事務所を訪問する際の扱いについて、本社からとくに誰も行かぬことの了解を得る。
- 9日 (水) ・アルミケーブル方式開発のための、海洋実験計画について郵政省で開かれた打合せ (6月4日、吉田課長出席) 結果を 社長に報告。
 ・布設を NTT が分担することについては、了承を得。NTT と仲良くやれとのこと。
 ・他に、ケーブル開発について、経済化を指向せよとの話しあり
 ・石川 (恭久)、新堀君と懇談。
- 10日 (木) ・苓北におけるケーブル陸揚工事に際しての、見学者の応待について打合せ。
 志村取締役、関部長、小林部長、他。(10:00~11:00).
 ・KEC より発行予定の「国際海底ケーブル通信」に関し、企画、執筆等の要検討事項につき、志村取締役、3部長間で打合せ。(11:30~12:00)
 ・清田、小林、安部 (欠席) 氏らの叙勲祝。32F。(18:00~20:00)
 ・役員異動 新聞発表。
- 11日 (金) ・日中ケーブル第2, 3次布設に関し、KDD, KCS 間打合せ。(9:30~13:30).
 ・OLUHO. IRU Sales Meeting 対処方針 打合せ (国際部 主催)。(14:00~17:00)
 ・社長室 渉外担当課長、補佐と、参院通信委員苓北視察のスケジュールについて打合せ

(19:00~19:30)

- 12日 (土) ・三井ビルの 歯医者に行く。
- 14日 (月) ・SPT 王建中氏の申し入れにより、第1次布設工事の中の二、三の問題について説明。(10:30~12:30).
・SPT 王建中氏一行を研究所に案内し、ファックス関係の研究成果を見せる。(14:30~16:00).
- 15日 (火) ・第1次ケーブル布設工事の役員会報告を予定したが、次回廻しとなり、その後、資料提出扱いとなる。
・KDD 丸、苓北陸揚工事、第2次、第3次布設工事のため、横浜を出港
・KEC と打合せ (国際海底ケーブル通信)、吉田課長同席
- 16日 (水) ・OLUHO. IRU 会議における 技術側説明資料を作成。
- 18日 (金) ・三井ビル、星歯科医院へ行く。
・部長会：塚田課長に出席してもらい、11時過ぎより交代出席。
本日8時に苓北でのケーブル陸揚が終了したことを報告
・OLUHO. IRU 販売会議で技術的説明を行なうための、スライドが業者より納められ、試写し、テキストを合せて修正。
- 19日 (土) ・前記 テキストの修正。
- 20日 (日) ・OLUHO IRU 販売会議 に出席のため、香港へ向け、出発。Lv. 10:40.
- 21日 (月) ・小調査委員会 ニュー。マーキュリーハウスにて、9:30~12:00。
・午後、食中毒症状を呈し、病院に運ばれる。あとホテルにて休養
- 22日 リハーサル
- 23日~25日 IRU 販売会議
- 26日 (土) ・香港発 15:00 JL062 で帰国。
- 27日 (月) ・参議院通信委員会 長田、森中両委員の九州地区通信事情調査における、施設案内のため、苓北、長崎へ出張。
羽田より大村空港へ飛び、口の津経由で、苓北へ。向う。
苓北にて、陸揚局の下見。夕刻、フェリーで、富岡、茂木経由で、長崎市内へ入る。
江副部長、吉田船長と会う。
小林部長と偶然会い、一緒に夕食をとる。
- 29日 (火) ・午前中、松尾駐在員の案内で、小ヶ倉千本の旧電信ケーブル陸揚庫を下見。
四海楼にて、13:00、通信委員一行を迎える。
昼食後 千本のケーブル陸揚庫を案内・説明。
長崎市電話局、NHK 等を視察後、雲仙にて泊。

- 30日 (水) ・ 苓北にて、サテライト局、苓北陸揚局を視察。
 ・ 昼食 後、逋信委員一行を見送り、伊沢所長の案内で、下草を見物後、長崎へ向う。長崎泊。

7月

- 1日 (木) ・ 長崎より 帰京。
- 2日 (金) ・ 志村取締役、逋信委員の視察模様を報告。
 ・ 吉田課長より、不在中の諸事項につき 報告あり。
 1. アルミケーブルの海洋実験計画に対する 社内の対処方針。
 2. 25年史の委員会の打合せ模様。
 3. 日中専門家会議の対処方針。
 ・ 三洋電機 矢川氏（開発研究所長，Tel. 0584-64-2094）より。
 簡易ファックスについて問い合わせ、研究所 特殊課長、端末研究室長に連絡するよう、教える。
- 3日 (土) ・ KDD 丸の最後の布設状況を知るため出社。
- 4日 (日) ・ 同上、最終接続、最終投入 終了し、日中ケーブルの布設工事 完了す。
- 5日 (月) ・ NEC 関本取締役、村上事業部長、斎藤部長、来訪。
 志村取締に同席し、日中ケーブルの PFE の障害問題につき、話しをきく。
 その他、保守の訓練等につき、中国側と、協議の必要性につき、話しがでる。
 ・ 参院逋信委員の苓北陸揚局等の視察状況につき、報告を作成。社長、副社長、技師長、志村取締に報告。
 ・ NEC 本郷氏、OCC 廻氏 ほか 来訪。
 OCCにおける OLU 区間のケーブル製造工程の変更につき、等化器の品質、作業工程等に、何ら支障のないことを条件に、了承。
 ・ 夕刻、海建本部の日中ケーブル布設における連絡班の 慰労宴。
- 6日 (火) ・ KDD 丸の横浜帰港時の、社長あいさつにつき、関係者と協議。
 社長に 資料説明。
 また、帰港後の 乗組員慰労宴における予定を、有竹技師長に連絡。
 ・ 三井ビル、星齒科医院に行く。
- 7日 (水) ・ KDD 丸 出迎えに、横浜へ行く。
 10時 接岸。10:15 板野社長着。10:45 社長あいさつ。
 11時 社長 退船。
 12時より、ホテル・ニューグランドで、慰労宴。
 ・ 日隅調査役に、異動の内命。
 ・ 松田、吉田 両君と、あとの人事、仕事の分担などを話し合う。
- 8日 (木) ・ 三井ビル 星齒科医院 11:00。
 ・ KCS 社長による、日中ケーブル布設工事関係者の昼食招待。12:00～14:00。
 ・ 社長より、SPT 局長あて、工事完成の祝電につき、関部長と協議し、案 作成。
- 9日 (金) ・ 日中技専対処方針案、CS-5M 試作中継器ユニットの中国への提供に関する事案決定案につき、吉田課長 と打合せ、作成内容について指示。

- ・ 社長に、SPT 局長あて、電文案を説明、了承を得る。さらに、同趣旨の電文を中国郵電部長あてにも出すよう指示を受く、夕刻、電文 発信。
- 10 日 (土)
 - ・ 出社。資料整理。
- 12 日 (月)
 - ・ 志村取締役へ報告 等。
 - (1) MPT 佐野電気通信監理官に、日中ケーブル布設工事の完了を電話報告。(7/6)
 - (2) KDD 丸横浜帰港時の諸行事(社長あいさつ、技師長パーティ出席)、終了(7/7)
 - (3) 社長の指示で、中国 SPT 局長、郵電部長へ感謝電、発信(7/9)
 - (4) CS-5M 試作品の中国への提供の処理、事案決定書 作成中。
 - (5) 人事異動：日隅君 総企室へ。
 - (6) OLU ケーブルの製造工程の変更に関する OCC の申し出を了承(7/5)
 - (7) LUHO 区間の布設に対する KDD の参加立会者の選定。
 - (8) 日中技専の対処方針案作成中。
 - ・ 人事異動、発令。
- 13 日 (火)
 - ・ 施設課、阿部課長、松本補佐と、南匯における中国側の保守態勢、訓練の要否、システム総合試験実施中に機器の取扱いの習熟をはからせることなどについて、協議。
15:00~15:30.
 - ・ NEC 田畑、斎藤(文)両氏来訪。日台ケーブルに関し、田畑氏が台湾電信総局の求めで7月初めに訪台し、CS-5Mの説明、陸揚点についての意見などを述べてきたと報告あり。
 - ・ 郵政による A1 ケーブル方式の現場実験計画について、来る7月28日の開発会議に臨む前に、対処方針として役員会にかけておく要ありと、志村取締役より指示あり、社長室 小林審議担当課長と協議し、その線で処理することとする。
- 14 日 (水)
 - ・ A1 ケーブル開発のための現場試験計画に対する協力の方針案に関する役員会資料を作成。
 - ・ 王建中氏ら一行に対する副社長招宴。(椿山荘)に出席。
- 15 日 (木)
 - ・ NEC 田畑氏より、南匯での保守者の訓練につき、KDD より南匯に人を派遣する計画の問い合わせ。
 - ・ KDD は、そのようなことは考えていないと回答。
 - ・ 有竹技師長に、A1 ケーブルの現場試験計画 に対する協力方針を役員会にかける旨を説明。
 - ・ SPT 訪日団の答礼 招宴。(ろ山)に出席
- 16 日 (金)
 - ・ 大島常務に、CS-5M 試作品を展示用に SPT へ寄贈する件につき説明し、了承を得る。
 - ・ 王建中氏ら一行、離日。京王プラザホテルにて見送る。(12:50)。
- 19 日 (月)
 - ・ 局所長会議 始まる。
 - ・ 社長に、CS-5M 方式の試作品の中国への寄贈につき説明。
了承を得る。
 - ・ 局所長会議参加者に対する 会長、社長の招宴。
- 20 日 (火)
 - ・ 局所長会議、海建本部関係 個別打合せ。(11:10~12:00)
 - ・ 22日にかける役員会資料を作成。(A1 ケーブルの FT に対する協力)
志村取締役の了承を得。
関係役員の了承を求めるよう、関係部に連絡方を、技術課長に指示
- 21 日 (水)
 - ・ 局所長会議 最終日。副社長の話(11:50~12:10)。
 - ・ 大日電線 六戸氏 来訪、食事 を共にし、optical fiber の話しをきく。
 - ・ 日中技専(6)の準備打合せを 主宰。(14:00~16:00)

保全、回統、海建の関係者間で、会議日程、資料等を討議

- 22日 (木) ・役員会に、1. 日中専門家会議(6)の対処方針。
2. 新海底同軸ケーブル方式の現場試験に対するMPTへの協力方針。
をかけ、了承を得。
・日中ケーブル布設工事完成に対する、関係者のKCS招宴。
- 23日 (金) ・部長会に出席。
・専門家会議に出席のため、来日のSPT代表を羽田に出迎え。(14:00)
・京王プラザホテルにて、技術専門家会議の日程協議。(16:30～17:20)
・夜、KDD副社長招宴(三井 マンダリンパレス)
- 24日 (土) ・第6回 日中技専 開始。(9:30～).
・午後6時まで討議
- 26日 (月) ・日中技専(6)会議 2日目。
・郵政省 電監室 飯島参事官 来訪。(12:00～13:30).
志村取締役と共に、7/28日のアルミケーブル開発会議の下打合せ。
- 27日 (火) ・日中ケーブル技専(6)会議、第3日。
・夕刻、ケーブル障害の報告が入る。
- 28日 (水) ・日中技専(6)会議 第4日。
・新海底同軸ケーブルシステム開発会議 及び 同推進連絡会の第2回会合に志村取締役と共に委員として出席。(13:30～15:00)
・KDD丸 ケーブル障害修理に出動。(17:00)
・夜、KDD丸への組合員(内海、嶋谷)乗船の手続きについて、組合本部より抗議があったと、井上取締役より電話あり、永田課長に電話で事情をきく。
- 29日 (木) ・日中ケーブル技専(6)会議 第5日
・組合からの抗議に対しては、関係役員の陳謝で了解をとる。
- 30日 (金) ・SPTの4名(袁、徐、陳、馬 各氏)を苓北陸揚局に案内のため、羽田から、九州へ向う。
KDD側 亀田、吉田、松本(誠)、塚本 長崎を経て、本渡市、国際観光 ホテル 泊。
- 31日 (土) ・苓北陸揚局 視察。10:00～15:30。
・KDD丸ケーブル捕線、修理。
・長崎グランドホテル 泊。
- 8月**
- 1日 (日) ・長崎市内見学。
千本の旧電信ケーブル陸揚庫を見る。
午後 長崎発 空路 東京へ。
- 2日 (月) ・日中技専(6)会議 最終日。
・夜、SPT側 招宴。(ろ山。19:00～21:00)
- 3日 (火) ・朝 ホテルにて、袁氏と、細部打合せ。
・SPT代表団を羽田に見送る。(16:15～ CA922)
・三井ビル、星齒科医院。

Memorandum 3

(KDD 本社)

1976年8月4日～1977年11月30日

1976年(昭和51年)

8月

- 4日 (水)
- ・新海底同軸ケーブルシステム開発会議及び同推進連絡会第2回会合(7.28.開催)の報告をとりまとめ。
 - ・日中技術専門家会議第6回会合の資料整理.
- 5日 (木)
- ・今後の作業につき、次課長と打合せ。(15:00~16:30)
 1. 日中技専の役員会報告案の作成 1次案8月10日まで.
 2. 工事報告素案の作成.
 3. 建設スケジュールの確認:システム総合試験, 伝送路試験.
 4. 東京-上海間にVFT回線を設定することの可否:国内伝送路の特性確認.
 5. 保守要領最終稿の作成.
 6. KDD25年史 原稿作成に対する協力要請。
 - 8月20日に, 梗概案をもち寄る.
 - 9月10日に, 1次原稿をもち寄る.
 7. KEC依頼の「国際海底ケーブル通信」のスケジュールについて。
 - 前のスケジュール案を修正の要ありとの意見に対し, 19日の幹部会議で問題を提起することとする.
 - ・夜, OCC主催のケーブル関係者懇親。(32F. ジャンボール).
- 6日 (金)
- ・午前, 三井ビル 歯科.
 - ・ケーブルプロジェクト連絡会(13:00~14:30)
 - 日中ケーブル, OLUHOについて, メーカーと打合せ.
 - ・総企室 総合計画部 里見次長より。
 - ASEAN会議(9月3日~4日)に出席要請あり, KDDからも数名出席することになったので, 資料作成・技術からの出席者につき, 考慮方の要望, 了承する.
- 7日 (土)
- ・休み.
- 9日 (月)
- ・日中技専(6)の役員会報告につき, 吉田課長と協議
 - ・タイより要請のあった, ケーブル建設費の資料案を, 志村取締に説明。(14:30~15:30). (業務部, 石谷課長, 今井調査役と共に)
 - ・NTT 横須賀通研 渡辺部長より Tel.
 - 8月末に, 九州へ行くが, その際茶北陸揚局を見たいとのこと.
 - 予定が決まり次第, 連絡を受け, 茶北へ通知することとする.
- 10日 (火)
- ・LUHO 区間布設の C. S. Mercury に乗船の江幡調査役に, 調査事項を指示。
 1. EL の実施体制:
 - 要員数, 服務体制, 測定・組立の要員配分, ML との関係, 指揮系統など.
 2. EL の設備.
 3. EL の実施方法.以上について, KDD が中日ケーブルで実施したものとの差異を把握し, 今後の参考とすること.
 - ・午後, 郵政省 電監室 飯島参事官 他2名を二宮中継所へ案内。
 - 吉田課長同行, 中井 有シ研究室長 現地で出迎え, 伝送実験室案内.
- 11日 (水)
- ・NEC 海外伝送通信事業部 大城部長, 田中伝送通信事業部長代理と来訪。(15:30~16:00)
 - 上海へ行き, PFE の件, 保守の件, 訓練の件で, SPT 側と協議を行ってきた模様の報告きく.

- 12日 (木) ・KCS 広島, 江副 氏らと. Golf. 平塚富士見.
木村顧問, 林代理船長, 吉田機関長ら 同行.
- 13日 (金) ・徳江, 江幡 両君と懇談.
- 16日 (月) ・荅北への駐在者発令. (高崎, 山崎両君).
浅海君, 茨城衛星通信所へ異動発令.
・資材部小島副参事より, 日中ケーブル布設時に破損した R44 のカップリングの新規調達を
保険で賄なう件につき, 協議あり. 破損したカップリングの状況調査(費用 40 万円~95
万円)は別途行なうよう, 永田課長に指示.
- 17日(火)~18日(水)
・夏休みをとる.
- 19日 (木) ・海建本部・役員部長打合せ. (14:30~17:30).
(1) 組合との関係に, 余計なマサツを生じない様, 横の連絡をとること.
KDD 丸乗船の事前連絡: 緊急出動 24h 以内の時の連絡が問題ないか.
(2) 陸揚局服ム, 夜間無人化.
保全, 回統 両部と打合せ後, 必要あれば, 志村, 笹本両取締役間で話し合う.
(3) 建設中の重要な障害は, 郵政省にも状況を知らせる.
建設部長→日高参事官へ
(4) 電氣的布設の等化器封止技術を KCS にもたせることについて, KCS と協議を進める.
(5) KEC より依頼の書物の執筆計画の再検討.
- 20日 (金) ・ケーブル船利用計画に関する AT & T との会合の対処方針打合せ. (10~12:00).
国際部主催.
・沖縄, 陸揚局の保守体制について, 保全, 回統と, 幹部間打合せ. (15:00~17:00).
(1) TPC-2 保守用の遠方監視装置の導入後の運用措置.
(2) OLUHO ケーブル開通時の保守体制をどうするか, 一遠方抑御を要するか.
(3) 日中ケーブルに対し, 荅北への遠方監視装置の導入と, その運用措置.
- 23日 (月) ・ATT Messrs. Poythress, Crice, Meierdiercks 来日.
ケーブル船利用に関する協議を 23~25 日に KDD と行なうため,
表敬(10:00~10:40)の席に出席. (木村常ム, 志村, 笹木取締役, 関係部長).
・横須賀通研 渡辺 複合伝送研究部長に Tel. (9:20~).
8月26日(木)に荅北陸揚局訪問の件: 14:00~ 夕方までとのこと.
荅北 伊沢所長に伝える.
・次・課長との打合せ. (13:30~17:00)
1. 先週 8/19(木)の役員・部長打合せ結果の伝達.
2. KDD 社史の執筆に関する打合せ: 9/16 日までに粗原稿を夫々でつくる.
- 24日 (火) ・歯通のため, 星齒科へ.
・国際通信の研究誌に掲載予定の“日中ケーブルの建設”についてその構成案を吉田課長と
討議.
・荅北一本渡間の同軸伝送路の現状を松田次長にきく.
現在, 県道回りの細心同軸 4 チューブが荅北に入っており, 現用, 予備 2 チューブずつと
なっている.
広域農道廻りの同軸伝送路ができれば, その 2 チューブを現用とする.

- 25日 (水) ・ATT Messrs. Poythress, Crice, Meierdiercks, AMETEK 社. Mr. Johnson と SCARAB に関する討議.
午前: Mr. Poythress の technical presentation.
午後: 関係者と討議.
夜: 招宴. (新宿 赤坂).
- 26日 (木) ・役員会に, 日中技・業専門家会議(第6回)の報告を資料提出.
・役員・部長間打合せ(14:00~17:00).
・ASEAN 会合.
・沖縄: 苓北の無人化に対する設備導入に伴う問題.
要員問題との関連が深いので, 関係部門と緊密に連絡して進める要あり.
- 27日 (金) ・午前 OCC 訪問, OLU 用ケーブルの製造状況を視察.
・志村取締役より, 9/2 経営合理化委員会に, 要員関係の討議が行なわれるが, 海建本部関係で, 20名に要員を削減する案がでている.
- 28日 (土) ・出社.
- 30日~31日・休暇(那須. Br & G.)

9月

- 1日 (水) ・日中ケーブルの開通式に関する中国側の意向の情報を得て, 首脳部へ連絡処理.
・技術部管理職へ昇級に関し, 伝達.
・KEC 依頼の技術図書, 及び KDD・J 掲載の“日中ケーブルの建設”の原稿作成の進め方等につき打合せ(13:30~15:30). 海・技・建 各課代表者
・三井ビル 星歯科医院. (16:00~16:40).
・技術課長 外と 懇談.
- 2日 (木) ・25年史の原稿梗概作成を進める.
- 3日 (金) ・部長会 に出席.
・日中ケーブル開通式に関し中国郵電部外事局長より, 郵政省松井監理官あて, 写真電報 来信.
・夜, 矢口, 嶋谷, 北村君らと MJ.
・技師長より, OLU のアースケーブルに関し, 文句あり.
- 4日 (土) ・出社.
・午後: 竹中, 森田, 中野, 小林, 柴田君ら, 来訪. (宅). Br.
- 6日 (月) ・職員部主催: 52年度技術要員計画に関する技術関係部長間打合せ. 13:30~17:00.
・志村取締役バンコク出張中の主要事項報告をとりまとめ.
- 7日 (火) ・志村取締役バンコク出張中の主要事項を報告. (次葉 参照)
・星 歯科へ(11:30~).
日大歯科病院へ行くことを勧められ, 紹介状をもらう.
・来日中の CW. Messrs. Shirt, Warrent を招宴(わたき).
- 8日 (水) ・午前, 日大歯科病院にて, 検査と治療.
・午後 出社. (15:00~)

・訪日中の台湾電信総局副局長、長途電信局長に対する海底ケーブルの専門的な technical presentation について、志村、小林、亀田の3名で午前午後を分担し、9/10日行なうこととする。

- 9日 (木)
- ・午前、日大歯科病院
 - ・出社 11時過ぎ.
 - ・台湾 電信総局副局長、長途電信局長の都合で、会談が繰り上り、15時より志村取締役と同席し、懇談。(約1.5時間)
 - ・NEC 大城、斎藤、田畑氏 来社。
志村取締りに同席し、田畑氏の訪台(51.7月)時の状況をきく。(14:00~14:40)
NEC 幹部に、将来のASEAN 計画への参加の可能性もあり、OLU の建設を通じて、東南アでの良い評価を得ておくことが得策であること。外国へ出す資料や連絡の時は、上級管理者が充分チェックしてミスのないようにすること等を advice.
 - ・日中ケーブル、開通式。当事者会議等の予定ほぼ固まる。
 - ・中国 毛出席 死去。
- 10日 (金)
- ・日一ケーブルを想定したシステムの建設コストを概算。
 - ・永田課長のヨルダン派遣の件が再燃、海協室より、物価高勝のため、取り止めたい旨を社長室に送付するとのことで、KDD として、永田君の替りを派遣する意向もないことを高呂次長に確認。
- 11日 (土)
- ・出社.
 - ・日大歯科病院
 - ・KDD 25年史原稿作成

添付資料：報告事項(自 51.8.30~9.6)

志村取締役 殿

51.9.7
海建本部 技術部長 亀田

1. 日中間海底ケーブルの開通式、当事者会議(第6回)の開催に関し、中国側から別紙1の連絡があった。
2. SPT 局長の交代に関し、別紙2の通知が上海市郵電管理局よりあり、これに対する社長名の返電を社長室で手配中である。
3. 荅北~南匯間の海底ケーブルシステム総合試験は8月25日に終了したので、予定通り9月6日より東京-上海間の伝送路試験を開始した。(回線統制部主管)
4. 第6回当事者会議において審議するための保守要領第3稿を中国側に送付すべく手配中である。
5. OLUHO ケーブルの LUHO 区間の布設は、CS マーキュリーにより9月1日完了した。(別紙3)
6. 上記布設工事に参加したCW 職員のうち端局装置の専門家2名が9月2日に来日し、関係メーカー等を訪問中である。さらに海中設備の専門家1名は9月8日に来日の予定である。
7. 台湾の交通部電信総局副局長梁慶平、同部台北長途電信局局長陳永祥の両氏が9月6日KDD を来訪し、社長に表敬の後、総合企画室総合計画部長らと懇談した。両氏は、滞在中に、ケーブル陸揚地の選定等について、KDD の専門家の一般的な意見を聞きたい由である。
8. 52年度の技術要員採用計画について、職員部主催により技術関係各部長出席の打合会が9月6日開かれ、意見が交換された。海底ケーブルプロジェクトの今後の建設に必要な要員計画については総企室技術計画部、海建本部、職員部間でなお協議することとなった。

以上

- =====
- 13日 (月) ・ 総企 福地部長に、日一ケーブルに関する建設費概算を、台湾 梁、陳両氏に説明した状況を連絡、長計 17 号との数字の差は、今のところ目安なので、問題にする必要なしのこと。
・ 日大歯科病院. 12:30~14:30.
・ 関部長らと、日中ケーブル当事者会議スケジュールについて協議。
・ CW Mr. Archer KDD ビル来訪. 夜、住友ビルで会食。
- 14日 (火) ・ KDD 社史原稿作成。
・ OCC 鳴海常務、志村取締役を訪問。大河内賞に対するすいせん依頼。
OLU ケーブル完成後の方がすいせんが容易なので、1年あとにすることを advice。
- 15日 (水) 祝休日
- 16日 (木) ・ KDD 社史原稿作成打合せ(次・課長). 14:00~14:30。
・ LUHO 布設に際し、C. S. Mercury に乗船した木下課長らの報告に関連して、吉田課長に次の点を指示。
1. 香港側ケーブルの保護のためのジェット埋設工事、バシー海峡部の布設に対する C. S. Recorder の支援の必要性等につき、次回 TSC までに社内の意見を固めておくこと。
2. OLU 区間の布設計画を 次回 TSC までに固めておくこと
3. これらの意思統一のため、技術部一建設部間の打合せを行なった後、海建部 - KCS の打合せを行ない、最終的に志村取締役の下で関係者間の打合せを開き、対処方針案を固めることを、推進すること。
・ NEC の招宴(泉華荘)。
- 17日 (金) ・ 午前：新宿アイクリニック。
・ 日中ケーブル当事者会議用資料の検討。
- 18日(土)~20日(月)
荅北出張
荅北海底線中継所 開所式(9月20日)。
- 21日 (火) ・ 日中ケーブル当事者会議対処方針案 資料の検討。
・ NTT 通研技術協力部主任研究員(一級)兵藤正男氏(元線路研究室)の告別式(杉並区和泉4丁目 文珠院)に白井調査役を同行し、参列。(13:00~)
・ NTT 通研 石川慶一調査役(情報特許部)来訪。
- 22日 (水) ・ 午前 日大歯科病院 (10:00~11:00)。
・ 志村取締役の室で、日中ケーブル当事者会議 対処方針の打合せ。
・ 日中ケーブル当事者会議における ケーブル完成の確認のための資料を、SPT へ送付の処理
・ OLU、端局の Handbook の作成について、その処理、スケジュール等を松本(一)、高井両君らと打合せ。
- 23日 (木) 秋分の日。
- 24日 (金) ・ 星歯科医院(11:00~12:00)
・ 日中ケーブル当事者会議の対処方針(案)を 28日(火)役員会にかけるため、技師

長に事前説明.

- ・KDD 社史の「海底ケーブル通信」の原稿 1 次案に関し、執筆打合せ(17:00~18:30)
(松田, 吉田, 永田, 石井)

- 25 日 (土) ・ 出社
・ KDD 社史原稿作成など.
- 27 日 (月) ・ 役員会資料(日中ケーブル当事者会議 対処方針)の副社長, 社長への事前説明.
・ 日中ケーブル当事者会の進め方について, 関部長と共に副社長へ説明.
・ OLUHO ケーブルの OLU 区間布設計画作成上の問題について.
建設部と打合せ. (15:00~16:30). (小林, 北村, 吉田)
- 28 日 (火) ・ 役員会に, 日中ケーブル当事者会議の対処方針(案)について伺い, 了承を得る.
<関, 尾畑, 亀田 説明>
・ 午後, 羽田空港にて, SPT 劉副局長以下 11 名の代表を出迎え.
KDD 副社長, 志村取締役, 海建本部 三部長 外.
・ 京王プラザホテルにて, 会議日程の予備打合せを行なう. (17:45~19:00)
SPT 許, 袁, 王通訳.
KDD 関, 亀田, 石谷, 吉田.
・ 夜 鶴岡日大教授より, 金門製作所の新規採用の予定につき調査依頼あり.
- 29 日 (水) ・ 日中ケーブル会議(第6回)始まる.
午前 全体会議(10:30~11:30)
・ 午後 より 技術部会を開始.
- 30 日 (木) ・ 日中ケーブル会議. 技術部会
- 10 月**
- 1 日 (金) 同上
- 2 日 (土) 同上
- 4 日 (月) 午前, 技術部会. 午後, 全体会議.
吉田課長に指示.
1. OLUHO TSC(6)の 課題の検討.
2. 大容量ケーブル方式の開発計画案の中で, 1.7" ケーブルの試作を行なうことの検討
*本問題は, OCC 宮川社長, 木村顧問から, NTT の試作と一緒に KDD も試作をしたら如何との話しに関連.
- 5 日(火)~7 日(木) SPT 劉副局長以下を 荅北中継所に案内.
- 8 日 (金) ・ 日中ケーブル会議
午前 技術部会
午後 全体会議にて, 合意文書の署名
・ NTT 通研 松浦室長より Tel. NK 間の技術情報協定の延伸について.
- 9 日 (土) 午前 技術・業務 合同部会.
予び品, 開通式の協議.

午後 京王プラザホテルにて、技術関係の残った問題(技術論文の発表の件等)を協議。
大島常ムより依頼の ISS 京都会合の関係資料を袁氏に渡し、交換関係者への伝達を依頼。

- 11日 体育の日のふりかえ休日。
(月) 7時に京王プラザホテルに行き、9時 JAL 発の SPT 一行の見送り
- 12日 吉田課長に、NK 合同委. 首席委員を始めとする KDD 側委員の変更処理手続きを進めるよう指示。
(火) 三井ビル 星齒科. (11:30~11:50).
KEC 松本部長に Tel : 25 年史原稿について
総企 池田部長に Tel.
① 技術開発の長計 18 号における計画について
② 海底ケーブル建設の要員、組織の再検討について
来週 再検討のこととする。
- 13日 新技術開発推進委員会(第 33 回) 13:30~18:00.
(水) 有竹委員長 欠席, 大島副委員長 代行.
長計 18 号技術開発計画(案)の審議。
- 14日 OLUHO OPS/FIN. SC. 及び 調整委員会 東京会合の 対処方針(案)作成 打合せ。
(木) 国際部 主催. 木村, 志村, 笹本 各役員 出席. 14:00~18:00.
- 15日 OLUHO TSC(6)マニラ会合における 要討議事項と準備資料について。
(金) 吉田, 石井両君と打合せ。
NK 合同委の KDD 側委員の変更, 技術情報協定の延伸について。
大島常務に 案を 説明, 了承を得る。
- 16日 木村顧問, 木下課長と GOLF .
(土)
- 18日 NK 合同委の KDD 側首席委員以下の変更および, 技術情報協定の継続につき, 有竹技師
(月) 長の了承を求める件, 小島秘書課長に協議。
秘書課より, 技師長に伝えてもらうこととする。
夜 日中ケーブル完成に関し, 三井物産 他 業者側より KDD, KCS 関係者を招宴。
OCC 齋脇氏より, 1. システムの講義依頼。
2. TPC-2 ケーブルデータの提供については, 鳴海常ムに KDD から話しをすれば, 可能。
- 19日 25 年史原稿作成を進める。
(火) 昼, 志村取締役の KCS 役員招宴に出席。
- 20日 秘書課 田中調査員より, NK 合同委委員, 技術情報協定の延伸について了承され, 委せる
(水) との意向を有竹技師長が示されたと 連絡あり. 直ちに, 委員変更通知の事案決定処理を
松田君に指示。
以上の件, NTT 渡辺幹事(通研・複合伝送研部長)に Tel し, 技術情報協定の延伸の協議
方法について相談したいと話す。
ATT Messrs. Nichols, Goebel, Pappert 等の 表敬の席に出席. (14:00~)
今後の海底線建設の要員数と作業量について検討のため, 日中, OLUHO における電氣的
布設, 機材の設計と検査の状況を, 永田, 松本(一)君にきく。

- 21 日 (木)
- ・KN 合同委員会 KDD 側首席委員以下の変更を NTT に通知する件、事案決定。
 - ・1.7" ケーブルについて、試作し、基礎検討するのを研究所で研究プロジェクトの中で行なうことにつき、中込所長と協議。
志村取締役から大島常ムにも話しをしてもらう、大島常ム了解されたとのことで、中込所長に伝えたが、大島常ムは中込所長には慎重に検討するよう指示されたとのこと。
 - ・NTT 通研渡辺伝送研部長より Tel.
技術情報協定の継続について、電通記念日のパーティの席で、KDD 首席委員から北原技師長に相談してほしいとのこと、一応、首席委員間で了解してもらった方が、事ム当局は動き易いとのこと。
また、両社間の文書交換は、満了までに、充分検討のうえ行ないたいとのこと。
 - ・以上の件、志村取締役にはかり、大島常ムにお願いすることとする。
- 22 日 (金)
- ・臨時役員会で、日中ケーブル会議報告を行なう。
 - ・前記技術情報協定の延長につき、北原技師長と話す件、志村取締役より大島常ムに話され、志村取締役より副社長、社長に了承を得て、大島、志村両役員が北原技師長と話しをすることとなる。
 - ・以上を NTT 渡辺部長に Tel.
 - ・郵政省電監室 飯島参事官、真鍋副参事官 来訪。
高松資材部長とともに、アルミケーブルの現場試験関係の受託契約について協議、以下のように合意。
 1. メーカーとの共同受託については、OCC のケーブル製造中の工程管理を KDD が行なうことで、コントロールなしの責任がないようにする。
 2. 将来の撤去については、必要が生じた時、双方で協議する旨の文を入れる。
- 23 日 (土)
- ・総企室 池田部長と要員問題の協議。
 - ・18 号長計への織り込み方について。
 - 1) ケーブルプロジェクト計画に併せて 要員数を算定する。
 - 2) 外注量とそれによる要員節減数を検討する。
 - 3) 外注により建設費等の経費面が受ける effect を検討する。
 - 4) 以上の点について、志村取締りに方針を伺い、方向ができれば、海建技の担当者と総企技計の担当者間で協議する。
 - ・電通記念日 NTT の旧在職者招待宴に出席。※(帝国ホテル。14:00～)
 - ※NK 合同委 NTT 幹事 渡辺・村上氏と技術情報協定の継続につき協議。
- 25 日 (月)
- ・日中間海底ケーブル 開通式。
 - 9:30 式場ホテルニューオータニへ行き、式場、被露宴会場、記念通話の試験状況を見廻る。
 - 10:55 福田郵政相 到着、式場へ案内
 - 11:00～11:45 開通式
 - 11:50 郵政相と被露宴会場へ案内
 - 12:15 郵政相退出、VIP ゲートへ案内、見送り。
 - 13:30 宴終了。
 - 13:50 ホテルより帰社。
 - ・要員問題。
志村取締役役に話し、会社の方針に沿い、少数精鋭で臨むこと。将来のプロジェクトに備え、システム開発を行なえるようにすること、を考慮するよう指示あり。
今後は、現在の 3/4 程度の勢力で可能と思われるとの意見を了承さる。
 - ・松田、吉田両君に経緯と方針を示し、18 号長計への要員案の算定を指示。
 - 1) 外注し得る作業を見積ること。
 - 2) 日中・OLUHO の実績を得た結果、簡易化し得る作業を見積ること。
 - 3) 外注の効果(建設費の面)を見積ること。

- 4) 開発作業を見積ること.
 - 5) 建設作業もルーチン化するように考えること.
 - 6) 案作成後, 総企室と協議し, 長計 18 号作成資料をまとめる.
 - 7) 現段階では, 外注について, 部外と討議することは妥当でないので, 保有する資料等で調査・検討し, 協議範囲を広げないこと.
- 26 日 (火)
- ・ OLUHO TSC(6)の対処方針 役員会資料の検討.
 - ・ KEC 技術図書について打合せ. (16:30~18:00)松田, 吉田, 永田, 松本(一), 杉本. 項目を整理し, 構成案を定める.
- 27 日 (水)
- ・ 志村取締役より指示.
 1. 技術情報協定(NK 間)の継続について, NTT 技師長は内部で検討させると云われたので, そのフォローアップをすること. (大島常務より).
 2. 日中ケーブル関係者の慰労について検討すること.
 3. 外部へ出すケーブル長等の数字は, 一貫性のあるものにする.
 - △ OLUHO OPS/FIN 合同 第 2 回会合 始まる. 29 日まで.
 - ・ OCC 鳴海常務に Tel. (10:00)
 1. 大河内賞関係資料の返却.
 2. TPC-2 用ケーブルのデータの一部提供の依頼.
10/29(金)に, OCC 斎脇, 寺西両氏が来訪するので, 以上の件を寺西氏に依頼することとする.
 - ・ 星歯科病院. 16:00~
 - ・ OLUHO OPS/FIN 会合出席者に対する木村常務招宴.
- 28 日 (木)
- ・ NTT 通研 渡辺部長に Tel. 技術情報協定の継続につき, NTT 側の意向を確かめたが, 確認できず, 村上技術局次長と相談するとのこと.
 - ・ 労組に対し, OLUHU ケーブルの説明: 松田他, 各課長より.
開通時の保守体制, 工事実施時の作業と要員等の詳細説明をさらに求められたとのこと.
 - ・ OLUHO TSC(6) 対処方針案 役員会資料 作成.
- 29 日 (金)
- ・ NTT 技術局 村上次長に Tel. 技術情報協定の継続につき, NTT 側の首脳部の意向は未確認とのこと. 確認後, 返事をもらうこととする.
 - ・ 日大歯科病院(11:00~): 入院の日取りを決める.
 - ・ 吉田課長と, 長計 18 号の要員算定資料につき協議.
 - ・ OCC 斎藤, 寺西 両氏 来訪. (15:00~).
BTL における, SG ケーブルのコスト低減化案の説明をきく.
 - ・ 総合企画会における長計 18 号のケーブルプロジェクト計画案の審議のなかででた問題(沖一本ケーブルと沖一合ケーブルの併行建設)の検討結果を志村取締りに報告.
- 30 日 (土)
- 出社.
- ・ 志村取締りに, 技術部副参事の定期管理表を提出.
 - ・ 前日 OCC より得た, SG ケーブルに関する情報を報告.
 - ・ ASEAN ケーブルの計画の動きについて, 話しあり.
- 11 月
- 1 日 (月)
- ・ OLUHO 調整委員会 始まる. 14:00~
 - ・ 要員問題について, 志村, 井上 両取締役, 職員部長と緊急協議.
51 年度技術系要員採用計画において, 海建本部要員削減を 24 名とする案に対し, 異議を唱え, 11 名減まで認めることとしたが, 社長の指示で, 15 名減, 29 名の要員数となる.(OLUHO 完成以降).
 - ・ OLUHO 会議 出席者の 副社長招宴. (新千代)

- 2日 (火) ・ OLUHO 調整委(5). 9:30~13:00.
16:30~18:00. 終了.
- 4日 (木) ・ 役員会に, OLH TSC-6 マニラ会合の対処方針を伺い, 了承さる.
・ 研究所 中井室長に. 1.7" ケーブルの経済化に関する BTL 案(OCC 提供)を説明.
- 5日 (金) ・ 18号長計作成のための海底線建設要員案について, 総企室 池田部長, 橋次長と協議.
(9:45~10:45.)
・ NTT 村上技術局次長に Tel.
11月6日~16日. マニラ出張のため不在の旨告げ, 帰国後, 技術情報協定の延長について話し合うこととする.
・ 社長へ, マニラ出張のあいさつ.
ASEAN ケーブル計画について, 情報を可能な限り得るよう指示あり.
・ 25年史原稿 脱稿.
KEC へ提出, コピー, 志村取締役へ提出.
- 6日 (土) ・ マニラ出張のため 羽田 Lv. 15:30.
- 8日(月)~12日(金) OLUHO TSC. 第6回会合 ETPI 会議室.
- 13日~15日 クリマオ・バギオ 視察. (腹痛のため, 不参加).
Mr. Powell より Convenor's Report 受領. 夜 ETPI を招宴(金ぶら).
- 16日 (火) 帰国.
- 17日 (水) ・ 志村取締に TSC(6)の Convenor's Report と Minutes を提出.
・ 社長に帰国報告.
・ ASEAN ケーブルについては.
1. CW の動きが ETPI に対し活発である.
2. ETPI は資金が問題のようである.
3. 地の利からみて, 日本方式の使用には, 布設・保守の点で不利がある.
・ 布設費をもっと安くするよう, 検討せよとの指示あり.
- 18日 (木) ・ 長計 18号の要員計画について, 総合企画会の審議結果を検討.
職員部との協議の段どりをつけるよう松田次長に指示.
状況を志村取締に報告.
・ OLU 区間の電氣的布設の要員配置について, 永田, 徳江 両君から, また, システム試験の要員配置について吉田君から, 各案の説明あり.
・ それぞれの課内で全員参加して進め方を協議検討すること.
・ 沖縄, KDD 丸, クリマオの各グループのチーフは, 一貫して責任を持って指揮に当ること. を指示.
・ 渡辺寧先生 昨 17 日夜死去されたと, 喜安夫人より連絡あり.
・ OCC 廻常務来訪: 1.7" ケーブルの勉強会を提案, また, ATT の spec. を見せてもらうことを依頼.
- 19日 (金) ・ 午前 日大歯科. 11:00~12:00.
・ 渡辺先生の密葬に参列: カトリック田園調布協会. 13:00~15:00.
新川さんに会う.

- シンガポールより帰国とのこと、何れ ASEAN についての情勢報告に KDD に見えるとのこと。
- ・志村取締役より。
永田君のシドニー駐在所長への転出の件、指示により永田君に話し、早急に返事をするよう求める。
- 20 日
(土)
- ・ 出社。
 - ・ 永田君より、シドニー事ム所長への転出を受ける旨、回答あり、志村取締に伝える。
- 22 日
(月)
- ・ OLUHU TSC(6) 役員会報告資料作成。
 - ・ 職員部長と長計 18 号の海底線建設要員計画について協議。
53 年度以降について、省力化に対し検討した資料の作成を海建本部側でつくり、なお、協議のこととする。
 - ・ ETPI Mr. Hinchcliffe 来日し、KDD へ来訪。
- 24 日
(水)
- ・ 午前、日大歯科病院。11:00~14:00。
志村取締役より、ASEAN ケーブルの比ーシンガポール間ケーブルに、日本方式の採用の可能性があるか否かについて検討すること、小林部長と共に指示を受ける。
 - ・ 労厚部主催、第 2TPC および OLUHO に関する沖縄での保守体勢について関係部長打合せ。(労厚、職員、回統、保全、海建)。15:30~17:30。
 - ・ 志村取締役より、永田君のシドニー駐在所長、徳江君の線路課長への発令内命の指示あり、11 月 29 日で発令の旨、内命する。
 - ・ 有竹技師長 本日未明 死去。
- 25 日
(木)
- ・ 松下技研 中野朝安氏に Tel。
 - ・ 有竹技師長死去につき、東北大同窓会東京支部への連絡。
 - ・ 役員会に、OLUHO TSC 第 6 回会合(マニラ)の報告。
- 26 日
(金)
- ・ 吉田課長を伴ない、NTT 技術局村上次長を訪問。横須賀通研 渡辺部長も同席。
NK 合同委の特許・技術情報協定の延長について協議。(9:30~11:00)
 - ・ 日大歯科病院により、午後 帰社。
 - ・ 故有竹常務の通夜、自宅を弔問。(18:00~19:00)。
- 27 日
(土)
- ・ 技術部レク 旅行。(箱根)。
歯通のため、不参加。
- 29 日
(月)
- ・ 日大歯科病医院に入院。12 月 9 日まで休暇。
- 12 月
- 10 日
(金)
- ・ 午後より出社。
 - ・ 副参事以上の身上調書を作成、担当役員に提出。
・ 不在中の業務の推渉状況につき、松田、吉田 両君より報告あり。
- 13 日
(月)
- ・ 午前、日大歯科病院。
 - ・ NEC 端局の訓練、回線復旧計画の打合せ等に来日中 ETPI Mr. Histed, Mr. Hinchcliffe, Mr. Shirt, Mr. Cabalu 他に対する志村取締役招宴。
- 14 日
(火)
- ・ 要員関係資料の改善を 松田次長に指示。
 - ・ 午後、渡辺寧先生の葬儀に参列。(目白、聖マリアンナ教会)

- 15 日 (水) ・ Mr. Histed の NEC 訪問に併せて、玉川工場で 端局、中継器を視察。
- 16 日 (木) ・ ETPI の Messrs. Histed, Hinchcliffe と共に、富士通小山工場にて、OLUHO 用給電装置、中継器を視察。
- 17 日 (金) ・ 電子通信学会誌 総合報告に、“日中間海底ケーブル”をのせる件につき、志村取締役から話しがあり、案を作成し、学会誌編集委員の井上データ通信部次長に、学会編集委員会への提案を依頼。
・ 日電泉華荘にて、ETPI, KDD の端局訓練生の終了式に参加、出席。(18:30～)。
- 18 日 (土) ・ 出社。
・ 学会発刊の“海底ケーブル通信方式”の素稿作成にとりかかる。
- 20 日 (月) ・ 志村取締役海建 3 部長で、ASEAN ケーブルの比-シンガポール間ケーブルに対する今後のとり組み方を協議。(10:30～11:30)。
・ 52 年度社長表彰の上申書を提出：技術部より 4 件。
・ KEC と打合せ(13:30～14:00)：松岡常務理事，谷山部長，小暮氏，亀田，吉田。
技術図書発行のためのスケジュールについて、原稿作成を 52 年 9 月まで延期をはかることとなる。
・ 職員部長と、海底線建設要員計画について協議。(14:00～15:30)
首脳部への説明資料の作成を進め、関係役員懇談を早急に行なうこととする。
・ 日中ケーブルの建設関係者に対する社長の慰労宴。(18:00～20:00)
- 21 日 (火) ・ 沖縄海底線中継所の保守体制に関し、関係部長間で打合せ。(9:30～11:30)。
職員，回統，保全，海建，技・建，労厚の各部。
・ NEC 斎藤部長(営業)と Tel 打合せ。
・ 比-シンガポールケーブルの進み方について、メーカー各社と打合せたい旨を伝える。
メーカー間で、一本化のための協議中なので、その協議が調い次第、KDD へ来訪すること。
・ NK 合同委員会の幹事及び関係者間で、技術情報・特許の協定の延長について打合せ。
(16:00～18:00)：あと，懇談。(三井ビル，中国宮殿)。
・ NEC 大城，田畑 両氏，志村取締役のところへ来訪(14:00～15:30)。
シンガポールで 12 月 15, 16 日に開かれた，ETPI, TAS の比-シンガポールケーブル建設に関する会議への出席模様の報告あり。
- 22 日 (水) ・ NK 方式分科会(第 24 回)。14:00～17:00。横須賀通研にて。
・ 帰路，逗子整形外科病院にて石井君を見舞い
- 23 日 (木) ・ 午前，日大歯科病院
・ 海底線建設要員について，省力化の分析を松田，吉田 両君と行なう。(14:00～17:00)
・ 夜，担当役員による海外協力室，海建本部 副参事以上の管理者との招宴。
- 24 日 (金) ・ OCC 斎脇氏来訪(9:30～10:00)
OLU 区間用ケーブルの製造が完了したこと，徳江課長がシステムの説明を行なったこと等について報告と謝意。
・ A1 ケーブルの開発会議推進連絡会に 志村取締役役と共に委員として出席(14:00～15:00)
・ 池田総企技計部長と長計 18 号の関係について懇談 (16:00～17:00)
- 25 日 (土) 通研 森永氏より，CBC の引き継ぎ打合せにつき Tel.

26日 (特記事項なし)
(日)

27日 (月)
・通研 森永, 安田 両氏 来訪 : CBC 幹事引継ぎ. (12:30~13:40).
・星齒科医. (15:00~16:00)
・要員問題につき, 松田, 吉田 両君と, 検討.

28日 (火)
・ASEAN Cable の一環としての, 比-シンガポールケーブルに対する日本式の tender を出す件について, NEC, FUJITSU, OCC, 三井の各社と協議. (14:00~16:00)

29日 (水)
・整理
仕事納め.

昭和 52 年(1977 年)

1 月

- 4 日 (火) ・ 仕事始め.
- 5 日 (水) ・ 研究所との会合, 技小委(6) Convenor's Report の Comment 等につき 吉田課長に指示.
- 6 日 (木) ・ 海建本部の要員計画に対する方針案作成を進める.
・ NEC 田畑氏 来訪.
- 7 日 (金) ・ 部長会(10:00~11:30).
・ 日中ケーブル建設の映画(岩波製作)の試写をみる(14:00~14:40).
・ 比ーシンガポールケーブルのシステム検討のための打合せ.(15:00~16:30).
建設部から, ルート, スラック, 埋設等に関する意見をきき, システム設計のための基本条件を固める.
・ 星齒科.(17:00~17:30)
- 10 日 (月) ・ OLUHO TSC(6) Convenor's Report に対する 調整委代表の Comment 作成, 発信.
・ 主任以上に対する招宴.(両国. かりや)
- 11 日 (火) ・ 研究所で, ケーブル関係の協力要請, 開発, 技術図書執筆 等について協議.(10:00~11:45).
・ 中込所長らと, 故有竹技師長の七七忌法要に参列, 府中安養寺.
- 12 日 (水) ・ 比ーシンガポールケーブル計画の打合せ., ケーブル船の問題 等.(14:00~16:00).
N, F, OCC, 三井 の関係者, KDD:海建, 担当役員, 部長 出席.
・ 技術部 有シ研, 計測研 合同 新年会.
- 13 日 (木) ・ 星齒科.
・ 海建要員資料の作成について, 松田君と協議.
- 14 日 (金) ・ 部長会なし.
・ 志村役より, 大島技師長から VENUS 計画に対する ケーブル伝送路についてきかれたとのこと.
群帯域の伝送に対し, pilot の問題, delay, 位相ジッタ, 瞬断 等の問題の有無.
TPC-2 では, 沖縄~宮崎間に NTT のケーブル伝送路が完成すれば, 以上の問題は小さくなると思うが, 調査は必要との意見を述べる.
・ Bridge Party:研究所にて.
- 17 日 (月) ・ 沖縄中継所の保守体制について, 関係役員, 部長間打合せ.(10:00~11:00)
回統部主催, 志村, 笹本, 井上, 各取締役. 亀田, 小林, 西田, 河井, 松本, 中井 各部長.
・ Philippine-Singapore Cable(PSC)のシステム構成の打合せ(14:00~16:00)
N 田畑, 他. F 奥村 他. O 寺西 他. KDD 亀田, 吉田, 徳江, 石井.
- 18 日 (火) ・ 富士通 磯部, 池田, 北村(営業)氏 来訪.
KDD 丸で埋設し, 深海部は大形船(ex. C. S. Venture)で布設するとした場合の布設ヒ見積り結果の報告.
・ NET 金子局長より Tel, 小野田君の授彰を祝うことについて.
・ 星齒科医院.

- 19日 (水) ・海建本部の要員につき打合せ。(松田, 吉田). 13:30~16:00.
・道下氏と会食。(研 和田室長同席). つなよし.
- 20日 (木) ・武蔵野通研における研究討論会に出席。(9:30~12:00). 午前のみ.
- 21日 (金) ・アルミケーブルの現場試験に伴なう覚えがき案について, 鶴岡常務, 大島技師長に説明.
- 22日 (土) ・出社.
・午後, CBC, 新年パーティ
- 24日 (月) ・電子通信学誌総合報告に「日中間海底ケーブル」を掲載することにつき, 編集委員 若本氏 (NTT 技術局 交換担当調査役)より TeI, あり. 2月始めまでに, 目次案を送付するよう要望あり.
・アルミケーブルの現場試験に伴なう覚えがき案について副社長に説明.
・北欧ケーブルの関係政府(西独, スェーデン, ノルウェー, デンマーク)の関係者の来日を迎え, 富士通, 伊藤忠, OCC が催したパーティに招かれ出席(ホテルオークラ)
- 25日 (火) ・アルミケーブルの現場試験に伴なう覚えがき案 を社長に説明.
社長より, TPC-1 に障害を起した時, 他が責を負うべきものまで KDD が負担することのないよう, 予め明確にしておくよう指示あり.
・志村取締役より, 海外駐在についての意向をきかれる.
- 26日 (水) ・青柳君の海外留学希望先に対するすいせん状の依頼を同君より受け, 永田君に依頼.
・創業記念日における社外功労者の表彰すいせん上申を作成提出.
(日中ケーブル関係として, 製造業者, 商社, および塚本氏をすいせん).
・総企 里見次長より, ASEAN ケーブルにおける KDD 丸等の布設費の概略と KDD 丸の Availability について, 郵政が資料を欲しているので, これを作成するよう依頼あり, 吉田, 石井君に指示.
- 27日 (木) ・星齒科. 9:30~10:00.
・資材部長と, アルミケーブルの現場試験に伴なう覚えがきの件で協議.
覚えがきの方向がでるまで, 委託契約の社内処理を待ちたいとの事.
・OLUHO の開通式を7月初めにしたいとの CW の意向に関し, 布設工事, 試験の日程から可能かどうかを, 志村取締役の下で協議検討, 工事が順調に行けば可能であるが, 日程上余裕を見る必要のあるところから, 7月下旬~8月上旬にしたいとの結論となる.
- 28日 (金) ・総企室より依頼の ASEAN ケーブル布設関係の資料を作成し, 提供.
・永田シドニー事ム所長, 徳江課長, 江幡補佐らと昼食 懇談.
・52年度設備計画を労組へ説明.(16:00~16:20)
- 29日 (土) 休み. 道下氏, 中込研究所長らとゴルフ.
- 31日 (月) ・資材部長, 吉田課長と共に, 郵政省 飯島参事官を訪問.
アルミケーブルの現場試験に関する覚えがきについて協議(12:00~13:30)
・Philippine-Singapore Cable の打合せ.(14:30~16:00)
N, F, OCC, 三井の各社, と KDD 志村, 関, 小林, 亀田, 猪股で, 布設船, システム構成, 円クレジット等につき協議.

2月

- 1日 (火)
- ・電子通信学会，総合報告「日中間海底ケーブル」の目次構成等の案を，若本編集委員(NTT 技術局 交換部門調査役)に送付.
 - ・アルミケーブル現場試験に関する覚えがき について，郵政省と協議した結果を社長，技師長，志村取締役へ報告，了承を得.
 - ・TPCに障害を与える事態が起きてから，紛争を生じないように，充分事前に協議しておくよう，社長，技師長から指示あり.
 - ・NK 合同委の開催について，書記レベルで，話し合い，NTT 側は3月18日(金)を望んでいるので，技師長，志村取締役とも都合よき模様.
 - ・志村取締役より，ASEAN PSC の会合で，Tender の evaluation を行なうための準備をしておくよう指示あり.
- 2日 (水)
- ・国際通信の研究特集号「日中間海底ケーブルの建設」まえがき 脱稿.
 - ・永田君，シドニー事務所長として赴任のため羽田出発.
- 3日 (木)
- ・大島技師長に，NK 合同委の首席委員となることので了承を得.
 - ・NTT 長田施設局長 理事就任のあいさつに 来訪.
 - ・志村取締役より，PSC の Tender 評価のため，OCC ケーブルの cost の把握を検討方指示あり，資材部松村課長に，技術課長と協議のうえ，約1週間で検討方依頼.
 - ・星齒科. (12:00~13:30)
- 4日 (金)
- ・アルミケーブル現場試験に伴う覚えがきの了解事項案について吉田課長と討議.
 - ・学会より執筆依頼の図書「海底ケーブル通信」の原稿作成を進める.
- 5日 (土)
- ・出社
 - ・NTT 鈴木(欽也)調査役より Tel. 気象庁，気象研 山川室長より，地震観測用のケーブル系のアースについて KDD に教えてほしいとのこと，7日(月)に来訪を了承.
- 7日 (月)
- ・気象庁，気象研究所より，山川室長 他 来訪. (13:30~15:00). 地震観測のための測定系を御前崎沖合に布設する際の接地のとり方について KDD の意見を求めに来たので，木下課長と応待.
 - ・Phil-Singapore ケーブルの入札書審査における問題点について，マニラでの会合出席予定者間で打合せ(14:00~16:00) [志村，亀田，塚田，吉田，松村，石井.]
 - ・NEC 田畑氏 来訪，学会図書執筆について打合せ. 技術設計と製造との調整
- 8日 (火)
- ・NEC 斎藤営業部長に Tel. ASEAN PSC の入札書について，ETPI/TAS よりガイドラインの詳細を知らせるよう依頼.
- 9日 (水)
- ・NEC より，ETPI/TAS 作成の入札書に関するガイドラインの詳細を入手.
 - ・A1 ケーブルの布設工事実施に伴ない覚えがきの議事録確認文書案の作成.
- 10日 (木)
- ・雪.
 - ・里見次長(総企室)より，ASEAN PSC ケーブルに関するマニラ会合の対処方針案について，Tender の評価審査関係を海建で作成するよう依頼あり，了承. 吉田，塚田 両課長に案作成(15日まで)を指示.
 - ・研究所 佐藤(正紀)君 来訪：中継器回路に関する原稿案の作成を依頼.

- 12日 ・ 出社。
(土) ・ 学会図書原稿作成を進める。
- 14日 ・ CTME のデモンストレーションを視察。 4F。 11:00～12:00。
(月) ・ NTT 総裁, 副総裁就任祝い(東京会館) 18:00～。
- 15日 ・ 研究所 新納君 来訪。(9:30～11:00)
(火) 海底ケーブル方式の伝送方式設計の伝送目標について討議。
・ 星齒科 11:30～15:00。
・ OLUHO TSC-7 出席についての事案決定。
- 16日 ・ ASEAN PSC マニラ会合の対処方針案の打合せ。(15:30～17:00)
(水) 大島, 鶴岡, 木村, 志村の各役員, 福地, 尾畑, 亀田, 里見, 塚田の各部関係者出席。
・ 小野田元氏 の 紫綬褒章受章祝。(六本木ろ山)18:00～21:00。
- 17日 ・ 特記事項なし。
(木)
- 18日 ・ ASEAN PSC に対する proposal について, メーカーと打合せ(14:00～15:20)
(金) KDD 志村取締役以下 関係者, メーカー, N, F, , O, 三井。
三井が Main Contractor としてとりまとめる。
契約条件, 技術内容等について, メーカー側と質疑。
・ 技術打合せ会。(15:30～17:30)。 技師長, 技術系役員, 関係部長。
沖縄中継所の保守体制について
継続審議となる。
- 19日 ・ 出社。
(土) ・ 学会図書原稿 執筆を進める。
- 21日 ・ 吉田, 石井, 徳江君らと, PSC Tender の Check
(月) ・ 星齒科医院。 16:30～。
- 22日 ・ ASEAN PSC マニラ会合の対処方針案について, 役員会審議。
(火) 福地部長と共に出席, 了承を得。
・ 上記マニラ会合出席の資材部 松村課長 と打合せ。
・ 技術打合せ。(技師長, 技術役員。)。 15:00～17:00。
沖縄中継所 保守体制について, 役員会にかける資料の検討。
・ OLUHO の電氣的布設のための KDD 丸乗船者の激励, 会食。(九州亭)。
- 23日 ・ PSC, マニラ会合 出席者の打合せ。(10:00～12:00)
(水) 志村取締役 他。
・ 星齒科。 12:30～13:30
・ 研究所 鍛冶副所長, 中井室長と打合せ。(14:00～15:00)
NK 合同委員会の準備について, とくに特許情報協定の延長について社内処理をはかるよう依頼。
・ HK 方式分科会(15:00～17:00)。 於 KDD。
- 24日 ・ OLUHO TSC7 香港会合の対処方針案 役員会審議, 了承。
(木) ・ ASEAN PSC の評価に関し, マニラ会合用資料 準備を吉田, 石井, 松村 各氏に指示。
・ NTT 村上技術局次長より Tel。
NK 合同委の開催, 議題等について打合せる。

- ・ 笹本取締役、沖縄保守体制と、OLUHO 保守要領の関連につき説明。
保守部長より、沖縄保守体制に関し、社長の意向が伝えられる。
 - ・ 沖縄 出張 17:00 羽田発
- 25 日 (金)
- ・ 沖縄。
通信事務所、中継所を訪問。
関係者とハーバービューホテルにて招宴。
- 26 日 (土)
- ・ 帰社。
 - ・ 吉田、石井、松村君らから、PSC マニラ会合の準備状況をきく。
マニラで開催中の OPS/FIN 会合で回線関係の討議が終ったので、TSC 香港会合に討議をもちこす要なしとのこと。
- 28 日 (月)
- ・ 上記に関し、回統部 柴田課長の香港出張の是非につき、織間次長、笹本取締役と協議、保守の問題もあるので、出席してもらうこととする。
 - ・ マニラ出張の準備。
社長、技師長、古橋常ム、KCS にあいさつ。
- 3 月**
- 1 日 (火)
- マニラへ向け 出発。
- 2 日
- 3 日
- 4 日
- 5 日
- 6 日 (日)
- ・ タガイ・タイ、モンテンルパ、マニラ湾の夕日、等の観光。
 - ・ マニラより香港へ向う。
- 7 日(月)～10 日(木) OLUHO 技小委。
- 11 日 (金)
- ・ 香港側陸揚局、ヴィクトリアピークマイクロ中継所 視察。
夜、Tram Car Tour。
- 12 日 (土)
- ・ Mr. Powell の Lunch の招待。
 - ・ 夜、Lee Garden Hotel 岡半にて、Messrs. Chan, Tam を招待。
- 13 日 (日)
- 帰国
- 14 日 (月)
- ・ 志村取締役役に帰国報告。
 - ・ 技小委の役員会報告作成について出席者と打合せ。
 - ・ 笹本取締役役へ TSC における保守関係の協議状況を報告。
- 15 日 (火)
- ・ 星齒科へ 11:30～12:30。
 - ・ 研究所 鍛冶副所長 来訪。
N/K 海底ケーブル合同委員会 について、大島技師長へ資料を説明。
 - ・ 志村取締役より、マレーシア・シンガポールへの出張に関し、資料の準備を頼まれる。
 - ・ 金門製作所 斎藤(二郎)氏 来訪。
 - ・ 河井 保全部長：沖縄 保守体制の件で協議にくる。

- 16日 (水) ・ TSC(7)における保守関係の協議状況を、関係役員、部長 外の関係者に報告。(14:00～17:00)併せて、労組への説明について協議さる。また、今後の取組み方を協議。
- 17日 (木) ・ 役員会への技小委会合報告の作成を進める。
 ・ NTT 村上技術局次長を訪問。(16:30～17:00)
 海底ケーブル合同委員会の会合進行について打合せ。
 ・ 成城学園 同窓会：東京会館。18:00～20:00。
- 18日 (金) ・ 志村取締役より。
 Phil-Sin ケーブルの入札書に対する質問が三井にあり、埋設関係については、KDD の協力が必要なので、23日～27日に行なわれる tender の negotiation に KDD 職員の参加も考えたいとのこと。
 NEC 田畑氏に Tel. 要請があれば、専門家(猪股 Or 杉本)を派遣の用意ある旨を伝える。
 ・ 技小委(7)会合の役員会資料を作成。
 ・ 海底同軸ケーブル中継方式 第7回合同委員会。16:00～18:00。パレスホテル。
 懇親パーティ席上で、徳江課長より、第2次布設乗船者の健康診断状況について報告あり。
- 19日 (土) ・ 羽田へ、志村取締役を見送り。(3/19～3/26 マレーシア、シンガポール)
- 20日 (日) ・ 技小委(7)の役員会報告資料に別紙4が未添付であることに気付き、吉田課長に Tel し、処理を命じる。
 ・ 伝送同門会ゴルフコンペ、浦和。
- 21日 (月) ・ 春分の日。
 ・ NEC 田畑氏宅に Tel, シンガポールにおける Phil-Sin ケーブルの Tender に対する技術的ネゴシエーションについて。
 ・ 田畑氏より NTT で開発中の 200MHz 方式について、国際性がうすく、国内での需要も少ないので、製造投資上問題ありとのこと。140MHz なら、陸上 60M 方式の技術の拡張で、投資は少なくてすむので、好ましいとのこと。
- 22日 (火) ・ 技小委(7)の役員会報告：時間がなく、次回廻しとなる。
 ・ 夜、竹中君の米国への長期出張に対する送別会。
- 23日 (水) ・ 労組超勤拒否に入り、OLUHO ケーブルのケーブル積込み、布石時の沖縄における終日作業に及ぼす影響と、対策を徳江課長と協議
 ・ 星齒科。医院
- 24日 (木) ・ 役員会に、第7回技術小委員会、香港会合の報告。
 保守要領、とくに、無人時間帯の設定について、質疑あり。
 ・ 沖縄中継所の保守体制と、OLUHO への労組協力との関連が、未解決のため、KDD 丸の第2次布設への出航が危ぶまれてくる。
 ・ 早朝、TPC-1 にレベル低下が生じたとの情報あり。
- 25日 (金) ・ 社外功労者(機器製造関係者等)に対する感謝状贈呈の席に参列。
 (富士通、日電、OCC、古河電工、沖電気、須田製作所、KCS。)
 ・ タムラ電気 三浦宏康氏より、国際テレックスの加入について Tel.
 知り合いの貿易会社が早くテレックスを設置したいので、促進が図れないかとの依頼。
 3月16日に申込んで、5月中旬になるとのこと。
 機器施設部 石川次長(中内課長)を通じ、調査依頼、NTT からの伝送路借りを4月

- 20日にまとめてするので、普通なら5月中旬になるとのこと。→ 三浦氏に伝える。
- ・NTT 副島氏より Tel.
特許等の協定の更新に伴う、運用規呈の検討の依頼。
特許の通知期間が“6ヶ月を目途”は長すぎるとの意見がNTT内(山内開発部長)にあるとのこと。
研究所 鍛冶副所長に伝え、検討依頼。
 - ・労組へ沖縄保守体制の回答：当面有人2名、合計15名の線を会社側より出す、組合より、4月以降のOLUHO工事 OKとの回答でる。

添付資料：報告事項(52.3.19～3.26)

志村取締役殿

52.3.28
(海)技術部長 亀田

1. OLUHO ケーブル技術小委員会第7回会合(3.7～3.10 香港)の討議状況と結果ならびに香港側陸揚局の視察状況について役員会に報告を行なった。(3月24日)。
2. 上記会合について調整委員会代表へ提出された Convenor's Report に対し、CW 代表の Mr. Davies から別添のコメントが送付された。
3. 3月24日午前5時50分、TPC-1の二宮—グワム間にレベル低下(0.8～1dB)が生じ、全中継器に異常のないことは確認されたが、その後もレベル低下のままの状態であるとの通報を、保全部より受けた。原因は目下のところ不明であるが、回線に影響を及ぼしていないので、レベル調整を行ない、以後の推移を見守るとのことである。
4. OLUHO 開通後の沖縄海底線中継所の保守体制について、会社から労組に対し、当面2名輪番による有人保守とし、夜間無人化の検討をその間に進めるとの意向を示した。労組はこれを了として、OLUHO の建設工事に協力することとなったので、KDD 丸は2次敷設に向け、予定通り3月27日午後3時、横浜から出航した。

- 26日 (土) ・ 出社。
・ 執務月報。51.12月～52.2月をかく。
・ 夜、羽田空港に、志村取締役 帰国 出迎え。
- 27日 (日) ・ OLUHO ケーブル OLU 区間の第2次布設工事のため、出航のKDD丸を見送り、15:00 横浜。
- 28日 (月) ・ 志村取締役、3/19～3/26の主要事項報告。
・ 井上取締役、労厚部に、KDD丸出航までの対労組接衝について謝意を表す。
・ 研 鍛冶副所長 来訪。
NK間の「特許等の協定」の延長更新の事案決定に関する協議を行なう。
・ 徳江、細谷両君に、1.7" ケーブルの検討について指示。
- 29日 (火) ・ 学会依頼の技術図書原稿作成を進める。
- 30日 (水) ・ 星齒科
・ 総企室 技術調査 橋次長より、陸揚局の要員調査について問い合わせ、NTTの局について、技術局 鈴木欽也調査役を紹介。

- 31日 (木) ・ “KDD 丸, 朝 7:00 2次布設の始端に到着” の連絡入る.
・ 学会の技術図書原稿作成を進める.
- 4月
- 1日 (金) ・ 創業記念日. 帝国ホテルにて式典.
・ 30年勤続表彰.
- 2日 (土) ・ 出社し, KDD 丸の OLU 区間 2次布設が順調に進んでいることをきく.
・ 午後, 赤坂東京ホテル.
- 3日(日)~4日(月)
・ 30年勤続慰労旅行(伊香保).
- 5日 (火) ・ 日韓ケーブルに関する建設の基本計画の資料作成方につき, 総企室より依頼さる.
・ ITT World Com. の社長夫妻 他の来日に伴う, ITT 側の招宴に出席. (American Club. 18:30~20:00).
- 6日 (水) ・ 日韓ケーブルの建設基本計画資料について関係者と打合せ. (11:00~12:00)
技術課長, 海洋課・施設課補佐.
- 7日 (木) ・ 日韓ケーブルの建設基本計画資料を作成し, 韓国側の予算資料とするため, 総企室へ提出.
・ 新納君と, 伝送系の基礎的な問題について討議.
- 8日 (金) ・ CW Mr. Archer, Mr. Morson KDD 丸から下船し, ロンドンへ帰る途中で KDD に来訪.
志村取締役の昼食接待に同席.
・ 新技術開発推進委員会(第34回)に出席. (13:30~18:00).
- 9日 (土) ・ 出社.
・ 学会図書の原稿作成を進める.
- 11日 (月) ・ 日韓専門家会合報告. (10:00~11:30)総企, 総合計画, 技術計画より(52.3.22~3.29).
第2通信幹線として, ケーブルを建設することで, 意見の一致をみた.
・ 陸揚局保守体制の調査報告. (13:30~). 吉田課長に出席指示. (総企室, 技術調査担当)
・ RFP 方式制定の打合せ(資料部主催 13:30~)松田次長に出席指示.
・ 総企 渡辺副参事 来訪, 協議. (15:30~16:30).
「大容量海底ケーブル方式」の開発のための, 調査研究グループの設置について.
- 12日 (火) ・ 夕刻より電話局 短時間ストライキ.
・ 社長表彰を受けた, (海)技, 有シ研の被表彰者の謝礼パーティ. 32F.
- 13日 (水) ・ 衛星通信調査室 磯村副参事 来訪.
マリサット海事衛星の開通式における記念通信を5月12日に KDD 丸と式典会場(都内ホテル)を結んで行ないたいが, OLUHO の工事との関係上どうなるか.
その時期は, 第4次布設の loading に当るので, KDD 丸を港湾外に出すことは問題があるが, 式典実施にはできるだけ協力したい旨 回答.
・ 志村取締役より.
△住友商事を通じ, インドネシアから, 将来のインドネシア・シンガポールケーブルの参考とするため, ケーブル技術(陸揚げ点, システム, 布設等)を知りたい旨の意向があった. これに対応できるか.
△5月末までに OLU 布設工事が終るが, それまでは派遣困難, 6月以降なら可能であり,

2名程度でよいと思う。出張時間は5日～7日、この際協力は惜しむべきでない、と返答。

- NEC 田畑氏 来訪。
 - 機構改正で、海底中継システム開発本部が設置され、その本部長に任ぜられたとあいさつに来る。

- 14日 (木)
 - 労組 9:00より、本社(経理, 営業), 東報, 大話, 沖縄中継所で ストライキに入る。
 - 塚田業務課長と、日韓ケーブルの首脳者レベル会議における Memorandum or Understanding について協議。
 - 出張拒否指令が組合より出て、OLU 布設に対する対策を、徳江課長と協議。
 - 社長室渉外担当課長より、衆院通信委員長以下10名の通信委員が4/23～4/25に沖縄を視察する予定であるが、その折、4/25(月)に沖縄海底線中継所へ立寄るかもしれないとの話しあり。
 - 上部へ諮って応待の仕方を決めるが、海建本部から説明に人を派遣するよう依頼するかもしれないとのこと。OLUの布設中であり、そちらにも関心をもたれるとすれば、海建本部から説明の要ありとのコメントを出す。

- 15日 (金)
 - 部長会に出席。
 - 衆院通信委員会の沖縄視察に当り、沖縄海底線中継所は視察先から除外されたと社長室渉外担当から連絡あり。
 - 出張拒否により、組合員のKDD丸乗船、沖縄派遣が不能の状態となったので、管理者でカバーするための対策を路線課長、建設部次長と協議。
 - 国際部長に、同部川角調査役のKDD丸への乗船応援を懇請。

- 16日 (土)
 - ストライキ対策協議のため出社。

- 18日 (月)
 - 海建本部ストライキの指令がでて、8:50より無期限ストに入る。対策協議(技・建, 次課長)
 - KDD丸 横浜出田町ふ頭出港の見送り。13時出港し、OLU第3次布設に向う。
 - NTT石井氏(電子通信学会編集委員)より、総合報告「日中間海底ケーブル」及び解説「埋設工法」の執筆の件につき、電話あり。
 - 宇和野氏来訪

- 19日 (火)
 - 新川さんより Tel.
 - タイの運輸通信省、郵電局(Post & Telegraph Dept.)の幹部から、バンコクシンガポールケーブルについて、国内PRをしたいが、来る5月17日のITU記念日の機会に新聞等でキャンペーンをすることを考えている。ケーブル関係の資料が欲しい、との話しがあった。ケーブル関係の歴史、技術的メリット(衛星通信との比較)などを記したものが、KDDにないか。
 - 探してみる旨を答えたが、海協室 高呂次長より追いかけて Tel. あり、新川さんから資料について頼まれたとのこと、協議し、高呂次長から新川さんに返事することとなる。
 - 塚田審議担当課長より。
 - 電監室 沢田次長、日高、飯島参事官らが、22日(金)研究所を訪問するが、そのあとの日高氏との懇談について相談を受ける。
 - 建設部 次課長、保全三課長 とストライキ妥結後の事ム処理等を協議。

- 20日 (水)
 - 11時、ストライキ中止となる。
 - KDD丸乗員について、組合へ乗船者を通知し、組合の了承後 必要な処置をとる件について、海建、保三、労厚で連絡をとり、無用のトラブルをさけるよう進めることとする。

- NTT 技術局 石井氏(学会編集委員)より Tel.
埋設工法の解説は、NTT 側は鈴木(欽)調査役を執筆者としたいので、KDD 側の木下海洋課長に、鈴木氏と連絡をとり、執筆案を石井委員に提出するよう、伝えてほしいとのこと。了承し、木下課長に伝える。
- 21 日 (木)
 - 陸揚局の保守体制に関する各国の状況調査報告について、竹内技術調査担当部長より志村取締に説明あり、同席(10:00~11:00)
 - 郵政所へ提出の新海底同軸ケーブルの開発報告書(現場試験関係 51 年度分)について、吉田、白井 両君と案を検討。
- 22 日 (金)
 - 松本(一)、矢口 両君から、来週クリマオで行なう 担当者間打合せのスケジュール、打合せ事項について、説明あり、了承(9:20~10:00)
 - 部長会に出席。(10:00~11:15)。
 - KDD 労組、争議体制を解く、争議対策本部 解散。(10 時。)
- 23 日 (土)
 - 休み
午前、社に寄り、KDD 丸の状況をきく。
- 25 日 (月)
 - 明 4 月 26 日の参院通信委に KDD が参考人として喚問されているので、その質問に対する答弁資料作成。
 - 業務部 管理者の上記資料作成に対する慰労 夜食。
- 26 日 (火)
 - KDD 丸よりの連絡によれば、R85-R86 で漁具(「はえ縄」がルート上にあり、これを排除(ブイ 4 個切断)したとのこと。
補償等の問題でトラブル発生のないよう、ETPI に連絡するため、Mr. Histed に Tel したが、Singapore 出張中のため、contact できず、明日テレックスで、状況と 4 次布設の際の事前措置の依頼(漁船への通知等)を打電することとする。
- 27 日 (水)
 - OLU 第 4 次布設の際 KDD 丸に CW の Mr. J. Powell が乗船する意向を有するか否かを問い合わせるため、案内状を TLX する。
 - ETPI への TLX(漁具排除の件)を作成。
 - 志村取締より、バーレーン-カタール海底ケーブルの consulting に関する調査のため中近東へ 5 月上旬に行くことになったので、資料を準備したいとのこと。
- 28 日 (木)
 - 日韓ケーブルに関する MOC/KDD 間会議(5 月 23 日~)の準備打合せ。(10:00~12:30)
総企室主催、海建 3 部との打合せ。
 - 志村取締の指示による、中近東ケーブル コンサルティングの資料の準備を進めるケーブル概要の英訳を 末永氏に 庶務を通じ 依頼。
- 29 日 (金)
 - 天皇誕生日。
- 30 日 (土)
 - 出社
 - NEC 田畑氏より Tel.
リビアのトリポリ-ベンガジ間(約 370nm)ケーブルに、36M 方式を入札に出したい、布設に KDD 丸の使用が可能かどうか-1979 年中旬(6 月~8 月)
なお、リビアは VT 伝送を希望しているので、日本方式は極めて有力である。船は、英、仏、NTT にも当たったが、難しそうである。
 - 遠隔地であること、時期的に他のケーブル計画もありそうなこと、太平洋域の保守に対し KDD 丸のウェイトが大きくなっていくこと、から難しいと思うが、KCS 小林部長にも意見を聞いてみたらどうか、と回答。

5月

- 2日 (月)
- ・中近東 アラブ-カタール-バーレン間ケーブル コンサルティング資料の準備.
 - ・海底ケーブル通信の英訳文(末永氏による)の検討.
 - ・システム長とシステム建設単価の関係—業務部 今井氏に依頼.
 - ・システム規模と経済性の検討. —細谷君に検討指示.
 - ・技術部 副参事の51年度下期管理記録を担当役員に提出.
- 4日 (水)
- ・松本(一夫), 矢口両君から, クリマオ局での担当者打合会議の報告. (10:30~11:30).
 - ・ジュネーブ事務所へ駐在の件につき, 志村取締役より意向を問われる.
- 6日 (金)
- ・志村取締役より.
 - Philippine-Singapore ケーブルの入札はSTCに落ちた旨の情報が, 三井よりあったとのこと. 5月下旬か6月上旬にETPI/TASが会議を招集するようだが, KDDは如何なる態度で臨むか, 提出されたTenderをみせるよう要求するか. 投資について, IRUの取得ですませるか, 後のことを考えて, 投資参加すべきか.
 - ・中近東ケーブルコンサルティング資料の作成了, 志村取締りに提出.
 - ・日韓ケーブルのルートにつき, 直江津へのルートも比較検討すべきであるとの志村取締りの意向により, 業務部と共同で作業することとなる.
- 7日 (土)
- ・出社.
 - ・志村取締役, 中東へ出発.
- 9日 (月)
- ・日韓ケーブル.
 - ①浜田ルート, 直江津ルートの建設費比較検討を石井君に指示.
 - ②日韓ケーブル会議の対処方針案の検討打合せ. (総企 主催) 16:30~18:40
- 10日 (火)
- ・日韓ケーブルの浜田ルートに対する埋設の可否につき, 建設部 関係者と協議 (10:00~10:40)
 - ・総企室より, 5月下旬開催予定の日韓ケーブル会議は, 韓国側の都合で6月下旬に延期となろう旨, 連絡あり.
 - ・衆院逓信委における質疑答弁用資料準備のため, 待機(~20:30)
- 11日 (水)
- ・国会衆院逓信委, 延期となる.
- 12日 (木)
- ・マリサット衛星による通信開始記念行事に接待役として参列.
 - ホテルオークラ, 16:00~19:00.
 - 横浜山下ふ頭でのKDD丸と会場間の記念通話が行なわれる.
- 13日 (金)
- ・クリマオ出張の, 松本(一), 嶋谷, 矢口, 関根君らと会食.
 - ・研究所 管理課 山口社員へ, 学術会議の選挙有権者資格のことで連絡.
- 14日 (土)
- ・KDD丸 OLUHO 第4次布設へ横浜出港(15:00)
 - 新山下ふ頭へ見送りに行く.
- 16日 (月)
- ・学会図書原稿作成を進める.
- 17日 (火)
- ・KEC 図書の原稿執筆について, 松田, 吉田, 徳江君らと打合せ. (17:30~19:00)
 - ・星齒科.

- ・参院通信委における質疑答弁資料作成のため待機。
海建本部 関係質問なし。
- 18日 (水)
 - ・KDD 丸が OLU 布設工事終了後、沖縄にて乗船者慰労パーティを KDD 主催で催す件につき、KCS 森社長に了解を求める。
- 19日 (木)
 - ・学会図書原稿の作成を進める。
- 20日 (金)
 - ・中東出張より帰国の志村取締役を羽田に出迎え。11:00, 安着。
 - ・新海底同軸ケーブル方式 開発会議・推進連絡会 合同会合。14:00~16:30, 於 郵政省。大島技師長とともに出席。
 - ・CBC 定例に出席。
- 21日 (土)
 - ・出社
学会図書の原稿をかく。
- 23日 (月)
 - ・日台ケーブルに関し、総企室の要請で緊急打合せ 11:00~12:00 関, 阿部, 亀田出席。外務省の意向で、KDD の方で調査或いは、台湾との交渉を進め、実績を作り上げてゆくことが望ましいとのことで、海洋調査の実施見込み、建設の所要期間、建設システムの規模等を固め、台湾側と会合をもち、基本的合意に達するよう進めることを考えている、とのこと。
その線で本日午後郵政省と協議するとのこと。
海洋調査の早期実施について、KDD 丸しか Available な船はなさそうであるが、7 月以降なら可能であろうと回答。
 - ・山田 KDD 労組委員長母堂死去、告別式に参列後、故原田氏の一周忌に回向。(13:00~15:30)。
- 24日 (火)
 - ・研究所 中井室長と KEC 図書原稿作成の打合せ。10:00~11:00。
 - ・星齒科 (15:00~16:30)。
- 25日 (水)
 - ・柴田, 小林, 細谷 君と会食。
 - ・アブダビ・カタール・バーレン ケーブルの consulting について打合せ。(14:00~15:30) 志村取締役, 阿部, 吉田, 猪股, 石井。
consulting に対する Invitation が来た時、回答できるように準備を進めることとなる。取まとめは海外協力室で行なうこと、(海)業務部も参加する必要のあること、必要とあれば、専門要員を海協室に移してもよいことなどの意見を述べる。
 - ・海建本部の要員と組織について 志村取締りに建言。
 - ・日台・日韓等のプロジェクトを建設するための要員。
 - ・組織に対する検討。
 - ・削減要員の異動先
 - ・3 類から副参事へ昇格の適格者リスト。
 について、案を提出することとなる。
- 26日 (木)
 - ・沖縄 出張。
13:35 発 全日空 85 便で沖縄へ。
16:20 那覇着。
ホテルで check in 後、中継所へ向う。
最終接続のため、沖縄側ケーブルを回収中、ケーブルにすり傷が生じた模様でその修復を行なうとの状況を見た後ホテルへ戻る。

最終接続のため、クリマオ側ケーブルを回収時に、引揚げ用のスコープケーブルを切断し、ケーブルを海中に逸したため、27日早朝より、これを探線するとの報が、徳江課長より入る。(24:00).

- 27日 (金) ・中継所へ。
探線箇所. について、KDD 丸への指示を検討し、志村取締役の了承を得て、指示。
・13:00より探線開始。
・夕刻ナハへ戻り、技術課・線路課の連中と食事。
- 28日 (土) ・中継所にて、最終接続状況を見る。
・夕刻、一旦ナハに戻り、沖縄へ着いた 石谷課長と会い 慰労パーティの打合せ。
・再び、中継所へ戻り、最終接続、最終投入まで状況を見る。
29日 01時21分 Final Splice 終了。
02時12分 最終投入。
02時25分 ケーブル系に異常無きを確認し、KDD 丸 離脱。
・中継所にて、簡単に、工事終了を祝い、ホテルへ帰る。(03:30)。
- 29日 (日) ・午前中 ホテルで休養。
・午後、中継所長、中川調査役と、ゴルフ。
- 30日 (月) ・午前：沖縄通信事務所へあいさつに寄る。
午後：中継所にて、システム試験状況を見る。
- 31日 (火) ・那覇 安謝新港にて、入港のKDD丸出迎え。10:00～
・ホテル エッカにて、KDD丸乗船者の慰労パーティを主催。18:00～20:00。
- 6月
- 1日 (水) 帰着。
- 3日 (金) ・CW Messrs. Stone, Borton KDD丸より下船し、ロンドンへ帰る前に来訪。
昼食接待。(天一)。
・部長会出席。
・日台ケーブルに関する打合せ。(13:30～16:00)
総企室主催。福地参与、近藤課長、武藤補佐。
海建 亀田、塚田、木下、高橋(敏)。
法務室、武南。
・KDD/CGRA間の了解覚書に関し、打合せ。
- 4日 (土) ・日台ケーブルの状況につき、志村取締りに報告。
- 6日 (月) ・三井物産、水野、中西 両氏 来訪(9:30～10:10)
ケーブル情勢と、メーカーの体制について。
・定期健康診断。
・日台ケーブルに関し、建設費の算定、台湾側陸揚局の建設に対する要求条件等の資料の準備を石井君に指示。
- 7日 (火) ・星齒科。

- 8日 (水) ・学会図書執筆に関する打合せ。(14:30~18:00)
志村, 樽松, 鈴木(欽也), 田畑, 木下, 江副, 松田.
- 9日 (木) ・クリマオ局の OLU 区間用 PFE の点検について, 阿部, 高橋君と協議.
ETPI からの申し入れによるメーカー要員の派遣等につき, どのように同意するかを検討.
・海協室より, 衛星関係の研修に来日中のカタール技術者に, 海底ケーブル関係の講義方の依頼あり, 柴田調査役を指名し, これに当らせる.
- 10日 (金) ・クリマオへ出張の 京極, 高井両君の激励, 昼食.(住友ビル.)
・日台間ケーブルの建設に関する打合せ.(15:30~17:00). 総企室 主催.
鶴岡, 木村, 志村の各役員, 総企, 国際, 法務, 海建の各室部長, 出席.
・KDD 東北大 同窓会.
- 11日 (土) ・学会図書の原稿作成を進める.
- 13日 (月) ・研究所 佐藤(正紀)君に学会図書, 中継器回路の原稿作成を依頼.
- 14日 (火) ・日台ケーブルの建設費の見直し, 総企室, (海)業務部 関係者と打合せ.
- 15日 (水) ・星齒科.
・午後より 出社.
- 16日 (木) ・ガルフケーブル(アブダビ-カタール-バーレン)のコンサルティングの新聞記事に関連し,
コンサルティング費用の検討のため, パラグワイ等の協力状況の調査を松田君に指示.
・住友電工より 来訪. 通信事業部 通信機器技術課 佐藤氏ほか.
ソ連への CS-5M 方式の輸出に伴ない, 埋設用嚮導装置の KDD 特許について, 製造のため,
いかなる実施条件にするか.
KDD 特許部門と話し合ってもらふこととする.
・以前に, 住友電工自身が許諾を得て製造使用したときは, 使用距離に応じた実施料
を払った. 今回は, 製造し, NEC へ納入する形となるので, どうなるか
- 17日 (金) ・OCC 滝鼻, 玉置 両氏, 志村取締役を来訪.(10:00~11:00)
52年度大河内賞のすいせんを依頼.
OLUHO における 1.5" ケーブル製造をテーマにし, OCC 側で草案をつくり, KDD と協議
することとなった.
・富士通 奥村氏 来訪.(16:00)
CS-5M 中継器の利得上昇について, 線路課と検討中とのこと.
- 20日 (土) ・学会図書打合せ.(14:00~16:30).
執筆者間で, スケジュール, 章間の調整等を打合わせる.
・NEC 田畑氏と懇談
1. システム, 等の開発ヒについて.
・NTT は, メーカーのシステム輸出を承認したとき, とくにそのための開発費・技術費
はとらない, ただし, 特許料, ソフトウェアの費用はとる.
・NTT 通研では, 開発費は損益なので, とく別の回収方法はない.
・メーカーでも, 製品価額の何%が開発費か, 明確でない.
・ベルのように, BTL が成果を WE に買い取らせているときは, WE が製品に開発ヒを
含ませられる.

2. Rep. の 製造期間

材料部品の仕み, 高信頼化に 5.3 ヶ月を要し, 組立以降は台数に比例するので, n 台
つくるには, 製造期間 = 5.3 ヶ月 + $n/12 \times 20$ 日

- 21 日 (火) ・日台ケーブルの方式容量の検討: CS-5M か CS-12M か.
・ NEC 北爪氏 来訪.
- 22 日 (水) ・ OLU ケーブル 4 次布設の最後の段階で起きた trouble について, 社長の耳に入り, 状況の報告をつくることになったとのこと.
・ KCS 社長の招宴(ひる. 京王プラザホテル).
上記の件, 専ら話題となる.
- 23 日 (木) ・ 星齒科. 10:00~
・ 日台ケーブルの方式容量の検討, CS-5M と CS-12M について.
経済面, 技術面から検討: 関部長, 今井補佐, 吉田課長らと協議.
- 24 日 (金) ・ 保全部長より Tel.
アラスカケーブル障害発生(21 日)し, KDD 丸の availability について ATT より問い合わせがあったとのこと.
日台ケーブル, 東西マレーシアケーブルの海洋調査が予定に上っているが, 確定して
いるわけではない状態を説明.
太平洋の保守が優先であろうということになる.
- 25 日 (土) ・ 週休: 学会図書原稿作成を進める.
- 27 日 (月) ・ 日台ケーブル計画に関する打合せ. 10:00~12:00. 13:30~17:00.
福地参事が訪話し, ケーブル建設に関する了解覚書について意見交換してきた模様の報告あり, 各条項について, 関係者間で討議. (総企, 国際, 海建, 法務.)
・ NEC 田畑氏, 東西マレーシアケーブルの技術調査に関し, 説明に来訪したが, 会えず.
・ 志村取締役より, 社長の意向で, 小生が KCS 役員になることがあるかも知れぬとの話あり.
- 28 日 (火) ・ 研究所 有シ研 佐藤君 来訪.
学会図書, 中継器回路の原稿案持参.
・ 日台ケーブル, 関係役員, 部長 打合せ. (15:00~16:30)
大島技師長, 鶴岡常務, 木村常務, 志村取締役.
福地参与, 国際部, 法務室, 資材部, (海)各部, 関係者, 社長室長.
・ 方式: CS-5M とすること.
・ 完成期日: 1978 年(53 年)末を目標にすること.
・ 機材調達を急ぐため, メーカーに接触すること.
等が決まる.
・ 宇和野君 来訪.
- 29 日 (火) ・ 日台ケーブル, 機材調達について打合せ. (10:00~12:00)
資材部 高松, 松村.
海建 関, 塚田, 亀田, 吉田.
・ 資材部としては, 競争入札が原則となるものと考えて. とのこと.
・ 志村常務取締役より, N, F, 個別に日台ケーブルについてメーカーの意向打診に同席.
N: 斎藤(文)部長
F: 新川顧問, 関川, 山口.
1. 極秘扱いにすること.

2. 台湾側とメーカーが接触している状況.
3. 製造所要期間と、初動の条件.
4. 協力体制.
 - ・ KDD 株主総会.

- 30 日
(木)
- ・ 日台ケーブルの機材調達を早期に進める件について、関係役員打合せ
 - ・ 鶴岡副社長，古橋常ム，志村常ム，福地取締役。
関，亀田，松村。
 - ・ 志村常務より，メーカーとの意見交換の模様を説明。
 - ・ N を Main にし，N，F，OCC で協力体制をとらせる。
 - ・ 直ちにメーカーが製造に入るよう，進める。
 - ・ 発注促進のため，台湾との技術打合せを早急に行なう。
 - ・ 以上につき，鶴岡副社長，福地取締役より社長に説明，了承を得る。
技術専門家派遣についても，志村常務より説明，了承を得る
 - ・ 調達のための社内処理は，文書を直ちにつくり，持ち回り役員会で処理。
社長室 総務課が事務処理をする。
 - ・ 文書作成について，資材部，総企とある打合せ。
もともになる，計画の推進についての決定文書を総企でつくり，それを受けて発注，技術専門家の派遣の文書処理を進めることとする。
 - ・ 志村常務より，台湾との技術事項協議に，行くように指示あり
木下，吉田を同行させることとする。

7 月

- 1 日
(金)
- ・ 部長会.
 - ・ 富士通 磯部，日電 衣笠の両氏，東西マレーシアケーブルの技術調査の報告に来る。(松田君，建設部関係者にきいてもらう)
 - ・ 日-台ケーブル了解覚書案について，郵政省との打合せ結果を審議のため，関係部間打合せ。(14:00~)
 - ・ (福地取締役，国際部，法務室，総企技計，資材部，経理部，海建各部。)
- 2 日
(土)
- ・ 日-台ケーブルの技術打合せに関する連絡について，総企室(武藤補佐)に，台湾側へ伝えるよう依頼。
 1. 会議開催期日：出張手続，ビザの取得に1週間かかるとみて，11日以降となりそうである。台湾側の都合はどうか。
 2. 連絡方法：技術的事項についての連絡は，どこへすればよいか。
point or contact.
- 4 日
(月)
- ・ 訪台中の福地取締役より関部長に Tel あり。
 1. ケーブル完成期日。1979年初頭を 1978年末と改められぬか。
台湾側は，78年末を強く希望。
 2. ルートサーベイに，台湾から5名の参加が可能か。
 - ・ 志村常務のところで協議。
 1. は，困難であるが，検討して回答
 2. は，KDD丸に余裕はあるが，台湾 People の乗船に外交上，手続き上などから問題がないか，検討のうえ回答。
 - ・ CW. Mr. Davies から志村常務に Tel。
OLUHO の last Coordination Committee を 8 月 30 日(月)，香港で開きたいがどうか。
(技術としては，保守用物品の追加手配の問題あり)
 - ・ 富士通 新川，関川，山口，三村，各氏，志村取締役のところへ来訪。(11:00~)
日台ケーブル用機材の製造期間，分担等につき，協議。
 - ・ 東西マレーシアケーブルの feasibility 調査に松田，江幡両君を派遣することとし，指示。

- 5日 (火) ・ 沖縄－台湾ケーブル、の機材発注見積りのための仕様説明(14:00～16:00)(資材部主催)
 1. N, F, OCC 各社に、概略仕様と数量を説明。
 2. N がとりまとめるよう指示。
 3. 各社の分担の原則を示す。
 4. 希望納期を示す。
 5. 以上により、7月12日までに見積書の提出を依頼。
- 6日 (水) ・ 台湾における技術基本事項の打合せ会合の対処方針案を作成。
 ・ 台湾より帰国の福地取締役より、台湾側が技術打合せの早急開催を望んでいるとのことで、対処方針は、事案決定処理としたい旨、志村取締役より、社長の了承を得ることとする。
 ・ 台湾出張の手続きを進める。
 ・ 星齒科。
- 7日 (木) ・ 富士通 三村、関川、奥村、各氏 来訪。
 ・ 沖－台ケーブルのN, F 間機材分担について、F より説明を求められる。
 ・ 端局については、切り方はいくつもあり、不可能ということはないが、製造中の作業の難易、製品の品質、製造期間、保守について問題が全くないことが前提である。
 ・ 中継器、等化器を多くとることで了解してほしい。
 ・ 次のプロジェクト(日韓、沖縄－本 等)について、考慮はあろうが、責任を持って、約束するわけには行かない。
 ・ 沖－台ケーブルの建設に伴う子会社の設立等について、労組へ説明。(16:10～16:30)
 ・ 会社側。社長室労厚部長、海建(亀田、関、阿部)、(労厚部主管)
 総企近藤課長。
 ・ 夜、OCC 招宴(32F)
- 8日 (金) ・ 沖－台ケーブル、技術事項打合せ会合の対処方針の事案決定処理を進める。
 ・ 富士通 三村氏より Tel。
 N, F 間で、沖縄－台間ケーブルの機材製造分担について話し合いがまとまったので、11日(月)に、了解を求めに来るとのこと。
 新川さんからも、よろしくとのTel, あり。
 ・ 三井ビルクリニックにて、コレラの予防注射を打つ。(1回目)。
 ・ 沖－台ケーブル技術打合せ会合の準備打合せ(亀田、木下、吉田)。16:00～17:00。
 ・ 沖縄中継所の保守要員増のため、海建本部より組合員を出す件。小林(達)、または三原両君の何れかを、本人の希望に沿う配転なら了承してもよい旨、松田君より職員部へ回答させる。
- 9日 (木) ・ 日本電気 田畑氏の来訪を求め、台湾におけるケーブル陸揚点の状況をきく。
- 11日 (月) ・ 学会図書打合せ 9:30～11:40 30F KCS 会議室。
 志村常務、樽松、鈴木(欽)、江副、木下、松田。
 ・ 大島、鶴岡両副社長、板野社長に台湾出張のあいさつ。
 ・ 夜、志村常務による鈴木(宙)建設部長の歓迎宴に出席。
- 12日－台北 出張、吉田、木下 両君を同伴。
 (火)
- 13日(水)～15日(金) 沖縄－台湾ケーブルの技術事項打合せ。
- 16日 ・ CGRA 孫氏の案内で花蓮へ行く。

(土)

17日 (日) ・ 帰国

18日 (月) ・ 志村常務，福地取締役へ帰国報告．台湾側の準備状況説明．
 ・ 役員会へ報告する資料の作成を進める．

19日 (火) ・ 日大鶴岡教授より，金門製作所へ学生就職の依頼．
 ・ 筑紫氏より Tel.
 ・ 海底線建設委員会(15:00～17:00)
 日韓ケーブルの会議対処方針の審議．
 ・ 臨時部長会．(18:30～19:30)
 本社組織変更について，社長室より説明あり
 海建本部は，3部6課より2部4課となる．

20日 (水) ・ 日韓ケーブル会議 に対する 関係部間 打合せ(10:00～13:00)
 福地取締役，国際部，資材部，総企，海建 各部．
 ・ 対処方針(案)．
 ・ 会議資料．
 ・ 会議の進め方 etc.
 ・ OCC 玉置，齋脇両氏来訪．(13:00～13:40)
 52年度大河内賞に対するすいせん依頼について．
 草案を持参したので検討することとし，8月上旬 KDD/OCC 間で打合せることとする．
 ・ 星齒科(15:00～16:30)
 ・ 本社組織変更について，海建本部 副参事以上に説明．(9:30～10:00)．
 ・ 海建本部の改組に伴う，分課分掌について，各課長と打合せ，技術関係については，
 線路課の所掌の分割に対し，検討方向を指示．
 ・ 横浜みなと祭りの花火大会，KCSの招待で KDD 丸船上で見物．(19:00～21:00)

21日 (木) ・ 台北における沖一台湾ケーブル技術打合せ会合の報告を役員会で行なう予定のところ，
 社長指示で単に役員配布でよいこととなる．
 ・ 沖一台湾ケーブル技術打合せ会合の様子を，関係各部に説明のため打合会を主宰．
 (13:30～15:00)総企，資材，経理，(海)業務・建設．
 ・ 社長より，日本アジア海底ケーブル(株)の取締役・工務部長の内命を受ける．
 KDDの現職と兼務でよいとのこと．
 ・ 社長室監理課長より NASC の創立総会，取締役会を7月25日に行なうとの連絡を受ける．
 ・ NASC への出向の内示，木下，石谷，今井君らにでる．

22日 (金) ・ NEC 田畑氏 来訪．
 学会図書原稿，(中継器の製造の項)を受けとる．
 沖一台湾ケーブル技術打合せ会合の様子を話す．
 ・ 部長会．
 ・ NASC の設立に関し，郵政省が認可(7月21日)した旨の新聞発表，各紙にでる．
 ・ 安藤電気 鈴木営業部長 来訪．
 ・ 本社機構改革に伴う，海建本部の所掌について，課長レベルの打合せがあり，その際に
 要員の話がでたとの報告を吉田君より受ける．
 直ちに要員について検討し，志村常務に報告．

23日 (土) ・ 出社．
 ・ 総企 近藤課長より，中国外務省より北京の大使館に，沖繩一台湾ケーブルに反対の意向が

示された旨、日本外務省に連絡あり。急據外務省、郵政相、KDD(福地取締役、鶴岡副社長)で打合せとのこと。

- ・深夜、福地取締役より Tel.
沖一ケーブルについて、外務省より、中国との問題が出たので、子会社の発足を延期するよう要請あり、についてはKDD丸による海洋調査も一時延期の運びとするかどうか相談あり、そのような情勢で、行動を起すのは不適當であろうとの意見を述べる。日曜日に、諸対策について関係者間で協議したいとのこと。

- 24日 14:00 榎本秘書役より Tel あり、会社へでる。
(日) 福地取締役、社長室長、広報室長、総企近藤、社長室高瀬監理課長、広報佐脇課長らと、NASCの創立総会延期に関する問題、海洋調査延期に伴う措置、台湾側への通知など話し合う。
・上記の件、志村取締役へ Tel 報告。
- 25日 (月)
・沖一ケーブル海洋調査の延期の措置をとるよう建設部と協議し、福地取締役から子会社設立の遅延により、了解覚えがき署名のためのNASC関係者の訪台は29日の予定より遅れる旨、台湾側に通知後、措置することとする。
・午後、福治取締役が台湾へ連絡をされたのを確認後、CGRAのMr. Yangへ国際電話し、海洋調査のためのKDD丸出航は遅れるので、29日に予定していた台湾からの参加者6名の訪日を待ってもらおうよう伝える。(14:45～)
- 26日 (火)
・日韓間ケーブル会議始まる。(10:00～)。
夜、般若苑にて、韓国体表団の副社長招宴。
- 27日(水)～28日(木) ・日韓間ケーブル会議。
・志村常務より、第2TPCの計画当時の議事録、文書の取揃え、および、ASEANケーブルの現状と、円借かん対象等の資料を求められ、石井君に作成依頼。
- 29日 (金)
・日韓間ケーブルの海洋調査を10月に行ない、また陸揚地調査を早急に開始するため、了解覚書に類する基本取極を韓国との間に取交さないでこれらの実施を進める件につき、関係役員、部長間で打合せ。(11:00～12:00)
木村常ム、福地取締役、尾畑、関、亀田、鈴木、池田 各部長、近藤課長。
・ミニッツの審議(16:00～18:30)
・福地取締役主催のパーティ。(32F)
- 30日 (土) 休み
- 8月**
- 1日 (月)
・海建本部の組織替えに伴う、要員編成について、常務、建設部長と協議。
後、職員部へ案を提示。
・星齒科。
・徳江、江幡両君と電氣的布設原稿について討議。
- 2日 (火)
・技術部主任以上を集め、ケーブル計画の現状、組織変更などについて話す。(10:30～12:00)
・総企、近藤課長より、日韓ケーブルの海洋調査、陸揚地選定について、社内的にどう進めるかの協議あり。
総企室が、関係部門に呼びかけて進めるよう advice。
- 3日 (水)
・志村常務より、ケーブル関係の開発問題について、社長～大島副社長間の話しとして、ケーブルシステムの経済化に関する検討を早急に進めるよう、社長の指示があったとのこと。

- そのほかに、埋設修理工法、布設方法についても早急に検討を行なう体制をとるよう副社長から話しがあったとのこと。
- 上記に関し、将来のケーブル方式の開発調査を進めている総企室渡辺副参事と懇談。また、これに参加している吉田課長と討議。
 - 線路課 小林達郎君の東回統への転出に対する送別会。
- 4日
(木)
- 日本アジア海底ケーブル(株)(NASC)の設立総会を来る8月8日(月)に開くことになった旨、社長室監理課長よりTel連絡あり。
 - 作業開始を見合せていた沖一台間の海洋調査計画と、東西マレーシア、および日韓間の海洋調査計画との全体スケジュールを建設部に検討してもらう。
 - 福地取締役、NASC発足後、海洋調査、機材仲達等は、実施に移してよいか否かを質したところ、実行面は暫らく待つとのことの方針とのこと。
 - その対応策について、明日、関係役員、部長間で協議したいとのこと。
 - 以上の状況を志村常務宅にTel報告し、また建設部長にTel連絡。
 - 富士通 関川、山口、奥村、三村氏ら 来訪。
 - 日韓ケーブルの製造については、F社をmainにしてほしいとのこと。
 - まだ計画段階で、建設が定まったわけではなく、日韓間の合意が成立してからの問題であると回答。
 - この機会に、システムの経済化の問題について意見を交換。
- 5日
(金)
- 沖一台ケーブルの今後の進め方について、の打合せ。
両副社長、志村、古橋 両常ム、福地取締役、高松、関、亀田、鈴木 各部長
 - 機材調達は 一時中止。
 - 海洋調査は 8月の実施は見送る。11月に可能となれば実施。
 - 台湾 Mr, Yan への TLX 案 検討。
- 8日
(月)
- 日本アジア海底ケーブル(株)。(NASC)創立総会。10:00～。
取締役役に選任さる。
取締役会。
大島、鶴岡副社長 他役員にあいさつ、廻り。
増田社長、福地監査役と訪台の人選協議。
- 9日
(火)
- 増田社長の訪台手続 打合せ。
 - 板野 KDD 社長、古池会長に、増田 NASC 社長に随い、あいさつ。
 - 星齒科。
 - NASC 出向職員の発令。
- 10日
(水)
- ケーブルシステムの経済化について打合せ。(9:30～11:00)
研究所 鍛冶副所長、中井室長、吉田、徳江、松田。
 - NASC 職員の発令。
 - NASC 全員に対し、KDD 総企室より、NASC 設立の経緯、目下の懸案事項の処理状況など説明
 - 吉田、石井 両君と懇談
- 11日
(木)
- 本社組織改正に伴なう、人事異動発令(社長室関係)
 - 海建本部 技術部長より 海建本部 海底線部長となる。
 - KEC 木村理事長、KCS 役員に、NASC 役員に就任と併せてあいさつ。
 - OCC 玉置、斎脇、成川氏 来訪。(14:00～16:00)
大河内賞のすいせん文書に関し、打合せ。
 - NASC 増田社長に、7月に台湾と打合せた技術会合の様子を説明。
併せ、東西マレーシア計画の海洋調査に、木下君を KDD 要請により参加させることにつき、

- 社長の了解を得る。
- ・職員部人事(16日付)の内示。
 - ・尾畑部長より、OLUHO 調査委員会(第7回)について、協議あり、技術小委の状況を説明。
- 12日(金)
- ・日韓ケーブル陸揚調査候補地について打合せ。(11:00~12:00)
 - ・志村常ム、海建本部関係者。
 - ・訪台準備。台湾への土産品、等。
 - ・OLUHO 調査委における技小委の報告に関し、石井君に指示。
 1. 対処方針に技術関係の状況を入れること。
 2. Mr. Powellに残った問題(Maintenance 関係)の取扱いに関し、どうするかの telex.
 - ・日韓ケーブルの陸揚地選定調査につき、福地取締に意向打診。山口県を無視できないことの感触を得る。
- 13日(土)
- ・コレラ予防注射。(副都心クリニック)。
 - ・志村常務に、日韓ケーブル、陸揚候補地の選定調査に際しての山口県の扱いに関し、意見具申、山口県海岸が不適であるか否か、実地に確かめる必要ありとのこととなる。

なお、海底線部への改組により、線路課がなくなったことに対する、労組等の疑問もあるとの話あり、職員が discourage しないように仕事を考えることとする。
- 14日(日)~17日(水)
- ・台湾出張。(NASC 役員として、増田社長に随行)。
- 17日
- ・帰着。
- 18日(木)
- ・10時 出社。
 - ・鶴岡副社長より、招集がかかり、総企室、資材部長、国際部長、広報室 佐脇君ら集る。昨日、郵政省監理官らと話し合った結果、沖一ケーブルの機材調達、海洋調査等の作業を開始してもよからうということになった旨、副社長より話があり、今後のスケジュールについて、資材部長と協議することとする。
 - ・安藤電気 岡村社長 来訪。
 - ・松田、猪股、杉本君らに、海底線部の仕事の配分に対する考え方を説明。
 - ・増田社長に随行し、KDD 板野社長、古池会長に帰着のあいさつ。
 - ・資材部と、沖一ケーブルの機材調達について協議。
 - ・大島副社長に台湾より帰着のあいさつ。
- 19日(金)
- ・OCC(玉置、斎脇氏ら)と大河内賞のすいせん文書について協議。(9:30~10:30)。
 - ・NASC 今井、木下課長らと今後のスケジュールを協議。(15:00~16:10)。
 - ・志村常務に台湾より帰着のあいさつと報告。(14:00~14:50)
 - ・星齒科(16:20~17:30)。
 - ・松田、江幡君より、OLUHO のパイロット・レベル変動の調査報告を受ける。
- 22日(月)
- ・学会図書打合せ。(9:30~13:00)。
 - ・沖縄~台湾ケーブル、機材調達について資材部の考え方を質すこと、および TPC-3 の lead time について検討することを、猪股、石井両君に指示
 - ・NTT 鈴木(欽)君に、OCC に対する大河内賞のすいせんについて、NTT に話しておくことの協議：OCC 玉置氏より鈴木君に話すようにする。
 - ・海底線部打合せ。(16:20~16:40)。
部員全員に対し、今後の仕事とその進め方を話す。
 - ・東北大 佐藤研 長沢氏より Tel。
佐藤教授が学術会議に立候補するので、よろしくとのこと。

- 研究所 横井次長に Tel し、支援を依頼。
 - ・ 8/28～9/1 の香港出張に関し、JTB 来訪。

- 23 日 (火)
 - ・ 石川 保全部長に、OLUHO ケーブルの保守要領の作成について協議。作成完了までは spare plant の協議も含め、CW, ETPI との接衝は海建本部で扱いかい、一般保守は保全部で処理することとする。
 - ・ 沖一ヶケーブルの建設スケジュール作成について、技術課長と協議。
 - ・ 日韓ケーブルの陸揚地調査計画の事案決定処理を進め、海建本部より松田、杉本、松本(誠)を出すこととする。
 - ・ 上記について、志村常務に説明。常務より、板野社長へ話をされ、山口県海岸は岩が多いが、よく調査してくる旨説明したとのこと

- 24 日 (水)
 - ・ 学会図書原稿読み合せ。(9:30～12:00) 第7章、第8章について。江副、木下、鈴木(欽)、松田。
 - ・ 海底線部管理者と、仕事の担務について打合せ。(14:20～15:00)

- 25 日 (木)
 - ・ シドニー事務所より Tel, あり。村松君の予定、10月中旬後に後任の原田君が着任するので、村松君の帰国は10月下旬になる見込みとのこと。
 - ・ 午後 郵政省電監室訪問
総企近藤課長、国際部林協約課長、(NASC 役員として)NASC 今井課長。
郵政省側、米沢、白井参事官、小林、阿部副参事官 ほか
 - ・ NASC/KDD 間の基本協定、建設に関する今後のスケジュール等を説明。KDD の受託について会社法に基づく業務として郵政は認可の必要があるとの意向を示し、KCS に委託の可否(能否)について検討を望まれる。

- 26 日 (金)
 - ・ OLUHO 開通式
接待役として、式典、祝賀パーティに参加。
パーティ会場で、福地取締役と、沖一ヶケーブル、日一韓ケーブルについて話し合う。
また、会社への帰途、尾畑理事と、太平洋ケーブルに関する研究会について話し合う。
 - ・ NHK の申込みにより、OLUHO ケーブル開通に因み、ケーブル通信をトピックとして、電話対談の形でラジオ放送にのせたいので、出てほしいと広報室より依頼。
午後4時より、会社で、約17分、アナウンサーとの電話対談の形で放送。(午後のロータリー)。
 1. OLUHO ケーブルの建設スケジュール、工費、概要。
 2. ケーブル通信のしくみ。
 3. 衛星通信との関係。
 4. 日本からのケーブル。
 5. 故障対策、修理法。
など。
 - ・ 夜、OLUHO 開通式参加の外国賓客の社長招宴に陪席。(般若宴)

- 27 日 (土)
 - ・ 香港出張の準備。
第1回～第6回調整委員会の活動状況を要約。
 - ・ 総企 近藤課長 来訪。
沖一ヶケーブルに関する、郵政側の要望事項の処理について。
 - ・ KCS への委託は不能かつ不可。
 - ・ KDD が受託することを、認可の対象とすれば、それが公になって、KDD が表面へ出ることをさけているのと矛盾しないか。
 - ・ KDD は海建本部が総括にならざるを得まいが、台湾との接衝には、NASC が表に立つべ

きである。

- ・郵政への有線法8条の許可申請には、NASCが建設・保守の責任をもち、通信回線の運用はKDDがこれをIRUで取得して行なう、建設・保守に関し、KDDは委託を受ける、ことを骨子とし、細目は内部の問題として扱おう。
- ・日・韓ケーブルについて、
 - ・韓国がケーブル建設を本当に急いでいるのか、疑問がある。
 - ・山陰地方の陸揚地選定も、時間を要するかも知れない。
 - ・韓国が急がなければ、海洋調査は来年へ延ばしてもよいのではないか。

28日 (日) ・OLUHO調整委員会第7回会合へ出席のため、香港へ出張。

30日～31日 ・Excelsior Hotelにて、会合

9月

1日 (木) ・午前中、Mr. Chanの案内で、New Territory見物。
14:50 JL062で東京へ帰着

2日 (金) ・部長会。(10:00～12:00)
・猪股技術課長より、新太平洋ケーブル計画に関する研究会(8月31日)の様態をきく。
・埋設修理工法開発打合せ会に出席。(13:30～16:30)

3日 (土) ・学会図書執筆打合せ。(10:00～13:00)。江副、鈴木、田畑、樽松、の各氏。
・技術課のレク旅行(山梨県、石和温泉)に参加。

5日 (月) ・OLU区間の微小レベル変動の調査検討状況につき、江幡調査役から報告を受ける。
保全部と協議して、状況報告を役員レベルにあげるよう指示。
・上記について、志村常務に説明。

6日 (火) ・毎日工業技術賞：KDD, N, F, 古河, KCS, 須田で日中ケーブルを対象としてすいせん書を提出する件について、志村常務に説明。
・富士通 関川部長にTel。
クリマオのPFE障害と、OLUのレベル変動の調査について。
・志村常務より。
9/22～9/24 社長、鶴岡副社長が、園田官房長官を案内し荅北中継所を視察される。
海建本部より3～5名部課長を派遣できるか。
沖～台ケーブル会議があるが、松田、杉本あたりを出すようにしてもよい。
(建設部は、鈴木、阿部、徳江あたりから選ぶこととなろう、とのこと)
・河井 海外協力室長より、タイ(CAT)からタイーシンガポールケーブルの陸揚地の調査についてKDDに依頼あり、上層部も協力すべしとの意見なので、専門家を派遣したいがよろしくとのこと、9月中は無理なので10月以降にしてほしいこと、社内処理(タイとの連絡を含め)は海協室でしてくれることを条件に、了承。

7日 (水) ・OLU微小レベル変動の状況報告を作成、保全部長と連名で、役員にあげるよう取り進める。
・学会図書打合せ、田畑、鈴木(欽)両氏と中継器関係を検討。

8日 (木) ・山陰地方に、日韓ケーブル陸揚地調査に出張していた松田、杉本両君帰着。
概要の報告をきく。
・松田君に、
1. 9/22～9/24の荅北出張。
2. タイより依頼の陸揚地調査要員の人選。

3. 学会図書打合せスケジュールとアレンジ。
を指示。

- ・鶴岡, 大島 両副社長に, OLU レベル変動について報告。
日韓, 日台もあるので, できるだけ関係者内部に留めておくよう, 指示あり。
- ・志村常務より, 日台, 日韓等の海洋調査にパシフィック航業を使えるかどうかの意見を求められ, 日台は時期的に困難と答える。

9日
(金) ・部長会(10:00～)
・NASC 取締役会(11:00～11:05)。

取締役会終了後, 沖一台湾ケーブル会議について, 増田社長を中心に協議。

- ・NEC 海外営業 北東アジア部長 小林氏, 田畑氏。
富士通 山口, 磯部氏 来訪。
志村常務と, TAS より両社に, シンガポール, インドネシア間の海洋調査の見積り依頼があった旨の話しをさく。(14:00～15:00)
- ・海洋調査スケジュールの見直しについて, 建設部(部長, 次長, 施設課長)。
海底線部(部, 次長 石井補佐)間で協議。(16:30～17:30)。
 1. 日韓については, 陸揚地調査の報告, 検討打合せ(本部内)を早急に開き, その結果を志村常務に報告し, その後の処置(役員会にかけるかどうか等)について指示を仰ぐ。
 2. 不確定な日韓をあとにし, 実施すべき日台をくりあげて10月に行なう。
 3. 日韓は, 急ぐべき陸揚地選定の作業を進め, 必要あれば, 山陰海岸を本年中に行う。

10日
(土) ・学会図書打合せ(9:30～12:30)。
・近藤課長より Tel(14:00～)

1. 韓国よりの電話連絡で, 韓国側でも, 10月の海洋調査実施は, 人の派遣, 準備作業の都合から困難ゆえ, 延ばしたい。10月11日～17日のソウル会合で, 専門家により海洋調査の協議をしたい, との意向を示してきた。
2. ソウル会合に, 技術側は何名の出席を要するかについて, 海建本部は, 本会合, 専門家会合を含め, 3名と回答。
3. 日一台湾については, ケーブル会議の対処方針の関係役員, 部長間打合せを来週早々開く。
4. NASC/KDD 間基本契約を早く結ぶよう, そしてKDD側の受入れ主管をどこにするか, を定めるよう, 要望。
海建本部で受けてもよいが, それを明確にし, 他部門が協力し得るようにすることが条件であると伝える。

12日
(月) ・海底線部, 部内打合せ。
・山陰, 日韓ケーブル陸揚地調査報告会。

13日
(火) ・沖縄一台湾ケーブル会議(東京 9/20～9/22)の対処方針案の審議
関係役員, 部長 間打合せ。

14日
(水) ・学会図書 打合せ。(NTT 鈴木, NEC 田畑)。
・星齒科。
・河井室長(海協)より, タイ陸揚地調査について話しあり。

15日
(木) 祝日。

16日
(金) 部長会。
NASC, ケーブル会議 打合せ。
増田社長, 以下, NASC 役職員にて。

- 19日 (月) ・夜、ホテルオークラにて、OLUHO ケーブル完成祝宴。(NEC , FUJITSU, OCC 主催)
T.C. Chan, S.K. Chen 来日.
- 20日 (火) ・沖縄ー台湾ケーブル会議。(東京).
・ITDC, T.C. Chian, S.K. Chen
NASC, 増田社長 他.
- 22日 (木) ・ハワイにおける新太平洋ケーブル会議の資料に関し、木村常務、尾畑部長に説明：
日本ーハワイ間ケーブルのリードタイム.
- 26日 (月) ・局所長会議
・午後、学会図書打合せ.
- 27日 (火) ・局所長会議 個別会議：13:30～14:30.
- 28日 (水) ・日韓ケーブル、採用システム、完成期日について、塚田課長らと協議.
- 29日 (木) ・学会図書打合せ.
- 10月**
- 1日 (土) ・星齒科.
・学会図書原稿 仕上げ.
- 3日 (月) ・海底線建設委員会 10:00～
・日韓ケーブル会議の対処方針(案)
併せて、山陰地方陸揚地調査状況の報告.
- 4日 (火) ・夜、NEC 招宴. 住友ビル、住友クラブ、OLUHO ケーブル関連.
・福地取締役より：日韓ケーブルの完成期日について、1980年完成の極めて困難なことを説明.
- 5日 (金) ・午前、学会図書 打合せ：最終原稿提出.
・総合企画室と、日韓ケーブル建設線表について 討論.
・社長に、日韓ケーブル会議対処方針(案)について説明.
併せて、山陰地方の陸揚地調査状況を説明.
・夜、GNTC 駐日代表の交代に伴う、KDD 主催歓送迎会に出席.
- 6日 (土) ・役員会：尾畑部長に同伴し、日韓ケーブル会議対処方針(案)の説明.
・“海底ケーブルのシステム経済化” 打合せ、15:30～.
- 7日 (金) ・部長会、開進委 とともに欠席.
・沖ー台ケーブル：ITDC との技術打合せのスケジュール、について、関係者と打合せ.
・学会図書：参考文献整理 了.
- 8日 (月) ・CS-36M の T-AGC 化に時間のかかることを、メーカーに確認した状況を、志村常務、福地取締に説明
- 11日 ・NEC 斎藤営業部長より Tel.

- (火) Singapore-Indonesia ケーブルの ocean survey について、前に引合いが TAS からあったが、入手した情報によれば、CW 船で 11 月に実施と決まった模様。
- ・海洋調査後、システムに引合いがあるが、12 月末に Tender 提出が要求されることになろう。
 - ・星齒科。
 - ・社長室 西本次長に協議：(建設部長とともに)。沖一ケーブル進捗をはかるため、総企のとりまとめを要請。NASC/KDD の基本契約が遅れているため、海洋調査、漁業接衝等を先行して NASC よりの依頼文書により進めているが、本来の姿ではない。ケーブル建設が予定通り進まない心配がある。社長室でも考えてほしい旨 要望。
- 12 日 (水) ・ NEC 東北アジア部 小林部長より Tel. 沖一ケーブル Backhaul Mux 等の手配について、NEC 出張者が CGRA の Mr. T. C. Chian, Mr. Yang にきいた所では、沖一ケーブルと別途の契約に考えており、必ずしも NEC に頼むとは定めてないというが、どうか。
- ・マイクロリンクの話と、Mux とが混同されている模様。
 - ・大野元社長(現相談役)の夫人の告別式：麻布、カトリック教会にて。
 - ・総企 尾畑部長 と 協議。
- (1) 沖一ケーブルのとりまとめのため、関係各部間打合せを開き、進捗状況と問題点、今後の進め方について協議するよう要望。
 - (2) CS-36M の T-AGC 化には、時間を要する旨の、メーカーに対する調査状況を知らせる。
- ・ 関管理部長と沖縄出張について協議。
- 13 日 (木) ・ 沖一 海洋調査事案決定。
- ・ 沖縄、識名所長に Tel. 10/20~10/25 沖縄へ行く件。
- 14 日 (金) ・ 部長会
- ・ 労厚部と沖一海洋調査、沖一ケーブル計画について労組説明の事前打合せ。
- 15 日 (土) 出社 学会誌 総合報告原稿執筆を進める。
- 17 日 (月) ・ ケーブルシステム経済化の検討打合せ。総企、研究所、海建。
- ・ 労組に対し、沖一ケーブル計画、KDD の受託作業、海洋調査等に関し説明。(総企、海建)、同時に、日韓ケーブルに関しても、現在まだ計画協議中であることを説明。(総企)。
 - ・ 新自由クラブ依田議員秘書より Tel. (広谷君受け) 東南ケーブル計画について勉強したい旨。社長室、渉外担当課長 大矢氏にパス、郵政電監室小林副参事官と協議し処置するとのこと。
- 18 日 (火) ・ 午前、休み。
- ・ 午後、新技術開発推進委員会。14:00~18:30。
- 19 日 (水) ・ 沖一ケーブル推進打合せ。10:00~12:30。総企室主催。
- ・ 各部の受持ちの進捗状況。(国際部、資材部、海建、等。)
- 20 日 (木) ・ 沖縄出張。(建設部長、管理部長らと同道)
- ・ 午後、沖縄通信事ム所で打合せ後、県庁、開発庁、海上保安本部へあいさつ廻り。
- 21 日 ・ 糸満、港川、具志頭村、中継所 郵政管理事ム所、NTT 管理局等 訪問。

(金)

22日 帰京
(土)

24日 (月)

- ・ 電信電話記念日 祝賀宴. 帝国ホテル.
- ・ 労組本部への説明. (労厚主催).
日韓ケーブル, 総企室より現状説明.
沖一合ケーブル, 総企, 海建より説明.
- ・ 志村常務より, タイマレーシアシンガポール(TMS)ケーブルについて, 富士通よりアプローチの状況説明があったとのこと, KDD丸による海洋調査の実施依頼があり得るので, 検討しておくようにとの話しあり.

25日 (火)

- ・ 学会誌 総合報告の原稿作成を進める.

26日 (水)

- ・ 星齒科.
- ・ 河井室長と, TMS ケーブルについて電話で話す.

27日 (木)

- ・ NASC にて, ITDC との技術会議の打合せ. (11:30~12:30)
会議アレンジメント, KDD への依頼, 等.
- ・ ITDC との技術会議について, 技術課長, 補佐, 江幡役と打合せ.
- ・ 古河電工に対する埋設機特許の実施許諾について, 副社長主宰の技術打合会で審議のため, 出席を求められ, 技術課長を出席させる.

28日 (金)

- ・ 建設部長と人事評定につき協議, 4類→3類への昇格等.
- ・ 新太平洋ケーブル計画の作業部会付託事項の検討打合. (総合計画 主催).
[14:00~16:30]
・ ケーブルシステムの技術データ・コストの資料作成を依頼される.
- ・ 同友会 懇親パーティ.

31日 (月)

- ・ 副参事 定期管理表 (52年度上期). 役員へ提出.
- ・ 信学会誌 総合報告「日中間海底ケーブル」原稿, 学会へ送付.
- ・ 労組より, 日韓ケーブルに関する説明を求められ, 総企 近藤課長が主要説明.
陸揚地選定について補足説明(技術的立場のみ).

11月

1日 (火)

- ・ 沖縄一台湾ケーブルの NASC/ITDC 間技術会議に関し, 海建本部内で打合せ. 会議資料の検討, 進め方, スケジュール等. (10:00~12:30)
建設部, 海底線部: 部, 次, 課長, NASC 今井, 飯田.
- ・ 午後, 郵政省にて, 米沢参事官他に, 技術会議対処方針を説明.
- ・ 総企室 塚田課長より 日韓ケーブル会議について協議あり.
システム, 完成期日, 陸揚地調査 等.
- ・ 羽田空港にて, 来日の ITDC Mr. Yang, CGRA Messrs. Lee Yeh を出迎え.

2日 (水)

- ・ 沖一合ケーブル 第1回技術会議 開始. 夜, 留園にて, 増田社長招宴.

3日 (木)

- ・ Mr. Yang 他を二宮中継所より箱根へ案内.

- 4日 (金) ・技術会議
- 5日 (土) ・同上。 討議 およぶ 議事録 確認。
- 7日 (月) ・ITDC/CGRA. Mr. Yang ら, OCC, NEC 訪問。
 ・国際部主催：沖－台ケーブルの建設保守協定最終案の検討打合せ。(9:30～13:00)
 日本側国内連絡線の準備手配について問題提起。
 総企室プロ計画で関係部門と協議することとなる。
 ・夜：麻布住友会館にて、NEC 主催。Mr. Yang らの夕食会に参加。
- 8日 (火) ・Mr. Yang らと沖縄へ。
 沖縄中継所 案内。
 ・夜、識名所長招宴。
- 9日 (水) ・Mr. Yang らを沖縄国際空港にて見送り。(10:00)
 ・海洋調査を終え帰港した KDD 丸を訪問。
 ・12:20 JL902 にて帰京。
- 10日 (木) ・増田社長に、技術会議終了の報告。
 ・池田 総企、技計部長と、システム経済化・CS-36M 長距離化を開発項目にする点について協議。
 ・CS-36M の T-AGC 化の問題について、富士通 奥村部長の来訪を求め、説明をきく。
 ・東西マレーシアケーブルの海洋調査結果のファイナルレポート提出のため KDD より派遣要員の選出を JICA より求められ、とくに Chief について、常務に選定難を説明。Chief の重要性に鑑み、建設部長または海底線部長を選ぶこととなる。
- 11日 (金) ・建設部長と協議：東西マレーシアへの報告団の団長は、建設部長となる。
 ・志村常務に同行し、MPT, 神保電気通信監理官, 米沢参事官, 高橋福参事官を、二宮中継所, OCC に案内。
- 14日 (月) ・東西マレーシアケーブル派遣者について、海外協力室長と協議。
 JICA, 郵政省で、先に派遣してないメンバーの参加に難色を示す。
- 15日 (火) ・研究所 中井室長と CS-36M の長距離化、システム経済化についての進め方を協議。
 ・総企 塚田課長と日韓ケーブル会議(第3回)の対処方針案について討議。
- 16日 (水) ・NEC 田畑氏 リビアケーブルの受注とシステム概要について説明に来訪。
 ・保全部長と、OLU ケーブルのレベル変動に関する今後の措置を打合せするための関係役員、部長間会合の設定に関し協議。
- 17日 (木) ・茨城通研へ出張。
 第5回研究状況の案内。
 光ファイバーケーブルを主にみる。
- 18日 (金) ・海底線建設委員会。
 日韓ケーブル会議(第3回)の対処方針案を審議。
- 19日 (土) ・休み。
 佼成病院。

- 21 日 (月) ・午前、佼成病院にて、胃の X 線検査。
 ・午後、出社。海底線部次長、技術課長らに、日韓ケーブルの建設委員会審議状況を説明。要員増の検討、陸揚地選定における当部の所掌の確認を指示。
- 22 日 (火) ・システム経済化、CS-36M 長距離等の開発の体制と進め方について、中込研究所長、池田技術計画部長と協議。(10:00~11:00)
 1. CS-36M 長距離化については、海建本部より再提案し、開発項目とする。
 2. システム経済化は、検討グループをオーソライズし、調査検討結果を副社長主宰技術打合会に提出し審議をうける。
 以上の線で進めることを、志村常務、大島副社長に説明することとする。
 ・志村常務より。
 日韓ケーブルに CS-36M 方式を使用する件につき NTT の事前了解を得るための、資料準備(ケーブル計画概要、特許、情報協定上の問題 etc)を指示される。
 ・郵政省電監室 米沢参事官らに、沖一合ケーブル技術会議(11/2~11/5)の報告。(16:00~17:00)。
- 24 日 (水) ・日韓ケーブル会議に対する進め方の打合せ。(10:00~13:20)。総合計画部 主催。
 ・タイ・マレーシア・シンガポール ケーブル計画に関し、富士通 新川顧問他が状況を報告に来訪。
 1. 技術面では、海洋調査を G-G ベースで依頼される可能性大。
 2. 円クレジットについて、日本政府に頼みたいとの意向が三国にあり。
 ・志村常務より
 1. 役員会で日韓ケーブルの対処方針が了承され、技術要員増も職員部に協力方の指示がでたので、至急検討するようにとのこと。
 2. 大島副社長が、光ファイバー海底ケーブルの開発(NTT が当面、陸上で実用化を図っているので、KDD は海底ケーブルで特徴を出す)を強力に推進するため、第 2 研究所の新設も考えており、海建本部も開発に協力してほしいとの意向を示され、社長も了承されているとのこと。
 3. 沖一合ケーブルが NTT ケーブルと cross するので、NTT に了解をとりつける必要があるため、施設局長(長田総ム理事)にあいさつする件につき了承を得る。
 ・中込所長より Tel。
 システム経済化の進め方について、11/22 日協議の結果を報告したところ、早急に技術打合会にかけよと言われたとのこと。来週早々、資料作成について打合せることとする。
- 25 日 (金) ・NTT 技術局村上次長に Tel。
 日韓ケーブルに CS-36M を使用する可能性が大なので、事前に説明したい旨伝え、KDD 志村常務が誰方を訪問すべきかをきく。
 技術局長、技師長を訪ねればよいが、来週前半は不都合なので、追って日時を連絡すること。
 ・NTT 長田総務理事に Tel。
 沖一合ケーブルが NTT ケーブルに cross する件につき、説明に行きたい旨伝える。岩崎施設局長心得。曾根海工事ム所長にも同席してもらい、28 日 13:00 に、鈴木建設部長と行くこととする。
 ・NEC 田畑氏、Fujitsu 奥村氏に Tel。
 KDD のケーブルプロジェクト、メーカーのプロジェクトが重なると、生産計画に支障を来すことが懸念されるので、それぞれで計画について情報交換を非公式に行なうことを提案、OCC も交え、当面のプロジェクトについて 12 月上旬に打合せることとする。
- 28 日 (月) ・日韓ケーブル建設に伴う要員増について、職員部長に善処方を要請。
 ＊日韓ケーブル会議(第 3 回)対処方針のなかで、役員会了承済み。(11・24)
 ・松村業ム課長 帰国あいさつに出社。

- NTT 訪問。(建設部長同行).
 - (1) 長田総務理事：13:00～13:30. 岩崎施設局次長，曾根海施事ム所長同席。
沖一合ケーブルルートが，沖縄 - 宮古ケーブルと cross する件につき，沖一合ケーブルの状況と，ルート調査の経過を説明：ケーブルクロスに関する国際慣行，およびクロスに伴なう何らかの N/K 間とり極めについて今後協議のこととする。
 - (2) 村上技術局次長：13:40～15:00.
日韓ケーブルに CS-36M 方式を使用する件の NTT の了知のし方につき協議。
KDD 社長 - NTT 総裁間で話しを通すことを NTT 側は望んでいる模様。
 - 上記の件，志村常ムに報告。
当面，常ムより小口技師長に話しをする，こととする。
 - 総合企画会における長計 18 号ケーブル計画の審議に参加。(17:30～19:20)
 - 沖一合ケーブルの布設に関する有線法 8 条の許可が郵政省よりおりる。㊟
- 29 日 (火)
- システム経済化の検討資料作成に関する関係者打合せ。(9:30～11:00)
総企 深田課長，研 中井室長，海・技術課長，杉本副参事。
 - 日韓ケーブル用陸揚地選定に関する打合せ。(14:00～15:30)
総合計画部 主催，海建，技術計画，管理部，伝施部。
今後のスケジュールと，各部の分担，役員懇談会への資料作成 等。
 - 日韓ケーブルに CS-36M 方式を使用する件につき，NTT にあいさつのため，志村常務が，小口技師長を訪問。——社長より総裁あて文書がほしいとのこと。
 - 塚田プロジェクト計画課長に，NASC/KDD 間基本契約が締結後，沖一合ケーブルのスケジュール見直しの必要あることを説明，関係各部でスケジュールの確認の打合せを行なえるよう要請。
- 30 日 (水)
- 日韓ケーブル会議(第 3 回)に出席。10:00～

Memorandum 4

(KDD 本社)

1977年12月1日～1978年12月29日

1977年（昭和52年）

12月

- 1日
(木)
- ・日韓ケーブル会議に 出席。
機材調達に関し、討議。
 - ・日韓代表と昼食。
KDDにおいて光ファイバーケーブル(海底ケーブル方式)の研究を、研究所中心で大学やメーカーとの協同体制で進めるようとする動きがあるが、研究所と別に独自の異なった角度からの検討(研究開発の進め方に対する)を考えておくよう指示あり。
- 2日
(金)
- ・佼成病院にて、胃カメラの検査を受ける。(午前)
 - ・OLUHO ケーブルにおけるレベル変動に対する対応策について、関係役員・部長間打合せ。(13:30~16:00)。 保全部主催
志村常ム、笹本取締役、海底線部、建設部、保全部、KCS。
 - ・安藤電気 大城副社長、鈴木営業部長 来訪。(16:00~16:30)
- 3日
(土)
- ・海建本部要員増について、本部内 部・次長間打合せ。(9:45~11:00)
- 5日
(月)
- ・午前、日韓ケーブル会議。(10:00~13:30)。
建設基本原則、および ミニッツの最終版の検討。
 - ・KCSによる昼食招宴。(13:30~15:00)。
志村、笹本 両役員、保全、海底線、建設 各部長。
 - ・志村常務に、海建本部要員増計画案について説明、職員部と折衝することの了承を得。(15:00~16:00)
 - ・日韓ケーブルの陸揚地選定に関する打合せ。(16:50~17:30)
総合計画部主催。海建本部、技術計画部、管理部、伝送施設部 各部長レベルで、関係役員懇談会に提出する資料について協議。
- 6日
(火)
- ・Mr. Powell より来信の Journal “Telecommunication” 投稿原稿を検討。
 - ・職員部長と、海建本部要員増について協議。
職員部長、技術要員担当課長、海底線部長、次長。
 - ・NASC 取締役会。14:00~。
終了後、今後の総会、取締役会、建設保守協定、漁業折衝、関係官公署への提出書類の取扱い等について協議。
 - ・金門製作所 斎藤常務と、懇談。
- 7日
(水)
- ・海建本部要員増について職員部長と協議。
 1. 12名は確保願いたい。
 2. 止むを得ぬときは、兼務も考えたらどうか。
 3. 海建・職員部間で話しがつかないときは、最終調整は、総合計画部に頼むこととしたい。
 4. “要員確保が計れぬ場合、プロジェクト建設を予定通り間に合わせることを保証できず、責任をもてない”と云わせないでほしい。
 - ・NTTへ、長田総務理事、岩崎施設局次長、曾根施設工事事ム所を迎えに行き、志村常務招宴にて、懇談。
 - ・日韓ケーブル陸揚地選定の件に関する、関係役員懇談会。一欠席。
- 8日
(木)
- ・日韓ケーブル陸揚地：選定のための沿海部調査の必要性につき、志村常務、海建本部関係者、管理部長間で協議。
浜田、出雲を現在までの調査結果から、上位候補地として、早急に沿岸部実施調査を实

- 施する。そのためにも、漁協の了承が要るので、管理部で併行して、漁協折衝、用地調査等を進める。
- ・沖一台湾ケーブルのための沖縄における漁業折衝の開始が、社長より待つようにと指示された旨、管理部内野次長より連絡あり。
- 9日 (金)
- ・日韓ケーブル会議 最終日。(10:30~11:00).
ミニッツ, 基本原則の確認.
 - ・韓国代表と昼食.
 - ・沖一台湾ケーブルの工事開始の際に、将来ケーブルも併せ先行布設する件につき、建設部、総合計画部と協議。
ケーブル建設委員会にかけることとし、その arrangement を海底線部で行なうこととする。
- 10日 (土)
- ・研究所 ゴルフコンペ, 錦ヶ原にて。
- 12日 (月)
- ・NASC 株式総会. 11:00~.
葉取締役, 森 監査役 選任.
引続いて, 取締役会, 昼食.
 - ・広谷調査役に沖縄一台湾ケーブル, 日韓ケーブルの PERT の作成, 工程管理を担務するよう指示.
 - ・業務課長に, 沖縄前面海域のケーブル先行布設に関する件を審議するための建設委員会開催を arrange するよう指示.
 - ・伝送同門会忘年会に出席。(京橋会館).
 - ・研究所 鍛冶副所長より TEL.
海建本部の要員増強に対する研究所からの異動要員について。
- 13日 (火)
- ・研究所 中井室長 来訪。(10:00~11:00)
有シ研から海建本部へ 新納君の異動を希望したが、仕事の都合からみて湯口君なら出せるとのこと、渡米中の本人の帰国後、本人の意向を確かめて進めることとする。
 - ・NASC 増田社長の召集で、建設保守協定の締結の進め方について協議(14:00~16:00).
 - ・熊野会館にて、村松業務課長の着任歓迎会。
- 14日 (水)
- ・海底線建設委員会。(10:00~11:50).
沖縄前面海域におけるケーブルの先行布設について審議.
 - ・志村常務の指示により、日韓ケーブルに CS-36M を使用する件に関する KDD 社長から NTT 総裁あて文書案を NTT 技術局次長に持参し、意向を問う。(12:50~13:30)
 - ・午後、関係者と、午前に行われた海建委で出た問題(先行布設する予備ケーブルについて)の処置につき協議。以後、主管 海洋課長、協力 各課で進めることとする。
 - ・富士通 営業関係者と懇談。
- 15日 (木)
- ・沖縄一台湾ケーブルの製造連絡会を開始するに当り、最初のあいさつを行なう。(9:30~)。
 - ・KDD とメーカーが夫々進めているケーブルプロジェクトに関し、計画の情報交換を行なうため、NEC 田畑氏, Fujitsu 奥村氏, OCC 滝鼻氏を招き、非公式の会合、各社の計画線表について紹介。(11:00~12:00).
 - ・田畑氏, 奥村氏と昼食懇談.
 - ・OLU ケーブルのレベル変動が悪化し, Mr. Histed から調整委員会への advice の提案もあり, 志村常務, 保全部長とも対策を協議。
志村常務より, 大島副社長, 笹本取締りに協議の結果, 早急に CW, ETPI と技小委のなかで協議するよう計ることとなり, 社長の了承を得るための連絡カードを立案。
- 16日
- ・OLU レベル変動の問題について, ETPI, CW と協議する件につき, 志村常務より, 副社長,

- (金) 社長の了承を得、社長より早急に協議を進めるよう指示ありとのこと。
 ・部長会 に出席。
 ・埋設・修理工法の開発に関する打合せ。(14:00~18:00) 開発グループ 主催。
 ・NASC 取締役会に報告する 沖一台湾ケーブル建設推渉状況報告の検討。
 ・昭 52 年度経費に余裕があることから、開発、プロジェクト関連で早急手配を要するものを進めるため、これらをまとめるよう指示あり、技術課長、杉本調査役に検討指示。
 ・昭 53. 4 月 1 日の創業記念日における 社内表彰の上申書を作成提出。
- 17 日 (土) ・電通学会発刊技術図書“海底ケーブル通信”の図面原稿の校正。
- 19 日 (月) ・Manila の Mr. Histed に Tel.
 OLU のレベル変動対策について、技小委の場で討議することを提案し、了承を得る。
 この件は、Mr. Histed から London Mr. Powell に連絡してもらうこととする。
 ・以上の件、笹本取締役にも報告する。
 ・研究所 湯口君 来訪。
 1. 米国出張の報告。
 2. 本社 海建本部への異動の件。
 ・荒木直三氏と懇談。
- 20 日 (火) ・志村常務の指示で、OLU 障害時の KDD 丸の出動について、事前了解を CW, ETPI に求める TLX の作成を進める
 ・経費の余裕に伴なう、緊急支出につき、案を志村常務に説明。
 常務より鶴岡副社長の指示として、経理に話しておくように云われ、経理部次長と協議。
 ・NASC 取締役会(第 5 回)。16:00~17:00。
 ・NASC 社長招宴による忘年会。
- 21 日 (水) ・OLU 障害時の KDD 丸の出動について、事前了解を CW, ETPI に求める TLX 成文、発出 (志村常務名)。
 ・沖一台湾ケーブルが NTT ケーブルと交差する問題について、KDD/NTT 間の事ムレベルの話し合い。(技術課長 出席)。
- 22 日 (木) ・小池勇二郎氏(東北大名誉教授)の告別式、青山葬儀所。14:00~。
 ・組合本部へ、日韓ケーブルの問題について説明。17:00~。
 計画、総企画より、陸揚地選定、海洋調査等 海建本部より。
 ・横須賀通研 宮内部長、松浦室長、沢栗調査役 来訪。
 方式分科会の開催について協議。夜 懇談(景德鎮)。
 研 中井、湯口両君同席。
- 23 日 (金) ・午前、沖一台湾ケーブル海洋調査報告。(建設部主催)9:30~11:00。
 沖縄沿岸部調査結果の報告について討議。
 ・日韓ケーブルの今後の進め方の打合せ(総合計画部 主催)。14:00~16:00
 ・作業分担、作業部会の準備対策 など。
 ・日韓ケーブルにおける技術作業部会の窓口は、建設部長とする旨、志村常務より話しあり、了承。
 ・夜、東大 那須教授、海上保安庁水路部長に対する 招宴。
- 26 日 (月) ・沖縄一台湾ケーブルの海洋調査報告打合せ。(14:00~16:00)。建設部 主催。
 海洋部についての調査報告。
 ・志村常務の担当部 招宴。

- 27 日
(火)
- TPC-3 シドニー会合用資料の検討打合せ. 9:30~12:30.
有シ研 中井, 新納, 佐藤君ら.
海底線 亀田, 猪股, 杉本, 矢口, 大原.
CS-12M, CS-36M の technical data および cost.
 - 有シ研 中井君らと 昼食, 懇談
 - 技術関係役員の技術打合せ(第8回)に出席(14:30~15:30)
大島副社長 以下.
技術計画部 より「光海底ケーブル研究開発の推進について」の案件, 提出, 審議.
 - TPC 新計画シドニー会合 対策 打合せ.
総企室主催. 途中より出席(15:30~16:30)
各部の作業分担, 今後の対処方針 作成スケジュール 等.
 - 研究所 湯口君. 海底線部 調査役 へ 発令さる.
- 28 日
(水)
- 沖縄前面海域における 沖一台, 沖一本ケーブル等の同時布設について.
先の建設委員会審議で出た宿題と, 役員会付託の件を打合せ.
建設部 主催. 10:00~12:30.
 - 木下, 飯田両君と昼食.
 - CW, ETPI へ OLU レベル変動対策のための打合せ提案の TLX 発出.
 - KDD 役員, 子会社役員に対する KDD 社長の年末あいさつ.
15:00~. NASC 役員として 出席.
- 29 日
(木)
- 石川保全部長と, CW, ETPI, KDD 間 技術打合会の討議事項について協議.
 - 志村常務より.
元大臣 新谷重三郎氏, 参院西村尚治議員から, KDD 研究所の活動状況を大島副社長が尋ねられ, 研究開発の PR の必要を痛感.
明年, 早々, 研究所へも視察案内するため, 総企室, 研究所で打合せるとのこと.
ケーブルの開発について, 協議に与るよう指示あり.
- 昭和 52 年 仕事納め.

昭和 53 年(1978 年)

1 月

- 4 日 (水) ・ 10 : 00 ~ . 仕事始めの式.
・ 10 : 30 ~ 11 : 30. KDD 役員, 関係子会社, 外国 carrier 駐日代表, 労組役員らと賀詞交換.
- 5 日 (木) ・ OLU 区間レベル変動対策について, CW, ETPI と意見交換することとなり, その準備を進める.
ETPI Mr. Histed
CW Mr. R. S. Pitt
が来日し, 10 日に東京で会合, 11 日に沖縄で現地視察のこととする.
- 6 日 (金) ・ 部長会(10 : 00 ~ 11 : 40).
・ システム経済化について打合せ(13 : 30 ~ 15 : 30)
中込 研究所長 池田 技計部長 ら, 出席.
技術打合会にかける資料の審議.
・ 志村常務 より.
新太平洋ケーブル会議作業部会 シドニー会合 に 出席するよう, 大島副社長も了承されたとのこと.
・ 海底線部打合会(調査役 以上).
プロジェクト, 開発, 海外協力, 工程管理の仕事の分担を決める.
- 9 日 (月) CW の Mr. R. S. Pitt 来日.
OLUHO ケーブルの保守における mutual aid, ケーブル船利用協定について協議.
出席. 海建, 国際, 保全の各部.
- 10 日 (火) ・ ETPI Mr. Histed 来日. Mr. Pitt と共に, OLU 区間のレベル変動の問題について協議.
出席. 海建および保全部.
・ 尾畑部長より, シドニーにおける太平洋ケーブル計画作業部会会合についての打合せに関し, Tel. 一沖縄出張のため, 出られない旨, 了解を求める.
・ 夜, Messrs. Histed, Pitt に対する志村常務招宴.
- 11 日 (水) ・ Messrs Histed, Pitt とともに沖縄へ向う.
沖縄中継所にて, レベル変動のデータを確認.
夜, 那覇にて会食.
- 12 日 (木) ・ 沖縄 中部の sight seeing ののち, Mr. Pitt は東京へ向う.
・ Mr. Histed は, マニラへ向う予定が, NW 便の不着のため変更の余儀なきに至り, 沖縄泊.
- 13 日 (金) ・ Mr. Histed と共に 朝 JLA 900 便にて 東京へ向う.
午後 : 本社.
・ マレーシア-シンガポール-タイ ケーブルの予備調査協力のため, 派遣する人員の選定.
建設部 北村, 橋田, 海底線部 柴田の 各調査役 を人選.
・ 志村常務に 沖縄出張の様子を報告.
・ TPC-1 グアム-ハワイ間で 12 日に障害発生とのこと.
・ 保全部長と OLU レベル変動修理のための KDD 丸出勤時期について協議.
・ 技術課長より, 新太平洋ケーブル計画シドニー会合の対処方針に関する社内打合せ(12 日午後, 総企主催)に出席した状況の報告.
・ 業務課長より, 表彰委員会の審議状況の報告.
・ 夜, NASC 役員の新年会.

- 14日 (土) ・京王プラザホテルに Mr. Histed を訪ね、mutual aid に関する Mr. Pitt との協議のメモランダムを届ける。
- 15日 (日) ・朝7時、京王プラザホテルに Mr. Histed を迎え、羽田にて同氏の台湾向け出発を見送る。
- 16日 (月) ・成人の日のふり替え休日。
- 17日 (火) ・長距離大容量ケーブルの開発のための、開発体制、開発グループの編成について、研究所 中込所長 他と海建本部関係者間で協議。(13:30~15:00)
 ・シドニー会合(太平洋ケーブル関係)の対処方針に関する打合せ。(11:00~13:00) 総合計画部長 他。
 ・マレーシア TELECOM, Submarine Cable Section, Controller, Mohd Ali 氏夫妻に対する志村常務招宴に出席。(環)。
 夫妻は永年勤続(10年)の報償としての世界周遊の途次、日本に立ち寄り、NECの世話で、工場視察、二宮中継所、KDD 本社の訪問、開催観光等を予定していたもの。
- 18日 (水) ・マレーシア Mr. Ali の KDD 本社訪問表敬に立会う。(10:15~10:40)
 ・太平洋ケーブル会議作業部会シドニー会合の対処方針に関する関係役員懇談会に出席。(15:00~17:00)。
 大島副社長、木村、志村、福地、松本 の 各役員、関係部長。
 ・主任以上に対する部長招宴。(ストックホルム)
- 19日 (木) ・三井ビル副都心クリニックにて、海外渡航のための種とう再接種。
 ・NK 方式分科会に出席のため、横須賀通研へ行く。
 15:00~17:00 会議。
- 20日 (金) ・太平洋ケーブル計画シドニー専門家委員会への対処方針について、役員会に尾畑総合計画部長と伺う。(11:40~12:40)。
 ・上記の審議結果について、会合出席者および関係者間で打合せ(13:40~15:00)。
 ・志村常務担当の海外協力室、海建本部 各部の部長連絡会。(15:00~17:40)
- 21日 (土) ・出社。
 ・総企 井上 総合計画部次長 来訪。
 TPC 計画シドニー専門家会合について、郵政電監室への説明のための提示資料に関し協議あり
- 23日 (月) ・海底線部内打合せ(調査役 以上)。11:30~12:30。
 ・資材部 部長 他と 日韓ケーブルにおける CS-36M・TAGC 付中継器の開発の件につき協議。
 建設スケジュールに沿うためには、メーカーとの contact を早急に行う要あり。
 資材、海建 両者でメーカーに趣旨説明のこととする。
 ・NASC 今井、石谷両課長より
 機材契約のための業者折衝には台湾からも参加するが、その近辺で経理、資材の専門家会合を東京で開きたい、技術も東京でその時期に専門家会合を開き得るか。東京で開くためには、早急に招請をする必要がある。技術会議を台湾でぜひ開かねばならぬ理由はないので、検討することとする。
 ・53年度設備計画の説明を労組に対し行なう際の関連質問に対する回答案について、役員、部長間で打合せ。(15:00~17:00)

- 24 日 (火) ・海底同軸ケーブルに関する NTT/KDD 合同委員会の開催について、大島副社長に伺う。春斗、国会等の状況を勘案し、3月17日(金)もしくは3月24日(金)を一応の予定日とし、NTT 幹事と協議することとする。
 ・太平洋ケーブル計画シドニー専門家会合の準備打合せ：13：30～15：00。
 ・GNTC Mr. Rasmussen の招待あり。(ストックホルム。)
- 25 日 (水) ・日韓ケーブルに必要な T-AGC 中継器の開発要請について、NEC, Fujitsu に示達。資材部主催(10：00～10：30)。
 ・製造技術に関する問題が主体となるので、KDD が開発する形はとらず、メーカーの自主開発とし、KDD は必要な設計条件の呈示、方式関連の協議で関係して行く。
 ・新技術開進委に長距離・大容量ケーブルの開発を提案する件に関連し、システム経済化の検討結果を早急に“技術打合せ”にて審議することとし、大島副社長の了解をとり、審議担当課長に arrange を要請。
 ・三井大阪商船からの招宴(霞が関 三井クラブ)に出席。
- 26 日 (木) ・朝、三井ビル星齒科。
 ・常務・部長 連絡打合せ。(14:00～14:40)。
 ・設備計画に関する労組説明(14:40～15:05)
 建設部長、海底線部 松田、猪股、広谷 同席。
 海底線設備、沖一ケーブル、アルミケーブルについて説明。
 ・技術打合せ(第9回)にて、海底ケーブルの経済化につき討議。(16：00～17：00)。
 大島副社長、宮、志村、笹本 各役員。出席。
 システム経済化と、長距離大容量ケーブルの開発について説明。
- 27 日 (金) ・太平洋ケーブル計画シドニー専門家会合 出席者 打合せ。(10:00～12:00)
 各議題について準備する資料の打合せを行なう。
 ・NASC 取締役会(14：00～14：40)
 ・沖一ケーブルの技術仕様を事案決定。
 NASC, 資材部へ送付することとする。
- 28 日 (土) シドニー出張のための準備。
- 1月30日(月)～2月9日(木)
 太平洋ケーブル計画シドニー専門家会合 出席のため、シドニーへ出張。
- 10 日 (金) ・出張中の処理事項、懸案事項について、猪股技術課長より報告を受ける。
 ・志村常務にシドニー会合の状況を簡単に口頭報告。
 ・鈴木欽也君 NTT を退職のあいさつに来訪。
 ・身分証明書用 写真撮影。
 ・OLU ケーブルの事前修理に関する役員会資料の検討打合せ。(14:00～15:30)保全部 主催。
- 13 日 (月) ・NTT 退職し、NEC に入社した水口一氏あいさつに来る。
 ・NTT/KDD, 海底同軸ケーブル合同委員会の幹事打合せ等につき、研究所 鍛冶副所長に TEL。
- 14 日 (火) ・OLU ケーブルの事前修理の役員会資料を、大島、鶴岡両副社長に事前説明。
 ・海底ケーブル建設委員会 14：30～17：00。
 ・沖縄における沿岸ケーブルの先行布設。について。
- 15 日 (水) ・OCC 滝鼻常務より、大河内賞の選に洩れた旨の Tel。
 ・NTT 村上次長より、NK 合同委の日取りについて3月24日が好都合との TEL。あり、幹事間

- 打合せを 2 月 22 日に行なう旨 協議.
- ・大島副社長に NK 合同委を 3 月 24 日に開く旨, 確認.
 - ・村松業務課長より, 4 月 1 日創業記念日の社長表彰案件について, 表彰委員会における審議の結果, 海底線関係は状況不利との報告.
- 16 日 (木)
- ・NTT 村上次長に Tel. NK 合同委開催を 3 月 24 日として進めることとする.
 - ・役員会に, OLU ケーブルの事前修理につき, 石川保全部長とともに審議資料を説明.
 - ・井上取締役役に, OLU ケーブル修理時の問題を説明.
表彰案件とのからみがあるとのこと.
 - ・海底線部の関係者(猪股, 石井, 江幡, 矢口, 湯口)に, シドニー会合の概況を説明し, 関係資料を渡す.
 - ・尾畑部長 来訪, タイマレーシアシンガポール ケーブルの事前調査の件, および沖縄におけるケーブル先行布設の件を協議.
- 17 日 (金)
- ・杉本君より, 日韓ケーブル陸揚地の再調査の報告.
 - ・部長会.
社外表彰に関し審議.
 - ・総企 井上次長: シドニー専門家会合 役員会報告について協議
 - ・NASC 木下課長: 沖一合技術会議の準備打合せ.
 - ・杉本副参事: アルミケーブルの 53 年度計画の郵政との契約問題の説明.
 - ・建設部島山調査役: 大形ケーブル船の建造について説明.
- 18 日 (土)
- ・松本取締役より TEL.
沖縄におけるケーブル先行布設について, 福地取締役, 木村常務に説明し, 社長にもお話しした, その結果.
 - ・予備ケーブルとして外国と協議することでなく, 将来計画に備えるものとして KDD が施工しておき, 万一の場合には障害修理にも当て得るものとする考えとすることとなった.
 - ・なお, 鶴岡副社長以下業務系役員には, 沖一本ケーブルのほか 2 条を要するかについて疑問を持っている方もあるので, 技術面, 経済面, 政策面から この点をつめ, 役員会にかけるよう進めるべきである.
 - ・技術面は海建, その他は総企室で扱うこととして協議を進める.
 - ・木村常務からは, 沖縄中継所に 6 本(TPC-2, OLUHO, OT, 沖本, 他 2)も集中することに問題はないか.
 - ・予備としない場合, 資産処理上の問題(減価償却ができない)がある.
 - ・島山, 村松両君と ケーブル船建造に関する建設委員会資料について討議.
- 20 日 (月)
- ・志村常務の下で, ケーブル船建設に関する会議資料検討.
島山役, 村松課長, 阿部次長.
 - ・志村常務に報告.
 1. OLU ケーブル事前修理 役員会審議の状況
 2. 創業記念日における表彰の件.
 3. 沖縄におけるケーブル先行布設.
 4. 沖一合技術会議中の常務招宴.
 - ・研究所 鍛冶副所長, 中井室長と, NK 同合委の幹事間打合せの事前協議.
 - ・海建委. 拡大技術部会: 14:00~17:00
(大島副社長 休みのため, 予定の海建委員会を取り止め, 技術部会に切替え)
ケーブル船の建造, および 日韓陸揚地調査報告.
- 21 日 (火)
- ・役員会にて, 太平洋ケーブル計画シドニー専門家会合報告. (尾畑部長と共に).
 - ・志村常務より, 日韓ケーブル陸揚地点沿岸調査の実施スケジュールと, 建設スケジュールの関係について検討すること.

- ・尾畑部長より：松本取締役より沖縄先行布設について役員会資料作成を進めるよう話しがあつた、海建 業務課長と総合計画課長と話し合つて進めることとする。
 - ・沖一台湾技術会議の準備打合せ。(13:30~17:00)
海建本部関係者。
- 22日 (水)
- ・佼成病院にて、胃カメラによる検査
 - ・NTT 技術局 訪問(11:00~13:00) 鍛冶 研究所副所長, 中井室長 同行。
村上次長, 宮内部長 ほか, と 合同委員会会合について, 幹事間打合せ。
 - ・午後, 沖台ケーブル技術会議の準備。
- 23日 (木)
- ・沖縄一台湾ケーブル 技術会議。 夜, 志村常務招宴。
- 24日 (金)
- ・同上。
- 25日 (土)
- ・午前: 会議
 - ・午後: 台湾側代表と OCC 新山下工場 視察。
- 27日 (月)
- ・沖台ケーブル。 機材調達に関する会議。 夜, NASC 社長招宴。
- 28日 (火)
- ・沖一台湾ケーブル 機材調達のための 業者接衝。 夜, 古橋常務招宴。
 - ・ケーブル船建造および日韓ケーブル陸揚地調査に関し, 海底線建設委員会が開催されたが, 沖一台湾ケーブル会議 出席のため, 松田次長に代理出席させる。
- 3月**
- 1日 (水)
- ・沖一台湾ケーブル 機材調達のための業者接衝。(10:00~15:30)。
価格について 合意に達す。
 - ・沖一台湾ケーブル技術会議: 討議終了(16:00~18:00)。
- 2日 (木)
- ・沖台ケーブル技術会議 議事録確認(11:00~14:00)。
 - ・会議を終了す。
 - ・沖縄におけるケーブル先行布設に関する 総合企画会 に出席。(14:00~16:00)
- 3日 (金)
- ・志村常務に, 沖一台湾ケーブル会議の状況と結果を報告。
 - ・大島副社長より, NK 合同委員会に関し, ① 福地取締役を委員に加える件。 ② 懇親会開催の件。 ③ 神保電気通信監理官を招待する件につき 了承を得る。
- 4日 (土)
- ・管理部 内野次長より, 沖縄漁協との沖一台湾ケーブルに関する接衝が進展していないとの話しをきき, 書面で状況を報告するよう要請。
 - ・学会技術図書原稿の校正。
- 6日 (月)
- ・OLU ケーブル事前修理について, KDD 丸の作業状況報告に基づき, 志村, 笹本両役員を交え関係者間で打合せ。(10:00~12:00) 保全部主催
 - ・海底線部, 部内管理者打合せ。(15:00~16:30)
 - ・NASc 増田社長に, 沖台技術会議の報告。
- 7日 (火)
- ・OLU ケーブル事前修理に関する打合せ。(13:30~15:00) 保全部主催。
 - ・KEC 村本氏来訪。 25 年史の原稿修正について。
 - ・NK 方式分科会の資料について湯口君と打合せ。

- 8日 (水) ・ OLU ケーブル事前修理に関する打合せ。(9:30~11:45) 保全部主催。
・ 中野税務署へ確定申告書提出。
・ 佼成病院で・胃カメラ検査の結果をきく。
- 9日 (木) ・ OLU ケーブル修理打合せ。(9:30~11:00)保全部主催。
・ NTT 村上次長より TEL: NK 合同委員会を予定した3月24日に、電波技術審議会が開かれることになったので、日取り変更について相談あり。
・ 部長会。
・ 尾畑部長、関 管理部長と、沖縄における漁業折衝の推進の問題について協議。
・ 管理部長に、接衝状況を逐次知らせてほしいとの要望。
・ NK 方式分科会(第28回)。於 KDD
・ 先輩に感謝する会
- 11日 (土) ・ NTT 村上技術局次長より TEL。
NK 合同委員会の日取りとして、4月3日(月) or 4月10日(月)がどうか。
KDD 首席委員(大島副社長)の都合を確かめ 別途返のこととする。
- 13日 (月) ・ OLU 修理 打合せ。(9:30~11:00)。
保全部より状況の説明。
・ 志村常務より、光ファイバーケーブルについて。
1. NTT は古河、住友、藤倉、OCC と共同研究の締結を3月末に結ぼうとしている。
2. OCC より、KDD、NTT 間で話し合いを希望。
3. 大島副社長より、NTT の意向打診の指示あり、NK 共同で研究開発に当ることについて、総企、技計池田部長に、KDD 社内における開発体制の推進についてその後の状況を聞いた結果、池田部長より NTT 技術局村上次長に contact をとることとなる。なお、松本取締役の意向により、NTT 訪問の際は池田部長に同行することとなる。
- 14日 (火) ・ 社長室 富士 審議担当1課長 より、日本工業新聞の情報による英国の海底ケーブル布設用新形装置について問い合わせあり。
・ 日韓ケーブル会議・作業部会に対する対処方針打合せ。(総企 主催)。
14:00~。 5時に退席。
・ 沖縄における漁業折衝の状況報告と対策打合せ。(管理部主催)。
古橋、志村 両常ム、識名 沖縄通信事ム所所長ら。15:00~18:40。
管理部長、同次長 ほか。
・ 識名所長に対する招宴に出席。
- 15日 (水) ・ NTT 技術局 村上次長に TEL。
合同委員会 日取りの件。
・ 増田 NASC 社長に、沖縄の漁業折衝状況を報告。
・ 識名 沖縄通信事ム所長 に対する NASC 社長の昼食懇談に同席。
・ 国際電気通信青書の編集委員会 14:00~16:00。
・ OLUHO 修理の打合せ。15:00~16:00。志村、笹本、石川、大山、鈴木。
- 16日 (木) ・ 技計 池田部長とともに、NTT 技術局 村上次長を訪問。(10:00~11:00)
1. 光ファイバーケーブルの研究開発に対する NTT/KDD 間の協調について。
2. CS-36M 方式の長距離・大容量化に対する協力体制について。
・ 検討課題を具体的に分析し、NTT としてなすべきことを協議していったらどうか、また、これらの議論は方式分科会で行なったらどうか。(KDD)
3. 合同委員会の日取りについて。
4月中は、春斗、国会の関係があるので、日取り設定が困難であるので、とくに急ぐ問

題がなければ5月連休明けまで延期するか。

- OLU 修理：14日 23：50 終了。
 - 沖縄の漁業折衝の件について、志村常務、関管理部長より、TEL。
昨日、社長、鶴岡副社長、古橋、志村常務が協議したが、日中問題の見直しがつくまで、表立った動きはさけるよう社長の意向が示された、とのこと。また、沖縄-台湾ケーブルの表現もさげよとのこと。
- 17日 (金)
- 部長会。(10：00～12：00)
 - 沖縄における漁業折衝の問題について、関係役員部長間打合せ。(13：45～15：00)
 - NTT 村上技術局次長と合同委員会開催を5月に延期する件で電話連絡。
 - 職員部長より、業務課へ主任1名を配属させる件につき Tel. あり。
3月中旬に 桂 佑誠君(慶大43年卒)を異動させるとのこと。
- 20日 (月)
- 海底線部内打合せ(11：00～12：30)。
各ケーブルプロジェクト、開発、海外協力、要員等に関し、連絡打合せ。
 - 沖縄における漁業折衝関連の関係役員懇談会(13：45～14：15)
鶴岡副社長、志村常務、福地取締役、総合計画、管理、海建 各部長
沖-台を表面に出さず、沖-本ケーブルの名前で今後の処理を計れぬか、との社長の意向に対し検討。
 - 総合企画会 に出席(14：20～15：00)
長距離・大容量ケーブルの開発に対する役員会資料の検討。
- 21日 (火) 祭日(春分の日)
- 22日 (水)
- 日韓ケーブル 作業部会合 開始。(10：00～)
韓国側代表台との opening ceremony にのみ出席。
 - 沖縄における漁業折衝関連の関係役員懇談会(15：30～17：00)に出席。
鶴岡副社長、古橋、志村、福地 各役員。
総合計画、管理、海建本部 各部長。
沖-台を沖-本におき代える際の問題点の検討。
 - 東北大 永井名誉教授の学士院会員 選任 祝賀会(18：00～20：00)
於 霞ヶ関ビル、東海大校友会館。
- 23日 (木)
- NASC/NEC 間で機材発注の契約書に調印。(署名)11：00～。
NEC 田中社長、OCC 宮川社長、Fujitsu 新 副社長 列席。
 - 保全部長と OLU 修理後の調査委員会の設置について協議。
- 24日 (金)
- KDD 丸へ、回収した OLU の中継器およびケーブルの被傷状況を見に行く。
保全部 大山 次長 同行。(9：40～10：30)。
 - 日韓ケーブル MOC 代表と昼食(住友ビル、大同門)。
 - OLU 修理報告打合せ。(保全部 主催) 14：00～16：00。
修理報告。
被障ケーブル、中継器等に対する調査の進め方。
 - 日韓ケーブルの第2回作業部会の報告と、ケーブル会議への対策に関し、関係役員・部長間打合せ。(総企室主催)16：30～19：30
- 25日 (土) 休み
- 27日
- 日韓ケーブル会議(第5回)に出席。10：00～12：00。14：00～18：00。

- (月) ・ OLU ケーブルの修理に関係した、石井、鈴木、嶋谷、および、タイマーレーシアーシンガポールケーブル調査に携わった柴田君らと昼食慰労。(12:30~14:00)
 ・ 人事異動、業務課に 桂 佑誠君 主任として配属。
 ・ 日韓ケーブル会議 韓国代表 に対する福地取締役招宴(ホテルオークラ桃花村)に出席。
- 28 日
 (火) ・ 日韓ケーブル会議 に出席。(10:00~12:00)
 ミニッツの確認。
 ・ OLU ケーブルの障害原因調査対策について保全部長、建設部長と協議 担当者を選定。
 ・ 志村常務により、KDD 創業記念日式典に招いた ATT 等の代表と、ケーブルシップの問題について社長が意見交換をするための資料を作るよう話しあり、村松業務課長に資料案作成を指示。
- 29 日
 (水) ・ NASC 取締役会。11:00~12:00。
 ・ 社長室 渉外担当大矢課長より、国会通信委における答弁資料として日韓ケーブルの陸揚点に関する資料作成の依頼あり、松田君に作成指示。
 ・ 日韓ケーブル陸揚地選定に関連する沿岸部調査実施の方針に関し 関係役員懇談会で打合せ。(13:30~15:00)。
 志村、古橋常務、管理部、総合計画部、海建本部 各部長、関係者。 出席。
 スケジュールから云えば、浜田沖の調査のみしかできないが、山口県に陸揚することは、国内連絡線の経費増、海域の状況から好ましくないで、浜田沖の調査の結果が好まければ、浜田に選定する線で社長に説明、了承を求めることとする。
- 30 日
 (木) ・ NEC 斎藤、田畑両氏 来訪。
 OLU ケーブル中継器の調査、CS-36M の T-AGC 開発等につき協議。
- 31 日
 (金) ・ 部長会。10:00~12:20。
 ・ 東北大 松尾教授 来訪。昼食シャンボール。
 大学にて海底ケーブルの話しをするよう依頼あり。
 ・ 松本浩太郎氏より TEL を受け、それにより森藤氏に TEL。
 ・ 研究所 新納君 来訪。18:00~。
 光海底ケーブルに関し、調査動向の報告あり。
- 4 月**
- 1 日
 (土) ・ 会社創業 25 周年 記念式典。
 帝国ホテルにて、11:00~12:30。
 接待役として、宮崎郵政政務次官 を 式場案内。
 祝賀パーティ。12:30~14:00。
- 3 日
 (月) ・ 海底線部内打合せ。10:30~12:20。
 ・ 志村常務より、ケーブル船建造と保守の問題について、KDD 首脳から ATT 首脳へ出すべきレター案を作成するよう指示。
 KDD 創業記念式典に招いた ATT ニコルズ副社長を京都における社長招宴に案内する際、木村常務から Mr. Nichols に上記の件を話すことになっているとのこと。レター案の検討について、国際部、保全部と協議のうえ進めるよう村松業務課長に指示。
- 4 日
 (火) ・ OLU ケーブルの修理に伴う経費等の処理に関する打合せ(保全部主催)。
 経理、資材、国際、海建、保全の各部。
 * 中継器の異常を調査する件について、契約の関連から ETPI に連絡し、KDD が委託されるよう取り運ぶべきか否かが論議される。
 ・ 金門製作所 斎藤二郎 常務 来訪。
 ・ KEC 玉置常務理事 来訪。

- KEC 図書の執筆の促進について協議。
9 月末までに原稿を提出するよう要望あり。
- 5 日 (水)
- ・日韓ケーブル陸揚地選定のための浜田沖前面海域調査。およびその結果に基く陸揚地選定の社内決定処理分担について 建設部長と協議し、志村常務の了承を得る。
 - ・KEC 技術図書の執筆促進のため、執筆担当と今後の進め方について打合せ。(14:45~17:00)
- 6 日 (木)
- ・ケーブル船利用および建造に関し、志村常務の下で、保全部長、海底線部業務課長、国際部 協約課補佐らと協議。(10:00~11:00)
Mr. Tuttle からの Letter を保全部長より催促したところ、来週には KDD に届くとのことで、それを待ち、検討後、建設委員会等を経て、ATT と折衝するための方針を打ち出すこととなる。
 - ・業務課 桂主任の歓迎昼食。業務課長 以下。
 - ・技術課長、補佐に、1. 日韓ケーブル陸揚地選定の建設委員会資料、役員会資料を今から準備すること、2. 沖台ケーブル第 3 回技術会議の対処方針案を準備すること、を指示。
- 7 日 (金)
- ・部長会なし。
 - ・技計 池田部長と協議。
 1. 長距離大容量ケーブルの開発。
TPC-3 の動向を見定めてから開発に取り組むべしとの社長の意向をうけると、技計としては当分静観せざるを得ない。海建本部としては、スケジュールの点から、対外的な活動は置いて、社内での検討で手がつけられるものは進めていきたい。
・なお、社長が云われたという、メーカーの手を充分借りることは考慮し、また NK 合同委員会における公社への働きかけにも充分この情勢を配慮する。
 2. 日韓ケーブル陸揚局の保守体制
日韓ケーブル陸揚地の選定後、既設 OH 局と関連して保守体制を決定することが労務面、局舎および機器の設計面から急務となるので、両者協調して、社内関係部門との協議のうえでこの問題に取り組む必要がある。
 - ・以上の点を志村常務に報告し。
 1. 長距離・大容量ケーブルの開発については、社内で当面の検討を進めることを大島副社長、松本取締役にも了解してもらうことが望ましく、光ケーブルの開発について近く関係役員懇談会が開かれるので、そこで了解をとったらどうか。
 2. 陸揚地の選定については海底線部の所掌であるが、既設局との関連を考慮した保守体制の問題もあるので、総企室と協議し、何れが事務処理を主管するかを決めればよい、とのコメントを得。
 - ・猪股課長と共に、NASC/KDD 間建設委託の細目協定案を志村常務に説明。
- 8 日 (土)
- ・KKON ゴルフコンペ。(厚木国際)。
- 10 日 (月)
- ・日韓ケーブルの Technical Standard, Technical Specification の draft について、猪股 矢口、松本(一)君らと討議。(14:00~16:00)
- 11 日 (火)
- ・日韓ケーブル 開発に関するメーカーとの打合せ。(13:30~15:30)
富士通と、方式、端局、中継器に関する開発問題の打合せ。
 - ・富士通 奥村部長と懇談。
 1. OLU の障害中継器について：
 2. リビアケーブルには KDD 方式の給電装置を使用することとしているが、その了解を KDD からとっているが、調査のうえ回答する。
 3. 各社のケーブル計画の情報交換を近々に行なう。(5 月中旬以降)
 - ・OLU 障害修理の参加者の慰労(志村常務招宴)。

- 12日 (水)
- ・ OLU 障害事前修理の役員会報告資料案の検討打合せ(保全部主催)9:30~12:40.
 - ・ 志村常務の了解を得る.
 1. タイマレーシアーシンガポール ケーブル海洋調査に海底線部より 柴田調査役を派遣する件.
 2. 沖一ケーブル技術会議に, NASC の身分で出席のため, 台北に赴く件.
 - ・ NEC 田畑氏 来訪
 - ・ インドネシアーシンガポール間ケーブル応札の件について, 志村常務あて文書(写)を持参.
 - ・ 湯口調査役より, KDD 研究所における光ケーブル関係の研究活動状況の報告を受ける. 今後, 海底線部の若手間で勉強会を開き, 基礎知識を身につけることを示唆.
 - ・ 総企 尾畑部長ほかと, 沖一本ケーブルの建設費, 太平洋ケーブル作業部会第2回会合への出席等につき協議.
- 13日 (木)
- ・ NEC と, 日韓ケーブルにおける開発問題について技術打合せ. (9:30~11:50).
方式, 中継器, 端局 等に関し, 意見交換.
 - ・ 管理部 内野次長とともに, 古橋常務に, アルミケーブル現場試験関連の, 二宮における漁業折衝の問題を説明. (社長に対し, KDD が何故漁業折衝を引受けることになったかの説明のため).
 - ・ 建設部 阿部次長より, 日韓ケーブル陸揚地選定のための浜田沖沿岸部調査の実施について労組本部へ説明することとなったことによる, 資料作成について協議あり.
- 14日 (金)
- ・ 部長会
- 15日 (土)
- ・ 電子通信学会誌, 総合報告 グラ刷りの校正.
 - ・ 総企 深田課長より, 科学技術庁から山村計測研究室長が給電装置の開発で賞を受けることについて, NTT より合同委員会で協力関係にあるのに 了解を求めてないとクレームがあったとのこと.
- 17日 (月)
- ・ 志村常務に報告: アルミケーブル関連の二宮における漁業折衝に対する社長の疑問に対する処理について.
 - ・ 部 打合せ. ((10:30~12:00)
松田次長に, 日韓ケーブル陸揚地選定の決定処理のための役員会資料の早期検討を指示.
 - ・ KEC 発刊予定の技術図書の編集・執筆について, KEC と打合せ. (13:30~15:00)
 - ・ 明日の参院通信委に於いて KDD が参考人として召喚されているため, その資料準備に待機.
沖一ケーブルの保守を NASC/KDD 間でどのように取扱うかについて, 鶴岡副社長, 志村常務より問い合わせあり. 帰宅 10:00.
- 18日 (火)
- ・ 日韓ケーブルの Tech Standard について猪股, 矢口両君と討議.
 - ・ 沖一ケーブル第3回技術会議の対処方針の事案決定書作成.
 - ・ ITDC Mr. Yang より Tel. ケーブルの工場視察日程の調整を希望してくる.
 - ・ 千葉高大 松本浩太郎 来訪. E. Czuber 著の図書を持参.
- 19日 (水)
- ・ 午前, 佼成病院にて, 胃カメラによる検査.
 - ・ 沖一ケーブル第3回技術会議の出席者間打合せ. (15:00~17:00) 於 NASC.
議題案につき 逐條 検討.
- 20日 (木)
- ・ ケーブル船建造に関し, ATT Mr. Tuttle より志村常務あて, 建造の要を認めぬとの見解を示した letter が来信. その対応策につき, 関係役員, 部長 間で協議*.
*出席者, 志村, 笹本, 高松, 石川, 鈴木. (15:30~17:00)

返信を出すための当面の作業を海底線部中心(主管 業務課)で行なうこととなる。
総企 尾畑, 池田 両部長に Tel. し, 作業への総企室の参加を要請.

- NTT 技術局 村上次長と NK 海底同軸ケーブル合同委員会の開催日取りにつき協議. 5月22日(火) or 5月26日(金)を目標として, 双方の 首席委員 ほかの都合を確かめることとする.

- 21 日 (金)
- 副参事定期管理表, 担当役員へ提出
 - N・K 海底同軸・合同委 日取りにつき, 大島, 志村, 笹本, 福地 各委員に 5/22 or 5/26 の都合をきき, 何れにても可との回答を得.
猪股技術課長に NTT との連絡を指示.
 - 日韓ケーブルの陸揚地選定のための浜田前面海域調査計画につき, 関係者間打合せ.
(志村常ム, 建設部長, 次長 ほか). (16:30~17:30)
 - 上記関連で, 調査結果に基づく陸揚地選定のための審議資料の作成準備を進めるよう松田君に指示.

- 22 日 (土)
- NASC ゴルフコンペ, 武蔵野 CC.

- 23 日 (日)
- 沖一ケーブル技術会議(第3回)に出席のため, 台北へ出発.
出張期間: 4月23日~4月29日. NASC 取締役として出張.

24日~25日 技術事項の協議.

- 26 日 (水)
- ITDC/NEC 間の契約になる, 頭城側 端局, 連絡線用端局について, NEC との業者折衝が CTC の主宰で行なわれ, これに出席.

27 日 (木) 頭城 陸揚局の 建築状況視察

28 日 (金) 技術事項の協議, 議事録確認, 会議終了.

29 日 (土) 台北 発. 帰着.

5月

- 1 日 (月)
- 猪股技術課長より, 出張中の処理事項につき報告を受ける.
 1. NK 合同委の日取りについての NTT との連絡状況.
 2. 争議の解決.
 3. 日韓ケーブルの tech standard, tech specification(何れも Draft)の事案決定処理の推渉状況.
 - 新技術開発推進委員会に 出席. (14:00~17:00)
 - 3 類, 4 類管理者の定期管理表, 異動昇進上申 作成.

- 2 日 (火)
- アルミケーブルの試験システム布設の準備として, シミュレータケーブル撤去工事を行なうに際し, 労組へ事前説明: 建設部長とともに出席し, 説明(11:10~11:40)
 - 尾畑総合計画部長より, 新 TPC 計画バンクーバー作業部会会合の準備, および沖一本ケーブルの郵政・公社との話し合いの準備に関し, 技術面での検討の依頼あり.
 - 古橋常ムより, 日韓ケーブルの機材輸出事ムに 商社(三井物産)を使うことの可否, 能否につき話しあり.

- 4日 (木)
- ・アルミケーブル開発会議資料の事前検討。
 - ・アルミケーブル現場試験について労組への説明，二宮中継所への説明を行なうことに関し，徳江課長と協議。
5月8日の開発会議で計画確定後，上記の説明をすべきであると話す。
 - ・業務課長より：国際部協約課長との話して，日韓ケーブルの建設保守協定の締結を6月10日にしたいが，郵政の認可を得るための説明を早期に行ないたいので，陸揚地選定を5月中旬に決定できぬかとのこと。（監理官が5月18日～6月6日．海外出張で不在のため）．全体計画の総合調整の問題になるので，総企室を通して，関係各部で協議すべき問題であることを指摘。
- 8日 (月)
- ・海底線部内打合せ。（10:30～12:10）
 - ・沖一 技術会議の状況報告（石井補佐）
 - ・業務概況（猪股課長）。
 - ・業務予定表の作成（3ヶ月分）を指示。
 - ・新TPC計画作業部会バンクーバー会合への対処要望。
 - ・沖一本ケーブルの技術面の検討を要望。
 - ・新海底同軸ケーブル開発会議（第4回），同推進連絡会議（第5回）合同会合に出席（14:00～16:00）於 郵政省，大島副社長 出席，志村常務 海外 出張（パラグワイ）のため欠席。
 - ・研究開発推渉状況報告，ならびに，現場試験実施案の審議。
- 9日 (火)
- ・海底同軸NK合同委員会の資料検討。
 - ・NASC 増田社長に 沖一 台ケーブル技術会議の報告。
- 10日 (水)
- ・古橋常務より，本日の国会（衆院通信委）への参考人喚問で，日韓ケーブルの陸揚地選定に関する質問があるので，back groundを知りたい，とのことで，CS-36M方式の諸元，現在実施中の浜田沖前面海域調査の計画に関する参考資料を提出。
 - ・新TPC計画のバンクーバー会合への対応のため，新ケーブル計画における技術面の検討について，石井，江幡，湯口 君らと協議。
- 11日 (木)
- ・総企室 尾畑総合計画部長と協議。
 1. 新TPC計画バンクーバー会合への対応について：network案に対するTech evaluationについての検討の考え方に関し意見交換。
 2. NK合同委に提出する資料「KDDにおける海底ケーブルの近況について」の案を示し，沖一 台，日一韓，新TPCに対する紹介内容について意見を求める。
 3. 沖一本ケーブルに関する技術面の検討について，総企 技計部が海建，保全，網管 各部の中心となることを希望し，とり敢えず，技計部長に話すこととする。
- 12日 (金)
- ・国際部より，日韓ケーブルの建設保守協定の郵政省認可申請の日程上，陸揚地の決定処理を本月末までに進めてほしいとの要望あり，国際部の希望として了知しておくこととする。
 - ・NTT 村上技術局次長より，NK合同委に提出の「CS-36M方式の国際ケーブルへの適用について」の資料に関し，KDDよりNTTへの何らかの協力依頼方の表現がほしいとの話しあり，一応検討することとする。
 - ・OLUケーブルの事前修理後の中継器調査結果の中間報告打合会合。（14:00～16:00）
KDD丸船上における中継器測定系の不備により異常現象が起きたことが調査結果として報告され，中継器は正常であることが判明したので，今後の解体作業は実施しないこととする。この中継器は予備品として活用することにするべきであるとの意見が出，（保全部長）海底線部長として同意見を示す。
 - ・志村常務に報告。
 1. 沖一 台技術会議（第3回）の状況。
 2. アルミケーブル開発会議・推進連絡会議の合同会合（5月8日）の状況と，実験システム，TPC-1と交差する件をATTに了解してもらうための処理について保全部と協議中

であること。

3. NK 合同委員会の開催(5月26日)について。

- 13日 (土) ・ 出社。
NK 合同委資料の作成。
- 15日 (月) ・ NK 合同委員会に提出する資料に、沖一合ケーブル、日韓ケーブルについての紹介をどのようにするかに関し、尾畑部長のコメントを求める。
また、CS-36Mの開発問題について、池田部長のコメントを求める。
志村常務、福地取締役にも意向をきく。
上記、とくにコメントなし。なお、福地取締役より、国会の会期延長期間が明確になる時点(17日)に、沖合ケーブルの沖縄における作業を再開してよいかの判断を 郵政省が下すとのこと。
・ 志村常務より。
元 HTC の Mr. Izumo より、TAT-5 における repeater pig tail 部の corrosion 障害に関する ATT の調査資料が内密に送られてきたとのこと。江幡、湯口両君に検討方を特命する。
・ 神保監理官に NK 合同委終了後の懇親会について案内。(現在の予定では、当日別に予定があるので、出席は困難とのこと)。
・ 台湾 Mr. Yang より Tel. (17:00)。
台湾側の工事に関する三菱建設との negotiation(5月23日)、shore conduit の試作品の検査等への立会いの案内、訓練やケーブル検査への要員派遣等について、追って、TLX をよこすとのこと。
・ シドニー事ム所秘書の Mis. Bronwyn Bennett、その友人の Miss Pauline Fawkner を、業務課長とともに接待。(六本木、ストックホルム)
- 17日 (水) ・ OLU ケーブルの修理の際に生じた中継器の異常が、現在引合い折衝中のシンガポールインドネシアケーブルで、日本の中継器に対する疑問の因となっているとの話しが富士通よりあり、保全部長、志村常務とも協議し、至急、CW、ETPI に中継器は正常である旨を通知することとする。
・ 労組に対し、沖一合ケーブルの状況を説明し、端局取扱いに対する訓練の実施に了解を求める。
保守体制について会社側の考えを明らかにするよう求められる。(10:00~11:00)
・ NASC 取締役役会(11:00~12:00)。
・ 大島副社長に、NK 合同委への提出資料を事前説明：CS-36M の適用等につき、内容的に問題なければ、表現で NTT を刺戟することがないようにすべしとの指摘あり。
・ 総企室 河合課長 来訪：新 TPC 計画におけるトラヒック上の必要建設年次と実施可能建設年次とのズレをどう取扱うかの問題について討議。
・ 志村常務より。
監査報告によると、沖縄中継所に予備品が多いとの指摘がなされているので、検討を要す。
- 18日 (木) ・ 富士通小山工場へ出張
アルミケーブル用中継器、ならびに 沖一合ケーブル用中継器の製造状況視察。
- 19日 (金) ・ 部長会
・ 新 TPC、バンクーバー会合への対処方針案作成のため、総企室で検討したケーブル網構成の分析、評価結果について、木村常務以下会合出席者間で打合せ。(14:00~17:00)。
・ 志村常務より、福地取締役が MPT との協議の結果、沖一合ケーブルの沖縄における作業は再開できることになったとのこと。
・ 部レク参加のため、小諸 千曲山荘へ。

- 20日 (土) ・海底線部 レク行事。(軽井沢).
- 22日 (月) ・沖一台ケーブル, 日韓ケーブルの建設作業推進に関する関係役員・部長 打合せ.
(総企室 主催, 11:10~12:40).
MPT より沖一台, 日韓両ケーブルの推進についての意向が示され, それに基づいて今後の作業を進めることとなった.
・海底線部打合せ。(13:30~14:40)
上記の関係役員打合せの結果に基づき, 海底線部で進めるべき作業について次・課長に指示.
・志村常務に, 日韓ケーブル陸揚地を決定してゆくための社内合議について諮り, 了承を得る. すなわち, 5月26日(金)に両副社長以下関係役員の会議をもち, 浅海部調査の結果を報告し, 決定への処理について了解を得ることとする.
・台湾より来訪の, Mr. Lee 以下を招宴。(香港飯店).
- 23日 (火) ・大島, 鶴岡 両副社長に, 5/26の会議 出席の了承をとる.
・TPC, バンクーバー会合における技術事項の検討について, 石井補佐, 江幡, 湯口 両調査役と討議.
・TAT-5におけるRep. の電食障害の調査資料の検討結果について, 江幡, 湯口 両君からきく.
・総企 河合課長より, ATT から送付のケーブル網の計算結果の資料を受領.
・TASI のタンデム接続について, 網管部 十二課長にきく.
・健康診断: 受診
・OCC の招宴に出席
- 24日 (水) ・石井補佐とともに, 新 TPC のルート案に対する技術事項の検討結果について, 志村常務に説明.
・研究所 太田電子回路研室長に TEL. DSI についてきき, 資料を依頼.
・アルミケーブルの現場試験実施について労組説明の要あり, 労厚部との協議状況について杉本副参事より報告.
・日韓ケーブル陸揚地決定を進めるための処理手続き, 所要文書の作成について 松田次長と協議.
・NASC より, 木下課長(訪台中)からの情報として, 三菱建設と ITDC 他との価格折衝が合意に達したとのこと.
・富士通 三村営業部長 来訪: 日韓ケーブルの Main Contractor として富士通が内定したとのこと.
- 25日 (木) ・CS-36M の長距離大容量化の所要期間および TASI-C の経済性について 志村常務に説明.
・新海底同軸(アルミ)ケーブルの布設工事について 労組説明を求められていたが, 文書提供で了となる.
・TPC, バンクーバー会合の対処方針に関する審議を, 海底線建設委で行なう。(15:00~16:30)
総企室 主催.
・成城 高校 クラス会(文, 理 合同). パレスホテル.
- 26日 (金) ・日韓ケーブル陸揚地の選定について, 関係役員懇談会で審議。(10:30~12:40).
浜田沖沿岸部調査結果の報告と, それに基づく 浜田久代を陸揚地に選定することの可否, 及び, 日韓, 沖台の建設スケジュールについて審議.
・海底同軸, NK 合同委員会(第8回): KDD ビル, 15:30~18:00.
18:00 より懇親パーティ.
- 27日 研究所, ゴルフ コンペに参加.

(土)

- 29日 (月)
- ・古橋常務より、浜田久代における漁撈活動から見て、ケーブル布設ルートとして問題ないかと質ねらる。漁法に応じて安全を図る工事をする旨、回答。(11:50~12:30)
 - ・志村常務に、日韓ケーブル陸揚地選定についての社長説明に関し資料説明。古橋常務了承のうえで、社長に説明することとする。(15:10~16:30)
 - ・バンクーバー会合(TPC計画)へ対処する件についての関係者打合せに出席(総企 尾畑 部長、井上次長、塚田、河合課長、国際部 林課長ら)。

- 30日 (火)
- ・TPC計画、バンクーバーSG会合への対処方針案の審議を役員会でうける。総企、尾畑部長とともに出席。
 - ・日韓ケーブル陸揚地を浜田(久代)としたい旨の社長説明。(16:30~) 志村常務に、建設部長と共に同行、社長了承と理解。

- 31日 (水)
- ・日韓ケーブル陸揚地 決定のための事案決定文書を作成。
 - ・大形ケーブル船建造と、ケーブル船利用協定の改訂問題について。国際部長、保全部長と協議。(14:00~15:40)。ATTとの折衝を早急に進める要ありとの結論。
 - ・上記の件を志村常務に報告し、ケーブル船建造問題は総企室中心に進めることが望ましいので、尾畑部長に協議。志村常務からは、両副社長、福地取締役と話すこととなる。

6月

- 1日 (木)
- ・沖一台ケーブルのスケジュールに見直しの一案として、台湾側から布設する案について建設部長と協議。
 - ・金門製作所 斎藤(二郎)常務来訪。
 - ・ケーブル船建造に関する問題を進めるための社内態勢体制について、関係役員懇談会を急ぎ開くこととなり、両副社長以下の都合をきき、準備。

- 2日 (金)
- ・NASC 石谷、今井課長から 機材輸出の問題の説明をきく。来週、米沢参事官が帰国後、早急に問題の解決を計ってもらうこととする。
 - ・ケーブル船建造について検討する社内態勢に関し、役員懇談会で審議。(10:45~11:30) 両副社長、関係役員、部長 出席。
 - ・上記に関し、国際部長と、総企室に進めてもらうための目標として、ATT/KDD間の会議の開催予定期日、議題等を定める件につき協議。(常務指示による)
 - ・阿部、松田 両次長に、アルミケーブル陸揚時の二宮における応待について 措置を進めるよう指示。
 - ・松村常務課長に、ケーブル船建造の件に関し、総企への積極的協力を指示。
 - ・猪股課長に、沖一台ケーブルの機材輸出の問題と、工事スケジュールの関連を NASC、建設部と協議のうえ、明らかにしていくよう指示。
 - ・石井、江幡、湯口 両君から、TPC、バンクーバー会合関係の技術関連資料の説明をうける。

- 3日 (土)
- ・台湾出張中の木下君から Tel. 状況の報告あり。
 - ・TPC計画 バンクーバー会合への対応について、出席者間打合せ。(10:40~11:30) (木村常務、尾畑部長、林課長。)

- 5日 (月)
- ・新太平洋ケーブル計画バンクーバー会合に出席のため 成田空港より 出発。

7日~13日
会議

- 16日 帰国
(金)
- 19日
(月) ・志村常務，増田 NASC 社長に帰国報告。
・松田次長，村松課長，猪股課長より，出張中の処理状況について報告をうける。
- 20日
(火) ・沖一ヶケーブルの台湾側陸揚ケーブルの保護について，志村常務のもとで建設部案中心に討議。
・水深 50m 以深もケーブル保護上，埋設するかについて，必要性と可能性をなお検討のこととする。
- 21日
(水) ・沖一ヶケーブルの深海部布設を，台湾側から行なうための問題点について 海底線部，建設部間の関係者で協議。(13:40～15:10)
・金門製作所 斎藤二郎氏より TEL。
- 22日
(木) ・アルミケーブルの布設後のシステム試験状況を視察のため，二宮中継所に出張。
湯口，増山，大原君と食事。
・帰路。東京通信病院に入院中の 森田海洋課長を見舞う。
- 23日
(金) ・部長会。(10:00～11:30)
・KEC 発刊の技術図書“国際海底ケーブル通信”の編集打合せ(13:30～16:00)
・志村常務，KCS 小林部長，建設部長，関(光)部長 ら。
・沖一ヶケーブルの台湾側陸揚工事スケジュールについて 海建本部関係者で協議。(16:00～17:00)
・猪股課長 より。
内部監査において指摘のあった沖縄中継所における予備品の管理について，沖縄中継所，保全部にもきいたところ，
固定資産となっている予備品を現場保管していることの是非が問題となったもので，数量が多い点が問題となったのではない。管理方法について，本社保管となし得るかにつき保全部，資材部で検討中。
なお，OLU-LUHO の予備品量を比較したが，数量的に OLU が多いことはない。
- 24日
(土) ・出社。
・星齒科にて 定期健診。
・金門 斎藤(二郎)氏と会い，彼の個人的問題について 話しをきく。
- 26日
(月) ・海底線部 管理者 打合せ。
・KEC 図書の原稿(基礎技術編)を Check。
- 27日
(火) ・役員会に尾畑部長とともに出席し，太平洋ケーブル計画バンクーバー会合の報告を行なう。
社長より，二宮に新ケーブルを上げることの問題が云われ，日本-ハワイ間ケーブルの場合，もっと北の方(例えば高萩付近)がよいようだが，なお 選定には充分慎重な調査・検討を要する旨，述べる。
・日韓ケーブルの当面の作業スケジュールについて，総企室主催の打合会で討議。(14:00～16:30)
海洋調査，システム設計，ケーブル会議，調達関係の作業。(引合書発出から，契約まで)等のスケジュールにつき，海建，資材部，技計 等 関係各部間で討議。
- 28日
(水) ・石川保全部長と，OLU ケーブルのレベル変動再発について協議。
・研究所 中井室長と，KEC 図書の基礎技術編原稿の検討結果について打合せ。
・沖一ヶケーブルに関し，共産党山中議員が 6 月 29 日内閣委員会にて質問するとのことで，

- 郵政省電監室 米沢参事官より、現在の建設状況について問い合わせあり。
- 台湾側陸揚工事用機材の輸出許可、ようやく下りる。
 - 国会、内閣委員会における 郵政省答弁に協力のため、待機。(21:00迄)
- 29日 (木)
- KDD 株主総会。
 - NASC 株主総会、引続き 取締役会。
 - 沖一ケーブル台湾側陸揚工事に際し、台湾へ出張する件につき、志村常務、NASC 増田社長の了承を得る。
 - 志村、笹本両役員より、OLU ケーブルのレベル変動再発の徴候が現れた件を社長に報告するための資料作成について、保全部と協議するよう指示あり、直ちに 江幡調査役に案作成を指示。
 - 夜、NASC 社長招宴。(ニューオータニ)。
- 30日 (金)
- 訪台中の木下課長に、7月7日より訪台する旨、TEL 連絡。(9:30)。
 - 部長会(次長 代理出席)
 - 部長会にて重要連絡事項として、社長指示による社内秘密事項の保持が示され、次課長と部内における措置を協議。
 - OLU レベル変動に関する CW, ETPI への TLX の送付について保全部長と協議。
- 7月**
- 1日 (土)
- 沖一ケーブル 台湾側陸揚工事のため出航の KDD 丸を横浜山下ふ頭で見送り。
- 3日 (月)
- NASC 増田社長に KDD 丸の横浜出港について報告。
 - KCS 木村社長と、沖一ケーブル、新太平洋ケーブル計画等につき懇談。
 - 総合報告 日中間海底ケーブルの原稿作成に助力した水野、京極 君らと会食。(山珍居)。
- 4日 (火)
- 管理部主催の関係部門間打合せ(10:00~11:30)総企、海建。
沖繩における陸揚ケーブル4条布設と、漁業折衝の関連について、事務レベルでの統一見解を得るために協議。
 - 沖一ケーブルの海洋部布設を台湾側から行なうことの是非について、志村常務の下で、海建本部内 関係者間打合せ(14:00~15:30)
 - スペイン駐在 発令の柴田君の送別会のため、石川君とともに会食。(星沢氏招宴)
- 5日 (水)
- KEC 技術図書の原稿に関し、吉田、徳江両君と個別に意見交換。
 - 石川保全部 と、OLU ケーブルのレベル変動対策について協議。
ケーブル船協定の会合後、CW の Mr. Pitt が来日の意向を示しているの、その際に ETPI Mr. Histed の来日も求め、三社間で OLU のレベル変動対策を協議し、10月の調達委において決定を図るよう進めることが望ましいということで意見一致。
 - 東西マレーシアケーブルの入札決定のため、Board Meeting が7月7日に開かれるが、その際の参考資料として、埋設が国際的に評価されている資料がないかとの問い合わせが、NEC 鈴木(欽)氏よりあり、ITU の GAS のドキュメントを調べ、要望に応える。
- 6日 (木)
- NEC 鈴木(欽也)氏 来訪：GAS の中からとった埋設に関する記述のコピーを渡す。
 - NASC. 木下君より TEL。(台北より)。
ケーブル陸揚工事は、7月10日に実施できそうな気象状況とのこと。
最終決定は、さらに状況をみて、関係者協議のうえ、KDD ビーチマスター(杉本副参事)によりなされるように伝える。
 - ケーブル船建造に関する総企会審議：松田次長、村松課長に出席指示。
 - 沖繩中継所の保守体制：資料についての疑義を保全部に質した後、志村常務へ説明するよう、松田 次長に指示。

- ・ OLU レベル変動：状況の把握と原因推定，対策，対策の効果(経ヒと信用度)，対策の推進と体制 等につき，海建本部，保全部間で打合会をもち，次いで関係役員打合会の審議を経る計画で進めるよう 江幡調査役に指示.
 - ・ 浜田へのあいさつ：松村業務課長に参加を指示.
- 7 日 (金)
- ・ 台湾におけるケーブル陸揚工事視察のため，台北，頭城へ出張.
木下，杉本 両君に会い，状況をきく.
- 8 日 (土)
- ・ 志村常務に連絡.
 - ・ 14 時発の列車で頭城へ向う. (Mr. Yeh, Kao, 木下，杉本，山本 君ら同行)海岸の状況を見る. 礁溪 泊.
- 9 日 (日)
- ・ 頭城 海岸にて，陸揚作業のリハーサルを見る.
 - ・ 台北より，増田社長，木村社長 一行，Mr. T. C. Chiang, Y. Y. Yang ら到着.
- 10 日 (月)
- ・ 午前 4 時頭城海岸にて，陸揚作業開始.
7 時 30 分 ケーブル陸揚作業 終了. (約 450m を陸揚げ).
以降，バルーンブイ Cut，回収，KDD 丸沿岸ケーブル約 4.4Km 布設.
陸側では，局舎への引込み作業を実施.
10 時 30 分海岸を引き揚げ，礁溪ホテルへ戻る.
昼食(羅東)後，マイクロバスで台北へ向う. 台北グランドホテル着 16:30.
- 11 日 (火)
- ・ CGRA Office にて，Mr. Y. Y. Yang らと若干の技術事項討議.
 - ・ 午後，グランドホテル内で ショッピング.
- 12 日 (水)
- ・ 9:30 ホテル チェックアウト.
10:55 CX450 で離台. 帰国
- 13 日 (木)
- ・ 10:15 出社.
 - ・ 石井補佐より，OLUHO TSC の次回会合等について報告をうける.
 - ・ 柴田調査役より，東西マレーシア，タイマレーシアシンガポール等の各ケーブル計画の進展状況について報告をうける.
- 14 日 (金)
- ・ 保全部長と，TSC の次回会合の開催時期について協議 (10:00~11:00).
Mr. Powell 提案の東京開催に同意し，時期については，available な時期を知らせ，convene してもらう.
 - ・ 社長室 長沢次長より，公明党 島井一雄議員からの依頼で香港の一流のクラブ等を教えてほしいとのこと，石井君に 香港の Mr. Gaylord Chang に電話できいてもらい，議員に伝える.
 - ・ 増田社長に同行し，KDD 板野社長に台湾における陸揚工事の報告.
- 15 日 (土)
- ・ 出社.
ITDC Mr. Yeh, Mr. Kao を迎え，昼食.
- 17 日 (月)
- ・ 日韓ケーブルの海洋調査のため KDD 丸に乗船の MOC 職員 5 名のあいさつを受ける (11:00).
 - ・ 大型ケーブル船建造に関する関係役員懇談会. (14:00~16:00)
 - ・ 会合後，志村常務より，会議の結論をうけて，中型船の検討とりまとめを進めるよう指示あり.
 - ・ 局所長会議用資料の作成.
 - ・ MOC 職員を招宴. (三井ビル，マンダリン).
 - ・ 臨時部長会 (17:00~17:30)

本社組織の一部改正について.

- 18 日 (火)
- ・海底線部打合せ(10:30~12:30).
 - ・本社組織の一部改正, 53年度本給, 管理者手当, 文書等の秘密保持の取扱い等.
 - ・OLU レベル変動の対策の進め方について, 打合せ. (13:30~16:00)
保全部 主催. 海建本部, 関係者, 出席.
 - ・中小形ケーブル船の検討について.
小室受信所駐在畠山調査役の応援を求めるとともに, 江幡調査役を当てることとし, 松村業務課長を交えて協議. (17:00~19:00)
 - ・台湾でケーブルシップ建設の計画のあることが, 先のNASC 増田社長訪台のことの折に Mr. T. C. Chiang から明らかにされたが, KDD トップよりこれに投資することの是非の検討が志村常務に要請され, 情報収集と 各面の検討について常務より話しあり.
- 19 日 (水)
- ・志村常務の下で, 村松, 畠山, 江幡, 鈴木 の各氏とともに, 中小形ケーブル船の建造費, 経常費等の基礎資料作成についての検討方針を打合せ. (10:20~11:20)
 - ・沖台ケーブルの漁業折衝問題に関する関係役員, 部長打合せ. (14:00~15:00).
管理部 主催. 古橋, 志村, 福地 各役員, 総企, 海建, 管理部 各部長クラス出席.
 - ・7/24~7/26. 上記問題の解決促進のため, 古橋常務が訪沖し, 県庁, 開発庁, 具志頭村等に協力依頼するが, これに同行を命ぜらる.
- 20 日 (木)
- ・畠山, 江幡, 村松君らの慰労・昼食.
 - ・志村常務より, NASC 施設課長の人事について.
 - ・古橋常務, 関 管理部長と 沖縄訪問における日程スケジュール等の打合せ.
 - ・三菱重工 特殊船部長代理(営業)奥村氏 来訪.
中小型ケーブル船の建造費見積りについて協力を要請す.
- 21 日 (金)
- ・志村常務に, NASC 施設課長の人事について, NASC 社長の意に沿うものであることも配慮すべきであると述べる.
 - ・光海底ケーブル方式に関する関係役員・部長間打合せ(10:00~12:30)
 - ・NTT との関係をいかに考慮すべきかが討議される. 技計部主管.
 - ・海底線建設推渉状況報告(6月分)を作成.
- 24 日 (月)
- ・沖縄における漁業折衝対策協議のため, 沖縄へ出張.
通信事務所幹部と状況分析および対策協議.
- 25 日 (火)
- ・具志頭村役場, 中継所, 漁業組合長 を 訪問.
 - ・19:25 発 JL906 便で帰京.
- 26 日 (水)
- ・午前, 佼成病院 皮膚科.
 - ・午後, 出社.
 - ・NASC 増田社長に漁業折衝問題の状況報告.
 - ・OCC 寺西氏 来訪: 沖一ケーブルの製造後のバージ保管における積込順序について.
 - ・保守専用のケーブルシップの検討結果について, 村松課長, 畠山調査役より報告を受け, 討議.
- 27 日 (木)
- ・保全部長と TSC 会合開催に関する CW からの TLX に関し 意見交換.
 - ・保守専用ケーブルシップの検討結果について, 大島副社長に電話で報告. (14:00)
(副社長ウルシー会合出席のため, 夜 出発とのことで自宅へ TEL.).
 - ・太平洋ケーブル計画の首脳者会合に対する対処案作成のための資料作成について打合せ (総計画部 主催). 14:20~16:30
 - ・社長室 西本次長より TEL.

- ・ 荅北 伊沢所長の本社転任に伴う所属について、問合せ。建設部長と協議のうえ、建設部・部付副参事とするように回答
- ・ なお、NASC 施設課長人事は、社長室案の線で進めるとのこと、不本意乍ら止むを得ず。

- 28 日 (金)
- ・ 志村常務(7/25～7/27：国会議員を案内し、荅北出張)に報告。
 1. 人事に関する社長室次長との協議内容
 2. TSC の次回会合に関する CW の TLX.
 3. 沖縄における漁業折衝問題.
 4. ケーブル船の検討結果：(村松課長，畠山調査役 と共に報告).
 - ・ タイ-マレーシア-シンガポール ケーブルの海洋調査報告の提出について、柴田調査役と協議。
 1. JICA へ出す調査結果と選定ルート，ケーブル保護に関するコメントは，少くとも，海建本部内で了承の処理をとる.
 2. 報告のため，タイ，シンガポール，マレーシア三国を訪問するに当たっては，部内でよく討議し，先方での対応に備えておく.
 - ・ 沖縄漁業折衝問題の対策協議のための関係役員懇談会(16:00～17:00)
監理部主催。古橋，志村 各役員，総計，海建，管理部，部長ほか 出席。
- 31 日 (月)
- ・ 午前，佼成病院にて，胃カメラ 検査。
 - ・ 橘田調査役より，アルミケーブル実験システムの端末等化調査の完了について報告あり。
 - ・ 村松課長，畠役調査役より，午前に行われた 保守専用ケーブル船の建造に関する総企室の様態をさく。
 - ・ 三菱重工 牧野顧問 来訪：KDD におけるケーブル船の建造に関する検討の状況について話す。
 - ・ OLUHO TSC 次回会合への対応について，保全部と協議。(15:00～16:30)
 - ・ 業務課長人事について，社長室 西本次長より説明あり，志村常務了承ということで，止むなしとしたが，志村常務からは海底線部長が了解したときいたので止むなしとしたとの話して，その間の食い違いについて，夜，西本次長より，志村常務への説明を先に行なったのを，小生へ説明し了解を得たと間違えていたと，釈明および陳謝の Tel. あり。

8 月

- 1 日 (火)
- ・ 保守専用の小形ケーブル船建造について，関係役員懇談会で審議。
総企主催。鶴岡副社長以下関係役員 出席。(14:45～16:40)。
- 2 日 (水)
- ・ 理事への内命あり。
志村常務よりの伝達で，村松，堀越 両君へ内命。
 - ・ 日韓ケーブル機材調達に関するスケジュール打合せ。(10:00～12:30)
総合計画部主催。資材，海建，経理，各部 出席。
 - ・ TSC 会合開催の事案決定処理を進める。
- 3 日 (木)
- 夏季休暇。
8 月 3 日～5 日。
- 7 日 (月)
- ・ 理事に任せらる。辞令交付。11:00～。役員，NASC，KCS へあいさつ。
堀越業ム課長，日中平和条約に関する外相訪中に伴う，報道陣のための回線設定に協力の目的で北京へ出張。
 - ・ 研究所 新納君来訪。shore end control の特許問題について。
 - ・ NASC 施設課長，補佐の異動に伴う歓送迎会。(北京大飯店)。
 - ・ 能勢の父死去。
- 8 日
- ・ 異動昇進者に対する 社長訓示。(11:00～11:15)。

- (火) ・社長に理事昇任のあいさつ。
 ・沖一台北および日韓ケーブルのルートに関する調査結果の報告打合せ。(13:30～)
 海建本部, KCS, NASC の関係者 出席
 ・沖一台北ケーブルに関する台湾沿岸の埋設調査およびルートの補足調査の結果のみきき,
 日韓ケーブルルート調査については, 松田君に出席させる。
 ・柴田調査役とともに志村常務にタイマレーシア, シンガポールケーブルの海洋調査報告書について説明。(16:00～17:00)
- 9日
 (水) ・能勢の父死去による忌引き休暇。
 ・午前, 星齒科。
 ・午後, 会社へいき, 沖一台北ケーブルの台湾側沿岸部の埋設調査, およびルート補足調査,
 ならびにケーブル交差に関する NTT との協定(案)について 志村常務の下での海建, KCS,
 NASC 関係者間打合せに出席。(15:00～17:00)。
- 10日
 (木) ・能勢家告別式。
 ・志村常務, ケーブル船の問題で訪台。(16日迄。)
- 11日
 (金) ・OCC 齊脇氏に TEL。
 大西洋における深海部でのケーブル移動による障害について, 同氏が BPO から得た情報を
 きく。
 case 1. スペイン-英国間ケーブル(ビルバオ-グリーンヒリダウンス間)1.47" ケ
 ーブル 5MHz 方式, 1970 年建設: が急傾斜面で障害となったが, ケーブルが摩耗し障害,
 500～1000 Fathom.
 case 2. PENCAN-1(0.99" ケーブル, 1965 年建設): ジブラルタル海峡の大西洋側出口で
 潮流により障害。
 BPO は OLU のバシー海峡における障害に強い関心をもち, KDD の対策を知りたいとのこと。
 ・新太平洋ケーブルの首脳会合 における技術的事項の検討のための打合せ。(石井, 湯口,
 江幡)。14:30～17:00
 ・日本-ハワイ間ケーブルの日本側陸揚地。
 ・同ケーブルの建設責任の分担, および 建設所要期間。
 ・豪-ハワイ間の長距り区間に CS-12M 方式を適用し得るか否か。
- 14日
 (月) ・NEC 田畑氏 来訪。(9:30～10:15)
 東西マレーシア, シンガポール-インドネシア ケーブルの入札結果について報告あり。
 ・古橋常務より, 先週 沖繩へ行かれ, 漁業折衝問題について, 関保方面へ協力依頼をされた
 状況の話しあり。(10:15～11:00)。
 ・NEC 鈴木(欽)氏, 布設(東西マレーシア)について KCS と打合せのため来社し, 打合せ
 後, 来訪。
 ・金門製作所 斎藤(二郎)氏 来訪。
 ・訪台中の木下海洋課長より Tel. 沖一台北技術会議は, Mr. Yang が9月4日より24日まで渡
 米のため, 9月18日から開催は困難とのこと。10月16日以降で Mr. Yang と協議するよう
 指示。(18:25～18:40)
- 15日
 (火) ・海底線部, 打合せ。(9:30～12:00)
 ・異動後の業務分担等について打合せ。
 ・日韓ケーブルの建設 PERT の討議。
 ・国際部長 と TEL
 ・沖一台北ケーブルの IRU 販売会議の準備について。
- 16日
 (水) 午前, 佼成病院 皮膚科。
 午後, 出社。

- ・ OLUHO TSC 第 8 回会合の対処方針案を石井補佐と検討.
 - ・ 日電海外エンジニアリング(社長 田中信高氏)樋口重孝 研修訓練部長より TEL.
(045-932-1111. EX. 3616)
海外への衛星通信設備の輸出に際し、買方に対する訓練・研修の必要があるが、適当な人(英語ができ、衛星通信システムの技術に詳しい)が、KDD または OB にいないか、期間 2 年位、pay 1.5-2 万円/day.
海協室には断られた。(KDD 地球局での、1 Week 程度の短期実習は可能であるが、長期で外部での講義等は無理).
 - ・ KEC 玉置常務理事に 以上の話しを伝える.
 - ・ 夜、水野君来宅. 結婚の媒酌 依頼.
- 17 日 (木)
- ・ OLUHO ケーブルの第 8 回 TSC 会合の対処方針(案)の検討を保全部、松村次長に依頼、役員会審議の議題通報のため、笹本取締りに大綱の事前説明.
 - ・ NEC 清水、斎藤(文)両氏来訪.
シンガポール、インドネシア ケーブル、日韓ケーブルのことなど.
 - ・ 志村常務、台湾より帰国、出社.
OLUHO TSC 会合対処方針(案)の説明、了承を得る.
 - ・ 夜、ケーブル船建造に関する検討グループ(村松、畠山、江幡.)の慰労。(ギルド)
- 18 日 (金)
- ・ 石川保全部長 サンフランシスコにおける ケーブル船協定改訂の会合を終え帰国.
TSC 会合対処方針の役員会資料につき協議.
 - ・ 鶴岡副社長に 上記役員会資料の事前説明(14:30~).
- 19 日 (土) 週休.
- 21 日 (月)
- ・ TSC 会合対処方針に関する役員会資料を、大島副社長、社長に事前説明.
 - ・ NEC 田畑氏より、シンガポールーインドネシアケーブルの Letter or Intent(8.17 付) を受け取った旨、連絡あり.
- 22 日 (火)
- ・ OLUHO ケーブル TSC 会合対処方針案を役員会にかける. 石川保全部長とともに資料説明: LV 変動対策の検討推進と今後の技小委組織との関連について質疑あり、3 者連帯でこの問題に取り組むよう指示あり.
- 23 日 (水)
- ・ 新太平洋ケーブル計画の技術的問題に関する検討結果について.
石井、江幡、湯口君らと討議.
- 24 日 (木)
- ・ 54 年度新規採用計画を策定のため、職員部より要員について問い合わせありとのことで、松田君より検討結果が出される.
 - ・ KEC より執筆依頼の図書について、編集打合せ(志村、小林(見)鈴木、各氏).
(14:00~16:00)
 - ・ 人事異動による部の昇任、異動者の歓送迎会(熊野会館).
- 25 日 (金)
- ・ OLUHO 技小委の準備打合せ. 13:30~16:00.
海建本部、保全部、関係者 間.
- 28 日 (月)
- ・ 部所長会議 10:00~.
午前、社長訓示、局所長 報告.
夜、社長招宴による懇親会
- 29 日
- ・ 昼、業務課長、補佐と、三井ビル、メヌエットの視察、昼食.

- (火)
 - ・局所長会議 個別会議. 14:30~15:20.
 - ・志村常務に, 新 TPC の技術事項の検討状況を説明. (石井, 江幡両君 同行) 16:00~17:50
 - ・技術作業部会に出席のため来日中の韓国代表 6 名と会食. (野村ビル, Top Hat)

- 30 日
 - ・職員部能力開発課より, 浜田, 荅北, 茨城の三局所に 事業知識講座の講演を依頼さる.
 - (水) 題目: 国際間海底ケーブル, 時期 10~11 月. 了承す.
 - ・Fujitsu 三村, 新山氏来訪. 日韓ケーブルの機材を NEC と配分する案を持ってくる.
 - ・OLUHO TSC 会合の準備について石井君から状況をきく.

- 31 日
 - ・沖一ヶケーブルの建設スケジュールに関する関係役員懇談会. 10:00~11:00.
 - (木) 大島副社長以下, 関係役員, 部長間で, 開通が '78 年 7 月にならざるを得ないと確認.
 - ・NEC 海外エンジニアリング 樋口重孝 研修部長 来訪. (16:30~)
 - KEC 玉置常務理事を紹介.
 - ・小野田君(金門, 社長)より TEL. 甥の先生の縁談の相手として, KDD 秘書課の棚橋嬢のことの調査 依頼.

9 月

- 1 日
 - ・NEC 北爪氏 来訪.
 - (金) シンガポールーインドネシヤ ケーブルの受注の新聞発表文に対する事前了解.
 - 9 月 9 日に契約調印の見込みで, その後 発表したいとのこと. 了承.
 - ・新 TPC 計画における技術的事項の検討のため, NEC 田畑氏, 富士通 奥村氏 らと打合せ (14:00~16:00)
 - CS-12M, CS-5M 方式の長距離への適用時の問題.
 - 規格限界で, 実現可能といい切れるかの確認を求める.

- 2 日
 - ・KDD ゴルフコンペ に参加.
 - (土)

- 4 日
 - OLUHO 第 8 回技小委 東京にて開催.
 - (月) 10:00~開始

- 5 日
 - 夜, 志村常務 招宴. (ストックホルム)
 - (火)

- 6 日
 - 午前, OCC 新山下工場訪問, 被傷ケーブルを見る.
 - (水)

- 7 日
 - ・C. S. Recorder によるバシー海峡付近の調査に参加の件につき, 大島, 鶴岡両副社長に説明, 了承を得. また, 志村常務よりスペイン訪問中の社長に TEL. により了承得.
 - (木)

- 8 日
 - ・上記調査に参加のため 江幡君派遣の決定処理.
 - (金) ・TSC. 終了.
 - 夜, 海底線部長招宴. (銀座, 天一)

- 9 日
 - ・ASEAN. — P-S ケーブル, シンガポールで障害発生とのこと.
 - (土) 香港でバシー海峡調査の準備を進めていた C. S. Recorder がその修理にシンガポールへ向うこととなるため, バシー海峡の調査は修理後に延期.

- 11 日
 - ・部内打合せ. (10:00~11:30) 調査役 以上.
 - (月) ・志村常務に, OLUHO. TSC minutes を提出し, 報告.
 - ・富士通 山口, 北村氏(営業), 伊藤忠 菊野氏ら, 来訪.

- ASEAN-T. M. S. (タイ・マレーシア・シンガポール)ケーブル計画について状況の報告.
- 12日 (火) ・光海底ケーブル方式の研究開発計画 および その推進に関する、関係役員 懇談会。
(10:00~12:15), 総企, 技計 主催。
大島副社長以下, 関係役員。
研究所長 ほか, 海底線部長, 技計部長ら 出席。
・第39回 新技術開発推進委員会。(13:30~17:00).
- 13日 (水) ・新 TPC ケーブルにおける日本方式の適用に際しての問題点の検討のため, NEC, Fujitsu の
田畑, 奥村 両氏 ほかと 打合せ(13:30~)
・海底線 建設委員会 に 出席。(14:00~17:00).
・TPC 計画 首脳会合 の 対処方針案について 討議.
- 14日 (木) ・CW Mr. Powell より, 第8回 TSC の Convenor's Report No.6 が送られてくる. 志村常務
に提出し, 内容 了承. これに対するコメントの案作成を求めらる。
・日韓ケーブル 第5回 技術作業部会の対処方針の事案決定処理を進める.
- 16日 (土) ・9月15日 15時40分, TPC-1 二宮沖で障害を起す。
これに対する アルミケーブル実験システム との関係を MPT 飯島参事官と協議:
KDD, MPT 間での覚えがきに基き, 必要事項を確認する。(電話による口頭確認).
- 18日 (月) ・TPC-1 障害について, 保全部主催 打合せ会合。(10:00~11:00)
・台湾 CGRA, 陳金鐘, 楊国焯 両氏. 中継器検査参加に来日。
夜, 招宴。(北京大飯店).
- 19日 (火) ・役員会にて, 総合計画部長と共に TPC 首脳会合 対処方針案の審議をうける。
(11:10~12:10).
・OLUHO・TSC 会合 の 役員会報告資料 作成
- 20日 (水) ・NASC 取締役会。(11:00~12:00)
NASC 役員 昼食会。
・MOC 技術作業部会代表に対する常務招宴。(きた山)
- 21日 (木) ・MPT 飯島参事官に TPC-1 の障害修理完了と, アルミケーブルには何ら障害を与えなかつたことを報告。(9:35~)
・役員会に OLUHO TSC 会合報告を行う予定が, 案件多く, 次回廻しとなる。
・富士通 奥村部長 来訪。
OTC, Mr. Tudehope より 日本方式に関する技術事項の問い合わせの同社あて TLX あり,
その回答について KDD に相談あり。
・沖一ヶケーブルの懸案事項(機材の保管料, 沖縄のケーブル4条布設費用のわりかけ法,
円高の影響)について, 総企 総合計画部長, 経理部長と協議(13:30~15:00)
・TPC-1 障害修理完了に伴う, KDD 丸乗船者 他の慰労 パーティ。
(横浜, サテライト ホテル)
- 22日 (金) ・部長会(松田次長代理出席).
・管理部 内野次長より。
浜田の陸揚局用地の獲得が地主の同意を得るのが困難のため難航の気配である。市では,
国道の山側ではどうかと云っているが, ケーブルの国道横断に技術的問題があるかどうか
海建部で検討するしてのほしいとのこと: 松田次長に建設部と協議のうえ 検討するよう
指示。
・国際部 新井協約課補佐より.

OLUHO 調整委, 及び OPS/FIN 小委開催に当たっての事務的問題について, 協力要請.

- 25 日 (月)
- ・部 打合せ.
 - ・ TPC-1 の障害修理の状況を, アルミケーブルのシステム分科会で, 報告するよう指示.
 - ・ 会議が 連続して開かれるが 会議事務の処理を, 業務・技術 両課協調して行うよう指示.
 - ・ OLUHO TSC 会合の事務局, タイピストの慰労(スイス シャレー)
 - ・ TPC 計画に関する技術的検討を, NEC, Fujitsu と 行なう(14:00~16:30)
- 26 日 (火)
- ・ 日韓ケーブル会議(第 5 回). 10:00~17:45.
 - ・ OLUHO TSC 会合報告を役員会に提出. 時間がなく, 口頭説明なしに資料提出に止まる.
 - ・ 日韓ケーブル会議 韓国代表に対する招宴. (般若苑).
- 27 日 (水)
- ・ 富士通奥村氏に TEL. OTC(A) よりの質問に対する回答 TLX について, 疑問点の確認.
 - ・ 日韓ケーブルの事務局を海底線部 業務課で今後引受ける件について志村常務, 建設部長と協議. (10:00~11:30). 他部門の協力, 総企室からの明確な引継ぎを受けることで, 了承する.
 - ・ 次長, 業務課長, 補佐, 技術課長らに伝達し, 業務の遂行を指示.
 - ・ 沖一ケーブルの懸案事項とその対策について, 総合計画, 経理部と打合せ. (13:30~15:00)
 - ・ TPC 計画の技術問題に対する NEC, Fujitsu との 検討結果を志村常ムに提出.
- 28 日 (木)
- ・ 役員会 : 国際部長, 経理部長とともに, OLUHO OPS/FIN 合同会合および 調査委員会会合(第 8 回)の対処方針(案)について審議をうける.
 - ・ 沖一ケーブルに関する懸案問題(スケジュール遅延に伴う, 機材保管, 建設費の増, 沖縄前面海域におけるケーブル先行布設費のわりかけ, 円高問題)の対処について, 関係役員懇談会. (15:30~17:40)
 - ・ 日韓ケーブル会議 韓国側代表との会食 に参加(12:10~14:00)
 - ・ NASC において, 沖一ケーブルの懸案問題に対する KDD の検討状況を社長に報告し, 若干の討議. (18:00~18:45).
- 29 日 (金)
- ・ 太平洋ケーブル首脳会合に対する 技術面の問題の検討.
 - ・ : 北太平洋地域における ルート選択の検討結果に対するコメント について志村常務と協議, コメント案を作成.
 - ・ ETPI (Mr. Africon) より, TAILU の機材引合に関し, OLU ケーブルにおける障害問題と関連し, 日本方式および, KDD, NEC を非難する言があったと, NEC から伝えてくる.
- 30 日 (土)
- ・ 太平洋ケーブル首脳会合への対応に関する KDD 出席者間 打合せ. (10:30~12:45)
 - ・ 社長, 鶴岡副社長 ほか, 関係役員, 部課長 出席.
 - ・ 発言要旨, 順序等について討議.

10 月

- 2 日 (月)
- ・ 新太平洋ケーブル計画 首脳会合 始まる.
 - ・ ホテルニューオータニにて, 社長以下の KDD 代表の assistant として会合に出席. (10:00~12:00, 14:00~17:00).
 - ・ 夜, ホテルニューオータニにて, 社長招宴.
- 3 日 (火)
- ・ 午前中, 新太平洋ケーブル 首脳会合. (9:30~12:00)
 - ・ 午後は, 休会で, 各国代表は excursion.
 - ・ 本社に戻り, OLUHO 調整委員会の準備打合せ. (石井, 江幡, 徳江, 保全部本多).
 - ・ OLU 障害に関する説明資料の準備を指示.
 - ・ 古橋常務による commor Wealth Group の招宴に 出席.

- CW Mr. Warwick, Teleglobe Canada Messrs. Segin & Williams.
- 4日 (水) ・ TPC 首脳会合 最終日. (9:30~12:00)
会合は午前で終了.
・ OLUHO 調整委の準備対策について, 石井保全部長と協議.
- 5日 (木) ・ OLUHO 調整委員会 開会. 10:00~, 32F, 会議室.
直ちに OPS, FIN の作業部会 に移り, Financial Group の会合に出席. (午前 11:00 まで, part time).
・ NEC 北爪, 田畑 氏 来訪: 東西マレーシアケーブルの letter or intent が発出されたとのこと. 布設工事に KDD 丸を使用するため, その要請文書を KCS に出したが, 船上端局, 測定機については, KDD から借りたいとのこと, 別途, 依頼文書を KDD に出すことを suggest.
・ OLUHO 会合 出席者に対する鶴岡副社長 招宴. (シャンボール, 32F)
二次会, 千代新に, Mr. & Mrs. Davies, Warwick, Bane, Africa の各氏を招く. (鶴岡副社長 主催)
- 6日 (金) ・ Mr. Bird, Mr. Histed と, TSC からの Coord Comm. への報告について協議.
今後の TSC の convenor に小生になる様要請あり.
- 7日 (土) ・ 調整委員会(9:30~12:00)
・ TSC convenor および chairman に指名される.
・ 前回の TSC 会合の状況および結果と, OLU 障害の原因および対策に対する個人的見解を述べる.
・ TSC の次回会合について, 大よその予定が審議され, 11 月中旬に expert meeting, 明年早々に TSC を開くことが了承される.
・ 京王プラザテルにて, 昼食懇談.
- 8日 (日) ・ OLUHO 会合 出席者の エクスカーション に同伴.
鶴見 総持寺, 横浜 三溪園, 鎌倉 大仏等
- 9日 (月) ・ OLUHO 調整委のミニッツの修正のため, Mr. Bird と協議.
さらに, C. S. Recorder バシー海峡部調査後の専門家会議等について, Mr. Bird と協議. (10:00~12:30).
・ Mr. Bird と昼食(32F, シャンボール).
・ 富士通 京極, 北村氏ほか, 伊藤忠 菊野氏ら 来訪. (15:00~15:30)
1. エジプト/ギリシャに対する海底ケーブルの(tech)presentation の状況報告. エジプト TELeocom(ARETO) より, CS-5M, CS-12M の技術資料を要望された. KDD 事ム所から本社へ, 資料提供の要請がある筈, とのこと
2. タイ-マレーシア-シンガポールケーブル.
タイの計画変更は, タイ国内で閣議へ提出のうえ検討されることとなろう. マレーシア, シンガポールへの協議も未済, 情勢をまつほかなし.
3. TAILU
引合書はすでに以前に来ている. 10 月末までに offer を要求されている価格はとも角, 納期が「明年 10 月に船積のこと」とあるので, 極めて苦しい.
・ フィリピンへ向った, 江幡君は, 同地へ台風接近のため フライト欠航となり, 成田空港で一泊とのこと. 電話で, 今朝 Mr. Bird と話し合った結果を知らせる. すなわち, バシー海峡の調査終了後, マニラへ Mr. Bond がロンドンから飛来し, Mr. Borton, Young から結果をきいて, 打合せる件, など.
- 11日 (水) ・ 日中ケーブルに障害発生. R24 付近, とのこと. (無外装ケーブル埋設区間).
中国側より, KDD 丸の出動要請あり.

- ・横河ヒューレットパッカード, 営業本部 電子計測部 諏訪部長 ほか 来訪.
発注中の スペクトルアナライザーが手直しのため 納期が遅れる件につき釈明.
- 12日 (木) ・夜, 新太平洋ケーブル計画 首脳会合 関係者に対する慰労 社長 招宴.
(32F, シャンポール).
- 13日 (金) 人間ドック(1日). 住友ビル楠樹記念病院にて.
- 14日 (土) ・佼成病院皮膚科へ寄ったのち, 会社へ顔を出す.
- 16日 (月) ・部 打合会.
・NASC 増田社長に, 訪台に随行する件のあいさつ.
- 17日 (火) ・役員会に 新太平洋ケーブル計画 首脳会合の報告. (総合計画部長に, 国際部長とともに同席).
・夜, OLUH 調整委員会会合関係者に対する慰労の 志村常務招宴.
- 18日 (水) ・沖縄-台湾ケーブル 第4回 技術会合の 準備打合. (10:00~11:30).
NASC/KDD 関係者 間.
・関管理部長より, 沖縄の漁業交渉の方法について意見を問われる.
強硬手段をとることの是非については, 十分に世論のバックがある見通しがなければ, 建設を実施する側としては, 実施上のトラブルがつかまとうことが心配される. できる丈円満に早期解決をはかるよう努力することを要望する.
- 19日 (木) ・役員会に, OLUHO ケーブル 第8回調整委員会の会合の様相について報告. (国際部長, 経理部長 と同席).
・日韓ケーブルの引合書の対業者説明会(資材部 主催)に出席. (13:30~15:00)
・海底線部 副参事の定期管理表を担当役員に提出.
・次長, 技術課長に, 台湾出張中の後々について指示.
 1. 日中ケーブル障害修理. (次長).
 2. 定期管理表. (次長)
 3. OKITAI, IRU 会議用資料. (課長)
 4. OLU 関係の TLX 処理. (課長).
- 20日 (金) ・NASC 取締役として, NASC 増田社長に随行し, ケーブル会議出席のため, 台湾に出張.
- 21日~23日 ケーブル会議.
- 24日(火)~28日(土)
第4回 NASC/ITDC 技術会議に 引き続き出席.
途中, 国際部長と Tel., 11月8日~9日の IRU 販売会議に出席を要請される.
- 29日 (日) 帰国
- 30日 (月) ・志村常務に, 出張報告(口頭).
・石井, 矢口両君と IRU 販売会議の技術資料作成について打合せ.
・杉村萬国特許事務所 大宮謙三氏より, 娘さんの KDD 就職試験の力添えを頼まれ, 大島副社

長にご相談する。

問題集(52年度)写しを 大宮氏に提供し、参考に供す。

- ・国際部長、保全部長と、OT ケーブルの保守船に係る協定等の問題を協議。
- ・新技術開発推進委員会(第41回)に出席。(15:00~17:00)
- ・NASC 増田社長に帰着あいさつ。

- 31日 (火)
- ・定期管理表、異動昇進上申書(3類, 4類管理者)を作成。
 - ・志村常務に報告。
 1. OKITAI ケーブル会議, および 技術会議のミニッツ。
 2. 東西マレーシアケーブルの布設に必要な, 船上設備(端局, 電氣的布設設備, 埋設設備 etc)の借用に関する依頼文書案を日電田畑氏が持参したので, 検討中。
 - ・上記2について, 技術課長に, 建設部, 総企技計部, 社長室 等と協議 検討するよう指示。
 - ・長計資料(海底ケーブルプロジェクト)の作成について, 技術課長, 広谷調査役より案が示され, とくに沖一本ケーブルについて, 海洋調査, 機材製造が, 他プロジェクトと抵触しないか, 布設時期が問題ないかをさらに検討するよう指示。

11月

- 1日 (水)
- ・成城学園 南條氏より Tel. 成城時代の教え子, (都築佳子: 慶応大, 応用化学 54. 3年卒予定)の就職について依頼あり。
 - ・MPT 飯島参事官 に TEL. 懇談が延び延びになっていることの詫びと, 11月中旬に計画したい旨を伝える。
 - ・ガルフケーブル(バーレン, カタール, UAE)対する consultancy 入札招請の件について, 打合せ。(14:30~17:15). 海外協力室 主催. 志村常務以下, 海建本部, 海協室 関係者で入札招請状の内容検討 および今後の対策について協議。
- 2日 (木)
- ・沖一台ケーブル IRU Sales Meeting(サンフランシスコ)用技術資料の検討。(石井, 矢口)
 - ・ソニー技術教育センター 玉野氏に TEL. 成城学園南條氏より依頼の都築嬢がソニー受験するに当りよろしくと伝える。
 - ・大島副社長より. 三信工業にて改良中のプラスチックゾールの話しが同社首脳からあったので, 工場を見に行くことを考えるよう指示あり。
 - ・新技術開発推進委員会(第41回)に出席(14:00~17:00).
- 4日 (土)
- 出社.
- ・香港より TEL. CS Recorder 乗船の江幡君より, 香港寄港を利しての連絡あり。
 - ・X-mas Cald 発送リストの準備。
 - ・IRU brochure(OKITAI 用)の検討。
- 6日 (月)
- ・午前 出社。
 - ・志村常ム。
 1. IRU Tech. Brochure(沖台用), 提出。
 2. 長計資料の ケーブルプロジェクト線表案につき事前説明, 案ができ次第, 説明のこととする。
 3. 三信工業の件。
 - ・次, 課長へ後事の指示。
 1. 長計資料案の作成。
 2. 身上調査表。
 3. 東西マレーシアケーブルの伝送測定設ビ。

- ・KCS 広島専ム, 川井, 田村取締役と, 東西マレーシア測定設ビの貸与の件について協議.
NEC から KCS へ詳細を出し, KCS/KDD 間で協議することとし, NEC/KDD 間の直接協議(担当レベルは除く)はしないこととする.
午後, 20:40 JL002 便にて, 沖一 台 IRU 販売会議 出席のため, サンフランシスコへ向う.
同日, 正午過ぎ(現地時間)サンフランシスコ着.

- 7 日 (火) ・ 会合準備と, sightseeing.

- 8 日～9 日 会議.

- 10 日 (金) ・ 木村常務, 高松部長と, サンフランシスコへ着かれた 板野社長夫妻に Saint Francis ホテルにて, 挨拶.
木村常務を 空港に見送り, shopping.

- 11 日 (土) ・ 14:30 発 LA001 便で, サンフランシスコ発 成田着. 日本時間 12 日(日)19:00 時.

- 13 日 (月) ・ 午後, 出社.
・ 志村常務へ報告.
・ 増田 NASC 社長へ報告.
・ 次課長より, 出張中の業務状況の報告.

- 14 日 (火) ・ 三信工業 樽松氏より TEL.
プラスチックゾールに関する工場訪問の件: 志村常務と協議のうえ, 返答することとする.
・ 柴田, 石井の両君より, ガルフケーブルのコンサルティング入札のための諸要工数の算定状況について, 報告あり.

- 15 日 (水) ・ 日中ケーブル障害修理のため, 南漕出張の湯口君ら帰国, 志村常務への帰国挨拶に立会う.
・ 長計 20 号の海底線プロジェクト関係資料(投資額および, 要員)案について, 広谷, 桂君から説明を受け, 協議後, 志村常務に説明.

- 16 日 (木) ・ 三信工業樽松氏へ TEL.
志村常務と協議の結果, 11 月 22 日(水)に, 千葉工場を訪問したい旨伝える.
・ ガルフケーブルのコンサルティング業務の入札に関する役員会資料の作成について, 海協室 三宅次長 と協議.

- 17 日 (金) ・ 午前, ガルフケーブルのコンサルティング業務の入札に関する役員会資料案について, 関係者間打合せ. (海協, 海底線部). (10:15~12:40.)
・ 午後, 日中ケーブルの障害修理に関する報告打合せ(保全部 主催)13:00~17:00.

- 18 日 (土) ・ 佼成病院 皮膚科.
・ 10:45 出社.
・ CS レコーダ乗船の江幡君より TEL. 調査を終え, 香港に向って帰航中とのこと.
・ ガルフケーブルコンサルティング関係の役員会資料について志村常務に説明.
・ 三宅 海協室次長, 石井, 柴田君らと, 資料の最終版作成.

- 20 日 (月) ・ 役員会資料(ガルフケーブルコンサルティング)を, 鶴岡副社長, 板野社長に事前説明.
・ 三信工業訪問予定の延期(年末闘争がやま場のため)について樽松氏に連絡.

- 21 日 ・ ガルフケーブルコンサルティングのプロポーザル提出に関する案を役員会にて, 海協室三

- (火) 宅次長と共に説明。
大綱 了承, 見積り額については, 他との競争性を考慮し, さらに検討するよう指示あり。
・海底線部 打合せ(14:00~15:30)。
・MPT 飯島参事官 ほか と懇談(ろ山)。
- 22日 (水) ・長計20号作成のための, 海底ケーブルプロジェクト計画に関する総合企画会の審議に出席。(10:00~12:30)
・江幡調査役 バシー海峡調査を終え, 帰着。
概略の報告をきく。
・社長室 総務課長 より, シンガポール事務所長交代について話しあり, 石井君を候補にしたいとのこと。後任について考慮することを条件に了承。(志村常務 了解済み)。
・大宮氏(杉村法律事務所)より, 娘さんのKDD採用内定通知があったとのTel. あり。
- 23日 (木) 祝日。
年末闘争 妥結の旨, 業務課 加瀬補佐 より Tel. (17:30)
- 24日 (金) ・ガルフケーブルコンサルティング経費の再検討結果について, 三宅次長(海協室)と検討。
・海底線部上級管理者の身上調査表を役員に提出。
- 27日 (月) ・石井君に, 任副参事, 命シンガポール事務所長, (発令は赴任準備整え次第)の内命。
・CW 船レコーダ号によるバシー海峡海洋調査の結果の報告打合せ。
(同船に立会い乗船した江幡調査役より報告)。13:30~16:00。
志村常務, 笹本取締役 他 関係部門(海建本部, 保全部, KCS)。
・沖台ケーブル経理専門家会議に出席のため, 訪日したCGRA 代表に対するNASC 社長招宴。(東京大飯店)。
- 28日 (火) ・猪股, 石井 両君と, 石井君の仕事を 他に分担させる件について協議。
- 29日 (水) ・日韓ケーブル会議の対処方針案について, 志村常務, 関係部門(資材, 経理, 海建本部)間で打合せ。(10:00~12:30)。
・杉本, 江幡, 湯口君と, 個別に, TPC-3 計画の技術的検討を preliminary に進める件について協議。
- 30日 (木) ・定期 健康診断, 受検。
・沖一台ケーブルの沖繩における工事着工に伴う, 労組への会社説明に出席(13:30~15:00)。
・金門製作所 斎藤(二郎)氏 来訪。(16:00~16:30)
・OCC 齊脇氏 来訪。(16:30~17:15)。
・Hawaii-4 と 沖本ケーブルのケーブル受注は両方は困難。沖一本が決まれば, これを優先。(Haw-4 は, 明年半ば頃にはATT から話しがあるのではないか)。
・TAILU Cable の tender に対する clarification が近く台北である。
- 12月**
- 1日 (金) ・日韓ケーブル会議 対処方針案について, 志村常務, 関係部門間で打合せ(10:00~12:40)。
・富士通 関川氏ほか 来訪: 日韓ケーブルのプロポールに関し, 納期遅延の理由に開発があることを挙げている点について質す。(13:50~14:30)
・TPC-3 計画 の予備的検討について, 杉本, 江幡, 湯口君と打合せ。(15:00~16:30)
明年3月頃に予想される, ATT との技術会議に備え, 今後の検討作業の枠組みを考えて行くこととする。

- 2日 (土) ・ 出社.

- 4日 (月) ・ TAILU ケーブルルートに対する CW の提案につき, 関係役員, 部長間打合せで協議.
(10:00~11:30).
志村常ム, 笹本取締役, 保全, 建設, KCS.
・ 三信工業訪問, プラスチゾールの製造状況を視察. (午後)
志村常務, 徳江課長, 杉本副参事とともに, 樽松氏の案内.

- 5日 (火) ・ KEC 図書の編集グループ打合せ(14:00~16:30).

- 6日 (水) ・ 日韓ケーブル会議 対処方針 の 役員会資料を, 両副社長, 社長に事前説明.
・ 大井電気 伊藤氏 来訪.
・ ガルフケーブルコンサルトプロポーザルに提示する 実施候補者について, 松田, 猪股君と協議.
・ 海底線部 忘年会. (六本木).

- 7日 (木) ・ 役員会に, 日韓ケーブル第6回会議および作業部会の対処方針案をかけ, 了承を得る.
・ ガルフケーブルコンサルティング入札書提出のため, UAE, カタール, バーレンへの出張を命ぜられる.
三宅 海協室次長, 柴田調査役と, 出張準備の打合せ.
・ 上記コンサルティング入札書に記載する 従事者 選考のため, 江幡, 水野, 京極君らに意向を確かめる.

- 8日 (金) ・ 志村常務, 河井海協室長, 阿部建設部長次長らと, ガルフケーブルコンサルティングの従事候補者を選考, 総企室, 技計部 佐藤正紀君も候補者とするべく, 折衝のこととする.
・ アラブ渡航のため, 三井クリニックにて, コレラの予防注射.
・ 富士通関川氏ほか 来訪.
日韓ケーブル用プロポーザルの疑問点について釈明あり.

- 9日 (土) ・ 出社.
出張準備.

- 11日 (月) ・ ガルフケーブルコンサルティングの入札書提出のための中近東地域への出張準備.
・ 日韓ケーブル技術・契約財務 合同作業部会, ソウルにて開催さる.
・ 伝送同門会. (京橋会館).

- 12日 (火) ・ コレラ予防注射(第2回). 三井ビル, 新宿副都心クリニックにて.
・ NASC 森監査役に, UAE, カタールの日本大使館あての紹介状を依頼.
・ NEC 中近東部 能勢課長, 営業清水部長, 住商 ワラ見氏らに現地駐在員の ATTEND を依頼.
・ 柳生君の黄授褒章授彰 祝. (東條会館).

- 13日 (水) ・ 昼頃 会社へ出て, 社長に中近東出張のあいさつ.
・ 17時30分 KDD ビル発. 成田へ.

- 14日 (木) ・ アブダビ着. 日本大使館. MOC 訪問.

- 15日 (金) ・ ドバイ 視察.

- 16日 コンサルタントの入札書提出。 9:00.
(土) 入札書 開封立会。 12:00.
- 17日 アブダビ 地球局 見学。
(日)
- 18日 アブダビ発 カタール, ドーハ着。
(月) 西 海岸 視察
- 19日 日本大使館, MOCT 訪問。
(火) 北東部 海岸. 視察。
ドーハ発, バハレン マナマ着。
- 20日 CW Mercury House へ。 Mr. Wheatley を訪問。
(水)
- 21日 バハレン 発
(木)
- 22日 香港 着
(金)
- 23日 香港発, 成田着。
(土)
- 25日 ・志村常務, 大島副社長, 板野社長に 出張報告。
(月) ・KEC 図書 編集 打合せ。(15:00~16:30).
・海底線部 主任以上に対する部長招宴 (松島, 18:00~).
- 26日 ・日中ケーブル修理後の埋設に関する 対策打合せ。(15:00~16:00).
(火) 大島副社長, 志村, 笹本の各役員, 関係部長。(保全部 主催).
・慶応大 都築佳子 氏 来訪。(17:00~)就職の件。
- 25日 ・NTT より, 特許「局間信号中継方式」の実施状況調査依頼の文書来る。No.6 信号方式に関
(水) 連ありや否やについて, 総企 技術管理課に検討依頼。
・志村常務に, OLU 管保ミーティングの開催予定に関する CW, ETPI の意向とそれに対する KDD
の対応について報告説明。
・東大海洋研 寺本教授 来社。バシー海峡調査データを提供し, 解析・検討を依頼。後, 夕
食。(京王プラザホテル)懇談
- 28日 ・資料整理。
(木) ・研究所 新納君 来訪: 光海底ケーブルに関する諸外国の研究開発動向の報告。
- 29日 ・OLU 関係ミーティングの開催に関する CW, ETPI への回答 TLX 発出。
(金) ・ガルフケーブルコンサルティングの入札書提出に関する役員会報告について
柴田調査役と協議。
・仕事納め。

Memorandum 5

(KDD 本社)

1979 年 1 月 4 日～1980 年 3 月 31 日

1979年（昭和54年）

1月

4日 ・ 仕事始め.

(木)

5日 ・ 郵政省電監室. (米沢, 飯島参事官)に, NTT 本社(技術局, 施設局), NTT 海底線施設事ム所(関根所長)に新年の挨拶廻り.

(金) ・ 研究所 計測研 岩本, 白崎 両君の, 埋設機等に関する米国での調査の報告会に出席.
(15:00~17:15).

6日 ・ 海底線部若手グループとの新年会.

(土)

8日 ・ TPC-3に関するATTとの技術会議に備え, 検討を進めるため, 杉本, 石井 両君と協議.

(月) ・ 苓北海底線中継所における事業知識講座のテキスト作成.

9日 ・ 役員会に, アラブ湾岸ケーブルのコンサルティング入札書提出について報告.

(火) ・ 奈須, 寺本両教授および 海上保安庁 庄司水路部長に対する志村常務招宴に出席.

10日(水)~13日(土)

・ 53年度事業知識講座の講演のため, 苓北中継所に出張.

・ 加瀬業務課長補佐を同行.

16日 ・ 昨年8月, NEC 海外エンジニアリング 研修訓練部長 樋口(重孝)氏より依頼のあった.

(火)

訓練講師について, 玉置 KEC 常務理事, 及び 石川保全部長より, 大手町施設局の小田一隆氏のすいせんがあり, 社長室林総務課長とも協議し, NEC 海外エンジニアリングに話してみることにする.

・ 志村常務より, 日韓ケーブルに使用するCS-36MDR方式について, NTTが疑義をもっているやの風聞があるとのことで, 富士通 関川部長にNTTへの了解とり付けの状況をきき, 問題のないことを確かめ, また海底線部でのNTT技術局等への説明状況にも問題なき点を確認, 志村常務, 大島副社長に報告.

・ NTT在職中に出願した局間中継方式の特許の使用状況について, NTTより照会あり, 総企室技術課長より調査の結果, No.6信号方式には特許請求範囲が限定されているため, 該当しないとの報告あり.

・ 研究所 中井 有シ研究室長の来訪を求め, KEC 図書原稿に対するコメントを渡す.

17日 ・ 前記, CS-36MDR方式に関する問題について, NTTとの事ム接衝の窓口である営業1課矢島

(水)

課長にNTT側の状況を尋ねるも, 事ム接衝の場で, 日韓ケーブルに関する話がでたことはなく, 疑義等がそこで出されたことはないとのこと, 以上を大島副社長に報告.

・ NASCの各課長と, 沖一台ケーブルを進める上での諸懸案事項について, 打合せ, その進捗状況をきく. (15:00~16:00)

・ 大手施 白井局長に, 小田副参事に, NEC海外エンジニアリングに行くことについて, 意向をきいてもらう. こととする.

・ OCC 廻 常務, 齊脇部長 と懇談.

18日 ・ NTTとの海底同軸ケーブル方式合同委員会方式分科会(第29回)に出席の為, 横須賀通研へ

(木)

出張.
・ 沖一台ケーブル技術会議(第5回)に出席のため, 訪日した Messrs. Yang, Yeh, Kao の3名を迎え, 会食(東京大飯店).

- 19日 (金) ・沖一台湾ケーブル技術会議(1/22~1/25)の準備打合せ。
技術課長, 施設課長, NASC 施設課長。
・TPC ケーブルに関する ATT との技術会合に備え, その対応策を関係者間で討議(杉本, 江幡, 湯口)。
・OLUHO TSC への対応, その前段の expert meeting に対する考え等について, 江幡調査役と協議。今後の社内での検討方法を討議する。
・白井大手施局長より Tel. 小田副参事官は, NEC 海外エンジニアリングで働く気はないとのこと。
- 20日 (土) ・KEC 図書 国際海底ケーブル通信の原稿(第4編)の査読。
・志村常務(1/17~1/19 浜田出張)に報告。
・NK 海底同軸ケーブル方式分科会(1/18)の様様。
・CS-36MDR 方式に関する問題の調査状況。
- 22日 (日) ・沖縄一台湾ケーブル・技術会議(第5回)開催。1月26日まで。
・ITDC/CGRA より, 楊(Y. Y. Yang), 葉(Yeh), 高(Kao) 3氏, 出席。
・日韓ケーブルに用地問題について, 阿部 建設部次長より 現地調査報告。(志村常ム, 海建本部, 部 次長)。
国土の南側にも市有地あり, 候補 に加えて検討する。
・夜, NASC 社長による ITDC/CGRA 代表の招宴。
- 23日(火)~24日(水)
・沖一台湾ケーブル技術会議(第5回)
- 25日 (木) ・ITDC/CGRA 代表 横浜へKDD 丸見学に行き, 会議なし。
・沖一台湾ケーブル 技術会議の ミニッツ案 検討。
ITDC/CGRA/DGT の Officials に関する NASC の招待について, NASC 業務課長らと協議し, ミニッツへその意を入れることとする。
・夜, ITDC/CGRA 代表に対する志村常務招宴。
- 26日 (金) ・午前, 沖一台湾ケーブル技術会議のミニッツ確認: 会議終了。
・NEC 海外エンジニアリング研修訓練部長 樋口氏に Tel1。
大手町施設局白井局長に。同局小田副参事が NEC 海外エンジニアリングに行く意向があるか問い合わせてもらったところ, 本人は, 身体と海外研修生の訓練とに自信がないとのこととの回答あり, 従って, この話は見送りとなる旨 樋口氏に伝える。
- 27日 (土) ・出社。資料整理。
・ITDC, Mr. Yang ほかを羽田空港に見送り。
- 29日 (月) ・新 TPC の技術会議に対する準備・対応の打合せ。(14:15~15:30)。
志村常務, 海建本部 関係者, 出席。
・同会議についての ATT Mr. Tuttle からの会期・議題等の提案 TLX に対する回答案を作成し, 会議出席と併せて事案決定処理を進める。
・KCS 広島専務の招宴。
・志村常務, NASC 増田社長に 沖一台湾ケーブル会議の結果を報告。
- 30日 (火) ・海底線部, 部内打合せ。(10:30~11:45)。
・各プロジェクトの状況と, 問題の処理。
・アルミケーブル。
・労組への沖台工事説明。(工事計画, 勤ム体制, KDD 丸への乗船条件)2月10日まで(工

- 事実実施1ヶ月前まで)に行なう必要あり。
- ATT との TPC-3 関係技術会合の参加・出席についての事案決定文書の作成。
 - 常務招宴(担当部門, 副参事以上).
- 31 日 (水)
- 各案件の処理を進める.
 1. 沖一合技術会議報告(NASC).
 2. ATT との技術会合の準備。(スケジュール, 資料準備等)
 3. OLU ケーブル expert meeting, TSC meeting のスケジュール.
 4. 日韓ケーブル用機材調達契約のための, 諸会合.
 - GNTC よりの招宴(ストックホルム)
- 2 月**
- 1 日 (木)
- 志村常務より.
郵政省電監室安田参事官より Tel. にて, インドネシア-シンガポールケーブル計画について NEC より NTT 黒潮丸を使用したいとの話しがあったが, KDD 丸が使用できぬ理由について KDD より説明をききたい旨, 話しがあったので, 説明に行けとのこと.
なお, これに関し, KCS 広島専務, 小林部長, 建設部長を招集し, 今後, 東西マレーシア等の対外関係に関する KDD 側窓口は, 海底線建設本部は海底線部長とする旨を, 常務より各氏に伝える.
 - 新技術開進委. (13:30~17:30).
 - 石井君シンガポール駐在事務所長へ栄転の歓送会. (熊野会館).
- 2 日 (金)
- KDD 丸の東南アジア方面のケーブル計画への使用について MPT へ説明する件に関連して NEC 田畑氏に, 東西マレーシア・インドネシア・シンガポール両ケーブル計画の詳細についてきく.
 - NY 事務所 中尾所長と国際電話にて, 3月6日~8日の ATT との技術会合に NY 事ム所よりの出席を依頼, 遠藤調査役を出席させるとの回答を得.
また, Record Carrier(WUI, ITT, RCA)へのあいさつは, 時間があればした方がよいとの suggestion を得る.
 - 新 TPC に関する ATT との技術会合に備えるため, 準備すべき資料について打合せ(13:45~15:30). 志村常務, 以下, 海建本部 関係者 出席.
 - KDD 丸の other work への使用について, 基本原則に対する考え方の社内コンセンサスを得るため, 関係部門間の打合会合を主宰. (15:30~17:00)
保全部, 国際部, KCS, 建設部.
 - NTT 山口理事の就任祝. (志村常務招宴, 般若苑).
- 3 日 (土)
- 出社.
 - 関 管理部長より Tel, 浜田における日韓ケーブル用陸揚地の取得について, 地権者と KDD, 浜田市との話し合いがついたとのこと.
 - 京極君より.
英国の電気通信学会(IEE)より, 海底ケーブル技術に関する国際学会の開催と論文投稿の呼びかけのレター(社長あて)がきているとの話しあり.
 - 石井君, 自宅へシンガポール事ム所長への任命あいさつに, 夫妻で来訪.
- 5 日 (月)
- 54 年度設備計画の労組説明の補足として, 日韓ケーブルの工事体制, 要員についての説明を求められ, 建設部長より説明する席に同席. (10:00~10:15).
 - 台湾 ITT の Mr. Wang が来日し, NASC 増田社長が昼食に招待, 同席. (32F, シャンボール)
 - 郵政省電監室に, 安田参事官を訪ね, Indonesia-Singapore ケーブルに KDD 丸を使用できない理由を説明. 了解を得る. 趣意は, NTT 黒潮丸を使うことに, KDD が異存なきことを確かめたかったことにあった模様.

- 6日 (火) ・前日に 郵政省 安田参事官に説明した件につき、連絡カードで、関係役員、両副社長に報告。
- 7日 (水) ・石井君に対する OLUHO TSC 元出席メンバーの歓送会。(はやし)。
- 8日(木)～11日(日) 事業知識講座の講演のため、浜田中継所へ出張。
- 13日 (火) ・TPC-3 技術会合の資料検討打合せ。(13:30～15:45)。
志村常務、海建本部 関係者。出席。
・NASC 石谷課長と協議。
沖一ヶケーブル陸揚工事時の外部への通知等についてきく、NASC としては、
1. 積極的に外部へ案内を出すことはしない
2. 郵政 電監室 関係参事官へは工事実施に当たっての報告(口頭)をしておく。
3. 報道関係からの現地取材があった時は応じる。(広報室とも協議する)。
布設工事終了後、沖縄帰港の KDD 丸乗員の慰労は、NASC では経費を出すことが困難なので、KDD へ依頼したい。
- 14日 (水) ・TPC-3 技術会議 対応方針(案)の作成。
・上記に関し、計画部門との連絡を今後もよくとり、計画部門と海建本部間でプロジェクトと推進上、行き違いのないよう計る必要があると考えられるので、総合計画部長、技術計画部次長にその旨を話し、了解をとる。
・大井電気 中内氏に、新しいケーブル障害位置測定器の試作について、引き受けられるかどうか打診。
- 15日 (木) ・TSC 会合対処方針案の検討：猪股、矢口、江幡、京極。
・OLU 区間バシー海峡に適用する強化ケーブルの開発方針について、協議。(江幡、嶋谷)。
- 16日 (金) ・午前、佼成病院にて、胃カメラの検査。
・OLU 区間バシー海峡に適用する強化ケーブルの開発検討状況について中間報告し、今後の方針について討議。(14:00～16:00)
志村常務、海建本部、KCS 運航部長、保全部長。
・TPC-3 技術会議用資料の検討打合せ。(16:00～18:00)
志村常務、海建本部 関係者。
- 17日 (土) ・出社。
TPC3 技術会議用 資料の 検討。
- 19日 (月) ・事業知識講座の講演のため、高萩衛星通信所へ出張。
午後、講演。
- 20日 (火) ・朝、高萩より 帰京。
午後 本社。
TPC-3 の ATT との技術会合対処方針を 22 日の役員会へかけることとなり。(27 日、3 月 1 日の役員会は社長不在のため中止)、急遽、資料を作成。
- 21日 (水) ・役員会資料の事前説明。(両 副社長、社長へ)。
また、関係部長へ協議(総合計画、技術計画、国際部、保全部)。
・社長へ事前説明の際、TAS (-C)について質問あり。
- 22日 ・役員会で、TPC-3 の KDD/ATT 技術会合対処方針の審議を受け、了承さる。審議の中で、鶴岡

- (木) 副社長より、1. TPC-2 の回線使用効率の向上について ATT へ申し入れる件。2. 回線容量の大きい CS-36M 方式の方がよいのではないかと、との発言あり。
この件に関し、川鍋 総合計画部長と協議。
・何れも、計画部門の問題で、KDD で検討後、計画の見直しとして次回首脳会合へもち出す問題と考えられる。
- ・志村常務、福地取締役の協議。
 - ・技術会議の席でなく、別途、雑談的に話したらどうか。
- 以上の状況、常務より、鶴岡副社長に話し、了解をとるとのこと。
- ・OCC 斎藤部長 来訪。
 - ・1.5” ケーブルは、現設備をフル稼働すれば、年間 1800nm(180nm×10 月)の生産が可能なので、TPC-3 については 2 年でつくり得る。よって、全部 OCC で賄い得る用意がある、とのこと。
 - ・procurement はまだ先のことであり、cost も問題になる。
また先に、HAW-4、COMPAC-2 が計画されるので、その模様も見ないと、今 OCC に全部委せるとは言えない、旨 回答。
 - ・cost については、3600nm のケーブルを連続生産すれば、低減化が図れる。また、COMPAC-2 は、イギリス系が全部調達することになっても、OCC は余りこだわらない。TAT-7 の例で、SG 方式なら Rep. は WE Co. で、ケーブルは STC、また NG 方式なら Rep. は STC、ケーブルは Simplex と分担しているようなので、TPC-3 で、Rep. は日本、ケーブルは米国と供給分担になることを恐れる、とのこと。
 - ・OCC は、沖一本と HAW-4 の両方の計画を考慮に入れているが、同時発注になると HAW-4 は断らざるを得ない。これが、信義上の問題になると困る。沖一本は 今年の秋までに指示があれば、'81 年前半に納められる。
- 23 日 (金) ・MPT 電監室 倉地参事官、八木氏を二宮中継所に案内。中継所設備と、アルミケーブル実験方式の設備を案内説明。
・16:00 帰社。
- 24 日 (土) ・NASC ゴルフコンペ。武蔵野 G.C.
- 26 日 (月) ・日中ケーブルの障害修理に関する特別会議。(KDD/SPT 間)に午前中出席。
・TPC-3 の KDD/ATT 間技術会合打合せ。(14:00~16:00)。
常ム ほか、会議出席者を中心とし、資料の推渉状況および各議題への対応について打合せ。
・SPT 代表(張徳忠、徐志超 ほか)の笹本取締役招宴に出席(三井ビル。マンダリンパレス)
- 27 日 (火) ・ATT/KDD 技術会合の資料作成。
・OLU ケーブルの作動改善のための バシー海峡海洋調査結果の検討に関する専門家会合の報告を江幡君からさく。
- 28 日 (水) ・TPC-3 に関する ATT との技術会合資料作成。
- 3 月**
- 1 日 (木) ・TPC-3 に関する ATT との打合せ用資料の検討。(10:00~)
総企 塚田課長より、第 3 フロリダケーブルの申請が FCC により却下されたことによる、太平洋ケーブル計画への影響について話しあり。
- 2 日 (金) ・OLUHO TSC 第 9 回会合(マニラ)の対処方針の事案を笹本取締役及び志村常務に説明、了承を得る。
・沖一台ケーブルの工事体制、連絡系統等についての建設部案を審議。

- (志村常務室にて, 10:10~11:30)
- ・猪股, 松田両君に, 出張中の処理事項を指示.
 1. 沖一合ケーブル. 2. 日韓ケーブル. 3. 東西マレーシアケーブルの機材, 要員の貸し出しについて. (要員については, 4名の希望がKCS 小林部長より申出されている.)
 - ・江幡, 京極君と, OLUHO TSC 会合への対応について協議.
- 3日 (土) ・海外出張の準備.
- 4日 (日) TPC-3 に関する ATT との技術会合ならびに, OLUHO TSC 会合に出席のため, 米国, フィリピンへ向け出発. (志村常務, 湯口, 北村 両君)
- 5日 (月) ニューヨークより, ニュージャージー州へ.
- 6日~7日 ベドミンスター ATT, Long Lines fice にて, 技術会議.
- 8日 (木) ベル研(ホルムデル)を訪問, 技術討議.
午後, 軽飛行機にて ボルチモアへ, Plow-4 を見る.
- 9日 (金) ・ニューヨーク, ケネディ空港発 PAM で 成田へ.
- 10日 (土) ・成田にて, 石川保全部長, 江幡, 山本両君と落ち合い, パキスタン空港に乗り継ぎ, マニラへ.
- 11日 (日) ・ホテルで, TSC に対する対応の打合せ.
- 12日(月)~14日(水) TSC 第9回会合: chairman を務める.
- 15日(木)~16日(金) Convenor's Report を作成.
- 17日 (土) ・マニラ発, 帰着.
- 19日 (月) ・志村常務, 笹本取締役にて, TSC 会合の報告.
・NASC 増田社長に帰着あいさつ.
・日韓ケーブル機材調達に関する問題の進展を計るため, 関係役員懇談会の開催について, 志村常務より指示あり, 資材部長, 福地取締役と協議.
・社長室, 総務課長より, 会社創業記念日に表彰する CW Mr. Davies の attend を依頼さる.
- 20日 (火) ・日韓ケーブル計画の進展に関する関係役員懇談会の資料作成を業務課長に指示.
・社長室 渉外担当 浅野調査員より, Mr. & Mrs Davies の沖縄訪問の案内について協議あり.
・社長室 職員部より, 人事異動の内命の依頼.
・NASC 取締役会. (15:00~16:20).
- 21日 (水) 春分の日.
出社し, 業務課長, 課長補佐と, 関係役員懇談会の資料作成.
- 22日 (木) ・日韓ケーブルの計画促進に関する, 関係役員懇談会を主催.

- (木) 古橋, 木村, 志村, 福地 各役員. 法務, 総計, 国際, 経理, 海建, 資料 各室部関係者 出席(10:40~12:15).
・江幡君と TSC マニラ会合の報告書作成の協議.
・湯口, 北村 両君と, TPC-3 の ATT 会合の報告作成について協議.
- 23 日 (金) ・前日の関係役員懇談会の議事要旨をまとめるよう, 業務課補佐に指示.
- 26 日 (月) ・人事異動 発令.
木下君, 海底線部次長へ.
・東海大 道下教授 来訪.
・新海底同軸ケーブル方式の開発会議, 推進連絡会議, 合同会合に出席. (15:00~17:00).
於, 霞ヶ関ビル, 東海大校友会館.
- 27 日 (火) ・榊君, 学位取得の報告に来訪.
・日韓ケーブルの機材調達に関し, OSROK より KDD と協議したい旨の申し出あり, 志村常務の下で, 資材部 ほかと対策を協議. (15:00~16:15).
・沖縄におけるケーブル陸揚工事視察のため, 沖縄へ出張.
JL909 便にて, 18:40 羽田 発, 21:30 沖縄 那覇着.
ホテル, タイラに投宿.
- 28 日 (水) ・2 本目の予備ケーブル陸揚工事を見る.
NASC 増田社長, CGRA Y.C. Huang(黄詠昌)局長に会う.
- 29 日~30 日(木) ・海象悪く, 作業中止.
- 31 日 (土) ・帰着: JL900 那覇 8:35 発, 羽田 10:45 着.
本社へ寄り, 3 本目の予備ケーブルの陸揚工事が施工されたことを知る.

昭和 54 年度

4 月

- 2 日 (月)
- ・第 26 回 創業記念日. 帝国ホテルにて式典 . 11:00~12:00.
 - ・パーティで, CW の Davies 夫妻を Attend.
 - ・15:00 帰社
 - ・矢口君から, 出張中の状況報告あり: 大原君の国内留学に伴う後補充について, ほか.
 - ・夜, Comsat Dr. Charyk 夫妻.
 - ・CW Mr. Davies 夫妻に対する 社長招宴に出席. (般若苑).
- 3 日 (火)
- ・NEC 清水部長 来訪: 沖一ケーブル積込中の問題の処理について.
 - ・志村常務より.
 1. 沖一本ケーブルに関し, 沖縄の海中で分岐接続し得るか否か.
 2. 台湾-沖縄間米軍ケーブルを, 米軍撤退後, 沖一ケーブルの予備に活用する件につき, CGRA 黄局長が KDD 訪問の際, 検討を依頼したとのこと.
 3. TPC-3 関係の ATT/KDD 会合の後処理について.
 光ケーブル, TASI 等について, 関係部門であとを進めるよう協議のこと.
- 4 日 (水)
- ・第 9 回 TSC(マニラ)の会合報告は, 連絡カードで関係役員, 大島副社長に供覧すればよこととなり, 江幡君の案を検討, 訂正.
 - ・NASC 会議室にて, NEC より提出された, 積込時の事故報告書の取扱いについて, 関係者間 (NASC, 海建, 資材部) で検討. (16:00~17:30)
 - ・NASC 今井課長に, NASC/KDD 間の保守委託契約の促進方を指示.
- 5 日 (木)
- ・TPC-3 関係の KDD/ATT 間技術会合報告を役員会に提出したが, 時間なく, 次回廻しとなる.
 - ・ITDC/CGRA/TTA 職員 6 名 (李天雲氏ほか) が沖一ケーブル 1 次布設に参加していたが, KDD 丸より下船したので, 招待. (野村ビル, 桃里)
- 6 日 (金)
- ・部長会なし.
 - ・NEC 田畑氏より Tel.
 1. TPC-3 関係の機材製造時期の問い合わせ.
 2. OTC(A) より, 濠州-ハワイケーブルに offer の誘いがあった.
 3. OTC(A) からの問い合わせで, 濠-東南ア方面のケーブル網の提案をした.
 4. OTC(A) から, NEC-オーストラリアで海底中継器をつくるようにできないかとの話がしがあった.
 5. 以上は, Fujitsu には内緒にしてほしい.
 - ・沖縄-本州ケーブルに関する NTT との折衝方針について, 関係役員懇談会で討議. (総合計画部 主催) 14:00~15:30
 - ・NTT の反対理由に対する反論をさらに NTT に説明し, 対立点を郵政にもち込む方向で進めることとなる.
- 9 日 (月)
- ・木下 次長, 松田君より引継ぎを受けた旨報告.
 - ・異動に伴う 海底線部 歓送迎会. (今佐)
 - ・NASC 増田社長に, 2 次布設の期間, 春斗に対処する必要があるため, KDD 丸に乗船困難の旨説明. 了承を得る.
 - ・研究所 新納, 布川 両君 来訪(IEE, 投稿の件)
 - ・海底線部打合せ. (10:00~12:00)
 - ・各プロジェクト, 開発, 海外協力等に関する情勢, と問題点.
 - ・作業分担.
 - ・当面のプロジェクト(OT, 日韓)は猪股課長.
 - ・将来のプロジェクト(TPC-3, 沖一本)は杉本副参事.

- ・開発関係は、杉本副参事.
 - ・海外協力関係は猪股課長.
- プロジェクトに関し、
- ・建設プログラム，建設費，機材調達：柴田調査役.
 - ・陸揚地，ルート選定：江幡調査役.
 - ・計画設計，システム設計：湯口調査役.
- ・総合工程管理，要員は次長.
 - ・志村常務に報告.
 1. 沖一 2次布設終了時の関係者慰労について，KDDで主催することの了承．業務課で事案決定，準備手配を進める.
 2. 明年ロンドンで開催される IEE の海底ケーブル conference に KDD より 2 件の paper を出すことについて 了解.
 3. 沖一本ケーブルのスケジュールについて.
発注契約を暫定数量で行ない，海洋調査を併行して進めるようなことでないとスケジュールを守れないのではないかと，意見を述べる.
- 11 日 (水)
- ・沖一 2次布設時の沖繩，KDD 丸，頭城における工事参加者について，矢口補佐より報告.
 - ・沖台ケーブル布設工事の実施に伴ない，ケーブル交差に関し NASC と協定を結んだ NTT 海底線施設工事事務所長，総合工事長，施設課長らと懇談・会食(ろう山).
- 12 日 (木)
- ・日韓ケーブルの工程管理図(PERT)について，木下次長，猪股課長，湯口調査役と協議.
今後のフォローアップを進めるよう指示.
 - ・木下次長，武田業務課長に対する志村常務の会食に同席(32F)．18:00～19:00.
- 13 日 (金)
- ・三信工業 樽松氏 来訪．(9:30～10:15).
プラスチック製の KDD における使用意図について訊ねられるが，今の所，ジュート使用が経済性と実績から主となっており，問題もないのでとくにプラスチック製の導入の検討はしていない．安くてよいものがメーカーでできればプロポーズすべきであると回答.
 - ・TPC-3 の ATT/KDD 技術会合の役員会報告，再び次回廻しとなる.
 - ・部長会．(14:30～16:00)
 - ・KEC 図書のカバーとグラビアについて協議あり，カバーについては，志村常務の意向もあり，再考してもらうこととする.
 - ・IEE 海底ケーブル conference の synopsis の検討.
 - ・湯口調査役より，光海底ケーブルの研究開発推進に関する総企，技計部主催の打合会合の様子の報告あり.
- 16 日 (月)
- ・ITDC Mr. Yang, Mr. Yeh 来訪．(9:30～).
 - (1) Oki-Tai ケーブルの保守.
前回の技術会合後：KDD 丸を保守に用いることを DGT. や交通大臣に話し，了解を得た．ケーブル船協定の作成を進めたいので，ITDC から NASC へ文書を出したいがどうか (Mr. Yang)
・保守については，NASC/KDD 間で協議中．文書を ITDC からもらえば，それを KDD に送付して検討してもらう．委
 - (2) TAI-GUAM の保守を KDD 丸に頼み．spare も横浜に保管してもらうことができるか．シンガポール船(CW)に TAI-LU を保守してもらうことで，CW からは協定案をもらっているが，TAI-GUAM は SF システムであり，距離も横浜の方が近いので，KDD 丸に頼みたい． (Mr. Yang)
・stand-by base か，charter base かで，経費も異なり，船の義務も変る．何れをとるか，国際部，保全部とも協議する．(国際部長：保全部が引受けられるかどうか先決である．保全部長：可能とは思いう，TPC の利用協定が変るので，それを考慮したい).
 - (3) OKI-TAI と TAI-GUAM のアースの共用は可能か．なお，TAI-LU は CW でつくるが，ア

スは簡単である。但し、アース抵抗は高い。(Mr. Yang).

△検討中、である。

- ・会合後、昼食(KEIO Plaza. HTL, 樹林).
 - ・TPC-3 の ATT/KDD 技術会合の結果について、関係部門(総合計画, 技術計画, 建設部)に説明(15:00~17:00).
 - ・ITDC, Mr. Yang, Mr. Yeh の表敬に立会う。(志村常務, 板野社長).
 - ・ITDC/CGRA 職員 6 名に対する NASC 社長招宴。(南園)
- △日韓ケーブル技術作業部会 開催. 16 日~18 日.
木下次長, 猪股課長を出席させる。

- 17 日 (火) ・役員会に, TPC-3, ATT/KDD 技術会合の報告。(10:55~11:45).
・上記に関し, 役員会で意見を述べた意見, 指示を関係部門に伝えるため, 小会合を開く。(14:00~15:30).
主として, 日米間直通ルート TAS, ケーブル船の問題.
- 18 日 (水) ・新技術開発推進委員会(43 回)に出席(13:30~18:30).
・日韓ケーブル技術作業部会 MOC 代表に対する志村常務招宴(南園).
- 19 日 (木) ・NASC 増田社長に Mr. Yang から話しがあった OKI-TAI ケーブルの保守に関する問題について報告: ITDC から書信をもらい, それにより KDD で検討してもらう方法について了承を得る.
- 20 日 (金) ・ITDC/CGRA/TTA 職員 6 名を案内し, 関西から沖縄へ.
新幹線にて京都へ. 京都泊(ロイヤル HTL).
- 21 日 (土) ・近鉄にて, 賢島へ. 志摩観光ホテルで昼食, 後車で鳥羽へ, 鳥羽国際ホテル泊.
- 22 日 (日) ・パールアイランド見物後, 近鉄で大阪へ. 東洋ホテル泊.
- 23 日 (月) ・伊丹空港より, JAL で沖縄へ. 沖縄中継所訪問. 沖縄パシフィックホテル泊.
- 24 日 (火) ・ITDC Mr. Yang ほか, KDD 丸へ乗船, 15 時出港を見送り, 18:40 発の JL908 で帰京.
- 25 日 (水) ・志村常務, NASC 増田社長に KDD 丸見送りを報告.
・TPC-3 の KDD /ATT 技術会合の要旨報告を部長会資料として作成.
- 26 日 (木) ・NEC 田畑氏来訪(9:30~10:30).
・インドネシア国内ケーブルに関する NEC のポロボーザル, 及び, 非公式に NEC が入手した OTC(A) の国際通信網計画関係資料を持参.
・志村常務に上記の件報告.
・53 年度下期の副参事定期管理表を志村常務に提出.
- 27 日 (金) ・総企 塚田課長(プロジェクト計画)に, NEC から入手した前記資料のコピーを渡す.
・3 類, 4 類管理者の定期管理表を作成.
・TPC-3 の KDD/ATT 技術会合の英文ミニッツを北村海洋課補佐と検討.
- 28 日 出社.

(土) 3類, 4類管理者の定期管理表(53年度下期)の作成完了.

5月

- 1日
(火)
- ・広報室 平岡調査役より“国際電信電話”6, 7月号への寄稿の依頼あり.
 - ・TPC-1の開通15周年に当り, その回顧と, ケーブルの現状, 将来動向について, かいて欲しいとのこと.
 - ・沖一台ケーブルの布設, 最終段階に入る.
 - ・沖縄出張中の矢口君より自宅へTel, (10:00). R-31の歪特性がよくなく, 布設作業時のショックで, SV周波数が0.2Hzずれたとのこと.
- 2日
(水)
- ・午前, 0時56分, 最終投入, 布設完了.
 - ・増田社長に報告. (9:40分).
 - ・13:40 ANA85便にて, 羽田発, 沖縄へ.
 - ・研究所 新納君よりの情報. (5月1日午後).
 - ・BPOより, R.L. Smithほか2名が, 光ケーブルの動向調査のため来日し, NTT, NEC, Fujitsu等を訪問, KDDの訪問も希望, 総企, 技計で扱うとのこと.
 - ・沖縄通信事務所にて, KDD丸帰港後の慰労パーティの段取りにつき打合せ.
 - ・夜, パシフィックホテルにて, 沖縄通信事務所の関係者(可児次長, 与那城課長, 蒔田調査役ら)と会食.
 - ・布設時, 沖縄にて電気試験に従事した杉本, 徳江, 矢口君らから状況説明をきく.
- 3日
(木)
- ・那覇空港にて, 来沖の志村常務を出迎え.
 - ・13:00 安謝新港に入港のKDD丸を出迎え.
 - ・那覇亭にて, ITDC/ITA/TTAのMr. Yang以下6名の志村常務招宴.
- 4日
(金)
- ・志村常務と, 沖縄中継所訪問, システム試験の状況を見る. (9:50~11:20).
 - ・パシフィックホテルにて, KDD丸乗組員の慰労パーティ. (18:00~20:00).
 - ・パーティ終了後, 沖縄事務所関係者と会食.
- 5日
(土)
- ・9:00発 ANA80便で帰京.
 - ・Mr. Yang以下とサンルートホテルで昼食.
- 7日
(月)
- ・沖一台ケーブル布設後, 開通に至るまでの処理事項について, 海底線部次・課長と打合せ.
 - ・技術・業務両課長に, 関係部, NASCとの協議を指示.
 - ・志村常務より, 社長に説明するための, ケーブル船建造に関する資料を早急に作成するよう指示あり, 木下次長, 猪股, 武田両課長に直ちに資料作成を命じ, とりまとめ. (18:00~21:00).
- 8日
(火)
- ・ケーブル船建造に関する資料を修正のうえ, 志村常務に提出. (13:40).
 - ・小室受信所より, 島役調査役, 応援に来訪.
 - ・沖一台ケーブルの開通式について, NASC社長の下でNASC関係者間打合せ. (10:30~12:00). NASCで案を作り, KDD, MPTに協議することとする.
 - ・シンガポールTAS General ManagerのKDD訪問時におけるケーブル関係の意見交換に備えるため, 関係役員懇を開いて討議するようarrangeを始める.
- 9日
(水)
- ・上記関係役員懇談会のarrange.
 - ・富士通 関川氏, 日韓ケーブルの機材発注内示のあいさつ, 沖一台ケーブル布設時のR-31の製造時の履歴調査について協力を要請.
 - ・KDD25年史の出版記念パーティ.
 - ・明日の参院通信委に備え, 待機.

- 10日 (木) ・ATT Messrs Goebel, Pappert の KDD 来訪に伴い、太平洋地域の通信の発達に関する一般的な話し合いが、国際部主催で行われ、参加。(14:30~16:15).
KDD 側 木村常務, 国際部, 総合計画部, 営業部, 海底線部.
・沖一ケーブルの開通に伴うセレモニーに関し、NASC より、社長室監理課に協議の結果、海底線部より庶務部に話しをもち込み、両部より社長室に協議する形をとることとなる。
・ATT Messrs Goebel, Pappert に対する鶴岡副社長主催のレセプションに出席(ホテルオークラ).
席上にて、西本社長室次長に、沖一ケーブルの開通セレモニーに関する協議協力を依頼。
- 11日 (金) ・部長会(10:00~11:00).
・NEC 鈴木欽也氏来訪.
・シンガポール-インドネシアケーブルの保守に関し、TAS の Mr. Goh Sen Kim から proposal を出すよう要求されている。どのように考えて対処したら KDD の方針にも支障を及ぼさないか等の問題について話し合う。
- 12日 (土) ・OCC の招待ゴルフ。(霞ヶ関)
- 14日 (金) ・シンガポール TAS General Manager Mr. Goh Sen Kim の KDD 訪問時の会合への対処(ケーブル関係)について、関係役員懇談会 を主催。(10:00~11:30)ケーブル船関係は海底線部主管で検討することとなる。
・ITDC Mr. Yang から Tel. 沖一ケーブルの回線使用時期について、6 月中にサービスインの可能性の問い合わせ：回線試験、回線使用の MPT 認可等あるので6 月中は難しいかろうと回答。
- 15日 (火) ・NASC 今井課長より、ITDC Mr. Huang 社長から Tel あり、開通について。
・光海底ケーブルの開発に関する、技術関係役員の技術打合せ(第13回)に出席(15:30~17:00)。
- 16日 (水) ・OCC 斎藤氏来訪。(11:15~11:40)
バシー海峡用ケーブルについて、協議。
・研究所 中井, 新納両君来訪。
光海底ケーブルに関する NTT との非公式打合せについて、話しあり。その他、KDD における開発について、意見を述べる。(開発方法、方式長、など)。
・志村常務より。
ITA Huang 局長より鶴岡副社長に Tel あり、沖一ケーブルの回線使用を6 月中にしたい。開通式は7月1日に亜東協会、交流協会、東南ア 関係キャリヤを招いて行いたい、旨の申し出があったとのこと。
KDD では、この問題を国際部でとりまとめることとなる。
・網管部成田部長より、ATT, Mr. Kirkland ほか TPC-2 の 9600 ボーの問題で来日する際の接待について協議あり。
- 17日 (木) ・部内打合せ。(10:00~12:00).
各プロジェクトの状況、沖一ケーブル試験完了後、開通までのスケジュール、光海底ケーブル開発の動向、日韓ケーブルの工程管理図、等。
・総企 技計部 深田課長より、光海底ケーブルの開発計画の役員会資料作成に当たっての協力依頼。
- 18日 (金) ・広報室より依頼の TPC-1 15 週年に当たって、国際電信電話誌に寄稿する原稿作成終了。
広報室へ提出。
・NASC 取締役会(第14回)。(15:00~16:30)

- ・次長・技術課長に、沖一本ケーブルの計画図の検討を指示。
- 19日 (土) ・ 出社。
資料整理。
- 21日 (月) ・ 菅野前社長の社葬に参列。(青山葬儀所)。
- 22日 (火) ・ 光海底ケーブルの開発計画について、湯口君と話す。
・ 木下次長と、沖一本ケーブルの計画図について、協議。
- 23日 (水) ・ 光海底ケーブルの研究開発計画に関する打合会合(総企、技計 主催)に出席(10:00~12:40)
・ 業務課長より、沖一台ケーブルの開通に関し、関係部門(社長室、庶務、国際、海建、NASC等)間で協議が行われ、社長室より社長の意向を伺うこと、開通式の日取りは網管部では7月6日以降ならよいとの見解であること等が話し合われた旨、報告あり。
・ 明24日、参院通信委にKDDが参考人として出席のため、日韓、沖一台ケーブルの資料を志村常務に求められ、作成。
- 24日 (木) ・ 参院通信委。
・ TASとの首脳レベル会合における、ケーブル船の問題について、関係部門間打合せを主催。(13:30~15:45)。海建、総計、技計、国際、経理、保全、各部。
※. TAS 総裁 Mr. Goh の来訪予定は、未確定、かなり先(2~3ヵ月先)になる可能性あり。
・ 業務課 桂主任に、労厚部 労働調査課への異動について内示。(5月31日発令)。
- 25日 (金) ・ 志村常務に報告。
1. KDD丸の沖一台ケーブルの保守への使用に関する、KDDからNASCへの文書。
2. 業務課 桂主任の異動について。
・ 日韓ケーブル、沖一本ケーブルの建設計画のパート図について志村常務に説明打合せ。(14:00~15:30)。海底線部・建設部 関係者(部・次・課長)出席。
沖一本ケーブルについては、海洋調査の実施について、急を要するほか、機材調達も便法を講ずる要あり、関係役員懇の開催について、総合計画部長に申し入れることとする。
・ NASC 今井、清水両課長と、沖一台ケーブルの保守問題、とくにケーブル船の使用に関する、NASC/KDD間、NASC/ITDC間の協議方法、文書交換の方法について協議。
- 26日 (土) 出社。
資料整理。
- 28日 (月) ・ 総合企画会に出席(10:00~12:00)。
光海底ケーブル方式の研究開発計画についての審議に関係部門として参加。
・ バシー海峡用のケーブルについて、OCCと協議。(14:00~16:00)。
OCC 斎藤氏 ほか、KDD 江幡、嶋谷。
- 29日 (火) ・ 沖一台ケーブルの開通に際しての記念式典に関するNASc内部の打合せ(10:30~12:00)
KDD社長より、NASc主催で、7月9日に完成式の形で行うのがよいと意向が出た旨、KDD社長室、庶務部、NASc総務・業務間の打合結果が報告され、今後の対処についてNASc社長の下で協議。
・ 志村常務に報告。
1. TASとの会談における、ケーブル船の問題について、関係部門と打合せた状況。
2. 沖一本ケーブル計画について、総合計画部長に、1981年末完成のスケジュールを守る事が困難となってきたことを伝えた状況。

- 30日 (水)
- ・定期 健康診断を受検.
 - ・東西マレーシアケーブルの布設工事に関する NEC/KCS 間の契約接衝状況が KCS 広島専務, 小林部長より説明あり, 志村常務, 建設部長とともに聞く.
 - ・日韓ケーブル計画について, 労組へ説明. (労厚部主催, 施設近代化計画の説明の一環として建設部長より説明.) (14:30~15:00)
- 31日 (木)
- ・NEC 川辺氏, 及び 田畑氏(シンガポール出張先から)より Tel. マレーシア, インドネシア両政府が, メダン—ペナン間の海底ケーブル建設を合意し, 引合が, 79年8月に NEC, STC に発出される計画となっているが, その前にルート調査について KDD と CW に引合を出し, 入札により何れに頼むかを定めることとしている, とのこと. (9:15~9:30).
 - 以上について, 志村常務に報告し, 経緯等をきくため, NEC にきてもらい関係者間で打合せ. (16:30~17:30)
 - KDD 志村常務, 海建, 海協.
 - NEC 鈴木, 川辺, 清水, 各氏(営業)
 - ・沖縄—台湾間米軍ケーブルが障害を起し, CW が修理のため, 沖—台ケーブルの位置を知りたい旨の TLX(保全部あて)が来る.
 - Mr. Y. Y. Yang に Tel. し, 了解をとる.
- 6月**
- 1日 (金)
- ・部長会. (10:00~11:20).
 - ・NEC 本郷氏より Tel. MENAN ケーブルに関し, NEC の実績, その他所有の資料等により, KDD が要請されているルート調査の見積りに対する参考情報の提供を依頼.
 - ・沖—台ケーブルのシステム試験完了に伴ない, ITDC への連絡, 次回技術会合の開催等について, 次長, 技術課長と協議. 議題, 開催時期について関係部門(保全, 網管, 建設 各部)と協議するよう指示.
- 2日 (土)
- 志村常務杯 G.C. (第2回)
- 4日 (月)
- ・診療所にて, 血圧再測定.
 - ・NASC にて, 沖—台ケーブルの完成記念行事の打合せ(14:00~16:00).
 - ・NEC 本郷氏来訪. MENAN ケーブルのルート調査に関し, NEC から参考情報の提供あり.
 - ・海外協力室三宅次長, 海底線部柴田調査役から, 6月2日(土)に郵政省 国際協力課に MENAN ケーブルのルート調査見積依頼が KDD に来た旨を説明した状況の報告あり.
 - ・以上の状況を踏まえて, 今後の作業を進める上の方角を確認するため, 海協, 海底線, 建設の各部室関係者で志村常務の下で協議打合せを明日開くよう海協室に申し入れることを柴田君に指示.
- 5日 (火)
- ・沖縄通信事業所 識名所長より Tel. 台湾—沖縄間米軍ケーブルについて, 喜手名米軍の 1 officer から, このケーブルは明年 1月1日から使用しなくなるが KDD がこれを使う(譲り受ける)ことはどうかとの話があったとのこと. 台湾からも話があり, 経費もかかるので検討を要する旨回答した経緯を伝え, 難しそうだとの感触を話してもらうこととする. (本ケーブルは建設ヒ 540 万ドル, spare はハワイ・ポートアイランドに保管されている由: 秘)
 - ・MENANG ケーブルのルート調査見積りに関する打合せ. (海協室 主催) 14:00~15:40 志村常務, 海協室, 海建本部 関係者.

- 6日 (水) ・午前、佼成病院 皮膚科。
・MENANG ケーブル・ルート調査見積りに関し、アジア海洋作業(OWA)KK/NECより関係者来訪し、作業内容、使用船、スケジュール等を打合せ。OWAより、見積りを早急に提出してもらうこととする。(15:30~18:00)。
・業務課 新旧主任(桂君と増田君)の歓送迎会。(西湖)。
- 7日 (木) ・MENANG ケーブル ルート調査見積り。
NEC 田畑、川辺氏、OWA 小林氏 来訪し、打合せ(14:00~16:00)
OWAより見積りが提出され、討議。会合後、田畑、川辺氏と経費総額の低減について協議。田畑氏、志村常務にあいさつ。
- 8日 (火) ・MENANG ケーブル・ルート調査。
OWAの提出したコストデータより、建設部で算出した経費について社内で検討。(14:00~16:00)。
NEC 田畑氏、OWA 小林氏 来訪し、OWAの再算定結果と、KDDの算定結果を比較し、調整したスケジュール、作業内容で今後の作業を進めることとする。(16:00~19:00)。
・広報室より、国際電信電話の原稿依頼。
- 9日 (土) ・KDD ゴルフコンペに参加。(富士国際)。
夜、田畑氏より Tel あり。
- 11日 (月) ・総企会に出席。(10:00~12:20)
HAW-4 ケーブルの回線・割当に関し、検討。
・社長室 渉外担当 大矢課長より、6月28日~6月30日の衆院通信委員の九州方面の調査に荅北中継所が入っており、その案内を要請される。
6月29日はNASC株式総会に当るので、NASC 増田社長に了承を得る。
・ITDCにOT技術会議開催提案のTLX 発出。
- 12日 (火) ・日韓ケーブル 製造連絡会。第1回会合に出席。(9:30~11:30)。
FJT, NEC, OCC/KDD 間で打合せ。
・FJT 関川、小野両氏より、会合後、沖一ヶケーブル布設中にSVのレベル、周波数の変化をみせた、R-31の製造時データの説明あり。
・海協室、学園で導入した、海外研修生用 Teaching Machine の見学。
・MENANG ケーブル ルート調査見積り提出の事案決定処理が海協室により進められ、Malaysia, IndonesiaへTLX 発出。
・石谷サンパウロ事務所長の歓迎。(ギルド)
- 13日 (水) ・役員懇談会(14:00~16:00)。
両副社長他、関係の技術、業務系役員出席し、光海底ケーブルの研究開発計画について審議。
・NEC 川辺氏より Tel。(17:15)。
MENANG ケーブル海洋調査の見積り提案について、マレーシアより、「日本政府の許可を条件とする」点が問題になっている旨の情報が入ったので、至急善処した方がよいとのこと。海協室三宅次長に伝え、その後、郵政より了解を得たので、TLXをマレーシア、インドネシアに打つとの連絡あり。
- 14日 (木) ・NASC 取締役会。(14:00~)。
・沖縄一ヶケーブルの開通に際し、沖縄中継所の保守体制に関する労組との協議がとっていない点に関し、保全部松村次長より状況をきく。6/22(金)に協議を行なうとのこと、その協議が整わないと、回線試験が実施できないか否かを回統部十二課長に問い合わせたが、試験であるから(建設中の作業として)実施できるものと考えているとの回答。

- 15日 (金) ・KCS コンペに招かれる。(平塚富士見)
- 18日 (月) ・パスポート更新の申請に、有楽町交通会館へ立寄り。
・国際電信電話誌へ寄稿の原稿作成。
・合同委員会書記を通じての、次回合同委員会日取りを8月3日に予定する件を大島副社長に意向を伺う。
・業務課 新旧両主任に対する 部の歓送迎会。(熊野会館)。
- 19日 (火) ・NK 合同委員会の次回会合の開催について、KDD 側、幹事、書記間で打合せ。
研究所より、中井室長、鍛冶副所長 来訪。(10:00~11:00)
・台湾 ITDC. Mr. Yang より Tel. (12:10).
(1) 次回技術会合への出席者数とホテルについての問い合わせ。
(2) 予算計上のため、最初の保守会議をいつ頃開くか知りたい。
(1) については8名、ホテルは Imperial, (2)については、何もなければ、早急に開く必要なしと思うと回答。
・保全部長より、沖縄中継所保守体制に関する組合との協議の問題について説明あり。
・NASC 増田社長に、技術会議で、首脳へのレポート(建設の経緯と結果)を作成し、しめくくりを付ける件につき説明し、了承を得る。
- 20日 (水) ・研究所 新納君 来訪。(9:20~10:00)
光海底ケーブルの開発における、BTL/ATT との協調方法について、意見を交す。
・第2JASC の建設費見積り依頼を総合計画部より受け、その検討結果を志村常務に説明のうえ、回答。
- 21日 (木) ・広報室より依頼の、国際電信電話誌への原稿を送付。
・NASC にて、沖一ヶケーブル完成式典関係打合せ。(13:30~15:00)
・布設・埋設修理工法開発連絡会。(14:00~17:30, 途中より出席)
・夜、徳江、北村 両君と懇談。
- 22日 (金) ・部長会なし
・TPC-3 の日本側陸揚地に関する部内関係者間打合せ。(13:30~16:00)
木下、猪股、江幡、杉本、武田、柴田 出席。
- 23日 (土) 出社。
- 25日 (月) ・第44回 新技術開発推進委員会 14:30~16:30。
新海底同軸ケーブル開発の郵政省への協力実施の最終報告。
- 26日 (火) ・有楽町 交通会館にて、新しく更新したパスポート受理。10:00~。
・部内打合せ(14:00~16:00)。
沖一ヶケーブル終了後、の取組み方について意向を示す。
1. 日韓ケーブル。
2. TPC-3。
3. ケーブル船。
4. 開発。
- 27日 (水) ・沖一ヶケーブル 技術会議(第6回)の出席者間打合せ。(10:00~12:00)
1. 建設工事報告

2. 保守関係.

- NASC にて, 開通式関係打合せ. (13:30~15:00)
 - KDD 板野社長に, 逡信委員を苓北に案内する件, 及び台湾への出張について挨拶.
- 28 日 (木)
- 逡信委員会(衆院)委員の苓北中継所視察案内のため, 苓北へ出張.
 - 羽田空港にて, 田中(公), 鳥居(公), 鈴木(社)各委員に同行し, 熊本へ.
 - 熊本空港にて, 高須所長と逢い, 明日の視察打合せ.
 - 熊本キャスルホテル check-in.
 - 熊本郵政局主催の懇親宴に出席.
 - 左藤, 宮崎, 田中, 鳥居, 鈴木への各委員にあいさつ.
- 29 日 (金)
- 熊本よりバスで苓北へ.
 - 苓北中継所にて, 約 1:00 hour の(田中委員を除く, 他の 4 委員による)視察案内, 説明. 1:30~2:30. Pm, 3 時前に, 視察団, 苓北を退去.
 - 熊本-東京間の Flight, 天候不良(大雨)のため, すべて欠航. 止むなく, 福岡へ向う, 自動車にて, 福岡まで約 230km, 6 時間半をかけ, 22 時 40 分全日空ホテル着.
- 30 日 (土)
- 7:25 発, 全日空機で福岡発, 東京羽田空港着, 8:55.
サミット警戒のため, 車来ず. 電車で KDD ビルへ, 10:00 着.
志村常務, 社長室 大矢 渉外担当課長に報告.
上記視察案内の報告をまとめる.
沖-台ケーブル技術会議(第 6 回)の資料準備.

7 月

- 1 日 (日)
- 成田 14:50 発, EG-203 で台北へ.
- 2 日(月)~6 日(金)
- 第 6 回 沖-台ケーブル 技術会議.
 - 頭城陸揚 視察. (4 日).
 - 電気通信研究所 視察. (5 日).
 - ITMC 視察. (6 日)
- 7 日 (土)
- 台北 10:50 発 CX-450 で帰国..
- 9 日 (月)
- 沖縄-台湾ケーブルシステム完成記念式典. (ホテルオークラ).
 - 式典, 11:30~12:00.
 - パーティ, 12:00~13:30.
 - 台湾出張中の処理, 懸案事項について, 木下次長より, 説明を受ける.
- 10 日 (火)
- NASC 増田社長に, 沖-台ケーブル技術事項のレポートを説明.
 - 文書処理して, 正式に提出のこととする.
 - 関係役員懇談会. (15:30~17:00).
 - 茨城 第 2 マイクロ および 沖-本ケーブルに対する NTT との接衝について.
- 11 日 (水)
- 休暇. (中防, 服部, 丸山 君と G, ごてんば).
- 12 日 (木)
- NK 方式分科会, 合同委員会 資料について, 猪股, 湯口君と打合せ.
 - 大井電気 伊藤氏来訪.

- ・新井さんの招宴。(住友ビル, コックドール).
和田, 高呂, 市原, 中込, 鍛冶, 渡辺, 成田, 石川, 織間, 鈴木 各氏招かれ懇談.
- 13日 (金) ・NK 合同委員会 幹事・書記間打合せ。(11:00~12:00).
NTT 村上 技術局次長, 堀口 調査役.
KDD 亀田, 鍛冶, 猪股, 中井.
- 14日 (土) 出社.
- 16日 (月) ・沖縄ー台湾ケーブル回線使用の認可, 郵政大臣より下りる.
・OLU のレベル変動, 再発との情報。(昨年3月に事前修理で布設替した辺りとのこと)
・KEC 主催, 「国際海底ケーブル通信」発刊記念パーティ.
- 17日 (火) ・NK 海底同軸ケーブル, 方式分科会(第30回) 13:00~15:00, KDD ビル.
・KCS 小林部長 来訪.
東西マレーシアケーブルの布設に対する応援のための要員抛出の懇請あり.
- 18日 (水) ・佼成病院 皮膚科に 立寄り.
・KEC 主催. 7月定期講演会 聴講. 14:00~16:00.
(社)日本経営協会 常務理事 額田巖氏.
情報化社会の光と影.
・鶴岡副社長より, 加藤六月代議士秘書片山氏の紹介による東京電具(株)神田常務からの Exar 社製品の検討依頼を受ける.
- 19日 (木) ・NASC 社長, 秋元, 葉氏らと, 人事異動により, 業務課高橋補佐が転出する後の業務処理について協議. 高橋君の後補充はされないのので, 施設課谷野君でカバーすることになる.
・大島副社長に, N/K 合同委員会の案内状を届けると共に, 沖一ケーブル第6回技術会議の報告.
・前日, 鶴岡副社長より話しのあった件, 中込研究所長に話し, 研究所で検討してもらうため, 資料を送付することとする.
以上, 同副社長に報告. その際, 東洋電具は Exar の 100%子会社で日本の agent となっている模様であること, : KDD 内部で何か利用するものがあるかどうか検討を努力したことを示せばよく, 外部メーカーへまで働きかける必要はないであろうことを確認.
- 20日 (金) ・職員部 技術要員担当 永井課長より, 柴田調査役の昇格後の補充について, 直ちには困難の旨, 協議あり. 本人の行先により仕事がどうなるかによる旨返答.
・若手社員の補充異動の件, 徳江課長より協議あり, 1名海底線部技術課, 2名は浜田(海)中継所への要員として建設部へ配員とすることで了承.
・NK 合同委員会資料の検討.
- 21日 (土) ・休み: CBC summer party に参加(熱海, NEC 保養所)
- 23日 (月) ・NTT 人事異動. 山口開生氏 総務理事.
村上 治氏 技術局長.
前田光治氏 施設局長 など
・研 中井室長来訪. NK 合同委員会への方式分科会報告の検討.
・総企 川鍋部長より, NK 合同委員会に提出する「国際ケーブルの近況」に沖一本ケーブルをどのように入れるかについて, 文中では触れないが, 図面には表示することとする.
・KDD 先輩の叙勲祝賀会に 出席.

- 24 日 (火) ・NK 合同委資料，局所長会議資料，新海底ケーブルに関する役員会への報告資料，等を作成
・NASC 施設課 清水，谷野 両君の慰労(ロスアルコス).
- 25 日 (水) ・江幡君，柴田君に内示。(7月30日発令分)
江幡：副参事，部付き。
柴田：同上，直江津中継所長。
- 26 日 (木) ・苓北中継所近くに，九州電力が火力発電所をつくるに当り，日中間海底ケーブルとの関連問題を KDD と協議したいとして，九州電力関係者が大島副社長を訪問。笹本取締役，石川保全部長とともに呼ばれ，話しをきく，今後の協議は保全部を KDD 側連絡窓口として行なうこととなる。
- 27 日 (金) ・上記の件，志村常務に報告。
- 28 日 (土) ・出社。
資料整理
- 30 日 (月) ・人事異動 発令。江幡君 部付副参事へ昇任。
柴田君 直江津海底線中継所長へ昇任。
・9600 Bau の phase jitter 問題を協議のため来日の ATT Messrs. Kirkland, Lynch, McGraw, Calhoun, ITA(台湾) Mr. Chu の各氏と昼食(志村常務 招待)。
- 31 日 (火) ・アルミ海底ケーブルの開発に関する MPT への協力報告を役員会にて行なう予定が 延期となる。(次回役員会 8月16日)。
・富士通 研究所 取締役 川島将男氏，就任あいさつに来訪。
・人事異動に伴なう，歓送迎会

8月

- 1 日 (水) ・OCC 斎藤氏 来訪：アルミケーブルについて雑談。
・NEC 田畑氏 〃：東西マレーシアケーブル等について雑談。
・富士通 峰，森山氏顧問就任のあいさつに来訪。
東大海洋研 友田教授の深海底の画像による探査の目論見の話しあり。
- 2 日 (木) ・社長室次長 久野村氏 急死し，葬儀が落合火葬場にて執行され，参列。
・部打合せ会(13:30~16:00)
仕事の分担と進め方を協議。
- 3 日 (金) ・MENANG ケーブル海洋調査を KDD に頼む旨の firm order の Telex がマレーシアより来る。契約および調査実施のスケジュールと，派遣人員について志村常務の下で，海協，海建，法務 関係者間打合せ。(10:30~11:40)。
・海底同軸ケーブル NTT/KDD 合同委員会(第9回)に幹事として出席。
16:00~17:45. パレスホテル。
- 6 日 (月) ・志村常務 夏休み。(5日~8日)。
・日韓ケーブル技術作業部会 ソウルにて 11日まで。
・総企 プロジェクト計画 塚田課長 来訪。
第2 JASC について，9月に GNTC のクリステンセンが来日し，話し合うことになろうが，第2 JASC の建設の是非に関し，建設費が経済面の問題の基礎となるので，協議の際に協力してほしい旨 話しあり。

- 7日 (火) ・MENANG ケーブル海洋調査に、技術課小林(達)君を派遣するため、組合への説明了承を要し、労厚部 海協室との協議を業務課 加瀬補佐に指示。
・上記海洋調査に赴く、北村、小林、富沢、赤尾 君らの激励のため昼食。
- 8日 (水) ・第2JASC の建設費の詳細検討の必要性について、木下、武田、矢口君に説明し、総企室に提供した建設費見積りの算定根拠の再検討を指示。
・第3TPC の陸揚地選定の進め方を検討。
- 9日 (木) ・有馬作郎君急死。片瀬の自宅に荒木直三君と弔問。
- 10日 (金) ・海底線部、ゴルフコンペ。(武蔵野)。
- 11日 (土) ・出社。
- 13日 (月) ・志村常務に、日韓ケーブル会議(9/6～9/11 予定)の対処方針作成と役員会へかける件について話す。業務課長に対処方針案の作成を指示。
・TPC-3 陸揚地の検討のしかたについて、杉本、江幡、湯口君らと協議。
選定のための要因と基準を先づ整理することとする。
・ケーブル船建造についての検討の進め方について、業務課長と協議。
- 14日 (火) ・バシー海峡の水流モデル実験の状況を、東京水産大学 海洋環境工学科環境物理学教室にて視察。
東大海洋研寺本教授、東京水産大金成助教授と討議。
・部ゴルフコンペ懇親会(独逸亭)。
- 15日 (水) ・研 中込所長に Tel. Exar の製品で研究所がほしいものがあったかどうかの確認。(7月19日照会の件)。
・斎藤二郎氏 来訪。(11:45～12:10)。
・職員部 能力開発課より。
54年度事業知識講座の講演を直江津中継所にて希望している旨、話しあり、本年度秋頃に可能の見込と返答。
- 16日 (木) ・役員会に、新海底同軸ケーブル方式の開発に対する郵政省への協力状況を報告。
・日韓ケーブル会議 対処方針を事案決定処理することで、志村常務の了承を得、文書作成を業務課長に指示。
・ケーブル船 建造の打合せ(14:30～16:00)。
木下、杉本、湯口、武田、増田。
1. 設問の整理。
2. 検討の進め方：総企と協議し、今後の検討体制を整える。
- 17日(金)～20日(月) 夏季休暇。
- 21日 (火) 浜田海底線中継所起工式に出席のため、浜田へ出張。
- 22日 (水) 起工式：終了後、広島経由で倉敷へ。

- 23日 倉敷より帰京。
(木)
- 24日 • ATT. Mr. Tuttle より, Letter 来着: 光ケーブルの共同検討について ATT の意向が示されており, 検討を指示さる。
(金) • TAS. Mr. Goh が 9 月 5 日来日し, KDD との会談を望む報が入り, ケーブル船関係の検討を早急に行う必要がある旨, 業務課長と協議。
- 25日 • KKON G.C. (東名 富士).
(土)
- 27日 • IEE Submarine Cable Conference に提出の paper について江幡君と討議。
(月) • 日韓ケーブル会議の準備について協議。(志村常務, 鈴木建設部長, 武田課長)
• TAS Mr. Goh Sen Kim との会合に備え, ケーブル船に関する問題の検討のしかたについて, 木下次長, 武田課長と協議。
• 高呂氏の定年退職に伴う, ブリッジ関係者の送別会。(サンルート, 車屋)
- 28日 • 日韓ケーブル会議の準備について, 技術課長, 業務課長と打合せ。
(火) • 東西マレーシアケーブルに KDD 丸で工事を行なうため, NEC/KDD 間で取交わす契約について審議する関係役員懇談会に出席。(14:00~16:00)
(大島, 志村, 笹本, 福地, 高仲各役員, 保全, 海建, 経理, 資材, 法務, 各室部長)
- 29日 • 東西マレーシアケーブルの布設工事に KDD 職員を派遣する件について, 労組と事務接衝。
(水) (15:00~15:40)
• 本来業務ではない業務に対する今後の取組みの考え方, 等について, 会社が今後説明することで, 労組は了承。
• 三信工業 岡本氏 来訪:
SiC 粒子複合 PVC の外販について NTT の許可が出た旨, 報告あり。
• NEC 田畑氏来訪
東西マレーシア, S-I ケーブルに対する Maintenance について, 状況の説明あり。
• 猪股, 湯口両君から, 技術計画部小林次長主催の光ケーブル技術開発における ATT との協調問題(ATT からの Letter)の関係者間打合会合の報告あり。
- 30日 • シンガポール TAS 総裁との会談におけるケーブル船の協議に対する対応について 協議のため, 関係部門間打合会を主催。(10:00~11:30)
(木) • 第 2JASC の建設に関する審議を総企会で行なうにつき, 出席を要請されたが, 代りに杉本副参事を出席させる。(15:00~)。
• ケーブル保守用物品保管所の竣工式に参列。(鶴見辰巳倉庫営業所)16:30~。
- 31日 • 部長会
(金) • 日韓ケーブル会議(第 7 回)に対する事前打合会。(14:00~15:40).
志村常ム 以下, 関係部の出席者。
• 志村常ムに報告。
NEC より得た, S-I ケーブル, 東西マレーシアケーブルの保守に関する NEC と TAS 等との間の協定案文書の内容, ならびに, TAS 総裁と KDD 間で 9 月 7 日に行われるケーブル船の協議対策の準備状況。(15:45~16:30)

9 月

1(土)~2(日) KDD 酒匂会。

- 3日 (月) ・54年度 局所長 会議 開催。
・鶴岡副社長に、加藤六月代議士秘書片山氏より依頼のあった EXAR 社製品の利用可能状況について研究所に照会したが、当面はない旨の現状であることを報告。
・海協室笠原副参事より、アルゼンチンへの海外協力使節団派遣の事案決定の話しあり。
・局所長に対する社長招宴。
- 4日 (火) ・遠隔制御形等化器に関する調査状況の報告を湯口君より受ける。(10:50~11:40)
TPC-3にCS-12Mを用いる場合、この種の海洋等化器の必要性はうすいことを確認。
・局所長会議 個別会議。(14:00~15:30)。
・TAS Goh 総裁との会合におけるケーブル船共同利用の討議資料の準備について業ム課長と協議。
・ケーブル船、TPC-3の技術的問題の検討、アルゼンチン出張時に必要な資料の作成等について技術課長、業務課長に指示。
- 5日 (水) ・長計21号作成のための要員計画について海建本部案を志村常務に説明、了承を得て職員部に提出。(木下次長 担当)：(9:30~10:10)
・TPC-3の陸揚地選定のための条件等に関する打合せ(13:50~14:30)
・TAS 総裁との打合会談に対する関係役員・部長間打合せ(15:00~17:00)
木村、志村、笹本 各役員、総計、国際、保全、海建各部長。
1. 中近東へのケーブル計画。
2. ケーブル船建造。
- 6日 (木) ・第7回日韓ケーブル会議 開催。
司会を務める。主要議題の協議をほぼ終了。
・GNTC 駐日代表の交代に伴う、KDD 会長、社長招宴。(帝国ホテル)
- 7日 (金) ・TAS General Manager Mr. Goh の来日に伴う、KDD/TAS 会議に出席。(14:00~16:00)
1. 中近東へのケーブル延長。
2. ケーブル船の joint venture。
- 8日 (土) ・出社
TAS/KDD 会談におけるケーブル船の協議の模様をまとめる。
- 9日 (日) TAS Messrs. Goh, Sung の都内観光、相撲見物を能勢海協室長と共に案内。
- 10日 (月) ・Exar 社製品の利用可能性の検討結果につき、東洋電具製作所 神田常務に Tel。
1. KDD 本社では、装置を購入するので、個々の電子機器を求めることは殆どない。
2. 研究所に、研究用機器としての利用可能性を検討してもらったが、現在直ちにお願いするものではなく、今後必要があれば、求めるよう心がけておく。
3. 片山氏に報告しようとしたが、選挙で多忙のようなので、神田氏より機会があれば伝えてほしい。一以上、神田氏 了承。
- 11日 (火) ・日韓ケーブル会議 最終日。(10:00~11:30)。
・ミニッツ確認。
・光ケーブルの研究開発計画に関する審議のための総企会に出席。(14:00~16:30)。
・韓国 MOC 代表に対する大島副社長招宴に出席。(般若苑)。
- 12日 (水) ・「時の話題」セミナー、社長講演(京王プラザホテル、11:45~14:00)。
・OLUHO 調整委員会(第9回)の開催について、各小委代表が集り、笹本取締役の下で打合せ。(14:00~15:00)。

- ・光通信用 長波長半導体レーザの開発成功の祝賀パーティ。(32F, シャンボール)
社長, 関係役員, 本社関係部門, 研究所関係者, 出席.
- 13日 (木)
 - ・海底線部打合せ。(10:00~11:45).
 - ・今後の作業について.
 - ・WE Co. との特許契約の協議に関連し, NEC より WE Co. との契約の現状及び KDD/WE Co. 会談に対するコメント要望をきく(13:00~15:00)
 - ・NEC 村上取締役, 山本技術管理部長代理, 清水営業部長.
 - KDD 志村常ム, 総企技計: 小林(好), 湯本, 研: あいば, 竹口.
 - (・布設工法連絡会 欠席).
 - ・デンマーク郵政省より, ケーブル船, 埋設機の知識を得たいとして, KDD 訪問の希望の TLX. 志村常ムあて来る.
 - ・富士通 北村氏にデンマーク側の事情をきく.
 - ・志村常ムと, これの対応について協議.
- 14日 (金)
 - ・猪股 技術課長に, デンマーク郵政省の希望について, 次の調査を指示.
 1. 外部に対する技術紹介において, 技術情報の取扱いについての社内のルールを技計部技術管理課にきくこと.
 2. 木下次長と協議し, いかなる情報を提供してよいかの整理.
 - ・故 久野村欽也氏の追悼会, 五十日祭. (11:20~14:00)熊野会館.
 - ・海協室 笠野原氏とアルゼンチンへの技術協力訪問について打合せ. (15:00~16:30)
 - ・ケーブル船の検討を進めるための, 方針, 及び関係部門との協議用資料の作成について, 杉本, 武田, 増田君らと協議. (17:00~18:00)
- 15日 (土) 祝日.
- 17日~20日 (木) 部長研修.
富士教育研修所にて, 経営管理に関する研修.
- 21日 (金)
 - ・部長会: 第7回日韓ケーブル会議報告.
 - ・MENANG ケーブル海洋調査の中間報告作成のため, マレーシアへ出張し, 帰着した木下次長から状況の報告.
 - ・武田課長, 猪股課長から, 報告.
 - ・技計小林次長, 衛通調 福室副参事と, アルゼンチン出張の打合せ.
- 22日 (土)
 - ・出社
 - ・部長会研修のレポート作成.
- 14日 (月) 祝日. (秋分の日).
ICPC 東京会合に出席の CW. Mr. Pitt, Mr. Forestal と会食(住友ビル サミット)
- 25日 (火)
 - ・斎藤二郎氏 来訪: 英文への技術資料のほん訳, 及び電子機器の輸出入の伝手について依頼.
 - ・志村常務に, 部長研修の報告.
 - ・アルゼンチン出張のための, 資料準備: 矢口君にスライドの作成を依頼.
 - ・ICPC 総会への出席代表に対するレセプション, (京王プラザホテル, 43F スターライト).
- 26日 (水)
 - ・ICPC 代表と昼食に出席.
OTC(A), Mr. Flood, P. New Guinea Mr. Harrison. CW, HK. Mr. Chiang と同一テーブルで懇談.

- 27日 (木) ・ 机の入れ替え。
 ・ ITDC. Mr. Y. Y. Yang から Tel. ケーブル保護についての詳細情報を求められる。
 1. 水路部への OT ケーブル位置の通知
 2. ICPC. に加盟の是非, 義務, 規制, 会費, 加盟申込方法, など。
 ・ ATT. Mr. McCullough と会食(志村常務招待に同席)一昼, 32F.
 ・ 足利大 出崎さんから Tel. : 電機大卒業予定の令嬢の就職について依頼さる。
 ・ ICPC 会合にて, BPO 提供のビデオテープ(ジェット埋設)をみる。(16:00~)
 ・ Mr. Pitt(CW)と, OLU の問題について若干の討議。
 ・ Mr. Pitt(CW)へ, 次回調整委までに, 次回 TSC については, 現在実施中のモデル実験の結果も見て, view を Mr. Bird, Mr. Histed に示すことを約す。
 ・ GNTC, Messrs. Gehlshoj(技術長), Rasmussen(前駐日代表), Larsen(新, 駐日代表)に
 対する志村常務招宴に出席(赤坂, 茄子)
- 28日 (金) ・ 台湾より別送品来着の報あり, インナネショナル・カーゴ・サービス(株)あて, パスポート, 別送申告書, 領収書を書留速達で送る。
- 29日 (土) ・ 出社. アルゼンチン出張の準備。
- 10月**
- 1日 (月) ・ 関係役員懇談会(15:00~16:30)
 苓北中継所近くに九州電力で発電所を建設する計画を有するため, その対応について審議。
- 2日 (火) ・ 沖一ヶケーブル開通に関し, NEC, Fujitsu, OCC 共催のパーティが開かれる。
 (18:30~, 京王プラザホテル)。
 散会後, 石川保全部長, 高橋経理部長, 秋本理事らと懇談。
- 3日 (火) ・ 台湾 DGT 金 副局長, 任 氏 来日. NASC にて表敬(16:00~16:30)。
 夜, NASC 社長招宴。(帝国ホテル, 北京飯店)。
- 4日 (木) ・ 海底線部打合せ。(10:00~12:00)。
 出張予定と不在中の処理を, 次課長に依頼。
 ・ 関係役員懇談会。(14:00~16:00)。
 光海底ケーブルの開発に関し, 今月来日する BTL 職員との会合への対処方針について審議。
 ・ 志村常務に, アルゼンチン ENTEL に対する海底ケーブル関係の説明方針について説明。
- 5日 (金) ・ 衛星通信技術の研修に KDD を訪問中のアルゼンチン Balcarce 地球局技術者の Mr. Silva と
 会食。(海協室 笠原副参事 案内。)昼食, 京王プラザ, メダリオン。
- 6日 (土) ・ 出社: アルゼンチン出張のための資料準備。
- 8日 (月) ・ 会社の保健医による, 精密検診, 9:00~, 11:00。
 海協室 三宅次長, 笠原副参事らと会食。
 ・ アルゼンチン出張のあいさつ, 社長, 両副社長, 関係役員へ。
- 9日 (火) ・ 朝, 出社し, アルゼンチンへ持参の資料を受けとる。
 昼食, 木下次長, 海老沼, 高荷両嬢, 及び東話顧客のミスと京王プラザホテル樹林で。
 ・ 14:40 自宅発。
 18:45, 成田 発, PA200 で, アルゼンチン, ベノスアイレスに向う。
 ・ 以降, 10月22日まで, ベノスアイレス 出張。

- 23日 (火) ・ 出社し、志村常務、大島副社長、児島常務に帰国のあいさつ。
志村常務より、KEC 図書 の英文化の件、及び副参事以上の定期管理表の作成について、指示あり
・ 海協室 能勢室長、笠原副参事と、懇談。
- 24日 (水) ・ 風邪のため、1日休む。
- 25日 (木) ・ 長計 21号のための、要員計画について、海建本部内打合せ。
・ NASC 増田社長に帰国あいさつ。
・ 板野社長、大島、鶴岡 両副社長 退任。 古池会長が社長に就任し、臨時部長会にて、古池新社長よりあいさつ。
・ 夜、自宅に週刊新潮記者(大久保氏?)より、沖縄のケーブルの状況について問合せあり。
- 26日 (金) ・ 午後 14:00～、副参事以上に対し、新旧両社長より挨拶あり。
・ 午前、10:00 過ぎ、New York 事ム所 遠藤調査役宅に Tel, 10月9日にベノスアレイスへ行く途中 1泊した Barbizon Plaza Hotel の朝食代未払い請求 5.73 ドルを立替え支払して欲しい旨、依頼。
- 27日 (土) 休み。
社長室 栗田秘書役より Tel。
東京税関成田支所より、事情聴取のため 29日に出頭の要請ありとのこと。
- 28日 ・ 住友ビル楠樹記念病院にて、人間ドック。(1日)。
終了後、会社へ寄る。社長室にて、税関呼び出しについてきくが、何の問題か要領を得ず。
・ 3時より、臨時役員会が開かれるとのこと。
- 29日 (月) ・ 日交ハイヤーにて、成田へ。検問は税関へ行く旨話し、通過
9:30 指示通り、統括審理官垣任氏に Tel, (北ウィング 4Fにて)3F の出国管理カウンター前を通り過ぎ、会議室と名札のある室へ案内される。
そこで、平山大蔵事ム官より、昭和 51.6.20～6.26 OLUHO IRU 販売会議に出席の際、同行の矢嶋昭氏(同時秘書役)が携行し、支出した渉外費について、とくに“品代”と記された一種の使途不明金についてきかれる。
全く関知せず、渉外費についても関与せぬ旨を答え、聴書をとられて、12:30 解放される。
要点は、渉外費の性格、社用品購入に当てられたか否か、それが誰の指示によるか、にたつたようであるが、全く関知せぬため、何で呼ばれたのか不審である。
- 30日 (火) ・ 臨時部長会(14:00～16:30)。
・ 社長室の廃止と、改組。
・ 広報室、経理部よりの連絡通知等。
・ 笹本取締役より、次回 OLOHO 調整委、TSC について、意見をきかれる。
・ 前日の成田税関に関する事情聴取の様様について、弁護士(蒲原、安井、加藤の三氏)に説明、社長室 西本次長、林総ム課長らと主宰。(サンルート東京、4Fにて)。18:45～20:00。
・ KEC 玉置常務理事らと、“国際海底ケーブル通信”の英語版作成について打合せ。
- 31日 (水) ・ OLUHO TSC 会合への対応のため、OLU 区間のレベル変動対策の検討状況について関係部門と打合せ。10:00～12:30。保全、(海)建設。
・ 志村常務(10/23～10/30、サモア諸島に出張)に、報告。

1. 54年度上期定期管理表(副参事)を提出.
2. KECとの打合せ状況.(図書の英語版).
3. 成田税関の問題.

11月

- 1日 (木) ・部 打合せ.(10:00~11:30) , 猪股, 杉本, 湯口:出張等で不参加.
臨時部長会の報告.
アルゼンチン出張の報告, など.
- 2日 (金) ・OLUHO TSC(第10回)会合の議題案のCW, ETPIへTLX送付について.
笹本, 志村両役員に報告.
・TSC会合で討議するOLUレベル変動対策について, 社内で討議する会合の準備を江幡副参事に指示.
- 3日 (土) 祝日.
- 5日 (月) ・54年度 業務知識講座を直江津海底線中継所で実施のため, 出張.
午後, 14:30~17:00. 講演.
- 6日 (火) ・直江津より帰着.
- 7日 (水) ・臨時部長会(16:30~17:30).
・刷新対策委員会の設置についての通知.
・~上級管理者身上調査表を志村常務へ提出~.
・NEC 田畑氏 来訪:シンガポール-メダンケーブルの proposal 案を持参.
- 8日 (木) ・臨時部長会の模様を, 猪股, 武田 両課長に話す.
・OCC 斎藤取締役来訪.
・日海技報を持参.
・ATLANTIS Project(レンフェーダカール-ラゴス)について説明.
- 9日 (金) ・部長会なし.
・石川保全部長と協議.
OLUHO, TSC, 第10回会合の出席者について.
・光海底ケーブル研究開発に対するATT/BTLとの協調に関し, 打合せ.(14:00~16:40)
総企, 技計部, 研究所.
- 10日 (土) ・アルゼンチン出張における, 海底ケーブル関係の打合せ報告を作成.
- 12日 (月) ・総企会に出席を求められる.(14:00~16:00)
・長計21号における海底ケーブルプロジェクト案の審議.
・長期展望に立ったフィロソフィーを盛りこむように修正することとなり, その作業に協力を要請される.
- 13日 (火) ・前記の計画作成に, 海底線建設本部が協力することについて, 役員会で了知され, 大きな問題は海底線建設委員会で検討することも話題になった旨, 松本(洋)取締役からTel.あり.
同様に, 志村常務からも, 同趣意の話しあり.

- 14日 (水) ・OLUHO, TSC, 第10回会合の対処方針打合せ。(13:30~16:00).
志村, 笹本 両役員 出席, パシー海峡のレベル変動の改善策について.
夜, 徳江, 江幡両君と懇談.
- 15日 (木) ・海底線部打合せ。(10:00~11:30).
経営刷新委員会の発足, 長計作成に関する総企への協力, 等の動向を周知.
・総合計画 川鍋部長より TEL. 15:20~15:40.
長計21号における, ケーブルプロジェクト計画作成への協力要請あり.
- 16日 (金) ・海底線建設委員会の検討課題としての, “ケーブル建造の検討の進め方” について, 考察.
・三井ビル, 副都心クリニックにて, マニラ出張のため, コレラ予防注射(第1回).
- 17日 (土) 出社.
- 19日 (月) ・KEC 発行「国際海底ケーブル通信」の英語版作成に関する打合せ。(14:00~).
編著者, (志村常務), 各編執筆責任者 並びに KEC 側関係者 出席.
・OLUHO ケーブル 第9回調整委員会の対処方針打合せ。(14:00~)
笹本議長, 国際部, 総計, 経理, 保全, 海底線, 回網の関係者 出席.
15:45分より出席.
- 20日 (火) ・臨時部長会。(15:00~16:00).
国際通信料金の値下げ, について.
・技術計画 池田部長に Tel.
・志村常務に, 海底線建設委員会の審議課題と進め方(運営方法)について説明. また, その審議課題の一つとする“ケーブル船の検討”のとり上げ方の案を説明.
- 21日 (水) ・BTL/KDD 研 会合の結果に基づく, ATT Mr. Tuttle, Jr. へのレター案について 湯口調査役にコメント.
・武蔵野通研にて, 技術講演会「超高信頼部品の研究」をきく.
講演会后, 懇親会. 早坂, 小島(哲)氏らの先輩, 各通研所長らと懇談.
- 22日 (木) ・三井ビル, 副都心クリニックにて, コレラ第2回予防注射。(11:45)
・木下次長, 猪股, 武田 両課長と, 打合せ。(15:40~16:30).
当面の課題. 1. 長計21号作成における総企への協力.
2. 海底線建設委員会の運営, 方法の再検討.
3. 国会議員からの質問, 資料要求への対処.
次週以降, OLUHO, TSC(10), Coord, Comm. (9)に出席のため, マニラ出張となるので, 以上の件の推進方を指示.
・総合計画部 川鍋部長に Tel. (17:50~)
・長計21号のケーブル関係計画作成について, 案作成後, いかなる社内処理をするのか.
△役員要望事項をおり込んで作成したものを, 中間報告として12/10(月)総企会, 12/11(火)役員会へ出す, 海建委で検討するとすれば, そのあとになる.
・海建委活動について, 案を検討しているので, 事ム局の一員として協議にのってほしい.
△. 長計で多忙なので, どれだけできるかわからないが, 了解.
- 23日 (金) 祝日
- 24日 (土) ・佼成病院, 皮膚科.
・出社, 10:40~.

- OLUHO, TSC 会合出席準備.

26日 (月) • OLUHO, TSC 第10回会合, Coord, Comm. 第9回会合 出席のため, マニラ出張.
12月5日まで.

28日(火)~30日(金)
TSC. 第10回会合.
議長をつとめる.

12月

3日(月)~4日(火)
調整委員会 第9回 会合.
TSC Convenor Report を提出.

5日 (水)
帰着.

6日 (木)
• 出社, 志村常務に帰着あいさつ.
• 健康診断.
• 木下次長, 武田, 猪股両課長から出張中の処理事項, 懸案事項について報告を受ける.

7日 (金)
• 部長会.
• OCC 斎藤氏 来訪.
OLU 区間に用いる torsionless double armoured cable の今後の検討について, 経費をどうみるか, ケーブル cost に入れる方法もあろうが, OLU の修理用だけにわりかけるのは問題であろう. (K)
スケジュール的には, 80年3月迄検討し, 仕様を固め, それから製造すれば, 明年末までかかる. (O).
発注契約を KDD と直接したい. (O). NEC を Main とする従来の方法が, 既契約 (ETPI/NEC 間) を踏まえることになり, 好ましいのではないか. (K).
• 伝送同門会忘年会. (京橋会館)
• ITU 協会 天野氏より Tel.
明年1月の講演について.
議題, 東南アジア地域を中心とした電気通信網.
日取り, 1月20日過ぎ, 1/21~1/24 が好ましい旨述べる.

8日 (土)
• 出社.
• 志村常務に, 海底線建設委員会の改組, 運営案の作成状況を報告.

10日 (月)
• 総企会に出席. (9:30~11:30, 14:00~14:30).
長計21号, 海底ケーブルプロジェクト計画案の審議.
• KCS 招待による昼食.
• 総務部に, 所掌, 権限事項に関するコメントを送付.

11日 (火)
• 国際部国際機関課に, ITU 協会プラン委員会研究会における講演について問い合わせ.
• NASC 増田社長に, マニラより帰国のあいさつ.
• OLUHO, TSC, Coord Comm. で討議された, OLU ケーブルのレベル変動対策について, 関係部門(技 計, 資材, 海建, 網管, KCS)に会議状況の報告, 打合会を主宰. (14:00~16:00)

12日 (水)
• KCS 発刊の国際海底ケーブル通信の英語版作成の打合せ. (14:00~15:30)
KEC, KDD 側執筆責任者.

- ・海底線部忘年会.
- 13日 (木) ・部打合せ. (10:00~11:30)
・OLUHO 調整委マニラ会合の報告, レベル変動対策案の審議に関する役員会資料を江幡君と協議作成.
- 14日 (金) ・部長会(10:00~11:30)
- 15日 (土) ・出社.
・午後, 石川保全部長と, 徳江施設課長を東京通信病院(五反田)に見舞う.
- 16日 (月) ・KEC 図書 「国際海底ケーブル通信」の英文へのほん訳について, 矢口, 湯口両君に依頼の協議.
・NEC 田畑, Fujitsy 関川, OCC 斎藤の各氏と, ケーブル計画の現状と動向, 技術的問題等について, 雑談会をもつ. (16:00~18:00).
- 18日 (火) ・役員会: OLUHO 調整委 第9回会合(マニラ, 12.3~4)の報告と懸案事項の審議.
終了後: 江幡君に次回臨時調整委員会の技術方針案作成を指示.
・志村常務より, 「海底線委員会」の運営方法について, 小委員会を置き, 付託事項を設けて進める案を呈示される. 総企室とも協議検討することとする.
- 19日 (水) ・KEC 図書の英文化のためのほん訳を, 京極, 高井, 布川君らに依頼.
- 20日 (木) ・郵政 電監室 米沢参事官より, 沖一ヶケーブルの工事終了時期等につき問い合わせ.
・ATT との技術会合の対処方針案を検討. これを審議のため, 関係役員懇を開催することとなり, その開催の arrange を, 湯口調査役に指示.
- 21日 (金) ・ATT との技術会合に関する関係役員懇の資料作成について湯口君と協議.
・NASC 取締役会. (16:00~17:00).
・NASC 全員の懇親. (サンルート, ホテル, いわ園).
- 22日 (土) 休
- 24日 (月) ・人事異動発令.
(海)建設部長, 鈴木氏から, 織間氏へ.
鈴木氏は機器施設部長に転出.
・海底線委員会を発足させるに当たっての, 所掌について案を志村常務に説明.
・ATT Mr. Tuttle より, ケーブル船の検討に関する志村常務あてレター来着.
- 25日 (火) ・光ケーブル研究開発の相互協力, TPC-3 の技術問題, ケーブル船等について ATT と協議するための, 会合への対処方針について関係役員懇談会で討議. (14:00~15:00)
長計 21 号審議のための役員会が, 午前引き続き, 午後 15:00 より開かれるため, その合間を縫って開いたが, 討議未了となる.
- 26日 (水) ・昨日の関係役員懇の続開を要望され, 1月8日(火)午後これを開き, 役員会付議は1月10日(木)とする.
・臨時局所長会議: 14:00~17:00. 今般不祥事を中心として.
・引続き, 17:30 より懇親会.

- ・午後、佼成病院，皮膚科に立寄り.
- 27 日
(火)
- ・日韓ケーブルの修正スケジュールと，訓練計画について，労組へ説明．(10:00～10:30).
 - ・三信工業 樽松氏来訪(13:30～14:30).
バシー海峡における OLU ケーブルの修理に当り，カーボランダム入りのプラスチック塗装外装鉄線の使用の可能性を問われる.
 - ・効果は，耐摩耗性において，従来の 10 倍.
 - ・価格は，殆ど変らない.
 - ・使用に当っては，NTT 技術局長に了解をとった方がよいが，NTT としても広く使用されることを望んでいるので問題はなかろう.
 - ・OCC に要求すれば，OCC から三信工業に話しが行く.
OLU ケーブルの問題解決に当っては，安全係数を高くとる方針なので，一重外装ケーブルの外装鉄線被覆に用いることは考えられる．その方向で検討したい，と回答.
 - ・国際部 新井課長より Tel.
次回の臨時調整委員会出席者を至急決めたいので(CW Hong Kong Mr. Chan より要望あり)，笹本取締役役に伺ったところ，とりあえず，OPS/FIN 関係 4 名，Tech 関係 4 名として，合計 9 名のホテルリザーブを頼むよう返電することになった，との事.
明日，保全部長，建設部長とも協議することとする.
- 28 日
(金)
- ・部長会(10:00～12:00).
 - ・長計 21 号の概要紹介.
 - ・組織，権限，所掌等に関する部・室長へのアンケートに対する回答が要約されて紹介される.
 - ・ATT との技術会合に対する応待について，志村常務に状況を報告.
 - ・NASC 社長以下役員で，KDD 古池会長兼社長にあいさつ.
 - ・NASC にて，年末のあいさつ.

1980年(昭和55年)

1月

- 4日 (金) ・仕事始め。
・KDD, 関連会社役員間の賀詞交換会に, NASC 役員として出席。
- 5日 (土) ・出社。
・ATT との技術会合の対処方針案を検討。
- 7日 (月) ・ATT との海底線関係技術会合の対処方針案について 総企会で検討。(14:00~16:00)
・Mr. & Mrs. C. C. Duncan に対する懇親パーティに出席。
(ホテルオークラ, 10F, 暁の間, 17:30~19:00)
- 8日 (火) ・ATT との技術会合の対処方針案について, 関係役員懇の続会(14:00~16:00)。
会合の司会, 出席者 木村, 志村, 笹本, 松本の各役員
総企, 海建, 保全, 国際, 研究所, 各部関係者。
審議の結果, 会合の性格を明確にして提案することとなり, 対応方針案を早急に改定することとなる。
関係者と, 帰途 懇談, 会食。
・サンパウロ 石谷所長から Tel. (10:30.)
ATLANTIS ケーブルに関する EMBRATEL から KDD への要望事項について, 内容了解。TLEX を本社へ至急送るよう要請。
本件, 直ちに, 海協室, 志村常務, 建設部へ伝達。
- 9日 (水) ・KEC 発行 「国際海底ケーブル通信」の英語版作成打合せ。(14:00~17:00)。
・海底線部, 主任以上の幹部 新年会(新宿会館, 18:30~21:00)。
- 10日 (木) ・役員会に, 海底ケーブルに関する ATT との技術打合会合の対処方針案を上呈。技術計画部長とともに説明, 了承さる。
・国際通信レビュー誌への原稿作成。
- 11日 (金) ・部長会なし。
・対 ATT 技術会合の資料準備, ならびに会合の arrange。
・東北大 和田正信教授 死去の報。
・国際通信レビュー誌への原稿, KEC 担当者(大野君)へ渡す。
- 12日 (土) ・出社。
ITU 協会依頼の講演原稿の作成を進める。
- 13日 (日) 海底ケーブル技術会合・ATT 代表(Tuttle, Barrett, Meierdiercks 各氏)との会食に出席。
(京王プラザホテル, 44F, アンブロシア)会議についての事前打合せ。
- 14日 (月) ・ATT との海底ケーブル技術会合, 9:30~
午前: TPC-3, 午後: TPC-3 cable route, cable ship。
・臨時部長会: 木下次長が代理出席。
夜, KDD 側招宴 京王プラザホテル, 42F, 津久井。
- 15日 (火) 成人の日。
大相撲に案内。KCS 木村社長ら同行。
- 16日 ATT との技術会合。(2日目)。

- (水) ・光海底ケーブルの技術協力 関係.
 ・今後の会合のあり方, 一Steering Committee を設定.
 ・夜, Minutes のまとめ, 深夜までかかる.
- 17 日
 (木) ・ATT との技術会合(3 日目).
 午後 14:00~16:00, ミニッツ確認.
 Mr. Tuttle, Mr. Meierdiercks 両氏, 21:00 発 PAM で離日.
 木下次長 成田へ見送り.
- 18 日
 (金) ・部長会なし
 ・ATT との技術会合の役員会報告: 1 月 24 日(木)を目標とする.
 ・Cable 船の検討のための working group の point of contact について, 協議の末, 保全部長(石川君)を KDD 側の POC. とすることとする.
 ・OLUHO 調整委 臨時会合への対処方針, 出席者等について, 部内で協議.
 ・新・旧, (海)建設部長の歓送迎会.
- 19 日
 (土) ・休み
- 21 日
 (月) ・村上(一)氏(元東光役員)来訪. Viking 社の水中コネクタの話.
 ・ATT との技術会合の役員会報告の作成, 湯口, 武田君に内容指示.
- 22 日
 (火) ・新電元 熊谷伝六氏 来訪.
 ・バシー海峡の水理モデル実験の報告会. (東大海洋研寺本教授, 東京水産大金成助教授)
 15:30~17:30.
 ・日中ケーブルに障害発生.
 ・志村常務と, 寺本, 金成先生との会食に同席. 32F, シャンボール
- 23 日
 (水) ・ITU 協会, プラン研究会委員会(第 57 回)にて講演. 14:00~16:30.
 郵政省 5F 会議室.
- 24 日
 (木) ・海底ケーブルに関する ATT との会議会合の報告を役員会で行なう予定が, 突然審議中止で延期となる: 山口課長(経営分析担当)急死のため.
 ・海底線委員会の第 1 回会合の開催について.
 1 月末/2 月始めより, 55 年度事業計画の郵政への説明が始まるので, 総企室が殆ど不在.
 総企室は, 2 月中旬以降を希望. よって, 2 月中旬(2/13~2/15)に開催することを目標とし, それ迄に, 委員会の運営方法について関係部門と協議し, 案を固め, 会合での審議を容易にしておく.
 その他, 緊急問題, (光海底ケーブルの第 1 期開発計画, 第 2 COMPAC への投資, 沖一本の推進, ケーブル船の検討 etc.)をできれば審議する.
 以上, 一(海)業務課長, 総計部長と個別話し合い, 志村常務の了解を得る.
 ・OCC 斎藤氏 来訪. (16:00~16:45).
 1. 埋設関連技術について, KDD の専門家から解説をしてほしい: 了承す.
 場所: OCC 本社, 2~3 時頃. (以前システムについて同様の依頼あり, 徳江氏に電気布を中心に話してもらった)
 時期: 追って相談.
 2. OLUHO の修理用ケーブルに, SIC を用いる件. 大阪工場で, 外装巻取りをするので, 見にくいのか, NTT への納入品.
 なお, 関連資料を KDD へ提供する.
 3. HAW-4 の推渉: ATT との会合における情報を与える.
 ・55 年度設備計画の労組への説明. 17:15~17:30. 海建本部関係を説明.

- 25 日 (金) ・ 部長会 (10:00~12:00)
・ 常務, 担当室部長連絡会議. 13:10~14:00.
今後, 毎週火曜 午後 13:30~, 常務の室で開く.
都合の悪い時の連絡, 海底線部長へ.
- ・ NASC 今井課長, 台湾 ITDC, ITA, DGT. 等を社長に同行訪問した状況の報告.
・ ケーブル船利用については, KDD/NASC 間の協定を台湾に送り, 台湾内部の了承をとりつけてもらう.
・ TAI-LU ケーブルは, 布設が終り, commissioning 中, 2 月中には完成.
・ 増田社長に黄 ITA 局長から台湾でのケーブル船建造に協力してほしい旨の希望があった. 台湾では, 高雄の造船工場で造りたい意向とのこと.
・ OLUHO 臨時調整委出席のための Hong Kong 行きフライトについて, JTB と打合せ.
- 26 日 (土) ・ OLUHO 臨時調整委会合の準備の検討.
・ 志村常務に報告
・ NASC よりの台湾情報.
・ OLUHO 臨時調整委への対処策の状況.
- 27 日 (日) ・ 経調室 山口課長の葬儀に参列. (練馬, 信行寺, 12:00~13:00)
- 28 日 (月) ・ OCC 斎藤氏より Tel.
埋設関連技術についての話し, 宮川社長もききたい, 2 月 14 日 or 21 日午後を希望.
建設部織間部長とも協議し, 木下次長を派遣することとし, OCC に回答.
・ 光海底ケーブル開発相互協力に関する ATT との協議で, ガイドラインについて合意した際, これが郵政省の許認可事項になるか否かについて, 国際部 高松部長, 沢木次長にきく.
公衆電気通信法, 有線電気通信法等に直接係わるものでなく, 業務的な関係も薄いので, 許認可の対象とはなるまい. 日中・日韓ケーブルの技術情報協定, 海外への技術協定覚え書きも, 許認可を要してない(沢木).
事ム当局へも, 情報として, 連絡する必要はあろう. (高松) 報告も義務づけられてはいない.
・ 江幡, 北村両君と, OLUHO 調整委, 香港会合の準備について打合せ. (14:00~15:30)
事前に OLU 布設替ルートの調査をする必要があるか否か.
- 29 日 (火) ・ 役員会に, ATT との海底ケーブルに関する技術会合の報告.
・ 昼, ATT との会合ミニッツ作成に携った, 業務課, 技術課の関係者を慰労.
・ 常務・担当室部長 間, 連絡打合せ. (13:30~14:45).
・ 毎週火曜日に定例で開くこととする.
・ 経営刷新委関連, で, 機材調達に関し「契約予備行為の禁止」を規定に沿って再認識することが確認された.
・ OCC 斎藤氏 来訪.
・ 最近の銅の値上り, 電力の値上り傾向で, ケーブル価格がかなり上りそうとの話し.
- 30 日 (水) ・ 海底ケーブル委員会の運営について, 志村常務と協議. (9:30~10:20). 業務課長同席.
・ OLUHO 臨時調整委における回線再割当問題の協議方針に関する打合せ.
国際部 主催. (10:00~12:30). 笹本取締役, 経理部, 総合計画, etc.
・ KEC 図書 (国際海底ケーブル通信)の英文版作成打合せ. (KEC.)13:30~16:00.
・ OLU 区間レベル低下, 進行.
- 31 日 (木) ・ 次・課長と, 当面の課題について打合せ. (9:30~:10:20)
・ “契約予備行為” の禁止について.

- ・ATT との会合の follow-up : TPC-3, ケーブル船, 光海底ケーブル等.
- ・海底ケーブル委員会の運営(案)の検討と, 2月中旬開催の準備.
- ・OLU レベル低下の進行に伴う, 対策について, 石川保全部長とともに, 笹本取締役が現状説明ならびに, 日中ケーブル修理との関連(KDD 丸の使用)の意見交換を行う.
(12:10~13:00).
- ・日中ケーブルの障害修理に関する打合せ.
保全部 主催. 13:30~16:00.

2月

- 1日
(金)
- ・部長会.
海底ケーブルに関する ATT との技術会合の報告.
 - ・志村常務に, OLUHO 調整委ホンコン会合の技術事項として, レベル低下の進行に伴う緊急修理と, 恒久策との関連問題があることを説明. (保全部長, 建設部次長 同席.).
今迄, 合意されている線に沿うことを原則とし, かつ全体のコスト, 効果を最善にするよう努力することとなる.
 - ・以上笹本取締役にも報告.
- 2日
(土)
- ・出社.
香港における, OLUHO 調整委会合の準備.
- 3日
(日)
- ・OLUHO. 調整委 第10回会合 出席のため, 香港出張.
成田 発 11:15.
- 4日
(月)
- 調整委会合 開会.
技術関係 “B” 作業部会 会合を chair.
- 5, 6日
- 7日
(木)
- 調整委会合にて, “B” 作業部会 報告.
- 8日
(金)
- 調整委. 議事記録 確認.
- 9日
(土)
- 帰国
- 12日
(火)
- ・志村常務に 出張報告.
 - ・常務・室部長, 連絡打合せ会 13:30~15:00.
- 13日
(水)
- ・OCC 斎藤氏 来訪.
・トーションレス ケーブルの検討について.
・プロポーザルを出してもらおうことを考えている旨を示唆.
 - ・日中ケーブル修理に関する, KDD/SPT 上海会合の報告. 打合(保全部主催).
 - ・OLUHO 調整委(ホンコン)会合の状況を簡単に報告.
 - ・OTC(A)総裁 Mr. Schmidt 他 OTC(A)メンバーに対する社長招宴に出席
ホテル, ニューオータニ, 18:30~20:30.
- 14日
(木)
- ・部 打合せ会(10:00~11:00).
 - ・ITU 協会より依頼の “東南アジア地域の海底ケーブルの発展” の原稿を仕上げ, 郵送.
 - ・海底ケーブル委員会の運営のし方について, 検討.

- 15日 (金) ・部長会(10:00~12:00).
 ・部長会における緊急事項を、次課長に伝達.
 ・新技術開発委員会(13:30~15:30).
 ・NEC 田畑氏 来訪. (16:30~17:45).
 1. アトランティス ケーブルブラジル・セネガル区間 — 応札の件.
 何れ, NEC 社より, KDD へて, CS-12M 使用につき正式文書を出すとのこと.
 2. I-S(ASEAN)ケーブル布設中に, F 社製中継器 1 台の動作変調(歪折返し, 20db 悪化)のため, spare と替えた. その後, 動作は正常, 原因はシンギングを起したのではないかと思われる, (F 社は否定). これを持ち帰り, 精密検査をすることとなった. ($\mu\beta$ の測定など), N 社はその Test に立会えないので, 中立の KDD に立会ってもらえるか.
 *なお, NF 間でこの件につき協議中⇒.
 ・私見: メーカー間のトラブルに巻き込まれるのは好ましくないが,
 ① インドネシア・シンガポール両国の日本技術に対する信用維持する面からも.
 ② 2CS-5M 開発を主導した立場からも.
 ③ 技術的関心, (この種, 障害に対する現象, 対策, 等)からも,
 N の要望を, F も了承すれば, 認めてもよいかと思われるが, ただし,
 i)シンガポール, or インドネシアからの要請をもらうこと.
 ii)結果について, N も F も尊重すること.
 3. NTT 茨城-三浦間 36M ケーブル, 再び 障害. レベル down.
 4. リビアケーブル CS-36M, ケーブル切断障害, C. S. Venture が TAILU の布設終了後, 地中海付近でケーブル障害修理に従事し, それを終わったばかりで, リビアケーブルの修理を引受けてもらった.
 ケーブル切断時, サージのため, 中継機 1 台 被害をうけ, とり替え.
 (CS-36M 海底中継器はサージに弱いとのこと. 日韓ケーブル用は, それを改善してある筈, とのこと.)
 5. NTT 通研は, 光海底ケーブルの開発スケジュールも勘案して, 140M 海底同軸の研究開発は, 1000KM の中継ができることを確認して打切る, と云っている.
- 16日 (土) ・出社.
 資料整理.
- 18日 (月) ・NASC 取締役会. 14:00~.
 株式総会の開催について決議.
 ・NASC 増田社長の歓送:北京大飯店. 18:00~20:15.
- 19日 (火) ・常務, 室・部長間, 定例連絡打合せ 13:30~15:00.
 ・NEC 田畑氏に, ASEAN・S-I ケーブルの異常中継器の検査立会について確認したところ, シンガポール・インドネシア側の要望でなく, N・F 間の責任の所在に関し KDD の判定を求めたいとする NEC の要望であるとのことなので, そのような状況では, 介入は困難の旨を伝え, 田畑氏 了解.
- 20日 (水) ・臨時株式総会. 9:30~11:15.
 現状に至った責任の追及, 株主に対する損害の補償等できびしい質問があったようであるが, 議事については了承され, 新たな役人が選任され, 続く, 臨時取締役会で会長, 社長に, 日高氏, 増田氏が就任された.
 ・村上(一)氏より TeL.
 ・去る 1 月 21 日に照会のあった, Viking 社の水中コネクタについて, 詳細説明をしたい.
 ・KCS の二瓶工事課長に問い合わせ, 日中ケーブルの修理後, 話しをきくこととし, 村上氏には, 3 月中旬以降, 村上氏側の担当者から KCS の二瓶工事課長に連絡されたい旨, 伝える.

- ・ NASC 臨時株式総会 (NASC 会議室にて)
取締役の退任と、その後の選任について。
増田社長が退任し、木村 KCS 社長を選任。
 - ・ 引続き、NASC 取締役会が開かれ、木村氏社長に就任。
 - ・ 新会長、社長、元会長から、管理者へのあいさつ。(17:30~18:00)32F にて。
- 21 日
(木)
- ・ 臨時部長会(10:00~12:10)。
・ KDD 経営諮問委員会(仮称)の設置について、意見交換。
 - ・ 交際費を特定経費として、計画に計上する件について、経理部より各部庶務担当課長に説明打合せ。(加瀬君出席)。
 - ・ NASC 谷野君より、仕事がない悩みの訴え。
- 22 日
(金)
- ・ 志村常務に
1. 新会長、社長への所掌業務の説明に関し、海建本部として一括する方向で資料作成する件。
2. 海底ケーブル委員会の運営について、関係役員部長懇談会を開いて、討議する件。
を協議し、了承を得る。
 - ・ NASC 谷野君に、沖一ケーブル建設時の、工数の算定を依頼。
沖一ケーブル建設工事記録に refer するため。
- 23 日
(土)
- ・ 佼成病院、皮膚科に寄った後、出社。
 - ・ 海底ケーブル委員会の運営について、考える。
- 25 日
(月)
- ・ 日韓ケーブル技術作業部会 始まる。29 日までの予定。
木下次長、猪股技術課長、矢口技術課長補佐に出席してもらう。
 - ・ 武田業務課長：課長研修を終え、その報告。
海底線委員会の運営についての関係役員懇談会(2月29日予定)に対する資料の準備を指示。
 - ・ 夜、自宅に、志村常務より Tel：組織の見直しに対する意見を求めらる。
- 26 日
(火)
- ・ 定例の役員、室部長間連絡打合会は、常務外出のため、とり止め。
 - ・ 武田業務部長と、海底ケーブル委員会の運営に関する関係役員懇談会の資料について討議。
 - ・ 役員会付議基準の改正資料、文書課より送付さる。
- 27 日
(水)
- ・ 光海底ケーブルの試作が研究所からの発注で OCC で行われており、銅のチュービング[®] 工程に入った状況を視察のため、志村常務に同行し、新山下工場へ行く。
 - ・ 日韓ケーブル作業部会会合韓国側出席者に対する志村常務招宴。(南園)。
- 28 日
(木)
- ・ OLUHO 調整委員会(ホンコン、2月4~8日)報告を役員会に行う予定が、審議案件多く、次回へ廻される。
- 29 日
(金)
- ・ 部長会。
 - ・ 「海底ケーブル委員会の運営」について、の関係役員懇談会を開催。(14:00~16:00)。
 - ・ 日韓ケーブル作業部会(技術、契約/財務)終了
- 3 月**
- 1 日
(土)
- 週休。
- 3 日
- ・ 織間建設部長、木下次長と、会長、社長への所管事項説明用資料の作成について打合せ。

- (月) (13:30~15:00).
- ・海底ケーブル委員会の運営について。
志村常務より、高仲取締役へ、計画小委員会の小委員長の就任を要請。
担務事項については、副委員長(総計部長、海底線部長)、間で協議後、案を小委員長
のところで検討することとする。(夕刻、川鍋部長と電話で協議)。
 - ・高仲氏より、沖一本ケーブル問題を、TPC-3 ルートを沖縄経由一本州をすることで、解
決できないかとの提案あり、様々の案を、計画小委で検討することとする。
- 4日
- (火)
- ・役員会に、OLUHU 調整委・第10回会合の報告:了承。
 - ・技術課長、業務課長と、海底ケーブル委、小委事務局の件、及び、日韓ケーブル会議の会
合計画について協議。
 - ・日韓ケーブル用、給電装置、試験装置(PIL MON, SV MEASURE)OW 装置の試験状況を、NEC
玉川工場で視察(志村常務、織間部長共)
 - ・明5日 衆院通信委における郵政省答弁に対する援助のため、待機。
- 5日
- (水)
- ・KEC 図書 “国際海底ケーブル通信” の英語版作成打合せ。(14:00~16:00)
 - ・保全部長と、海底ケーブル委 一ケーブル船小委の担務事項について、協議。
又、建設部長と、同委 一技術小委の担務及び活動のし方について協議。
 - ・NASC 築取締役より、KDD 監理課 松村課長より、KDD における監査強化に伴ない、関連会社
に対しても、考査室等による査察(株主として)を行うことを検討している旨連絡があった、
旨、話しあり。
 - ・日中ケーブル Repair No.2 のため、KDD 丸長崎港出港。
- 6日
- (木)
- ・海底線部打合せ。(10:00~12:00)。
 - ・建設部長、両部次長と、海建本部所管事項についての会長への説明資料作成打合せ
(14:00~16:00)
 - ・海底ケーブル委、ケーブルシップ小委の担務事項案について、石川保全部長と協議。
- 7日
- (金)
- ・部長会。(10:00~11:20)。
 - ・高松総務部長と、NK 合同委、首席委員の件など協議。
・志村常務、担務室部長間連絡打合せ:(14:00~15:30)。
・会長への所管事項の説明資料について、協議。
 - ・日韓ケーブル作業部会会合のミニッツ英文作成に尽力してくれた、下北さんを慰労。
(京王プラザ・ホテル、福ぎく)。
- 8日
- (土)
- ・出社。
- 10日
- (月)
- ・常務会(?)が緊急に開かれたため、予定した海底ケーブル委員会会合の開催は延期。
 - ・保全部長と共に、笹本取締に、海底ケーブル委、ケーブル船小委員会の担務案について説
明、了解を得る。
 - ・会長への所管事項の説明(12日、2時~3時)について、常務、担当室部長間で打合せ。
(17:15~18:50)。
- 11日
- (火)
- ・会長への所管事項の説明資料の準備について、建設部長と協議。
 - ・常務、室部長、定例 連絡打合せ(13:30~15:00)
 - ・延期になった海底ケーブル委員会を14日(金)午後を開くこととなる。
宮、児島両常務のほか OK。
- 12日
- (水)
- ・沖台ケーブルの技術資料作成に伴ない、作業工数について検討。
 - ・予定されていた会長への所管事項の説明(志村常務 担当部室)は、昨日からの他部門の説

- 明が予定通り運ばず、遅れを生じたため、延期となる。
 ・日中ケーブル Repair No. 2. , 探線に成功したとのこと。
- 13 日
 (木) ・特記事項なし。
 ・日中ケーブル Repair No. 2. , 修理を本日中に完了する見込みとのこと。
- 14 日
 (金) ・部長会(10:00~11:30).
 総務部長より、役員会資料の形式を改める点が通知される。
 ・職員部 近藤次長に、NASC 技術職員(施設課補佐)を、KDD の作業多忙時に応援派遣する方法について検討を依頼。
 ・海底ケーブル委員会(14:30~16:00).
 ・今後の運営について、審議。
- 15 日
 (土) 休み。
- 17 日
 (月) ・総企会(第2 COMPAC への投資問題)の審議に参加。(10:30~11:30)。
- 18 日
 (火) ・部打合せ。(10:00~12:00).
 ・ケーブル船、TPC-3 に関する作業の進め方、を討議。
 ・連絡打合せ(常務、室部長間)。(14:00~15:30)
 ・会長への所管事項の説明の件 など。
 ・郵政関係者、西本次長ら 逮捕。
 ・江幡、湯口君を石川部長と慰労。(ギルド)。
- 19 日
 (水) ・OCC 斎藤氏 来訪、光海底ケーブルの将来の開発動向について、宮川社長が KDD 海底線関係者(志村常務、海建本部、両幹部)と意見交換の懇談を希望しているとのこと。
 3月24日(月)16:00~ KDD ビルにて行うこととする。
 ・NASC 第19回 取締役。(11:00~11:25).
 ・KEC 図書, “国際海底ケーブル通信”の英語版作成打合せ。(14:00~16:00).
 ・職員部関係人事異動 内令。鈴木(雄二)君 技術課主任へ、京極君 施設課主任へ。
 ・木下次長より、女子社員の配属について。
- 20 日
 (木) 祝日(春分の日)。
- 21 日
 (金) ・部長会。(10:00~11:30).
 ・会長への所管事項の説明。(14:40~15:35).
 志村常務 担当 室部(海外協力室、海底線建設本部、資材部).
 ・OCC 斎藤氏。光海底ケーブルに関する懇談打合せ会について協議のため来訪。
 ・NASC 新旧社長(木村、増田 両氏)に対する NASC 役員の歓送迎会(北京飯店).
 ・増田社長より：本社の組織、機構をスマートにしたい。
 ・役員は、一同連帯責任をもつべきであるので、経営の共通事項に関しては(ex. 組織、人事、料金、その他)、所管であると否とを問わず、何らかの意見を述べることができなくてははいけない、とくに会長は、この意向を強く持っている。
- 22 日
 (土) ・出社
 雨から雪になる。

- 24 日 (月)
- ・浜田中継所における日韓ケーブル建設後の保守体制を廻って、組合に対し会社側の考えを保全部長より説明。(10:40~11:20).
 - ・人事 発令：畠山調査役 海底線部へ京極君 建設部施設課主任へ。
鈴木雄二君 技術課主任へ昇格.
 - ・ケーブル船に関する打合せ(13:30~15:40)
保全部長, 保二 課長, 海 技術・業務課長, 江幡役.
・ATT との作業部会会合への対処等.
 - ・OCC 宮川社長 ほか(廻, 畑, 斎脇各氏), 来訪.
光海底ケーブルの今後の研究開発動向と, それに伴うケーブル製造態勢について意見交換(16:00~17:45).
KDD 側, 志村常務, 建設部, 織間部長, 森田次長, 海底線部長, 湯口調査役.
- 25 日 (火)
- ・常務, 室部長, 定例連絡打合せ(14:00~15:00).
・3/24 の人事異動, 及び 組合との協議(浜田中継所の保守態勢)について報告.
 - ・ケーブル船小委員会へ向けての作業方針について, 技術, 業務両課長及び江幡副参事に指示.(ATT との会合, 作業スケジュール 等).
 - ・KCS 二瓶工事課長より.
去る2月20日に話し合った, Viking 社水中コネクタについて, 村上(一)氏と打合せをもった, 研究所, 技術開発坂口課長補佐にも同席, してもらい, 埋設機, 光海底ケーブル用機器などに, 今後の要求があるかどうか調べて, もしあれば, 再度打合せることとした, 旨, 報告あり.
- 26 日 (水)
- ・志村常務 TAILU ケーブル開通式出席のため, マニラへ出張.(29日まで)
 - ・沖縄-台湾ケーブルの技術資料の執筆に着手
 - ・日中ケーブル障害修理(No.2)の関係者の慰労宴.(18:00~, 32F).
(笹本取締役 主催).
- 27 日 (木)
- ・ケーブル船小委員会へ向けての資料作成打合せ.(猪股, 武田, 江幡).
 - ・ITU 協会 田中一三氏来訪.
“国際電気通信連合と日本”誌への投稿が掲載されたので, 原稿料を持参.
- 28 日 (金)
- ・部長会 中止.
 - ・ケーブル船小委員会(4月2日開催予定)の資料と, 会合の進め方に対する考えを, 笹本取締役役に説明(石川保全部長 同行). 13:30~14:30.
おおよその了解を得る. 同取締役は, 明日(3月29日)より約10日間米国へ出張するので, その間, 志村常務の下で, ケーブル船小委員会会合を開催することとする.
- 31 日 (月)
- ・ATT Mr. Pappert が TAILU ケーブル開通式に出席後, 台北から東京へ廻り, KDD を来訪, FCC との接衝状況等を説明のため, 国際部で打合会合を主催.(11:00~12:30).
大西洋, カリブ海における FCC の裁定状況との関連で, 太平洋も考える必要があるか, FCC に対する意見交換を米国以外の関係 Carrire からも出すため, FCC との会合をもつことについて ATT が望んでいる旨が説明された.
 - ・KCS 主催. 東西マレーシアケーブル布設工事に対し, NEC から感謝状が KCS に贈られたことを機とした, 祝賀パーティに参加.(新宿会館).
 - ・NASC 今井君より, 木村社長に随行し, 台北における TAILU ケーブル開通式に参列した際の関連情報の報告あり.
 - (1) OKITAI ケーブルの保守会議の第1回会合の開催地について, Mr. Y. Y. Yang が台北を希望している. 時期については, NASC 提案に委せる, とのこと(保全部 主管)
 - (2) OKI-TAI-LU 間のケーブル経路 restoration circuit の設定計画について, KDD が近く関係者間会合を開きたいが, その開催場所を台湾にしたかどうかとの意向を示したところ, 台湾側は了承したとのこと(国際部 主管)

Memorandum 6

(KDD 本社)

1980年4月1日～1981年7月14日

1980年(昭和55年)

4月

- 1日 (火) ・創業記念日.
式典 帝国ホテル 11:00~12:00.
祝賀パーティ // 12:00~14:00.
終了後、帰社.
- 2日 (水) ・海底ケーブル委員会 ケーブル船小委員会会合(第1回)14:00~16:20.
笹本小委員長 海外出張中のため、志村常務、出席.
・NECより連絡を受けた、米国商務省の地質学専門家による日本海溝附近の生成に関する講演会に、江幡副参事を派遣.
- 3日 (木) ・事業所長表彰の式典に参列.
11:30~ 京王プラザホテルにて.
・部打合会(15:00~16:30). ・海底線部の人事異動関係者の歓送迎会(北京大飯店).
- 4日 (金) ・部長会(10:00~11:30).
・沖台ケーブル建設の技術資料の“まえがき”原稿作成を進める.
- 5日 (土) ・出社.
沖台ケーブル建設の技術資料の原稿をかく.
- 7日 (月) ・ケーブル船の検討のためのATT/KDD作業部会に対する付託事項について、ATTへ出す書信を検討.
・新技術開発委員会(第48回)に出席。(13:30~16:30)
- 8日 (火) ・総務部に、“役員会付議基準(案)”に対するコメントを提出.
(建設部長、海底線部次長、業務課長らと検討).
・志村常務、担当室部長 連絡打合会(14:00~15:00).
(海)より、日韓ケーブル会議の5月開催日取りと、議題.
・志村常務:4月8日夜、東京 発、CCITT世界プラン会議にて講演のため、パリへ.
4月18日(金)まで 海外出張.
・4月8日付で、ATT. Mr. Tuttle Jr. へ、ケーブル船作業部会への付託事項案の書信送付.
- 9日 (水) ・沖縄-台湾間ケーブル建設の技術報告資料の原稿作成.
・Look Japan 紙より、原稿の依頼あり.
- 10日 (木) ・Look Japan 紙依頼の“海底ケーブルによる国際通信動向”の投稿処理方法について、広報室、権田課長に問い合わせ、広報室より、Look Japan に連絡をとるとのこと.
・富士通 新川顧問 来訪.
タイ-マレーシア-シンガポールケーブルの問題の状況について、情報を持参. 夫々の国内法の適用をめぐる、意見の統一が取れず、遅延しているとのこと.
・日中間海底ケーブル保守会議(第2回)に出席のため 来日している中国代表団の社長招宴に出席。(北京大飯店, 18:00~20:00)
- 11日 (金) ・部長会(10:00~12:00).
・日韓ケーブル技術専門家会合に出席のため、ソウルに出張する. 矢口、松本(一)両君に、5月開催予定のケーブル会議の日取り、議題の下打合せの方針について示唆.
・部内有志で Marjan.

- 12日 週休
(土)
- 14日 (月) ・海底ケーブル委員会 技術小委員会. (14:00~18:00).
・笹本取締役等に, 4月2日に開かれた, 海底ケーブル委, ケーブル船小委の状況について説明. (18:30~).
- 15日 (特記事項なし)
(火)
- 16日 (水) ・研究所新納君 来訪.
・光海底ケーブルの海洋実験計画, その他について討議. (9:15~10:30)
・研究室推進の分担, 統括の体制が不十分との感を受ける.
・石川保全部長と, ケーブル船小委会合の開催について協議.
- 17日 (木) ・KDDにおける春季闘争 妥結.
・北京長途電信局長(呂明氏)一行, NTTの招きで来日し, KDDを訪問: 昼食レセプション(会長, 社長ほか出席)に参加, 32F.
団長 呂明 北京市長途電信局局長.
副団長 朱伯禄 郵電部電信総局副局長, 兼総工師.
団員 楼海日 // 科学技術局副総工師.
ほか 5名.
・江幡, 畠山 両君に, ケーブル船に関するこれ迄の関係資料ファイルを引渡す.
夜, 両君と懇談.
風雨強く, 雷鳴あり.

添付資料: 報告事項 (55. 4. 9~4. 18)

志村常務殿

55. 4. 21
(海)海底線部長

1. AT&AのMr. Pappertが3月31日来社し, AT&Tの諸ケーブル計画に関する対FCC折衝の最近の情勢について同氏から説明された. その概要とこれに関連して行なわれたKDD関係部門との意見交換は別紙1のようである.
2. 日韓ケーブル会議(第8回)の開催日程について, MOCより5月22日(木)より26日(月)までをケーブル会議期間とし, その直前の5月19日, 20日に各作業部会を開くことでどうかと事務レベルでの打診があった. (4月9日). (別紙2)
3. 富士通 新川顧問より, タイマレーシア-シンガポール間海底ケーブル計画の最近の情勢について別紙3のような説明を受けた. (4月10日). それによれば契約適用法規に関してマレーシアとタイ・シンガポールとの間の調整がつかないため, 未だに3国間の基本合意が得られるに至らず, 計画は大巾に遅延しているとのことである.
4. 海底ケーブル委員会の各小委員会の開催が次のように予定されている.
 - ・技術小委員会(第2回会合): 4月21日(月) 14:00~
 - ・ケーブル船小委員会(第2回会合): 4月23日(水) 14:00~

- 別紙 1. 国際部からの連絡カードによる会合記録.
// 2. 海底線部連絡カードによる関係部への情報.
// 3. 新川顧問持参の資料.

以上

- =====
18日 (金) ・部長会. (10:00~12:00)
・経理部より実施計画の紹介, 事業計画との性格の相異, 等を廻って議論あり.
・日韓ケーブルの建設フローチャートについて木下次長と討議.
・第2 COMPACの投資方針について総企会で討議あり, 出席を求められる. (16:15~17:45).
・気分悪くなり, 救急車にて, 駒ヶ峰病院にて手当てを受ける.
- 19日 (土) 休. 佼成病院内科にて診断を受ける.
- 21日 (月) ・志村常務パリ出張中の主要事項について, 別添の報告.
・海底ケーブル技術小委(第2回)会合, 委員長の都合がつかず, 委員間で資料の検討と意見交換に留まり, 予備会合となる. (15:30~17:00).
- 22日 (火) ・NEC 鈴木欽也氏, 大崎氏 来訪, 13:30~15:30.
△I-S(ASEAN)ケーブルの保守について, NECは委託契約しているが, そこで10日以内に修理し, 越えた日数により penalty を払うように規定されている. 修理用の船の手配が問題であるが, 最近TAS(シンガポール)は, CWと船を使用について合意したが, 将来はASEAN Cable Shipをもちたいとして, NECにいかなる船がよいか提案を求めている. 出すに当たってKDDの了解を得たい.
○TASのrequirement(守備範囲, 保守専用か否か, 要求性能等)をよくきき, それに応じて, reasonable priceの船(新造or改造)を提案すべきであろう. 時間がなければ, 条件を明確にして, 複数案を呈示したらどうか. KDDとしては, TASから相談を受ければ, それに応じて検討する. NECから案を出す時は, 事前にKDDにも連絡してほしい.
・富士通 森山(節二)顧問 来訪 15:30~16:10
東大海洋研とNHK基礎研の共同の深海底探査システム開発について.
光海底ケーブルを使用するので, KDD, NTTの了解が要るやに思われるので, どんなものか話にきたとのこと. 何れ, 詳細計画をもってくる. OCC, 富士通が協力.
・OCC 斎脇氏来訪 16:10~16:30.
ASEAN I-Sケーブルに生じたカプリングの事故について, 何れ, 原因究明後, 報告する.
- 23日 (水) ・海底ケーブル委員会 ケーブル船小委員会 第2回会合. 14:00~16:00.
・笹本委員長, 志村常務, ほか.
- 24日 (木) ・海底ケーブル委, ケーブル技術小委員会 第2回会合. 10:00~12:30.
・海底線部打合せ. (16:00~17:00)
部長会の模様等を伝達.
- 25日 (金) ・部長会 なし.
・海底ケーブル委員会(第29回). 14:00~17:30.
各小委からの報告と, 今後の活動について, 審議.
- 26日 (土) ・胃のX線検査, 佼成病院.
休み.
- 28日 休暇, ごてんばへ行く.

(月)

29日 (火) ・天皇誕生日で祝休日.

30日 (水) ・海底線部, 管理者の定期管理表作成.
次課長, 副参事の分は, 担当役員へ, 3. 4類管理者の分は, 職員部長あて, 提出.

5月

1日 (木) ・午前, 佼成病院にて, 検査結果をきく, 1週間後に, 念の為, 胃カメラで検査することとなる.
・総 企会に 出席. 14:00~15:40.
GNTC/KDD 会談の対処方針, 案. (第2 JASC の検討など)
・広報室 徳味調査役に, Look Japan よりの原稿依頼について, きく.

2日 (金) ・部長会. (10:00~11:30).
・保全部長より.
① ATT とのケーブル船作業部会会合について.
② 日中ケーブル障害時に, 自衛隊機を直ちに飛ばして, 船舶の航行状況を視認してもらうことが可能かどうか, 防衛庁にきく伝手がありや.

3日 (土) 祝日

4日 (日) 祝日

5日 (月) 祝日.

6日 (火) ・定例 連絡打合会(常務, 担当室部長)14:00~15:40.
・組織改正について: 現場的要素を本社から移す件.
海洋調査, 工事, 試験等は, KCS へ移す.
・これに関連し, 1. 子会社を充実, 自立させるべきである.
2. 組織を作ればよしとせず, 職責を果たすことのできるよう必要な人員を当てるべきである.
との意見を述べる.

7日 (水) 午前, 佼成病院, 皮膚科と, 内視鏡科へ.
・KDD/GNTC 会談に, 午後から出席(14:00~16:30).
第2 JASC 計画の是非に関し討議.
・NEC 鈴木欽也君に, ASEAN I-S の保守に関し, きく. CW 船を頼むこととなつて, NEC, CW 間の修理時の責任所在はどうか, など.

8日 (木) ・KDD/GNTC 会議. (国際部 主管)に出席.
第2 JASC 建設の是非について, 討議. (10:00~11:30).
・昼食: 京王プラザホテル, アンブロシア, にて.
・5月下旬から6月始めにかけて, 日韓ケーブル, ケーブル船に関する ATT/KDD 作業部会, APMC, の諸会合が予定されているので, それらへの出席について国際部, 保全部と協議: 志村常務より, APMC 会合への出席を指示される.
・GNTC よりの招宴. (ストックホルム): 笹本取締役, ほか, 関係部課長, 参加.

9日 ・部長会(10:00~12:00).

- (金) ・保全部長と ATT とのハワイにおけるケーブル船関係の会合, ACMC の会合への対応について協議.
 ・志村常務より, 5月29日(木)に決算取締役会が開かれるので, 日韓ケーブル会議をそれ以降にするよう MOC と協議してほしい旨話しがあり, 営業課長に連絡をとらせる.
 ・シンガポール石井所長に Tel. (16:30~).
 ACMC 会合に関連し, 情勢をきく.
- 10日
 (土) ・出社.
 Look Japan 紙より依頼の原稿作成を進める.
- 12日
 (月) ・シンガポール事務所 石井所長に Tel. (11:30~).
 ・ACMC 会合後, シンガポールを訪問する予定である旨, 伝える.
 又, Cable Depot, Cable Station の訪問が可能かどうかをきく.
 ・国際部 佐藤協一課長と, ACMC 会合への出席に関し, 協議.
- 13日
 (火) ・佼成病院, 検査結果の聴取. (14:00~).
 ・常務, 室部長, 連絡打合せ. (15:30~16:30).
- 14日
 (水) ・NEC 営業 清水氏より, ATLANTIS ケーブルに応札したが, セネガルに対し, 延べ払いを通産で認めないため, 情勢は芳しからずとの情勢あり.
- 15日
 (木) ・部 打合せ(10:00~11:30).
 ・TPC-3 の陸揚地に関する検討の予備打合せを 5/23(金)に開くこと.
 ・6/20 予定の海底ケーブル委員会に合せて, 各小委の会合を予定すること.
 を要望.
- 16日
 (金) ・部長会. (木下次長に代理出席を依頼).
 ・Look Japan 紙への原稿をかき上げ, 井上記者に渡す. (16:40~).
 ・日中ケーブル, またも障害の報あり.
 ・旧, 二宮中継所メンバーの集い. (新宿会館→ギルド).
- 17日
 (土) ・出社.
 ・保全部長と, 日中ケーブルの障害を起した原因の調査等につき, 協議.
- 19日
 (月) ・星齒科(三井ビル).
 ・ASEAN CABLE MANAGEMENT COMMITTEE 会合(5月29日~30日)及び小委員会会合(5月27日~28日)への対処方針案について, 国際部, 経理部の関係者間で打合せ. (14:00~16:00)
 ・志村常務に, 上記 説明.
 ・シンガポール事務所 石井所長に Tel するも外出中, 後刻, 折返し, Tel. あり, ACMC 会合への出席並びに, シンガポール訪問のスケジュールについて打合せ. (13:30~)
- 20日
 (火) ・日中ケーブルに障害 No. 3 が起きたことに伴い, 日韓ケーブルの安全性にも懸念が及び, 再検討と, 対策について, 関係者間で協議. (10:00~12:00)
 志村常務, 海建本部, 保全部, 各部 部・次・課長 他.
 ・NEC 鈴木氏に Tel. ACMC 会合へ出席するに当り, 関係情報の提供を依頼.
 5月22日(木)に来訪を求める.
 ・海建本部関係者(建設部, 海底線部)間で, 日韓ケーブルに対する埋設ケーブルの安全性を高める対策の調査等の協議(15:00~17:00)
 ・NASC 木村社長に, ACME 会合出席のため, 5月25日~6月4日, タイ・シンガポールへ出張する件につき, 了承を得る.

- 21 日 (水) ・NASC 取締役会. 15:00～.
54 年度決算書類の審議.
・新宿三井ビル, 副都心クリニックにて, コレラの予防注射(Booster).
- 22 日 (木) ・NEC 鈴木(欽也), 岡田 両氏来訪. (10:00～12:00)
海協室, 三宅次長 ほか と, 東南アジア, ASEAN のケーブル関係の情報をきく.
P-S, I-S, MENANG, Singapole-Medan, 等.
・ACMC 会合出席のための, タイ・シンガポール出張に伴い, 海外協力室 三宅次長 ほかから, 東南ア方面の海外技術協力の状況と問題についてきく. (16:00～17:00)
- 23 日 (金) ・部長会(10:00～12:00)
・TPC-3 の日本側陸揚地に関する調査の問題など, について, 部内関係者と予備討議: 問題の大きい, 漁撈活動状況の調査を先ず主点として(13:30～14:40)進めること, 6 月中旬の計画小委に調査計画案を出すこと.
・日韓ケーブルの対漁業・保護対策と, スケジュールへの影響, 等について部内打合せ. (15:00～16:00).
・富士通 海外営業 北村氏の来訪を求め, T-M-S ケーブルの状況, マレーシア, タイ関係要人の動きなどをきく(16:00～16:40)
・志村常務に, 概況報告と, 出張のあいさつ. (17:00～)
・日韓ケーブル会議の対処方針案について, 各作業部会の対処方針案も併せて作成するよう, 業務課長に指示. (17:20～17:45).
- 24 日 (土) ・出社.
・Look Japan 紙への原稿英文チェック終了も, 井上記者現われず.
・織間建設部長と諸事打合せ.
- 25 日 (日) ASEAN Cable Management Committee Meeting に出席のため, タイへ向け, 出発.
6 月 4 日まで, タイ・シンガポールへ出張.
5/25～5/31, バンコク・パタヤ.
6 月 1 日～4 日 シンガポール.
- 6 月**
- 5 日 (木) ・帰着のあいさつと, 概況報告を, 志村常務へ.
・NEC 鈴木欽也氏 来訪.
・武田業務課長より, 不在中の諸問題につき報告を受ける.
- 6 日 (金) ・日韓ケーブル会議(6/7～11)出席のため, 志村常務, 武田課長 ソウルへ.
・部長会. (10:00～11:00)
・施設部門近代化計画の一環として, 日韓ケーブル計画を労組に説明(14:30～15:15)
・社内 東北大出身者 同窓会.
- 7 日 (土) ・出社.
- 9 日 (月) ・富士通 北村課長(海外営業)より Tel. バンコクへ6 月 1 日に行き, 帰ってきたとのこと.
明日, 新川さん来訪するよう希望.
・ACMC 会合報告のとりまとめ.
・星齒科医へ.
- 10 日 (火) ・富士通 新川顧問, 北村課長と共に来訪. (10:30～12:00)
海協室 三宅次長, 上野副参事を交え, ACMC 会合の概況報告, ならびに, ASEAN T-M-S

- ケーブルの動向に関し、意見・情報の交換。
 - ・ソウル木下次長より TEL.
会議は予定通り進み、明日、ミニッツ確認で終了の予定、とのこと。
 - ・台湾より訪日中のデータ通信調査団の社長招宴(昼, 32F), DGT の王梅華氏, Mr. Chu に会う。

- 11 日 (水) ・シンガポール訪問の報告を書き終え、国際部 恵木君と、会合報告のまとめについて協議。

- 12 日 (木) ・NASC 取締役会 15:00～
 - ・夕刻 日韓ケーブル会議が終り ソウルより帰国の志村常務から、自動車電話がかかる。
 - ・保全部, 石川部長に TEL: ケーブル船小委について打合せ。

- 13 日 (金) ・海底ケーブル委, ケーブル船小委. (10:00～12:00).
ATT/KDD 作業部会 第1回会合(ハワイ)報告, と今後の作業。
 - ・日韓ケーブル会合の様相について, 同会議に出席した, 木下次長, 武田, 猪股両課長から報告. (15:40～16:40).

- 16 日 (月) ・新技術開発委員会(第49回)13:30～17:00.

- 17 日 (火) ・海老沼さん来る. 石井シンガポール事ム所長よりの預かりものを渡す, 一緒に昼食. (メダリオン)
 - ・NASC 谷野君に, 日韓ケーブル用 cable loading 手伝ってもらう件について, 職員部, 総務部(監理課)との協議も調ったというので, 志村常務, NASC 木村社長に話し, 了承を得る。
 - ・部, 打合せ, 16:30～17:00.
(木下次長, 猪股課長, 湯口調査役 欠席).

- 18 日 (水) ・木下次長, 武田業務課長, 矢口技術課長補佐 より。
 1. 日韓ケーブル布設時に, KDD 丸が釜山へ入港時の通関問題について, 説明のため, MOC より KDD 関係者の訪韓が望まれている: 工程管理の立場から, 技術課が follow-up するよう指示。
 2. KDD 丸が釜山入港の際, MOC の高級幹部, (次官 ほか)が同船を見学する希望があるとのことので, 関係方面(とくに KCS)との協議の下に, MOC の意向も業務課を窓口にかめるよう指示。

- 19 日 (木) ・ケーブル技術小委員会. 14:00～16:30.
 - ・新川さんとの懇談会(サンルート, 3F). 18:30～21:00.
終って, 西田(昌弘), 成田(回網管理部長)両氏と懇談。

- 20 日 (金) ・志村常務より, 組織改正について, 海建本部は日韓ケーブル建設終了まで現状維持とするが, そのあとの問題 ならびに, 保全の仕事が東京支社へ移るとされているので海底ケーブル関係の保守業務をとどのように扱うのが組織上, よいか. 建設部長, 保全部長と協議することとする。
 - ・海底ケーブル委員会(第3回), 14:00～16:45.
 - ・石川保全部長とケーブル船の問題など協議。
 - ・午前の部長会 木下次長に代理出席してもらう。

- 21 日 (土) ・出社。

- 23日 (月) ・石井シンガポール事ム所長より、Letter、来る。
 ・ケーブル船の今後の検討作業について打合せ：江幡、武田、畠山君ら。
- 24日 (火) ・常務、室部長 連絡打合会(14:00～15:30)
 ・7月1日以降の、常務会、幹部会の設置について常務より説明あり。
- 25日 (水) ・寄居 CC. 本社へ、正社員への手続き。
 ・ケーブル船についての検討方針打合(15:00～17:20).
 江幡、畠山、武田、猪股君ら。
- 26日 (木) ・組織改正における海底線関係の業務のあり方について、
 建設部長、保全部長と協議(10:00～11:30).
 ・臨時部長会(11:30～12:10)
 ・今後の常務会と幹部会議について。
 ・海老沼さんの送別会。
 ・湯口君より、研究所からの光ケーブル海洋実験に対する協力についての打合せの報告あり。
 (6/25日)
- 27日 (金) ・株主総会に出席。(10:00～11:30).
 ・志村常務より、役員の担務について話しあり、(14:00～)。
 ・会社の機構改正について、石川保全部長と協議。
 ・海老沼さん 退職。
- 28日 (土) ・佼成病院 皮膚科。
 ・出社。
- 30日 (月) ・部 打合会(9:30～10:45).
 ・常務会、幹部会議の設置と、それらの規呈について周知。
 ・NASC 株主総会(14:00～)。
 社長に KDD 元常務 古橋さん 就任。終了後、KDD 会長、社長にあいさつ。
 ・石川保全部長、織間建設部長と 組織の問題について討議。
 ・NASC 社長招宴。(小田急 HALC, 豪華)。

7月

- 1日 (火) ・総務部 湯本副参事と 組織の問題について協議。
 ・OCC 斎脇氏来訪、：例年の KDD, KCS, NASC との懇親会について。
 ・寄居 CC. (特記事項なし)さん、書類を持参。(13:30～)。
 ・海底線関係の新組織と担務について検討。
- 2日 (水) ・保全部長、建設部長と 組織問題の協議。(9:30～10:30).
 ・志村常務に、組織問題の検討状況の中間報告。
 OCC との懇談会、ケーブル船の問題等、を説明。(11:00～12:00).
 ・KEC 図書 英語版作成の打合せ(14:00～16:00).
- 3日 (木) ・来週、OLU ケーブルの回線復旧計画に関する会合出席のため、訪台される笹本常務に、OLU 布設替修理用機材の調達状況についてのメモを提出。
- 4日 (金) ・第1回幹部会議。(10:00～12:00).
 増田社長、宮副社長 出席され、社長より今後の会社の刷新に関する施策の方針について抱負が語られる。
 ・研究所新納君が、光海底ケーブルに関する BTL との意見交換のため、渡米するので、N. Y.

- 事ム所 遠藤調査役への手紙(昨年10月, ホテル朝食代の立替分6\$同封)を託す.
- ・支社における技術部門の組織について, 関係部長間で意見を交わす. (13:30~16:30).
 - ・総務部 湯本副参事主催.
 - 石川保全部長, 池田伝送施設部長, 森田建設部次長(織間部長 代理).
 - 建設・保全を包含する縦割りの施設部門の是非について.
- 5日 休.
(土)
- 7日 月)
(月)
- ・志村常務, 担当室部長, 連絡打合せ. (10:00~11:45).
 - ・常務会(7月3日)の様様.
 - ・組織改正について, 施設系のたて割り組織の是非等 討議.
 - ・海底ケーブル委, 小委員会の委員長について, 志村常務より, 検討の要の話しあり, 武田, 猪股課長に, 各小委事ム局で, 部長を小委・委員長にすることを協議するよう指示.
 - ・NASC 古橋社長に, 沖一合ケーブルの保守会議を8月に開くため, ITDC, KDDとの協議を進める件, 了承を得. 清水課長に, ITDCへの会議開催提案 TLXの作成を指示.
 - ・会社の定期健康診断:(6月実施に, 海外出張のため, 受検できず, 延期).
 - ・部 打合せ:(16:15~17:15), 幹部会議の様様など.
- 8日 火)
(火)
- ・ケーブル船に関する現状, 動向の presentation 資料(常務会用)について考察.
- 9日 水)
(水)
- ・佼成病院, 胃カメラによる検査. (午前)
 - ・午後 出社.
 - ・NASC 取締役 選任後の登記のため, 取締役会議議事録に押印.
 - ・志村常務に諸案件の報告等.
 1. 光海底ケーブルの“NTT/ATT 共同開発”に関する新聞記事に対する ATT Mr. Tuttle からの問い合わせ: 技計部に処理を委託, NTT への問合せ等.
 2. 沖一合ケーブル保守会議.
 - 日韓ケーブル布設工事のスケジュール(8/4~8/15)を考慮し, 8/20~8/22 とすることで, ITDC と協議を進める: 了承を得.
 3. Cable Ship Captain 会議, (9月8日から, 英国サザンプトンの予定).
 - 吉田船長に, 木下次長を同行させる: 了承を得.
 4. ケーブル船に関する動向についての常務会報告.
 - 7月17日の常務会は議題満杯, とのこと. 7/24日で進めざるを得ない.
 5. ケーブル委員会.
 - 小委の委員長は部長とし, 構成も妥当なものとする. 一了. 委員会の新しい構成の事案決定も近いようなので, それに併せて決定したらよい.
 6. NK 合同委.
 - 役員改選も終わったので, 首席委員, 委員を確定し, 専門委, 幹事は組織改正後の変更もあり得ることを含んで, 事案決定し, NTT へ通知する.
 - 本件については, 宮副社長にも説明, 了承をとる.
- 10日 木)
(木)
- ・“シンガポール訪問の報告, 写真”をまとめ, 部内回覧に廻す.
 - ・NK 合同委員会の KDD 側委員変更の事案決定.
- 11日 金)
(金)
- ・幹部会議. (10:00~12:00)
 - ・社長, 児島常務出席, 経営問題委員会の運営など.
 - ・海底ケーブル委員会, ケーブル船小委員会 第4回会合. (15:00~17:00).
 - ・KDD, ATT 作業部会第2回会合の対処方針について.
 - ・江幡, 畠山君と, 懇談.

- 12日 出社
(土) ・ケーブル船の情勢についての常務会資料の作成を進める。
- 14日
(月) ・常務、部室長、連絡打合せ。(9:30～10:30)
・組織、機構の改正について。
・DGT. K.P. Lian 局長(台湾)ほか、Huan ITA 局長, S. C. Chong(副技師長)氏ら 来訪。
NASC との懇談, 昼食(11:15～13:30)
・海底線部, 打合せ。(16:00～17:00)
・日韓ケーブル布設工事への参加者の激励壮行会:(新宿会館)。
- 15日
(火) ・常務会報告資料“ケーブル船に関する最近の情勢 及び 課題”の原稿作成。
・保全部長と, 前記資料について意見交換。
・研究所 天野次長, 山本電子回路研究室長, 新納主任研究員 来訪。(16:30～17:00)
先般訪米し, BTLにて光海底ケーブル方式について討議を行ってきた状況の報告。
・KDD 会長, 社長招待による 関連会社/KDD 懇談会(32F)
- 16日
(水) ・午後, 早退。佼成病院にて, 胃カメラ検診の結果聴取。(16:00～)
・三信工業 樽松さんより Tel. OLU 修理用ケーブルの耐磨材使用について。
- 17日
(木) ・志村常務と協議, 1. ケーブル船の情勢の常務会報告が, 常務会の審議案件多数のため, 早急には困難である状況から, 社長の意向をきいて別途説明するかどうか決める。2. 海底ケーブル委の開催については, 7月28日頃, 各委員会の委員改変が常務会にでる(総務部より)ので, そのあとできるだけ早い時期とする。
以上を, 武田業務課長, 保全部長に伝える。
・保全部長と, ケーブル船に関し, NTT との mutual aid の取決めの必要性について意見交換。
現在, 表向き明確でない, 明確化を NTT が望むかどうか, とくに外国と KDD 間の取決めに NTT の名前がでることは好まないのではないか。
・NASC 古橋社長の, 日韓ケーブル機材積込み, (KDD 丸, 横浜), 及び, ケーブル陸揚工事の視察スケジュールの arrange。(浜田)
・KEC 図書英文化のための原稿(第Ⅱ.Ⅳ編,)チェック。
- 18日
(金) ・幹部会議(10:00～12:00)。
福地常務 出席, 組織改正の基本方針など。
・ケーブル船に関する ATT/KDD 作業部会の準備。
・猪股, 武田 両課長に組織改正について非公式に状況を説明。(新分掌検討のため)。
- 19日
(土) ・出社。
ATT/KDD 作業部会会合の準備。
- 20日
(日) ・東北大 電通 21 会 ゴルフ, コンペ。(つくばね)
- 21日
(月) ・ケーブル船に関する ATT/KDD 作業部会 第2回会合 開催。
KDD 新宿会館にて, ATT. Messrs. McCullough, Meierdiercks, Roe 来日。
・夜, 笹本常務 招宴, 志村常務同席。(北京大飯店)
- 22日(火)～23日(水)
同上会議に出席。
- 24日
・会議の状況とポイントを石川保全部長と共に志村常務に報告。

- (木) ・会議ミニッツの確認, (11:30~17:00)新宿会館にて.
・組織改正に伴う, 海底線部関係の所掌の見直し案を, 木下, 猪股君と作成.
・夜, OCC との懇親会, (OCC 主催). KDD ビル, 32F にて.
- 25 日
(金) ・幹部会議. (10:00~11:15).
志村常務 出席.
・組織改正に関連する, 人事について, 総務部 湯本副参事に状況をきく.
・当面の人事, (とくに技術2課長), 及び, 明年以降の人事の基準構想について志村常務に説明.
※. 日韓ケーブル建設完了後, 海底線関係の業務, 組織を再検討するが, 今後の光海底ケーブルの研究開発の推進のため, 海底線部から人材を研究所に送込むことも得策と思われる.
・NEC, 田畑氏より Tel. : 光レーザーの製造に際し, NTT, KDD の開発をどう織り込むか, 技術計画部に相談するよう advise.
- 26 日
(土) ・出社.
- 28 日
(月) ・志村常務, 担当室部長 連絡打合せ. (10:00~11:20)
・部 打合せ : (16:30~17:10).
組織改正, 日韓ケーブル関係, 海底ケーブル委員会など.
- 29 日
(火) ・海底ケーブル委員会の準備, 小委員会委員長以下の構成案について, 業務課長と協議.
・ケーブル船に関する ATT/KDD 作業部会報告について 江幡君と討議.
- 30 日
(水) ・7月29日の常務会で, 海底ケーブル委員会の委員長, 副委員長は従来通りとなり, 委員は委員長から委嘱し, その手続きをとるため, 委員長の意向をきく, 同時に, 各小委の委員長以下の構成についても, 指示を受け, 総務部に連絡.
・KDD 丸 日韓ケーブルの布設のため, 横浜出港, 朝7時, 見送りに行く.
- 31 日
(木) ・ケーブル委員会の準備.
・成田部長より, 人事について相談あり.
・GNTC Mr. Larsen. 石川保全部長を家に招待.
- 8 月**
- 1 日
(金) ・幹部会議. 10:00~12:00.
・新組織における, 海底線 技術部長の内内命あり.
・海底ケーブル委員会(第24回) : 14:00~17:30.
- 2 日
(土) 休み.
・人事問題で志村常務より, Tel, あり.
- 4 日
(月) ・役員, 室部長 打合せ. (10:00~11:20).
・INTELCOM-'80 CONFERENCE について 研究所, 技計へ紹介.
・石川保全部長と, 人事問題の協議.
・ケーブル船小委の開催について, 江幡君と協議.
- 5 日
(火) ・異常気象の影響か, 日韓ケーブルの韓国側陸揚工事のスタート切れず, 風波強く, KDD 丸は待機.
・ケーブル船小委の準備.
・Los Angeles INTELCOM-80 への参加について検討.

- 6日 (水) ・韓国側海象不良のため、KDD丸更に待機。
・海底ケーブル委、ケーブル船小委(第5回)開催。(14:00~18:15)
今次会合より委員長を努める。
・終了後、江幡君、湯口君、徳江施設課長らと懇談。
- 7日 (木) ・韓国側海象不良のため、待機。
・INTELCOM-80への投稿について、研究所、技術計画部はなしとのことで、海底線からの寄
与文書について湯口君と協議
- 8日 (金) ・日韓ケーブルの布設工事、海象不良のため、天気待ち。
・幹部会議なし。
・INTELCOM-80への出席を、志村常務より指示される。
・Mr. DawidzinkへのTLX案を検討。
- 9日 (土) ・出社。
・浜田国際中継所、松本所長にTel。
・8月11日(月)にNASC古橋社長との会食に参加を依頼される。
・〃12日(火)国際記者クラブのケーブル局訪問時の説明応待を頼まれる。
- 10日 (日) ・浜田出張。
日韓ケーブル布設工事に伴う、浜田側ケーブル陸揚工事の視察、等のため。
- 11日 (月) ・浜田海上保安部、NTT浜田報話局にあいさつ。
・NASC古橋社長と会食。(有福、国際グランドホテル)
- 12日 (火) ・国際記者クラブに応待。
- 14日 (木) ・KDD丸浜田港へ、港内で錨泊中のKDD丸を訪問。
MOC代表下船、夜会食。
白扇旅館に、志村常務を訪問。
- 15日 (金) ・広島経由で帰着。
- 16日 (土) ・出社。
浜田側陸揚、天候不良のため、延期。
- 18日 (月) ・笹本常務の命で、海底線部副参事クラスの 新組織への異動の内内命。
・武田(業務計画部 第1課長へ)、猪股(海・技・1課長)。
・畠山(海技2課長)、杉本(海建部付へ)、江幡(海技部付)。
・INTELCOM-80の原稿準ビ。
・東北大 佐藤利三郎、星子 両教授、中込氏のもとへ、学術会議の件で来訪。
- 19日 (火) ・沖台ケーブル保守会議 出席のため、台北へ出張(NASC役員として)。

*8/20~8/22, 台北, ITA 会議室にて, 会議。

8/22~8/23, 花蓮より, 頭城 陸揚局 訪問。

- 8/24 東京へ帰着。
(日)
- 25日
(月)
- ・帰着あいさつ, 志村常務, NASC 古橋社長.
 - ・役員・部 室長連絡打合せ. (10:00~11:45)
 - ・9月1日付異動の内示. 次・課長, 副参事, 調査役, 課補佐, 主任, 一般...
 - ・ケーブル船に関する検討状況, 江幡君より報告あり, (常務会への報告資料, 船小委の準備等.)
 - ・INTELCOM-80. (Los Angeles)への対応準備状況, 湯口君より報告あり.
- 26日
(火)
- ・台北出張旅費の精算処理. (NASC 園田 補佐).
 - ・INTELCOM-80. 提出 paper の synopsis 発送.
 - ・網管部成田部長に, 当部へ異動することとなった高橋(敏)君について, きく.
- 27日
(水)
- ・ケーブル船に関する検討状況を江幡君より聞く.
 - ・業務課, 武田, 加瀬, 増田の3君が近く異動で他へ転出するので, 慰労, 送別の招宴. (盧山).
- 28日
(木)
- ・富士通 室井氏より Tel.
タイーシンガポールケーブルの最近の動静について.
 - ・マレーシアも参加の動きがでてきて, バンコクで三国間の代表が話し合う
 - ・NEC と協議の結果, FJT が prime となる.
 - ・9月に Tender Invitation, 2ヶ月で決める.
 - ・常務会にて, ケーブル船に関する情勢報告が志村常務よりなされたが, 時間が短く, ほんの概要に留まったとのこと.
- 29日
(金)
- ・幹部会議(10:00~).
 - ・昨日, 常務会へ提出の, ケーブル船に関する情勢について報告.
 - ・ケーブル船小委員会. (14:00~17:00)
 - ・ATT との WG/3 については, 1ヶ月程延ばすこととする.
- 30日
(土)
- ・出社. INTELCOM-80 への contribution 作成を進める.
- 9月**
- 1日
(月)
- ・組織改正: 海底線技術部 となる. 第1課, 第2課の構成.
 - ・辞令交付: 次長, 江幡副参事, 水野君(第2課 配属), 増田君(国際機構部へ異動).
 - ・人事異動により, 旧 業務課, 武田, 加瀬, 増田君ら他へ異動.
旧 保全部より, 山本, 松崎君, 配属.
旧 回網部より, 高橋(敏)配属.
杉本君, 建設部へ異動.
 - ・部内, 新管理者で 打合せ: 新分掌, 業務の分担 等. (13:45~14:50).
 - ・役員, 部長間連絡打合せ. (15:00~18:00).
技術 計画の導入, 推進に関し, 討議.
- 2日
(火)
- ・NASC 社長, KCS 役員に, 組織変更に伴ない, 保全業務の所掌を扱うこととなったので, あいさつ.
 - ・石川 元保全部長と引継打合せ.
 - ・旧 業務課 課長以下に対し 志村常務の歓送会食に同席.

- 3日 (水) ・海底ケーブル委，技術小委員会会合に出席。(14:00～16:00).
(委員長：技計部長)：新技術開発上のケーブル船建造に対する意義等の討議.
- 4日 (木) ・早川運輸 社長，常ムら来訪。(10:00～).
ケーブル保守業務が保全部より移管されたことに伴い，横浜での予ビ機材の保管等に関係の深い同社首脳が挨拶にきたもの.
・富士通 室井氏ほか，伊藤忠 菊野氏と共に，ASEAN T-M-S の状況説明に来社。(主管，海協部)(15:00～16:00)
・牧野顧問来訪.
・組織変更による人事異動に対する，歓送迎会(送，4，迎4，)(今伝..)
- 5日 (金) ・幹部会議 中止.
・午前常務会，午後，Att. Messrs. Nicholes, Pappert 来社。(HAW-4 について)
- 6日 (土) ・出社.
INTELCOM-80 原稿書き.
- 8日 (月) ・役員・部長間打合せ。(10:00～11:40).
・常務会(9/5)の様様，など.
・部内打合せ。(16:30～17:45).
・技術1，2課の当面の問題など.
- 9日 (火) ・海技2課と，ケーブル保全関係で，海外国通信企業との連絡調整を今後どう改めるかの協議。(10:00～11:00)
・技2課，高橋副参事に対する常務招宴，(12:00～13:15).
- 10日 (水) ・田畑氏より TEL.
・Penang- Medan ケーブルの Tender 発出が近そうである.
・ANZCAN については，NF IS～NZ 間(5MH z 方式)のみを狙う.
- 11日 (木) ・人事部長，次長，：56年度採用技術系学卒の募集に，経営工学等，電気，通信，電子以外の学部からの募集を加えるかどうか，技術系部長の意見と求められる.
- 12日 (金) ・幹部会議。(10:00～11:30).
・苓北中継所 高須所長より Tel：志村常務の国会通信委員の視察案内について.
- 13日 (土) 休み.
- 16日 (火) ・INTELCOM: '80 英語原稿の作成を進める.
・ケーブル船小委員会資料の検討.
・(志村常務，9/16～9/18，苓北，参院通信委員 案内).
- 17日 (水) ・ケーブル船小委員会，(第7回会合)を主宰。(14:00～17:00).
・INTELCOM '80 英訳原稿の check.
・中村夫人に Tel.
- 18日 (木) ・22号長計 作成方針の説明打合せ，(総計部 主催).
木下次長，猪股課長に出てもらおう.
・三洋電気 開発研究所長 矢川豊氏 より Tel.
光磁気メモリについて研究所で話をききたいので紹介してほしい.

- 研究所 太田室長(材料部品研)に連絡し、次週訪問のこととする。
- 19日 (金)
- ・横浜税関に監視部長を訪問し、異動、組織改正のあいさつに行く予定のところ、先方より不都合とのことで、追ってのこととする。
 - ・幹部会議 なし。
 - ・志村常務に、ケーブル船小委の関係を報告。
 - ・長計 22 号の作成に関し、ケーブル計画については、総計部(通信網計画課主管)に技術的面から協力する。技計部とも協議する。
 - ・夜、江幡、湯口、山本 君らと、懇談。(ギルド)。
- 20日 (土) 休み。
- 22日 (月)
- ・役員・部長間打合せ(10:00~12:00)。
 - ・技術開発体制・技術要員計画等について討議
 - ・海技部、部内打合せ。(15:00~16:30)
 - ・長計 22 号ケーブル関係計画の作成について、: vision を画くこと。
- 23日 (火) 祝日。(秋分の日)。
- 24日 (水)
- ・6:30 荅北中継所 高須所長より Tel. あり。
 - ・今朝 6:15 日中ケーブル障害発生。(第 4 次、本年 3 回目)。
 - ・障害箇所は R26~R28。
 - ・以上、志村常務宅に通報。
 - 高橋副参事、木下次長 それぞれの自宅に Tel. 連絡。
 - ・非常障害対策東京本部活動開始。(9:30~)。
 - ・障害対策センター長 会議(支社 運用部 主催)、10:30~11:30。
 - ・SPT. 張徳忠 電信処長に写真電報 発信。
 - ・庶務部 上原次長に 部付堀越 副参事の応援を依頼。
 - ・堀越氏より 張徳忠氏に Tel. してもらう。
 - ・KCS(二瓶 課長)と、日中ケーブル障害復旧修理に備えての打合せ。
 1. 接続訓練のため、シンガポールに派遣中の jointer については、中国からの返事が来た時、即応できるようにしておく。
 2. 必要機材の準備を進めておく。
 3. 中国から KDD 丸出動要請があったら、直ちに、復旧センタ長主催で関係部門間の打合せを開く。
- 25日 (木)
- ・研究所訪問。(9:30~15:00)
 - ・寺村副所長と会談。
 - (1) INELCOM-80 に研究所から傍聴者の派遣を suggest 方。
 - (2) 日中ケーブル障害修理の際の協力依頼。(機材の使用、専門家の応援)。
 - (3) 仏・PTT/KDD 技術者交換覚書により、10月23日~12月23日、仏 CNET より 1 名来日の受入れ協力について、研究所より海技部に要望あり。(海底ケーブル専門家)。
 - ・三洋電気 開発研究所長 矢川 取締役を紹介し、光磁気メモリの研究開発状況を資材部品研究室でみる。(太田室長、今村主任研究員)。
 - ・有シ研・電子回路研で、光海底ケーブルに関する研究状況をみる。
- 26日 (金)
- ・幹部会議なし
 - ・海底ケーブルの障害時における、障害復旧センターの任務随行のための対応について、部内打合せ:(情報の授受、処理の方法等)。(10:00~11:00)。

- NEC 田畑氏 来訪：(13:00~14:00).
 - Penang-Medang ケーブルについて，tender invitation が近く発。
- 27 日 (土)
 - 光海底ケーブル方式の開発に対する NTT の協力の必要性と，これを沖一本ケーブルの建設関連づける問題について，志村常務と討議。
- 29 日 (月)
 - 役員・部長 連絡打合せ(10:00~12:00) 志村常務室。
 - 広報室長より，「日中ケーブルの Fault No. 5. (R24-R25 間)の発生について」郵政記者クラブへ発表するので，志村常務の出席をお願いしたいとの話しあり，木下次長が同行することとなる。
 - 日中ケーブルの第 5 回障害の発生に伴ない，障害復旧センターの会合を開く準備を 2 課長に指示。
 - KCS の昼食招待に出席：志村，笹本 両常務，石川，亀田 両部長。
KCS 木村社長 以下 役員。
- 30 日 (火)
 - 東北大松尾教授 医用電子国際学会 出席のため，上京中とのことで，会場の京王プラザホテルで会い，懇談。(12:30~13:15)。
 - 障害復旧センター会議を主宰。(13:40~15:15)
海技，海建，KCS，研究所，支社 保全部 関係者で，障害の現況，修理の方針，今後の対策を協議。
 - 郵政省の求めにより，海上保安庁と郵政省の協議に協力のため，木下次長を派遣 参加させる。(午前中。)
 - 通信非常障害対策本部 会議に出席。(15:30~17:00)
• 今後の措置の方針について常務会へ諮ることとなる。
 - 中国側より，張徳忠 氏 名で TLX 来る。
• KDD 丸の出動要請と，会議開催の提案。

10 月

- 1 日 (水)
 - OTC(A) Mr. Tuckwell の KDD 訪問に際し，ANZCAN の説明等の会合に出席を求められていたが，多忙なので国際部沢木次長に了解を得て欠席。
 - 海底ケーブル委員会(第 5 回)会合(14:00~16:00)
 - ケーブル船に関する ATT/KDD 会合(第 3 回 作業部会)の対処方針。
 - 55 年度技術開発項目。
 - 非障対策本部長(福地常務)のところで，常務会資料案の作成について協議。
- 2 日 (木)
 - 日中ケーブル 第 3 回 特別会議への参加派遣者の人選について，海建部 織間部長と木下次長に協議。
 - OCC 斎脇氏 来訪。(11:00~，)：タイ PTD への映画フィルムの寄贈について：書信を依頼する。(I-S ケーブル開通式の時，宮川社長に PTD Suchart 長官より，ケーブルの operation について知識を得たいとの意向が伝えられた)
 - 日中ケーブル障害復旧対策についての常務会審議に，福地常務(非障対策本部長)の指示で陪席。(14:45~15:05)
 - 総務部 大矢副参事より。
日中ケーブル障害について，通信委で質問が出ることが予想されるので，答弁案をつくっておきたいとの話しあり，協力するが，今少し事態が進まないと，資料も整え難いので，考えておく旨，返答。
 - 木下次長，郵政省で，電気通信政策局長の記者会見に，技術室の依頼を受けた KDD 広報室からの求めにより同席。
- 3 日 (金)
 - MPT. 電政局長が，日中ケーブルの修理工法について，聞きたいとのことで，志村常務，織間部長，木下次長が赴く。(15:00~)。

- ・幹部会議. (10:00~12:00)
日中ケーブルの障害対策についての常務会審議状況を紹介.
 - ・新技術開発委員会(15:30~17:45).
 - ・川鍋 総計部長に、長計 22 号に関するケーブル計画案の検討をケーブル委計画小委員会で行うようにとの志村常務の意向を伝える. 10 月中に行うように要請する.
 - ・日中ケーブル 第 3 回特別会議への派遣者、会合期間、KDD 丸出港等の予定を SPT へ通知する事案の処理、を進める.
 - ・WUI よりの招宴は欠席.
- 4 日
(土)
- ・ 出社.
- 6 日
(月)
- ・役員・部長 連絡打合せ(10:00~11:30)
長計 22 号作成関連、新技術開発委員会関連、日中ケーブル障害対策関連.
 - ・九州電力との打合せ. (13:30~15:30).
苓北に建設予定の火力発電所への石炭運搬のため、九電が計画している築港の再検討案について、九電側より説明を受ける. 九電側前田課長 主催. 支社保全部、(白井、袖山、武笠、伊藤)、海技 高橋、山本.
 - ・部内打合せ. (15:40~16:40)
 - ・ 22 号長計に関するケーブル計画案作成について.
 - ・ 日中ケーブル障害復旧対策.
- 7 日
(火)
- ・ 苓北中継所 高須所長より Tel.
 - ・ 日中ケーブル障害修理時の、連絡、作業体制、等を協議確認.
 - ・ 本社よりの派遣要員は、苓北中継所長の指揮下に入る.
 - ・NASC 古橋社長に、現況を報告し、次週の ATT/KDD ケーブル船作業部会会合出席のための米国出張についての了承を得る.
 - ・長計 22 号ケーブル計画案に対する海底線技術部の資料作成について打合せ、嶋谷、大原君にも参加してもらう。(木下、高橋、江幡、畠山、湯口、矢口).
- 8 日
(水)
- ・ 日中ケーブル保守の特別会議に対する関係部門間打合せ(10:15~11:30)
海技、海建、研、支社保全、KCS
 - ・OCC 齋脇氏. タイ PTD からの海底ケーブル関連映画フィルムの希望に対し、KDD への配慮依頼の文書持参.
 - ・日中ケーブル障害修理における体制等について労組へ説明. (1:30~2:00)
 - ・光海底ケーブルの開発における NTT との問題について協議打合せ. (2:00~3:30).
 - ・ 志村、中込、天野、新納、: 一先ず、NTT へ、今後の協力の是非について、協議の場をつくることを打診する.
 - ・光海底ケーブルの布設、修理工法について、開発の進め方を研究所 天野、新納両氏と討議.
 - ・海底線技術部、懇親会(新宿会館).
- 9 日
(木)
- ・ OCC より依頼のタイ PTD への映画フィルムの提供について、海外協力部 三宅部長に措置を依頼、OCC 齋脇氏との contact についても必要あればとってもらう.
 - ・ブラジルより来訪のジャーナリスト シケイラ氏への海底ケーブル関連の動向、技術問題等の説明. (広報室より依頼) : 昼食 12:30~13:00、説明 13:00~15:00.
 - ・ケーブル船に関する ATT/KDD 作業部会 第 3 回会合 出席者間打合せ. (15:15~17:00)
江幡、皆谷、中川.
- 10 日
(金)
- ・ 体育の日. (祝日)

- 11日
(土) ・ 出社.
ケーブル船に関する ATT との会合に出席のための準備.
・ 海老沼さんの結婚式に出席.
- 12日
(日) ケーブル船に関する ATT との会合に出席のため, 米国出張.
10月12日~10月19日, 江幡, 皆谷(国際部), 中川(経理部) 君ら同行.
12日(日)東京発, ニューヨーク着.
13日(月)コロンブスデーで休日. 夕刻, Morris town へ.
14日~16日, Morris town Inn で会合.
17日(金) 会合 Minutes 確認:
Morris Plain の ATT OFFICE 訪問, Nichols 副社長, Tuttle 氏 表敬.
夕刻, New York へ 志村常務へ, Tel で概況報告.
18日(土) New York JFK 空港 発.
19日(日) 成田 帰着.
- 20日
(月) ・ 役員・部長 連絡打合せ(10:00~11:30)
・ KDD/ATT ケーブル船 WG/3 の要旨報告.
・ NASC 古橋社長へ帰着あいさつ.
・ 東京支社, へ帰国あいさつ.
・ 上海, 木下次長より, 日中ケーブル特別会議の模様について, Tel. あり.
・ 猪股課長, 高橋副参事, 山本第2課補佐から, 出張中の処理事項について報告あり.
- 21日
(火) ・ 東京支社長 福地常務に 帰国あいさつ.
日中ケーブル修理の模様を報告.
・ NEC 鈴木(欽)氏来訪.
シンガポール-インドネシヤケーブルの埋設部分障害について, 詳報をきく. 又, その修理について, 意見交換.
・ 長計 22 号のケーブル計画案について, 猪股課長から報告をうける.
- 22日
(水) ・ ケーブル船 WG/3 の報告作成について, 出席者で打合せ. (10:00~11:00)
(江幡, 皆谷, 中川)
以後の, 船小委, ケーブル委, 等の予定についても協ギ.
・ 日中ケーブル特別会議の模様について, 出席者(織間, 木下, 湯口)からきく.
・ 長計 22 号のケーブル計画案について, 部内打合せ. (15:00~16:00).
- 23日
(木) ・ 海協部 金子調査役より, タイ PTD への映画フィルムの提供に関し, 「海底ケーブル通信」を近く赴任する飯田(大四朗)所長が持参するよう取運ばれ, OCC 齋脇氏にも連絡ずみの旨, 状況報告あり.
・ 川鍋 総計部長と電話で計画小委について debate.
・ 電信電話記念日の公社招宴に出席(14:00~15:00).
・ 志村常務より, KDD 増田社長と NTT 北原副総裁間の会談模様について, 話しあり, (16:35~17:15). 沖本ケーブルならびに光ケーブルの開発に関して. (大山技計部長と共に).
- 24日
(金) ・ 幹部会議.
・ 長計 22 号のケーブル計画に関し, 総計部へ送付すべき資料について部内で検討打合せ.
- 25日
(土) ・ 出社.
「こんにちわ誌」への原稿, INTELCO M '80 の講演用 OHP 原図作成.
- 26日
(日) ・ 14:00~16:00, 会社にて, 江幡君と ATT/KDD WG3 の報告書作成の協議.

- 27日 (月) ・役員・部長 定例連絡打合せ。(10:00~12:30)
 ・OCC 斎脇氏に Tel. タイ PTD への映画フィルムの寄贈の件の処理について連絡。
- 28日 (火) ・三井大阪商船 横浜支店 前田支店長, 森田業ム課長, 来訪(観世氏同行).
 あいさつ, 並びに 横浜港の整備計画の状況説明。(9:20~9:45).
 ・志村常務に, 長計 22 号のケーブル計画に関する海技部作成資料を説明。(10:00~12:00)
 ・ケーブル船小委員会, (第 8 回)を主宰, (14:00~16:30).
 ATT/KDD WG3 の報告。
- 29日 (水) ・光ケーブル開発に関する NTT との協力問題についての打合会合(技計部 主催)(10:00~12:00).
 ・日中ケーブル障害 F. 4, F. 5 の修理作業完了. 最終接続, 最終投入に, 本社にて立会う。
- 30日 (木) ・非常障害対策本部センター長会議 開催, (支社 主催)10:00~12:00.
 障害復旧センタより, 修理工事の経過説明.
 ・郵政省 電気通信政策局 技術室 松尾室長に, 修理完了の報告.
 東支社 運用部 十二次長とともに行く。 13:30~14:00.
 ・同友会 懇親会(16:00~18:00)に出席中, 日中ケーブルに再度障害発生 直ちに, 非常障害対策本部の緊急会議, SPT に緊急連絡をとり, 長崎に帰投中の KDD 丸を, 修理のため回航させる。
 ・ケーブル船の ATT/KDD WG-3 の報告をケーブル委にて行うため, 志村常務と事前協議。(18:30~)。
- 31日 (金) ・幹部会 なし。
 ・KDD 丸の回航に対し, 組合より説明を求められ, とくに乗員の健康については, 船に検診を行うよう要請することを約す。(10:00~10:15)
 ・SPT と電話連絡にて, 修理後のケーブルの警戒, 保護について協議。
 ・夕刻 SPT より郵電 1 号を出動させ, patrol に当たるとの返あり。
 ・海底ケーブル委員会: 14:00~15:30.
 ・深夜帰宅。
- 11月**
- 1日 (土) ・出社。
 SPT へ, ship patrol に関し, Telex. 打電。
 ・支社長と, 日中ケーブル修理に関し打合せ。
- 2日(日)~3日(月)(文化の日)
 出社。
 午後 9:41 最終投入
 日中ケーブル障害修理復旧センターにて. 今後のケーブル保護について, 関係方面と協議。
 郵電 1 号, 可変ピッチプロペラの故障で, また問題が起きる. 庶務部 堀越副参事を煩わし, SPT と, 郵電 1 号に代る船の派遣について意向をきくと共に, 日本からも別途臨時に船を出すことを検討。
- 4日 (火) ・郵政省 松尾 技術室長より Tel. (10:30~)
 訪日中の中国郵電部代表が MPT へ 11 月 7 日に表敬訪問する. その時先般上海で行われた特別会議で, MPT-北京郵電部代表間で協議した事項(海へヒコーキを飛ばす件等)について, 何らかの話がでるかどうか, 中国側の意向・感触を把んでほしい:了。
 ・KDD 丸より, 中国船 Ocean TAG 徳平が 9:30 現地へ到着とのことで, 直ちに, 協議し, その状況を報告するよう指示。

- ・非常障害対策センター長会議：(14:00～)。
 - ・KDD 丸 15:00 現場を離れて、長崎へ向う。
- 5 日
(水)
- ・志村常務より。
 1. 昨夜、中国郵電部訪日団への社長招宴で、ケーブル保護に関する、先の郵政省との協議(10月、上海、KDD/SPT 特別会議にて)についてのその後の検討状況をきいたが、
 - ・李団長、^{ママ}超副団長、劉平源氏ら幹部は、上海の会議については報告を受け、きいている。しかし、(航空機を出すことは)、各方面との協議のうえ、よく検討する要あり、まだ結論が出てないので、今回この問題を中国側から持ち出す準備がないので、話しを出すつもりはない。
 旨の返事であった。
 2. 今後の保護対策について、明日からの個別会議で説明・協議したらよい。
 1. については、郵政省電政局 松尾技術室長に直ちに伝える。
 2. については、国際部、総計部と協議の結果、6日9:00～10:00に行なうこととなる。
 - ・技計部、研究所と、光海底ケーブルの開発における NTT への協力依頼の道を開くための協議。(9:45～11:00)
 - ・長崎港着の KDD 丸出迎えの木下次長より TEL。
 - ・海上保安庁 第7管区の保官が、ケーブルにからんで上った漁網を、証拠物品として、押収したいとしているがどうするか。
支社 運用部 十二次長と連絡し、海上保安庁 本庁へ、KDD は調査、原因究明のため、もち帰りたい旨の協議をしてもらおう。
 - ・結局、海上保安庁が押収したあと、KDD が預る形をとることとなる。
- ※長計 22 号、海底ケーブル関係の計画の協議のための総企会は都合で 延期。
- 6 日
(木)
- ・中国郵電部/KDD 会合において、「日中ケーブルの障害修理経過と今後の保護対策」について説明、協議(9:00～10:10)
 - ・新技術開発委員会：14:00～16:00。
 - ・ケーブル船に関する、ATT/KDD WG-3 の報告を増田社長に行う。
- 7 日
(金)
- ・日韓ケーブル会議(第9回)会合へ出席、司会。 10:00～17:00。
9:30～ あいさつ。 10:00 開会
昼食 Mövenvick
17:00：閉会。
 - ・夜、副社長招宴：欠席。
 - ・日中ケーブルの修理、KDD 丸の出迎え、長崎での漁状調査等について、帰社した、畠山、木下両君からきく。
- 8 日
(土)
- ・午前 出社。
 - ・INTELCOM-80(LOS ANGELES)に出席のため、米国へ出張。
*11月8日～11月16日、ロサンゼルス。
11月10日～13日：Conference。
14日、 San Luis Obispo 訪問。
15日、 Lv. Los Angeles。
16日、 Ar. Tokyo。
- 17 日
(月)
- ・木下次長、より出張中の処理事項について報告を受ける。
 - ・22号長計、ケーブル計画について、海底ケーブル委員会で、審議されることとなる。
 - ・日韓ケーブル会議、終了。
 - ・日中ケーブル、その後異常なし。
 - ・志村常務に出張報告。
 - ・江幡君と、ケーブル船に関し、その基本方針のまとめ方について討議。

- ・ 訪日中の中国郵電部代表団の KDD 幹部招宴(“維新号”)に出席.
- 18 日 (火) ・ KDD 丸(横浜)に行き, 日中ケーブルの被傷ケーブル, 引揚げた漁網など見る. 猪股, 湯口 両君同行.
- 19 日 (水) ・ 富士通 磯部, 小野両氏来訪. (10:00~10:30)
T-M-S(ASEAN)ケーブルの応札に当り, KDD 丸の使用を前提とすることの了解を得たいとのこと: 検討を約す.
・ NEC 田畑氏 来訪(16:30~17:30).
ANZCAN ケーブル E 区間(Norfolk Is - Auckland)の応札に当り, KDD 丸を使用することを前提としたい, とのこと: 検討を約す.
- 20 日 (木) ・ ケーブル船 小委員会.
ATT との WG/4 対処方針.
- 21 日 (金) ・ 海底ケーブル委, 計画小委員会.
・ 労組との交渉の最終段階で, 役員 居残り.
・ 海底ケーブル委員会の資料 ケーブル船建造の基本方針で, 志村常務と深夜まで討議.
- 22 日 (土) ・ 研究所 ゴルフコンペ 欠席.
出社し, 江幡君と, ケーブル船基本方針の資料作成.
- 23 日 (日) 祝日. 江幡君と自宅で資料検討.
- 24 日 (月) 祝日代休. //
- 25 日 (火) ・ 午前 10:00~
海底ケーブル委員会.
- 26 日 (水) ・ 07:54 AM. 日中ケーブル障害, F7 発生. R20 ~R21 間.
・ 障害対策本部 発動. 9:45.
・ SPT へ電話連絡.
・ 志村常務: Soeul へ, 日韓ケーブル開通式出席のため.
- 27 日 (木) ・ 韓国 MOC. Chung 次官, 日韓ケーブル開通式へ出席のため, 来日し, KDD を表敬
: 会長, 社長, 副社長に列し, 表敬の席に出る. 10:00~10:30.
昼食, 京王プラザホテル, 南園, に参加.
・ 松本 常務に, ケーブル船に関する常務会への提議を説明したが, 問題を指摘され, 川鍋部長と協議.
- 28 日 (金) ・ 日韓ケーブル開通式 ホテルオークラ, 韓国・通信次官の接待.
・ ケーブル船に関する常務会資料について, 川鍋部長に協力を依頼し, 江幡君に資料を作成させる.
- 29 日 (土) ・ 上記資料作成.
- 30 日 (日) ・ ソウルより帰国(前日)の志村常務宅を訪れ, 常務会資料の協議.

12月

- 1日
(月)
- ・局 所長会議。午前，全体会議。
 - 午後，個別会議で，海底線技術部所管事項の説明。
 - ・常務会資料を高仲常務に説明するも，同意得られず。
 - ・また，副社長も常務会への提出を認めそうもないとのこと。
 - ・局所長への会長・社長招宴。
- 2日
(火)
- ・日中ケーブル障害対策について，支社長のところで，協議。
 - SPT より会議開催についての TLX. 来る。
- 3日
(水)
- ・副社長に，日中ケーブル障害対策について関係役員懇開催を伺うが，関係者で詰めよとの指示で，志村，福地両常務と関係部長を交えた会合を開くこととする。
 - ・小関君の帰国歓迎，柴田，内山，海外事ム所長を交えて 行う。(新宿会館)。
- 4日
(木)
- ・HTC. Mr. Schoen に Tel.
 - ハワイ訪問時に会う約束をとる。
 - ・健康診断。
 - ・日中ケーブル障害対策について，打合せ。
 - 志村，福地 両常務，関係部で，当面の修理を行わず，日中間特別会議を開くこと，社内の検討体制を固めることを協議。
- 5日
(金)
- ・幹部会議。
 - ・午後，二宮出張，漁協とケーブル保護の懇親会，二宮泊。
- 6日
(土)
- ・グワム出張より帰国の，木下次長と，協議。
 - 次週の事ム処理について指示。
 1. NEC より依頼の，ANZCAN E 区間への応札に KDD 丸を使うことを前提とするこの文書提出までの処理。
 2. 日中ケーブル障害対策に関する会議について，郵政へ説明し，又，社内処理を進めて，SPT へ TLX を打つ件。
- 7日(日)～15日(月)
- ・ケーブル船に関する ATT との作業部会 第 4 回会合に 出席のため，ハワイ(ホノルル)へ出張。
 - 8日(月)HTC 訪問，Mr. Schoen に光ケーブル方式の動向を説明。
 - 9日(火)～13日(土)，会議。ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ。
- 16日
(火)
- ・志村常務へ帰国報告。
 - ・臨時海底ケーブル障害対策協議会の事前打合。
 - 午前：海技，海建 両部 関係者。
 - 午後：志村常務に資料説明。
- 17日
(火)
- ・宮副社長に，海障協 第 1 回会合について，志村常務と事前説明。
 - ・海底ケーブル障害対策協議会 第 1 回会合。14:00～17:00。
- 18日
(木)
- ・志村常務に，ケーブル船に関する ATT との作業部会の Interior Report を提出。
 - ・NEC 鈴木欽也，二宮 氏来訪，夜会食。
- 19日
(金)
- ・幹部会。
 - 日高会長出席：

- ・木下次長，高橋副参事に，重要事項に関する相談・協力をして行き，それを技1,2課にガイドラインとして示してもらい，又，アドバイザーになってもらうようにすることとし，技1,2課長にも伝える。

- 20日 海技部 忘年会，館山 平砂浦ホテル。
 (土) 夕刻 6:00，日韓ケーブル障害発生の際。
 8:00，東京へ向け，タクシーで木下，畠山 両君と出発。
 11:15，KDD ビル到着，22F，東京支社長室にて開かれている対策会議に出席。
 12:10，会議終了，帰宅。

- 21日 出社，10:00AM より，海底線関係者で 日韓ケーブル障害に対する技術面の検討。
 (日)

- 22日 郵政省 電政局 技術室 松尾室長へ，支社運用部 久家室部長らと日韓ケーブルの障害について説明。
 (月)

- 23日 臨時，海障協第2回会合の資料作成。
 (火)

- 24日 臨時海底ケーブル障害対策協議会・第2回会合，14:00～17:00。
 (水) 日中特別会議，(第4回)，への対処，及び日韓ケーブル障害について

- 25日 韓国より，ケーブル障害の早期修理の要請。
 (木)

- 26日 幹部会。
 (金) NASC，東亜協会代表 ほかを招き会食。福地常務に状況報告。富士通 関川氏ほか来訪。

- 27日 郵政省 電政局長へ，日中ケーブル障害への対応，及び日韓ケーブル障害修理について説明のため，志村常務に同行し，郵政省へ。11:00～。
 (土) 午後：対策打合せ。
 Moc. 次官への宮副社長の TLX の起案。

- 29日 役員・部長打合せ 10:15～11:15。
 (月) 日韓ケーブル障害修理打合せ。11:30～12:10。
 志村常務，海技，海建，KCS 関係者。
 ・漁業協同組合，海上保安庁への連絡，協力依頼など。
 ・修理後の非埋設部分の保護。
 年が明けてから，さらに検討する。
 ・通研 工務部 総合実験網 研究室長 石田正男氏(Tel. 0422-59-2453)の苓北，浜田海底線中継所，見学訪問の件(1月14日及び16日)，両所長とも Ok。

- 31日 情報連絡担当 斎藤氏より Tel. 14:30，
 SEACOM F(Guam-Hong Kong)の障害について
 本日，04:40 障害発生，
 HK，9回線，Kuara Lumpur 1回線，ほか4回線，計13回線は衛星で直ちに復旧，
 13:27 完了。

1981年(昭和56年)

1月

- 5日
(月) ・仕事始め.
32Fにて.
- 6日
(火) ・部内打合せ. 9:30~10:30.
日韓・日中ケーブル障害対策の対応について, 作業処理状況と分担の確認.
・OCC 斎脇氏と, 埋設ケーブルの障害原因, 対策に関する調査実験について意見交換.
・日韓・日中ケーブル障害対策の推渉状況, 打合せ, (17:00~19:00)
・志村常務, 海技, 海建, 関係者.
- 7日
(水) ・KDD 丸の出航予定が定まったので, MOCへTLX発信.
・ケーブル船建造に関する社内処理の進め方について志村常務と協議.
新船建造には, 時間をかけた検討が要る旨を提言.
- 8日
(木) ・常務会にて, 日中ケーブル特別会議(第4回)への対処方針が審議され, 了承されたとのこと.
・障害対策本部・センタ長会議. 14:00~16:00.
・日韓ケーブル障害修理について,
・日中ケーブル障害対策のための, 検討状況と, 第4回特別会議への対処.
・郵政省 電政局へ, 松尾技術室長を訪ね, (木下次長, 矢島総務課長, 同行).
・日韓・日中の障害対策の推渉状況.
・日中 特別会議への対処方針.
・韓国 MOC 長官へ郵政大臣から, 日中ケーブル保護に対する協力要請の文書を出す件.
について, 報告及び依頼.
- 9日
(金) ・幹部会議(10:00~12:00).
・日中ケーブル特別会議の日程について, 猪股, 山本君らと協議. 堀越副参事の意見をきき,
宮副社長に報告, 了承を得る.
・郵政, 松尾技術室長より, 郵政局長のコメントを伝えてくる.
1. 日中間特別会議の重要協議事項(羅障区間のケーブル回収等)については, 事前に概要
を伝えておくことが望ましい.
2. アンコー網の表現は, 鯨を捕まる網との誤解を与えるので, アンコー状とかアンコー
形とかの表現にしたらどうか, 特に外部報道関係等には, そうすべきであろう.
3. 韓国 MOC 長官に対する, 日中ケーブル保護への協力要請の文書を郵政大臣から出してほ
しい旨は了解した.
・志村常務より, 木下次長への内命の指示. (次長待遇, ソウム事務所長を命ず, 発令は赴任
の準備が整い次第.)
夜, 木下次長へ伝達.
- 10日
(土) ・日韓ケーブル修理のため, KDD 丸 横浜 出港, 8:00.
見送り後, 出社.
- 12日
(月) ・浜田中継所 松本所長へTel, 9:45~.
日韓ケーブル修理のため KDD 丸 出動, 釜山へ測定器の搬送などの状況ならびに通研 石田正
男氏の訪問について, 話す.
・役員・部長打合せ. (10:00~12:30).
・堀越副参事に依頼し, SPTへ, 特別会議の協議事項のうち, 重要なものについて, 事前説明.
(抜本策を立てるには, 時間を経ヒがかかること. 回収の計画と経ヒ, など).
: SPT, 検討するとのこと.

- ・韓国 MOC へ、修理後の patrol, 修理後のケーブル状況調査, 保守会議の開催について提案の TLX 送付.
- 13 日 (火)
 - ・日中ケーブル特別会議の準備打合せ. 15:00~17:30.
 - ・会議への準備, 状況.
 - ・資料の準備, 内容について打合せ.
 - *できるだけ, 中国側にも, 実施分担してもらうこと. (漁業調査, 周知, 回収作業).
- 14 日 (水)
 - ・ソウル内山所長へ Tel. 1/12 発信 TLX に対する MOC の反応について, など.
 - ・日韓ケーブル障害復旧センターに応援の, NASC 谷野君と昼食懇談.
 - ・事業計画の組合説明資料, 労厚部へ送付.
 - ・ソウル内山所長より Tel.
 - ・MOC の反応について, 国際係長 金, 保全局 鄭, 金らと会談.
 - ・修理後の patrol, 潜水艇による調査は, 経費の支出について, 困難を伴う(計画外であり, 現在経ヒ支出については査定がきびしい)ので, 保守会議を修理後直ちに開いて協議のうえでないといえられない, とのこと.
 - なお, 釜山への FS 形歪折返試験器の, 通関中の保管料(80,000 ウォン)が MOC には払えない, とのことなので, KDD で立替え, あと, 修理作業の経ヒとして請求し, 折半してもらうこととすればよいと, 回答.
 - ・上記, 志村常務に報告.

TLX(MOC からの)をみた上の判断となるが, 当方としては

 1. 保守会議を早くていつ開けるか. (準ビの都合から).
 2. パトロールはとりあえず KDD で行ない, あとで折半することの了解がとれるか.

を検討.
- 15 日 (木)
 - ・祝日. (成人の日)
 - ・ソウル内山所長より Tel.

MOC は, 保守会議の前に, パトロール, 潜水艇による調査はしないとの態度, パトロールも必要ないとの意見, とのこと.

TLX をみて, 本社で検討のうえ, 再度, 要望したいと伝える.
- 16 日 (金)
 - ・日中ケーブル特別会議 関係.
 1. 副社長あいさつ文, 副社長の校閲を受ける.
 2. 会議資料の検討: 猪股, 山本.

日程表の検討: 水野.
 3. 郵政への連絡, 質問の開度など.
- 17 日 (土)
 - ・ケーブル船に関し, 関係役員懇資料を志村常ムに提出.

2 月初めの役員懇を予定し, それまでに関係部長とも協ぎしておく.
- 18 日 (日)
 - ・日韓ケーブル修理: プロトン磁力計によるケーブル探索がうまく行かず, 探線を試みたいと KDD 丸より指示を求めてきたので, 志村常務に報告のうえ, 許可する(18 日朝), 出社し, 探線の結果をまったが, 4 回試みて不成功とのこと.
- 19 日 (月)
 - ・幹部会議. 10:00~
 - ・日中ケーブル特別会議 出席の中国側代表団を成田空港に出迎える.

11:30, KDD ビル発, 13:40 成田着, 14:07 着陸.

14:40 頃, バス及び乗用車で一行を新宿京王プラザホテルに送る.
 - ・日韓ケーブル修理: 浜田側ケーブル探線に成功.

- 20 日 (火) ・日中間ケーブル 第4回特別会議 開催 9:30～
社長表敬 10:30～11:00.
夜, 歓迎夕食会: 京王プラザホテル, にて.
・日韓ケーブル修理: KDD 丸荒天待機.
- 21 日 (水) ・日中ケーブル特別会議.
・討議 順調に進む.
・午後, 陳団長, 張広玉氏, KDD ビル交換機の見学.
・日韓ケーブル修理, 後のパトロールについて, MOC 側同意せず,
志村常務より 李保全局長へ Tel.
- 22 日 (木) ・日中ケーブル特別会議.
午前, 郵政省, 松尾 電政局技術室長 参加.
ケーブル保護問題.
・午後の会議, 16:00 で終え.
事業計画のうちの海底ケーブルの関係を, 労組に説明.
- 23 日 (金) ・日中ケーブル特別会議.
一通り全議題について討議を終える.
・日韓ケーブル修理後のパトロールについて, MOC との話しがこじれたため, 織間部長がソウルへ飛び, 説明し, 打開を図ることとなる.
・ケーブル船に関する関係役員懇談会を2月2日午後開くこととなる.
- 24 日 (土) ・中国側代表団の関西旅行に同行.
9:12 新幹線にて, 東京 発. 京都 観光, 京都 泊, 新みやこホテル.
- 25 日 (日) ・奈良観光 後, 大阪プラザホテル 泊.
- 26 日 (月) ・日韓ケーブル, 最終投入後, レベル低下が見られるとのことで, 再揚収し, キンクによるリングカット部を除去するよう指示. (大阪プラザホテルにて 7:15.)
・中国代表団, 大阪支社, 谷町ビル見学.
新幹線にて, 14:20 新大阪 発.
・来日中の BTL Dr. Sipress ほか, に対する志村常務招宴に出席. (維新号, にて).
- 27 日 (火) ・日中ケーブル特別会議. 10:00～12:00.
討議状況をとりまとめ, 全体会議へ報告する内容について協議.
・全体会議 15:00～17:00.
・会議要項案の作成にとりかかる.
・総計 川鍋部長から, ケーブル船建造に関する関係役員懇談資料に対する意見をきく.
- 28 日 (水) ・会議要項について, 事務レベルで打合せ.
・志村常務と, ケーブル船建造の関係役員懇談資料について打合せ. (11:00～12:00).
・中国代表団の陳団長, 袁驊氏, 張広玉氏を研究所に案内.
・日韓ケーブルの最終接続で, 11:00 まで待機.
- 29 日 (木) ・中国代表団, NTT 電話局, KDD ビル内見学.
・訪韓中の織間部長より, パトロールについて請訓あり.
- 30 日 (金) ・日中ケーブル特別会議, 会議要項 署名式. 9:30～.
中国代表団, 帰国の途につく.

- ・日韓パトロール問題。
韓国側の規制措置，日本側のパトロール費用の処理など，について。
国際部，経理部，法務部各部関係者と，志村常務の下で協議。
織間部長より，Tel. 日本側支出と韓国側支出との相殺で，請求し合わないことにして了解が得られるかどうかを提案。

31日 出社。
(土) ケーブル船に関する関係役員懇談会資料を検討。

2月

- 2日
(月) ・役員・部長打合せ，10:00～11:30。
・ケーブル船建造に関する関係役員懇談会：(14:00～17:00)
27F，第1会議室。
ほぼ，満足な結論が出る。
- 3日
(火) ・織間部長帰国：日韓ケーブル修理，保守問題の協議。
・吉田船長より，日韓ケーブル修理の様態についてきく。
・北村，岩本両君らと，SCARABに関する調査について打合せ。
・志村常務招宴：日韓ケーブル修理工事関係者。
・星歯科医院にて，前歯の修理。
- 4日
(水) ・非常障害対策本部，センタ長会議，14:00～16:00。
・日韓ケーブル修理報告。
・苓北中継所の問題。(日中特別会議の報告に関連して)
・北村君の依頼で，N.Y. 事ム所塩原所長へ電話し，SCARABの調査にN.Y. 事ム所から1名を参加させるよう要請，了承を得る。(夜，9:30)。
- 5日
(木) ・直江津中継所へ，漁協との懇談。
- 6日 同上
(金)
- 7日
(土) ・東京へ帰着
- 9日
(月) ・役員・部長打合せ。
・日韓ケーブル第1回保守会議(2/7～2/20)の準備。
・対処方針に関する常務会資料の検討。
- 10日
(火) ・ケーブル船に関する常務会資料について，志村常務，江幡君と協議。
・ソウル事ム所 内山所長 打合せで帰国。
昼食をともにし，懇談。
- 11日
(水) ・祝日。
- 12日
(木) ・常務会：日韓ケーブル保守会議 対処方針，審議，了承。
・苓北中継所，高須所長，来訪。
日中ケーブル修復までの間の，苓北中継所のあり方について意見交換。

- 13日 (金) ・幹部会議にて、日中ケーブル特別会議(第4回)の報告。
 ・日韓ケーブル保守会議への対応について部内打合せ、(14:40～)。
 ・星齒科。
 ・日韓ケーブル修理完了に伴う、障害復旧センタ関係者の報労パーティ(18:00～)
 32F シャンボール
- 14日 (土) ・出社。
 ・日韓ケーブル保守会議 資料の Check。
 ・ケーブル船 関係 常務会資料の Check。
- 16日 (月) ・役員・部長打合せ。10:00～
 ・ケーブル船資料について、常務と打合せ。
 ・日中ケーブル保護のための、韓国漁業への PR と補償問題。
- 17日 (火) ・日韓ケーブル保守会議、開催。9:30～
 夜、志村常務 招宴。
 総計部長より、ケーブル船 常務会資料について コメント。
- 18日 (水) ・常務より、ケーブル船建造についての常務会審議を次週に延ばすとの話しあり、(19日は取締役会あり、時間が不足のうえ、大事な問題なので資料も十分整えたいとのこと)。
 ・日韓保守会議。
- 19日 (木) ・日韓ケーブル保守会議。
 ・人事部 林次長より、海底線関係の副参事クラスの異動について相談あり。
- 20日 (金) ・日韓ケーブル保守会議。
 Minutes(draft)の討議。
 夜、MOC 代表と会食。
- 21日 (土) 出社。朝 9:00～より MOC の(Minutes に対する)コメントについて検討。
- 22日 (日) 江幡君と志村常務宅を訪問し、ケーブル船建造に関する常務会資料の検討(16:00～22:00)。
- 23日 (月) ・役員・部長打合せ。(10:00～12:00)
 ・織間部長より、日中ケーブル保護に関する韓国漁業組合との話し合いで補償問題がでる件について郵政省電政局技術室 平田補佐に話したところ、前にきいていて省内に伝えてあるが、とくにそれについてのコメントはでていないが、改めてきいてみるとのこと。
 日韓ケーブル保守会議の報告をする必要があるので、松尾室長を訪ね、併せてきいてみることにする。
 ・日韓ケーブル保守会議のミニッツ作成、(Mr. Kim と事ム局)。
- 24日 (火) ・日韓ケーブル保守会議ミニッツ最終確認。10:30～11:30。
 ・夕刻 齒科へ行き、そのまま 帰宅。
- 25日 (水) ・海底線部内で、当面の作業について打合せ。
 ・日中ケーブル保護のため、韓国漁協へ協力依頼する際の補償問題について。
 志村常務と協議、社内での詰めがないので、常務会にはかるのは時期尚早とされ、当面は協力のみを訴え、補償問題は韓国漁民にも表明しないこととする。

- 26日 (木)
- ・KDD丸に代るケーブル船建造問題について、常務会 審議。
いくつかのコメントのもとに、事前検討を進めること、ATTにKDD丸は売らないとすることなど、了承さる。
 - ・KCS 会議室にて、海底線両部、KCS で、日韓ケーブルの SCARAB による再埋設計画について、時機、母船の選択を検討、(13:30~15:30)。
 - ・総務部長と協議。
 1. 日中ケーブル保護のため、韓国漁民に協力依頼する際の補償問題。
 2. ケーブル船に関する常務会審議におけるコメントの確認。
 3. KCS プロパー増員に関する、連絡カードの返却。
 - ・海外協力部の要請で、インドネシアより来日の Messrs. Halim, Hajama との会食に参加 (長 場所判読不明)。

- 27日 (金)
- ・幹部会議、10:00~12:30。
 - ・海底線両部間で、当面の作業の進め方について協議。(13:30~16:00)
 - ・3月3日~7日開催の ATT とのケーブル船作業部会の準備。

- 28日 (土)
- ・出社。

3月

- 2日 (月)
- ・役員・部長打合せ 10:00~12:00
 - ・SCARAB による日韓ケーブル修理部の再埋設計画について、OLU との関連で、検討を詰めるように、木下次長、猪股課長に指示。
 - ・人事問題(海底線技術部次長の問題など)について、志村常務と協議。

- 3日 (火)
- ・ケーブル船に関する ATT との作業部会(第5回)開始。
夜、Sweden Center “Stockholm” で食事に招く。

- 4日 (水)
- ・ケーブル船 GW. 5。
SCARAB に関し、木下、北村君、Mr. McCoullough と協議。

*丸林元氏(長岡科学技術大学教授 0258-46-6000)より、直江津海底線中継所の見学について Tel. あり、(3月2日)。

- ・4月10日 am 11:00~約1時間、学部3年生、教官計約100名
バスで見学後、好高へ向う。
- ・以上、直江津、柴田所長に伝える。

- 5日 (木)
- ・ケーブル船に関する ATT との作業部会会合(第5回)。
ミニッツ及び Final Report について討議。
 - ・SCARAB について、木下、北村君らと共に、Mr. McCoullough と協議。
ATT の Mr. Dodeman, Ocean Search の社長らと来週、東京で再協議することとなる。
 - ・ATT 代表に対し、志村常務招宴。(維新号)、18:30~。

- 6日 (金)
- ・ミニッツ(ATT との WG. 5)、について協議作成。
夕刻、会議を終了。志村常務に報告。

- 7日 (土)
- ・出社、資料整理。

- 9日 (月)
- ・役員部長間定例打合せ、なし。
 - ・日韓ケーブル保守会議の常務会報告資料の作成。

- ・九州電力 深町取締役, 前田, 山川氏ら, 荅北に設置計画中の発電所の建設案について KDD が諒承したことに伴う挨拶に来社.
- 10 日 (火)
 - ・ AT&T Mr. Dodeman, Ocean Search の社長ら来日.
 - ・ 午後 星齒科.
 - ・ OLUHO TSC-11 の討議項目と問題点について, 江幡, 矢口両君と打合せ.
- 11 日 (水)
 - ・ 午前, 佼成病院.
 - ・ SCARAB について, ATT, Ocean Search の代表と, 母船等について詳細打合せ, (木下次長に委任).
 - ・ 志村常務より, 埋設修理工法の開発推進について, 基本方針を明確にするため, 建設部長に協力の要望あり.
- 12 日 (木)
 - ・ SCARAB に関する ATT との打合せ: 横浜に KDD 丸をみに, 木下次長ら案内.
 - ・ ATT, Mr. Dodeman, Ocean Search Mr. Molum, Mr. Starr, を夕食に招待. (住友ビル, セ リナ).
- 13 日 (金)
 - ・ 猪股, 山本(2 課補佐)君に, SCARAB による日韓ケーブル再埋設の実施を 5 月に行うか 7 月に行うかの決定のための処理を進めるよう指示.
 - ・ 北村海洋課長より, ATT/ Ocean Search との打合せ要旨の報告あり.
- 14 日 (土) 休.
- 16 日 (月)
 - ・ 役員・部長打合せ. 10:00~11:30.
 - ・ SCARAB による再埋設の実施スケジュールについて関係者間打合せ. (海技, 海建, KCS, 13:30~15:30)
 - 7 月に, OLU 布設替工事に引続いて実施することの方が望ましいとの大方の意見.
 - ・ 志村常務に報告し, なお この基本方針について社内で定めるため, 常務会の審議を経ることとする.
 - 常務会は, 4 月 9 日に開かれるものを考えざるを得ないので, ATT, MOC へは, 事前に口頭で伝え, 意向を把握することとする.
- 17 日 (火)
 - ・ 部内で, SCARAB 関係の事ム処理を協議.
 - ・ 常務会に, 日韓ケーブル第 1 回保守会議の報告.
- 18 日 (水)
 - ・ 午後, 佼成病院にて, 胃カメラ検査の結果聴取.
- 19 日 (木)
 - ・ NASC 取締役会, 11:00. 昼食会 12:00~
 - ・ ケーブル船小委員会(第 10 回)を開催 14:00~15:15
 - ATT との WG/5 の報告.
- 20 日 (金)
 - ・ 幹部会議, 木下次長に代理出席依頼.
 - ・ 新技術開発委, 海底線部会(第 2 回会合)に 出席. 9:30~13:30
 - ・ SCARAB による再埋設の件: 志村常務に現在までの検討状況と中間報告
 - ・ 日韓ケーブル完成に伴う, メーカーとの懇親会: Sun Route Hotel.
 - ・ OLU 布設替工事の実施についての常務会審議の要否に関し, 西本総務部長と協議.
- 21 日 (土) 祝日(春分の日)

- 23 日 (月) ・ 人事異動 発令。
木下次長，ソウル事務所長に，高橋副参事，海技部次長に。
・ 富士通 室井顧問より Tel. T-SI-S ケーブルのペチャプリーソククラ間に，CS-12M の代りに [CS-5M +TASI-E] という代案の出ることも考えられそうだとし，TASI-E のコスト等につき問い合せあり。
・ 台湾，ITA 李天雲氏 ほかに対する 志村常務招宴に 出席。
- 24 日 (火) ・ 海底線技術部 打合せ。(10:00～11:30).
人事異動後の打合せ，当面の問題など。
・ ホテルサンルートに，日韓専門家会合(計画)出席のため来日の李盛喜(国際業務課長)，丁奎燦(保全局伝送無線課長：日韓ケーブル保守連絡責任者)を訪ね，SCARAB による再埋設の実施計画案の検討状況を説明。
- 25 日 (水) ・ 技計部主催，光ケーブル開発に関する NTT への協力依頼(56 年度分)についての関係者間打合せに出席(10:00～11:30).
・ OLUHU. TSC/11 の対処方針案の検討。
- 26 日 (木) ・ 韓国 MOC, Mr. Jung(丁 課長) 来訪，ソウルにて開催予定の日韓ケーブル専門家会合開催期日を 5 月 20 日頃にしてほしいとの話(4 月は通信部は，行事等で忙しい)，了承する。(15:00～).
・ 畠山課長より，SCARAB の借用に伴う，輸入税の問題の調査状況の報告あり。
・ 日韓ケーブルの建設記録(国際通信の研究誌)の原稿作成を進める。
・ 日通建 高呂氏 来訪。
- 27 日 (金) ・ 幹部会議。
- 30 日 (月) ・ 役員・部長 打合せ。10:00～12:00。
・ OLUHU. TSC-11 回会合について 関係者打合せ，13:30～。
各議題について，資料の協議。
・ 駐韓国・前田大使との懇談(志村常務 招宴)。
NASC 森監査役，海技・海建 部長，木下 ソウル 所長。
- 31 日 (火) ・ 昼，海技部 関係の異動に伴う歓送迎会：12:00～13:00。北京大飯店。

昭和 56 年度

4 月

- 1 日 (水) ・会社創業記念日。
帝国ホテルにて，記念式典，及び祝宴。
- 2 日 (木) ・OLUHO, Tech. Sub. Committee 第 11 回会合。(4/2~4/4).
・9:30 より開始, CW: Mr. Pitt. ETPI: Mr. Handley 出席。
布設替工事の討議。
・夜, 笹本常務の招待セレブション。(新宿会館)。
- 3 日 (金) ・OLUHO. TSC. 第 2 日目。
討議を終え, Minutes 作成に入る。
事ム局(矢口, 京極, 山本君ら)と, 夜までミニツツ案を作成。
- 4 日 (土) ・OLUHO TSC. 最終日。
・10:00~12:30, Minutes 確認, 会議終了。
昼食, Hyatt, (小田急)ホテルで, 中華料理。1:30~3:00。
・笹本常務に TSC の討議模様を報告。
・海協部 三宅部長より, メダン-シンガポールケーブル, ルート調査に関する対応について協議あり。
- 5 日 (日) ・OLUHO 出席者エクスカ・レヨン。
絵画館→北の丸公園→昼食(Piaget, 麻布)→浜離宮→墨田公園(桜見物)→浅草→国際劇場→京王プラザホテル。
KDD 側: 志村常ム, 国際部, 海底線。
- 6 日 (月) ・OLUHO 調査委員会 第 11 回会合 開催, 9:30~。
午前中に討議終了。
昼: 32F .
午後, 16:30 再開: ミニツツ確認, 会議終了。
・夜, 副社長招宴: Hyatt(小田急)ホテル: 27F レストラン。
- 7 日 (火) ・OLUHO 会議資料の整理。
・吉田電気 KK(NEC の下請け, パソコン, マイコンの取扱い会社)の開店披露に出席。
- 8 日 (水) ・志村常務に, OLUHO 調整委会合 の報告。(9:20~)
・日中・日韓ケーブルの保全, OLU の布設替等に関する今後の作業計画について 志村常務に建設部長とともに説明。(11:00~)
なお, シンガポール-メダン間の海底ケーブルルート調査についての入札を KDD に求めている件については, これを全面的に受けることは難しいので海協部と協議中である旨を説明。
・施設課 高井補佐から, OLU 布設替用 torsionless cable の, とくに機械特性について試験, 評価 結果をきく。
- 9 日 (木) ・午前, 星齒科。
- 10 日 (金) ・幹部会議。
・TSC(11)の事務局メンバー(矢口, 京極, 小林, 又吉, 大原, 鈴木)の慰労。(シャーウッド)。

- ・日中ケーブル障害対策の基礎調査を進めるための事案決定文書について、副社長の意向により、KDD 単独で進める方向で経理部を再協議のこととなる。
(技術的、開発的内容を伴うものが、費用分担の結果、ヒモが付いて相手に作業を制約されたり、技術提供が義務づけられるのは不適當ではないか：副社長。)

- 13 日
 - ・役員・部長 定例打合せ、なし。(表敬があるため)。
 - (月) ・NEC 田畑氏、シンガポールーメダン海底ケーブルのルート・サーベイ入札について状況問い合わせの Tel. : straight に応ずることは困難の旨、返答。
 - ・山口・島根県下の漁協に対する、ケーブル保護協力あいさつと再埋設計画の説明のため、浜田、下関方面へ出張の打合せ。
：建設部 小池課長 ほか。
 - ・日中ケーブル障害対策のための基礎実験、調査計画の事案の承認を副社長から得る。

- 14 日
 - ・新技術開発委員会 10:00～12:00。
 - (火) 16:00～17:00。
 - ・日中ケーブル障害対策のための基礎調査計画の事案について、社長に報告。

- 15 日
 - ・日韓ケーブルの保護協力要請と、再埋設計画の予定説明に、島根、山口の漁協、漁連、保安部を訪問のため出張。
 - (水) 浜田漁協、県底曳連と懇談。

- 16 日
 - ・浜田海上保安部、児玉部長を訪問。
 - (木) ・浜田漁港で、底曳漁具、船錨をみる。
 - ・浜田中継所訪問。
 - ・萩へ。

- 17 日
 - ・仙崎へ。
 - (金) ・山口県漁連仙崎支所、訪問。
 - ・仙崎海上保安部 訪問。
 - ・下関へ。
 - 山口県漁連訪問。
 - 本間会長、富永課長と懇談。

- 18 日
 - ・帰着。
 - (土)

- 20 日
 - ・志村常務に、出張報告。
 - (月) ・通信記念日、定例の役・部長打合せなし。
 - ・高橋次長から、出張中の報告をうける。
・KDD 労組との春闘解決(4月17日)。
 - ・その他。
 - ・海建部長より、OLU 布設替工事の実施についての常務会の状況の報告。

- 21 日
 - ・メダンーシンガポールケーブル・ルート調査の応札書案(海協部作成)にコメント。
 - (火) ・OLU 布設替工事に対する、代船の問題について、国際部長より措置を社長に説明したと Tel あり、(OLUHO 外のパートナーへの事前協議)。
 - ・日中ケーブル障害に伴なう、荅北中継所の運営の暫定措置についての関係役員懇談会に出席(14:40～16:30)。
 - ・庶務部 堀越さんより、最近訪中した際、SPT と話した情報を受ける。

- 22 日
 - ・KDD 丸へ、研究所が実施中の光海底ケーブルのハンドリング、接続等の実験状況をみに行

- (水) く。(14:30～)
志村常務ほか、関係者.
- 23日 (木) ・海技部 打合せ：9:30～10:30, 現状について打合せ, 確認.
・韓国 MOC 企画管理室長 Mr. Pae. Ho-Wohu(裴氏).
国際業務課課長補佐, Mr. Chung. Kyong-Jin(丁氏).
の社長表敬の席に参列。(14:00～15:00).
・ATT. Mr. Nicholes, Mr. Tuttle Jr, Mr. Pappert 三氏が5月14日, 15日 KDD へ寄る旨の Telex 来信. ケーブル船, SCARAB, TPC-3 等の問題について, Mr. Tuttle/Dr. 志村間の話し合いが予想されるので, その準備をするよう江幡君に指示.
- 24日 (金) ・午前, 佼成病院にて, 胃カメラ検査を受ける. 良好の判定.
・吉田船長 来訪, 昼食.
・OLU 布設替工事についての組合説明, (15:00～16:00).
・SCARAB 借用について ATT から, Agreement 案 FAX で送付され, 検討.
・文書課長より, 日韓ケーブル露出部分のパトロールについて, KDD 単独負担で行なっている経緯の説明を, 副社長が求めている旨連絡あり.
- 25日 (土) 出社.
- 27日 (月) ・役員, 部長間定例打合せ。(10:00～12:00).
・宮副社長に, 日韓ケーブル露出部分のパトロールを KDD が単独負担で行っている経緯と状況を説明. 本来, 折半すべきものを, 徒らに譲歩しているのではないかとの意見.
- 28日 (火) ・富士通 関川, 奥村氏ほか, 来訪。(10:00～11:30).
織間部長とともに会い, 日韓ケーブル中継器の障害原因の調査結果の今後の取扱いと, MOC との協議の方向について, 意見交換.
・契約書の条項の解釈と, 原因の技術的条件について検討ののち, 5/11 に再度打合せることとする.
・SCARAB の使用に関する Agreement 案について, 2課 畠山課長, 山本補佐らと検討, 資材部, 法務部との打合せ結果を考慮し, ATT とどう協議するか, 又, MOC とどう協議するか.
- 29日 (水) ・祝日。(天皇誕生日).
- 30日 (木) ・日韓ケーブル建設の報告, (国際通信の研究誌用)の“あとがき”の原稿を, 幹事(矢口補佐)に提出.
・SCARAB に関する ATT との借用協定について, ATT からの Agreement 案と関係部門での検討状況を, 志村常務に説明, (中間報告).
・
- 5月**
- 1日 (金) ・管理者 定期管理表を作成. 人事部長(4. 5級), 及び志村常務(2. 3級)へ提出.
・5月14, 15日の ATT. Mr. Nicholes, Mr. Tuttle の来訪に備え, とくに Mr. Tuttle からの技術項目(TPC-3, Cable Ship, SCARAB, Optic-Fiber)の状況について討議したいとの意向をうけて, その準備を進める.
・日韓間技術専門家会議への出席について, 志村常務と協議, 出席の方向となる.
- 2日 (土) ・出社.
・資料整理.

- ・ATT より, SCARAB の借用協定(用船契約書)案が再送されてくる (legal department により作成されたもの).

3～5 日 祝 休日.

- 6 日 (水)
- ・ATT より送付されてきた SCARAB の charter party 案について, 畠山, 山本 君らと検討. (10:00～11:00).
 - ・OTC(A) より TLX : ANZCAN の工場検査に資するため, KDD がとっている検査のし方について 問い合わせ(同文, フランス, ATT へも送付).
猪股課長, 高井補佐(施設課), 支社保全部徳江調査役と, その回答作成について協議. (13:45～14:30).
 - ・徳江氏と, 海底線関係の組織の見直しについて意見交換.
 - ・東北大 21 年組 G.C. について, 宇和野, 森山 両君と協議. (19:00～21:00).
- 7 日 (木)
- ・東大海洋研究所 青山恒雄教授(農博)に依頼し, “日本周辺における漁業活動” に関する講演会を開催. (15:00～17:00).
 - ・懇談会食. (志村常務の 青山教授招宴).
- 8 日 (金)
- ・幹部会. (高橋次長 代理出席).
 - ・志村常務に, 報告(米海軍による, 日韓ケーブル域を含む東シナ海, 日本海の海底土質調査の了承, 一郵政省へ)
 - ・郵政記者クラブにて, OLU ケーブル布設替工事の説明を, 広報課長に同行し, 行う. 朝日, 小笠原記者 他.
 - ・海底ケーブル委, 計画小委員会(第 3 回) 16:30～18:00.
“TPC-3 計画の見直し”.
- 9 日 (土)
- ・研究所 G. コンペに参加(錦ヶ原)
- 11 日 (月)
- ・役員・部長定例打合せ. (10:00～11:00).
 - ・日韓ケーブル, 障害中継器の調査結果, 及び契約状況について, 富士通関係者と打合せ, (13:30～15:00).
 - ・花岡薫氏の出版祝(新宿舎館). 18:30～20:30.
- 12 日 (火)
- ・海底ケーブル委員会, 技術小委員会(第 4 回) 10:00～12:10.
再埋設工法開発計画の見直し など.
 - ・飛山さん, 死去され, 告別式(高円寺南 2 丁目, 淨雲寺) 13:30～, 弔問.
 - ・日韓ケーブル, 技術専門家会議(5/19～5/22, ソウル) KDD 出席者 打合せ, (14:00～16:00).
対処方針の事案決定を進めることとする.
 - ・技術部・2 課と懇談.
 - ・NASC 古橋社長に, 韓国出張のため, 取締役会(5 月 19 日予定)に欠席の了承を得る.
- 13 日 (水)
- ・OLU ケーブル布設替工事のため, 出港の KDD 丸を横浜にて見送り, (11:00, 出港).
 - ・ANZCAN ケーブル E 区間のスケジュール繰上げ, KDD 丸は都合上困難と NEC 田畑氏に回答(口頭).
 - ・ATT Mr. Tuttle と志村常務間の informal discussion(5 月 14 日夕刻予定)の準備打合せ. (15:00～16:00). 志村常務.
- 14 日 (木)
- ・OCC 斎脇氏 来訪(9:30～10:20)
 - ・埋設ケーブル保護のための外装化に関し, 強度実験をどう進めるか.
 - ・TPO-3 等の見直し, などについて雑談.

- ・牧野顧問，継続について，牧野さんも了承したとのこと。
 - ・小関君(技計部次長)より：米軍ケーブル(沖縄ー台湾，フィリピンーベトナム，タイーベトナム)の払下げについて，富士通 室井顧問から，話しが合った，とのこと，以前に沖台間ケーブルについて，KDD に非公式打診が米軍からあったが，価値少しと受けなかった経緯を話す。
 - ・総務部・佐脇次長より：日昇丸・米国原潜 衝突に関し，附近に海底ケーブルがあるかとの問い合せ，かなり離れていると回答。
 - ・ホテル Hyatt にて Mr. Tuttle Jr. (ATT)と志村常務との会談に参加。(16:30~18:00).
 - ・TPC-3, Cable Ship, SCARAB, Optic-Fiber(研究所間の交流)など。
- 15 日 (金)
- ・Taiwan-Guam ケーブル開通式出席後，訪日の ATT. Messrs. Nichols, Tuttle Jr., Pappert と，KDD 社長，関係役員・部長間の会合に出席，(10:30~12:15).
 - ・ATT の電話料金値下げ。
 - ・米本土ーハワイ間ケーブルの計画を進めるための検討。
 - ・ANZCAN ケーブル，ミュンヘン会合への対応 など。
 - ・上記 ATT 三氏に対する児島常務の昼食招宴に列席。(13:00~15:00)
 - ・日韓ケーブル，技術専門家会議 対処方針について，副社長より指摘された KDD 丸第 2 経常費に関する対処案を改め，了承を得，決裁になる。
- 16 日 (土)
- ・出社。
日韓ケーブル 技術専門家会合の 準備。
- 18 日 (月)
- ・朝，会社へ寄り，志村常務に挨拶，対処方針に対する副社長コメントの事後報告。常務より。
 - (1) 日中ケーブル障害の抜本策の中でルートについても検討すること。
 - (2) SF システムを大西洋に布設後，ATT が障害対策のため，700nm の引揚を行ったが，その 1/4 しか傷めなかった(mid Atlantic ridge にて)との話しを Mr. Tuttle から聞いたので，OLU の回収工事に参考にしたらよい。
 との話しあり，(1)については，高橋次長，猪股課長に。
 - (2) " 織間部長に伝達。
 - ・ソウルへ向け出発。
- 19 日(火)~21 日(木)
- ・ソウルにて，MOC と 日韓間海底ケーブル保全の技術専門家会合。
- 22 日 (金)
- 会合ミニッツ確認後，釜山へ，午後 3 時の汽車で向う。
- 23 日 (土)
- 釜山 ケーブル中継局訪問。
午後，16:45 JL で帰国。
- 25 日 (月)
- ・志村常務に帰国の挨拶。MOC との会合の概要を口頭報告。
 - ・高橋次長，猪股課長より，出張中の処理状況の報告をうける。
 - ・富士通 森山顧問に Tel. 東北大昭 21 ゴルフコンペの件。
 - ・安藤電気 鈴木熙君に Tel. 上記コンペに誘い，承諾を得。
- 26 日 (火)
- ・富士通 奥村氏，小野部長ほか，来訪。13:30~15:00
日韓ケーブルの中継器障害に関しての MOC との討議模様について，話し，今後の措置について協議。
- 27 日
- ・ATT. Mr. Tuttle との会談(5 月 14 日)の要旨をとりまとめ。

- (水) 28日 (木)
- ・日韓ケーブル保守に関する技術専門家会合報告 作成：連絡カードで報告.
 - ・ATT. Mr. Tuttle との会談要旨に関し，研究所間相互訪問・技術交流におけるクロスライセンス問題の表現について，志村常務，中込取締役と協ぎ(10:00～).
 - ・上記，会談要旨を，副社長に報告. (17:00).
 - ・臨時幹部会議，(決算，報告について). (11:40～12:30)
- 29日 (金)
- ・幹部会議(10:00～12:00)
 - ・社長に，ATT. Mr. Tuttle との会談要旨を報告(11:50).
 - ・計画小委(第4回)会合：太平洋ケーブル計画の動向，(ATT. Nichols 副社長一行との会談結果).
 - ・SCARAB による日韓ケーブルの再埋設についての社内決定の進め方について，関係部長(総務，法務，資材)と打合せ(16:00～17:00).
 - ・用船契約について，MOCに基本事項を確認し，TPI に，質問とコメントを出し，それらをまとめて，社内決定することとする.
- 30日 (土)
- ・休.
 - 東北大 21，同窓 ゴルフコンペ.
- 6月**
- 1日 (月)
- ・SCARAB の用船契約についての基本事項を MOC に確認のため，畠山課長から木下ソウル事ム所長に Tel.
 - ・OLU 布設替工事の Phase1(回収工事)が終り，Phase2 に入る.
 - ・台湾，ITD C Mr. Y. Y. Yang より Tel.
 - ・沖台ケーブルの warning chart はいつできるか：本年秋の予定，(NTT にケーブル交叉について確認中)できたら，送付してほしい：了解.
- 2日 (火)
- ・SCARAB 関係打合せ. (10:00～11:00)
 - 高橋次長，畠山課長，山本補佐.
 1. Charter Party の詰めの手順.
MOC, TPI と基本点について協議し，細部はそれから詰める.
 2. 常務会資料について骨子を用意しておくこと.
 3. 全体スケジュール. (7月下旬実施として).
- 3日 (水)
- OLU 布設替工事の中間打合せのため，沖縄出張.
6/3～6/6.
- 3日午後， KDD 丸船内で，工事打合せ：KDD, KCS, 関係者，14:00～16:00.
夜 懇談.
- 4日(木) 沖縄海底線中継所，訪問.
- 5日(金)午前，沖縄海底線中継所，港川にてハーリー祭 応援.
午後，KDD 丸訪問，積込状況を見る.
- 6日(土)， KDD 丸沖縄出港 見送り 14:00 安謝新港.
東京，帰着.
- 8日 (月)
- ・役員・部長定例打合せ，10:00～ .
 - ・高橋次長より，出張中の報告をうける.
 - ・OLU 布設工事，荒天待機.
- 9日 (火)
- ・SCARAB の契約について，MOC からのコメントに回答.
 - ・日中ケーブル障害対策に関する新聞記事について，郵政省へ状況説明(高橋次長，畠山課長).
 - ・社長の定例記者会見における OLU 布設替工事の話題の資料(現況)作成について広報室よ

- り依頼あり，二瓶施設課長に指示.
- 10日 (水) ・ OLU 布設替工事，天候好転し，KDD 丸作業開始.
・ 社長記者会見時の，OLU 関係資料作成，(施設課長に依頼).
- 11日 (木) ・ 社長記者会見時に，志村常務よりバシー海峡の底層流の存在について触れたのを受けて，NHK 小沢記者が底層流のモデル実験の話しを聞きにくる，(中川広報課長，案内).
台風4号の接近により，KDD 丸は OLU 布設替工事を中断し，待避.
- 12日 (金) ・ NASC 取締役会(11:00～).
・ 幹部会議・高橋次長に代理出席依頼.
・ 夜，2課長 ほかと懇談.
- 13日 (土) ・ 休み
- 15日 (月) ・ 役員・部長打合せ，(10:00～11:00).
・ 新技術開発委，(第53回). 14:00～17:00.
・ SCARAB に関し，ATT. Mr. McCullough に Tel，(22:00. JST. 10 分間).
- 16日 (火) ・ 全国まき網漁業協会を訪問，(赤坂，山王)，江幡役，同行.
宮本専務理事，(旧成城高 同窓)，遠洋施網漁協 常務理事 尾崎氏と会い，日中ケーブルの保護協力に関する希望を説明，(14:00～15:00).
・ 富士通 奥村，三村氏 ほか 来訪，(16:30～).
オランダーデンマークケーブルの受注の新聞発表，メリディアンケーブルの応札への了承を得たいとのこと，了解.
・ MOC より，SCARAB に関する基本的了解の TLX，来信，志村常務に報告.
- 17日 (水) ・ SCARAB charter party draft への comment を検討.
・ ETP1. Mr. Galangan 沖縄より東京へ. 夜，懇談会食.(セリナ).
- 18日 (木) ・ 京極君より，日韓ケーブルの障害中継器のサージ保護について，MOC/KDD から出された質問に対する富士通の回答状況の報告あり.
・ 第11回 ケーブル船小委.(14:00～17:00).
- 19日 (金) ・ SCARAB による再埋設の実施についての常務会資料の検討.
・ Occan Search Inc. より，SCARAB 発送について7月20日頃との返あり.
- 20日 (土) 出社.
- 22日 (月) ・ 役員・部長定例打合せ，(10:00～11:30).
・ “SCARAB による再埋設工事の実施について” の常務会資料の検討.
・ 元通研 河合卓夫氏(現. 電気通信科学館，勤務)より Tel.
- 23日 (火) ・ 常務会資料(SCARAB)のつめ.
・ SCARAB の使用契約書案の内容と，TPI/MOC との協議模様を，志村常務に説明.(14:00～17:00).
- 24日 (水) ・ OLU 布設替工事：カップリングに傷があるため，取替えて布設中断.
・ MOC，SCARAB 使用契約書案について，署名者となる意向を撤回したい旨，木下所長を介し申し出る. 木下所長より TLX 来信.

- ・ TPI(ATT)より, Revised Draft のコメント来る.
- 25 日 (木) ・ 木下所長に Tel. し, MOC の希望を入れ, 東京で KDD/MOC 間の会合を開くことを提案したい旨 MOC に伝えてもらい, MOC 了承の返事を得る.
MOC へ TLX, 及び Revised Draft を FAX で送付.
・ KDD 東北大出身者同窓会, (18:30～)
- 26 日 (金) ・ 幹部会.
・ MOC より TEL (Mr. Kim, 水野君 受け).
東京での会議は開くことを希望しない, 契約書案について MOC を除くことのコメントは, 木下所長に説明する. 会議は不要の旨は TLX を出すよう検討する, とのこと.
・ OLU の布設替工事終了に伴ない, 沖縄へ出張.
- 27 日 (土) ・ 沖縄海底線中継所にて, 最終接続, 布設投入時の試験に立会う.
15:05 最終投入終了, 工事終了を祝う.
・ 夜, 関係者と食事.
- 28 日 (日) ・ (特記事項なし)
- 29 日 (月) KDD 丸 9:00, 沖縄港入港, 出迎え.
Mr. Mawson, 織間, 北村君らと東急ホテルで食事.
夜, 志村常務名の慰労パーティ. (不二ホテルにて).
- 30 日 (火) ・ 9:00 発 JL900 便で 帰京.
・ NASC 株主 総会 14:00～.
・ 志村常務, 木村社長 (KCS) にあいさつと報告 (OLU 工事終了について).
・ NASC, 社長招宴.

7月

- 1 日 (水) ・ SCARAB による日韓ケーブルの再埋設の計画を進めるため, ATT Mr. McCullough に Tel. (夜, 10:00, N. J. 朝 9 時).
・ MOC が再度, 契約の署名者となる件を撤回したこと.
・ それに伴う, charter party の変更.
・ 契約締結への進め方.
・ MARCAS による観察結果の情報を送る etc.
- 2 日 (木) ・ 「日韓ケーブル再埋設工事の実施」について, 常務会で審議了承さる.
その際, ①MOC が共同責任をもつこと, についての確認をとること.
②再埋設後のケーブル保護について, 漁業関係者への周知徹底を図ること,
のコメントがあったとのこと.
・ 関連会社, 団体役員に対する KDD 会長, 社長招宴, (新宿会館).
- 3 日 (金) ・ 日韓ケーブル再埋設工事の実施について, 幹部会へ報告.
・ ATT へ, SCARAB による再埋設工事の実施が KDD で承認されたので, 計画を進めるよう依頼の TLX 発出.
・ 韓国 MOC 李保全局長へ, SCARAB の据付時の訪日を求める TLX を志村常務名で発出.
- 4 日 (土) ・ 出社, 資料整理.

- 6日 (月) ・富士通 室井氏より Tel にて、T-M-S ケーブルの Letter of Intent が7月2日に発出され、正式契約調印は、7月末になろうとのこと。
・役員・部長 定例打合せ。10:00~11:00)
・実施率の問題について、技術計画課長より検討状況の説明あり。
・日韓ケーブル再埋設の実施について、進めるため、部内打合せにて、部内の協調体制を要望。(11:00~12:00)。
- 7日 (火) ・建築部 糸居建築部次課長 より、ケーブル保管庫として借用している土地を、所有者の辰巳倉庫が売却したいとの意向がある旨が、鶴岡元副社長から、KDD に伝えられている、(宮副社長→笹本常務?)とのこと。
・OCC との懇親会:(18:00~20:00, 32F.)
- 8日 (水) ・OLU 布設替工事完了に伴ない、調整委メンバ及び台湾 ITA に終了のあいさつを笹本常務から送る件について、常務と協議、国際部に TLX 文作成を頼むこととなる。
・日韓ケーブル再埋設工事の実施計画について、郵政省 技術室長(松尾氏)に説明:(国際業務課中沢係長(?)も同席。KDD は国際部皆谷社員同行)。
- 9日 (木) ・辰巳倉庫より、専務、後藤、長竿常務、来訪、(15:00~16:00)。
志村常務と、鶴見埠頭の現有地を辰巳倉庫が売却の意向がある旨をきく。KDD がこれを譲り受けるべきかどうか、検討することとする。
・ATT(TPI)より、8日付発信の SCARAB charter party 案 送付さる。内容についてはほぼ問題なし、と思われる。
・OLU 布設替工事終了に伴ない、TSC 等の関係者(猪股、江幡、北村、山本、京極)を招き、自宅で懇談。
- 10日 (金) ・7月14日夜の 韓国大使 ほかの志村常務 招宴のアレンジ。
招待状の発送を、浅野秘書役に依頼するとともに、海協部 三宅部長に連絡。
・幹部会議。(10:00~12:15)。
・全国まき網漁業協会 宮本専務理事 に Tel。
日韓ケーブル再埋設工事实施に伴ない、山口、島根の漁協等を訪問するに当り、境港のまき網関係組合を訪ねたい旨を話し、連絡を依頼。
- 11日 (土) 出社。資料整理。
- 12日 (日) ・山口県漁連、三菱重工 下関造船所訪問のため、下関出張。
12:00 発、JL361, 下関、旅館左登泊。
畠山課長、KCS, 吉田船長、小林(宗)業務課長 同行。
- 13日 (月) ・三菱重工、下関造船所へ、(10:00~12:00)。
SCARAB 据付のための KDD 丸補強工事について打合せ。
・夕刻より、山口県漁連、本間会長 ほかと懇談。
- 14日 (火) ・下関 9:46 発、あさかぜにて、博多へ。
福岡空港 発。12:30, JL360 にて帰京。
・韓国大使、(催慶録、氏)、朴総領事、金参事官の、志村常務招宴に 同席。
KDD 側、志村、笹本常務、海技、建部長、海協部長。
NASC, 森監査役。

Memorandum 7

(KDD 本社)

1981年7月15日～1982年8月31日

1981年(昭和56年)

7月

- 15日 (水)
- ATT. Mr. McCullough より Tel.
 - 1. SCARAB charter party : 挿し替え修正部分を明日 FAX で送る。
Para4, 8, Appx. 1 & 2.
 - 2. OK の TLX で KDD より来たら, 正式契約書をつくり, Mr. Nichols の署名をして送付する.
 - 3. SCARAB の成田一関陸送時, Power Hut, Spare Hut も振動防止の特別とトラックに積んでほしい(可能であれば).
 - 4. 露出部分の修正については, Mr. Dodeman が日本へ行ってから協議させたい.
 - OCC 齋脇氏 より Tel.
OLU 布設替工事の際に生じた, カプリングの問題について, 中継器メーカーから問い合わせがあるが, KDD にきいてほしい旨言うことでよいか: 了承.
 - 商船三井 より.
KDD 丸の基地, ケーブルデポに関し, 横浜市港湾局, MO 横浜支店長らが 今後の横浜港の整備拡張計画との関連について話し合いたいので, 7月21日にKDDを訪問したいとの事. 了解.
 - “先輩に感謝する会” の発起人会. (16:00~17:00)
技計部長, 秘書室長, 庶務課長, 国際部, 関係者 ほか.
会合開催の基本計画について打合せ.
- 16日 (木)
- KDD 丸乗船のため, 採血し, 肝機能を調べることとなる. (保健センターにて)
 - 日韓ケーブル再埋設のための, SCARAB 用船契約に関する事案決裁(資材部所管)
 - ATT. (PT1) Mr. McCullough へて, 用船契約書に合意し, SCARAB を 18日に発送するよう依頼の TLX 発信.
- 17日 (金)
- 幹部会(10:00~12:00)
 - ICPC 総会への出席について, 志村常務と協議.
ケーブル保護についての法的問題の取扱いと, ICPC 会合への対応について法務部長と協議.
 - 日韓ケーブル再埋設に関する, 工事打合せ(KDD, KCS, OST, TPI, MOC)について資料準備を技術2課に指示.
 - 畠山課長より, 山陰地方の漁協との協議状況について報告をうける.
- 18日 (土)
- 出社.
ICPC 総会(オスロ)への対応について, 志村常務と協議.
- 20日 (月)
- 日韓ケーブル再埋設工事のため, OSI より Mr. Don Dean が 18日来日し, また SCARAB 装置は 19日夕刻空輸により成田に無地到着したとの報告を受ける. その状況と, 今後のスケジュール予定を社内へ回報する.
 - 役員・部長打合せ. (10:00~11:20)
 - 部内打合せ(11:30~12:30).
 - 日韓ケーブル再埋設工事への対応, (通関, 外国からの来訪者の応接, 見学者の応接, 工事打合せ準備等).
 - 管理者新給与関係の周知.
- 21日 (火)
- ICPC 会合(オスロ)への代表派遣の事案決定処理終了, TLX を発信.
 - 志村常務より, 管理者人事(人事部案)について話しあり.
 - 横浜市港湾局 港務部長 中新井氏, 商船三井 横浜支店長前田氏, 観世氏 来訪: (9:30~10:30).
KDD のケーブルデポの計画, 横浜港の拡張整備計画等を話し合う.

- 22 日 (水) ・全国まき網漁業協会 宮本専務理事に、境港(島根県)の関係組合訪問について報告と、謝を述べる。会長(金子岩三代議員)に表敬するよう求められ、志村常務とあいさつに行くよう検討する。
・ケーブルデポの候補地調査状況を志村常務に説明(15:00~16:00)
・SCARAB, 成田における通関 終了。
・全国まき網漁業協会長 金子岩三代議員訪問表敬の件につき、総務部大矢役に相談。
- 23 日 (木) ・全国まき網漁協 宮本専務理事より Tel. 金子会長への表敬の件、会長の日程多忙で本日は無理、日を改めてほしい旨、秘書から連絡があった。後日、また 機会を造ってもらうこととなる。
・秘書室 小鷹秘書役より。 宮副社長、志村常務の下関訪問予定について連絡あり。
・ICPC, 総会(オスロ)への対処方針作成について、猪股課長、山本(昭)補佐と協議。
・高橋次長に、次の件、指示。
 (1) 実施計画作成方法に関する計画部門主催の打合せ(7/30)への出席
 (2) 局所長会議 資料の作成
 (3) 考査コメントへの回答。
 (4) 組織、分掌に関する文書課からの相談への対応。
・SCARAB 通関に伴う、東京税関成田支所へのあいさつ、高橋次長に依頼。
・NASC 古橋社長へ日韓ケーブル再埋設工事のため、下関、KDD 丸乗船 出張のあいさつ。
- 24 日 (金) ・日韓ケーブル再埋設工事のため、下関へ出張。
- 25 日 (土) ・三菱造船所へ。 SCARAB 成田より 陸送で到着、9:30. 開梱。
- 26 日 (日) ・三菱 松本部長と会う。
- 27 日 (月) ・KDD 丸船上で、SCARAB 結線 Test, KDD/KCS 打合せ。(ケーブル整理について) KCS 小林部長と マリンホテルへ志村常務を訪問、状況報告。
- 28 日 (火) ・KDD 丸船上での SCARAB Test, クレーン不調。
・夜、MOC, OSI 社長, KCS 社長らの 志村常務招宴。(中央飯店)
・夜、TPI. Mr. Dodeman 来着。
- 29 日 (水) ・KDD 丸にて、KDD, MOC, TPI, KCS, OSI 間打合。
・宮副社長、中込取締役 来 下関、SCARAB 視察。
・SCARAB 調整 終了。
・KCS 社長招宴。KDD, KCS 乗船者、MOC, TPI 代表ら。
- 30 日 (木) ・9:30 三菱重工 下関造船所ドック 出航。
・台風 10 号の影響で現地で天気待ち。
- 31 日(金)~8月1日(土)
・SCARAB を揚降し、潜水、操縦テストするも、動作不良のため、TPI 代表より、下関 帰港。修理を提案される。
・本社、志村常務に報告し、止むなしとの判断を TPI に伝える。
・KDD 丸 下関へ戻る。

- 2日 (日) ・ 下関にて下船.
- 3日 (月) ・ 山口県漁連事務所(漁連ビル)を訪問.
再埋設工事の計画変更について説明.
宇部空港より 空路 帰京.
- 4日 (火) ・ 本社にて, 志村常務に状況を報告.
・ 社内打合せ, (10:00~12:00)KCS 会議室.
SCARAB 修理に伴ない発生する経費の負担について, MOC と協議のため事前に社内関係部門(経理, 国際, 法務, 資材, 海技建)と協議.
・ 社内打合せ(14:00~) (経理, 資材, 海技建).
日韓ケーブルの R-24 の障害原因について MOC に説明するための社内事前協議.
- 5日 (水) ・ MOC 代表(Mr. Pack 他 1 名)と打合せ.
午前: SCARAB 修理の件に伴う経費の措置について
午後: R-24 の障害原因について.
・ SCARAB の修理スケジュールと, 再埋設時のケーブル整理について Mr. Dodeman から提案があり, それについて, KCS と打合せ(17:00~).
要員の増加, 所要機材の準備, 出航スケジュール等 について討議.
・ 上記に関する工事費の見直しについて, 検討するよう 2 課へ指示.
- 6日 (木) ・ MOC 代表 帰国, 畠山課長アテンド.
・ KDD 丸乗船の KDD メンバーについて, 織間部長と協議.
・ SCARAB 修理専門家, 来日. 成田より福岡へ transit. 夜, 下関着.
成田での通関を, 山本補佐, 日通で 支援.
・ OCC 齋脇氏 来訪. (14:00~): ANZCAN の nego で, coupling の問題がでた.
- 7日 (金) ・ 部内関係者(次長, 猪股課長, 矢口, 山本補佐, 湯口役)と当面の措置について協議.
・ TPI, KCS との協議・連絡系統の明確化, (ローカルな協議で事を運ばぬこと).
・ 出航目標日を設定(16日とする)のため, KCS, 建設部と協議のこと.
・ MOC への TLX.
・ 畠山課長を 下関での KDD 側 contact とする.
・ KDD 丸船上の Mr. Dodeman と Tel. 8月15日 or 16日出航について了解を得る.
・ 志村常務に状況報告. (11:30, 自宅へ Tel)
・ 畠山課長に Tel. : contact として動くよう指示.
・ KCS 江副顧問: 埋設機の深度増の開発について.
- 8日 (土) ・ 出社.
・ TPI より, SCARAB 修理等の STATUS REPORT 提出さる.
- 10日 (月) ・ 人事異動: 佐藤正紀君 海技部へ.
・ 志村常務に, SCARAB 関係の現状報告. (15:00~16:00)
TPI 提出の Status Report, MOC との打合状況など.
・ NASC/亜東協会 懇親会(ホテルオークラ, 桃花林)
・ 志村常務より. 辰巳倉庫 内藤専ム, 後藤常務が来訪し, 鶴見の土地は隣接のアジア石油より譲渡希望の申出があるので, KDD への話しは取り下げたいとの話しである. KDD のヨビ機材の保管契約は昭 59 年までであり, 又別にデポを計画しても実現が 59 年を越すこともあり得るので, それをアジア石油側に了解してもらうよう伝えてもらうこととした.

- 11日 (火) ・木村所長(ソウル)より TEL.
 SCARAB 修理後の再埋設工事の再開に当って、MOC は代表を派遣しないで、KDD に委せることを考えている模様とのこと、(旅費がないためとのこと).
 ・局所長会議資料原稿、常務の閲覧を受け総ム部へ提出.
 ・畠山課長(KDD 丸)より、SCARAB の Sea Trial について、TPI との協議状況の報告あり.
 ・辰巳倉庫土地譲渡の件(前頁)、建設部 糸居次長に伝達.
- 12日 (水) ・SCARAB Sea Trial の計画詳細、畠山課長より、報告.
 ・木下所長(ソウル)より Tel.
 MOC 次官 李保全局長が、再埋設工事の終了後、下関で SCARAB を見たいと希望しているが、それを KDD が招待して呉れないか、との意向を示している。(Mr. Y.K. Kim からの話し)、志村常務にも電話で、話してある。検討し好い返事を待つ。
 ・山口県漁連、富永指導課長より Tel がほしいとのことで、仙崎漁協訪問中の同氏に Tel. SCARAB 再埋設工事の遅延スケジュールの確認、前(8月3日)に説明した通りと回答、これから、仙崎漁協に、工事スケジュールの変更について説明するとの事。
 ・MOC より、再埋設工事の再開に当り、代表を派遣できない、KDD に委せる旨の TLX あり.
- 8/13(木)～8/16(日)
 ・下関、浜田へ出張。
 SCARAB 修理完了後、KDD 丸に乗船の予定であったが、SCARAB のスラスタ故障のため、再埋設工事は再度中断.
- 17日 (月) ・志村常務に状況を報告.
 ・NEC 田畑氏 来訪：ANZCAN ケーブル E 区間の布設に、KDD 丸の代りに CW 船マーキュリを使用することになったため、KDD への了解を得たいとのこと、了承。(KDD へ文書が出される)
- 18日 (火) ・ATT Mr. McCullough より Tel. 9:50～.
 SCARAB スラスタの修理日数は、焼損したモータが返送されてみないと分らない、明らかになり次第連絡する、(20日～21日ごろ)。KDD の求めに応じ、訪日してもよい。
 ・上記について、Mr. Dodeman(下関)に連絡。
 ・Mr. Dodeman も Mr. McCullough の来日を望んでいる。
- 19日 (水) ・光海底ケーブル方式開発について、NTT/KDD 間の技術協力をどのようにするかとの社内打合(技計部主催)10:00～12:00
 技計、海技・建、研究所 関係者。
 ・研究所 新納君と昼食。
 ・海技部 打合：16:00～17:00。
 ・今後の仕事の進め方と、仕事の割り振り。
 基本的考え方：海技部本来の業務として、また 事業計画(設備計画)の作成方法の改善にも沿って、将来展望を立て乍ら仕事を進めたい、すなわち、
 1. ケーブル網の発展動向。
 2. 光ケーブル等の新技術の開発の動向と導入計画。
 3. ケーブル船の計画。
 4. ケーブル船基地 計画。
 5. 同軸、光の併存に対する建設、保守。
 等をどのように検討するか。
 当面の問題としては、日中ケーブルの障害対策(抜本的な)をどう進めるか。
 これらの問題について、スタッフメンバーが、ラインと協力し担務すること。
- 20日 (木) ・志村常務 より。
 国際通信技術懇談会 第2回会合(9月20日)の資料準備について、

- “海底ケーブル/通信衛星のコスト比較に基く、将来展望,”
湯口調査役に調査を指示.
- ・シンガポールーメダン間のケーブルルート調査について、NEC 田畑氏、海外営業 岡北東アジア課長 ほか 来訪. 海協部、海建部、関係者とともに協議.
 - ・ジオメックス社からの NEC への approach については、NEC として対応.
- 21 日 (金) ・ SCARAB スラスタモータの修理見通しについて、Mr. Dodeman が米本国へ状況をきき、明日、KDD に連絡するとのこと。(畠山課長より)
- 22 日 (土) 休み
- 24 日 (月) ・ ASEAN M-S-T ケーブルを受注したに伴い、KDD 丸を布設に使用したいとの富士通の意向について、副社長、社長に報告.
 - ・ MOC, Mr. Pack より、SCARAB の修理状況の問い合わせ.

25 日 (火) ・ Mr. McCullough より Tel.
スラスタモータの修理見込みについては、検討中で、二、三日後に状況が明らかになり次第連絡する. ICPC 会合へは、ほかの人に代ってもらおう (SCARAB の方が重要なので)、日本へは状況が明らかになったら行く.
 - ・ ICPC 年次総会への対処方針を志村常務に説明、了承を得て、事案処理を進める.
 - ・ 富士通 室井顧問より Tel. Meridian(?) ケーブル(スペインーベルギー)への応札中の状況について (WE Co. の SG 方式に対し、36M で苦戦とのこと).

26 日 (水) ・ 新形埋設機開発に関する打合せ。(関係役員懇)
開発方針、態勢、スケジュール等.
 - ・ ICPC 総会対処方針事案、副社長に報告.

27 日 (木) ・ ATT. Mr. McCullough より TLX と Tel. (9:30~).
スカラブ関連で、日本へ来る件 及び、スラスタモータの修理後返送日程等.
 - ・ Mr. McCullough の受入れについて準備(東京、下関のホテル、東京ー下関のフライト)
 - ・ ソウル木下所長に状況を知らせる Tel.
 - ・ “先輩に感謝する会”(18:00~)にて現役職員を代表し、あいさつ.

28 日 (金) ・ 部長会 欠席.
 - ・ SCARAB operation の予定スケジュールを MOC に通知.
 - ・ 海底線両部の要員について、両部間次課長と打合せ.
(56 年度以降の要員について人事部へ提出のため).
 - ・ 郵政省 電政局 技術室へ、日中ケーブル関係の経緯と現状について資料により説明(猪股課長).
 - ・ 畠山課長、松崎主任とスカラブ関係の進め方、日中ケーブル修復に関する問題への対応等について協議.

29 日 (土) ・ 出社.

30 日 (日) ・ Mr. McCullough を成田空港で出迎え.
Mr. Larsen (GNTC) が家族を迎えに来ているのに会う.

31 日 (月) ・ Mr. McCullough と KDD ビルで discussion.
・ 昼食、32F、志村常務.

- ・16:00 羽田発 JAL で福岡へ。
福岡より TAX で下関東急イン着, 7時半.
- ・Mr. Dodeman, Mullen らと 夕食.

9月

- 1日 (火) ・KDD 丸にて, SCARAB の状況を見る.
・夜, 壇之浦にて, ATT (TPI), OSI, KDD, KCS で会食.
- 2日～3日
・台風18号の通過を待ちつつ, 打合せ等.
- 4日(金)～5日(土)
・下関 出航のKDD丸に乗船し, Mr. McCullough と共に Sea Trial を視察.
- 6日 (日)
・下関 帰港, 下船.
Mr. Boome, Mr. McCullough と福岡へ向い, Mr. McCullough と東京へ向う.
・帰宅 7時10分.
- 7日 (月)
・Mr. McCullough と KDD ビルで, SCARAB による TPC 系ケーブルの phone and cable の inspection について discussion. (10:00～12:00)
・志村常務による昼食招待(Century Hyatt, 賀茂川.)
・ICPC 年次総会に出席の, 織間部長, 山本補佐から話をきく.
- 8日 (火)
・SCARAB 関係: ケーブル Final Splice 部の回収, 整理 順調に進む.
・三信工業 桐山社長, 岡本常務 来訪: OLU ケーブル再布設に強化プラスチックを使ったことに対し, あいさつ.
・成城同窓の荒木君と懇談.
- 9日 (水)
・日中ケーブル障害の抜本策推進についての部内打合せ, 14:00～.
・併せて, 日韓ケーブル再埋設工事終了後の SCARAB による TPC-1 沿岸部の調査について 討議.
- 10日 (木)
・SCARAB による TPC-1 調査計画について, 検討.
- 11日 (金)
・幹部会.
・TPC-1 調査の事案決定文書の作成.
- 12日 (土)
・日建ケーブル再埋設工事, 最終段階に入る.
- 14日 (月)
KDD 丸の下関帰港を出迎えに, 下関へ出張するも, 工事終了が遅延し, 15日に帰京.
- 15日 (火) (敬老の日)
・日韓ケーブル再埋設工事 終了, 16日 午前3:00時, 下関入港 10時.
- 16日 (水)
・昭56年度 局所長会議.
午前 全体会議, 午後 個別会議.
・会長, 社長 招宴.

- 17日 (木) ・新形埋設機開発の推進について、志村常務、織間部長と協議。(15:00~16:30)
再埋設機については、研究所が協力し、基本検討(各案の比較、評価)を行なう。
・西本総務部長より。
日韓大陸棚開発の協議が日韓間で11月に行われる。その区域を通る日中ケーブルの保護について、問題を提起しているが、今回11月会合では、議題にのぼらない。継続審議とするため、当事者(KDD, MOC)間で話し合っている実績をつくっておいてほしいと、郵政省から要望された。
木下ソウル事務所長に話し、MOCと話し合ってもらおうよう、頼んでほしい。了承。
- 18日 (金) ・下関より上京のTPI Mr. Dodemanと二宮へ、中継所でスカラブ用25Hzの点検。
午後、熱海へ。New Fujiya HoTel泊。
- 19日 (土) ・綱代港より、KDD丸に作業艇で乗船、船長、KCS小林部長、KDD高橋海技次長に会い、慰労と激励。
- 21日 (月) ・SCARABによるTPC-1の調査：SCARABの調子不良で難航。
・役員・部長打合せ、10:00~11:00。
- 22日 (火) ・KDD丸高橋次長より、海底の状況が悪く、アンビリカルケーブルの長さにも限度がきたので、水深740mの所で調査を打切る、旨連絡あり。(9:50)
・スカラブ揚収が、ケーブル・ロープの絡みで困難との通報、慎重な対処を望み、事態の推移を見守ることとする。
・ソウル事務所長木下君と、打合せ(17:00~18:00)。
MOCへ①日韓大陸棚開発における日中ケーブル保護、②SCARABによる再埋設工事の関係、について、話をしてもらうこととする。
・シンガポール、ソウル両事務所長(石井、木下両君)と懇談(シャーウッド)。
- 23日 (水) ・秋分の日(祝日)。
・夕刻、スカラブに絡んでいたケーブルを外すことに成功の連絡が、KDD丸高橋次長よりあり。
- 24日 (木) ・SCARABをTPC-1に使用する件の説明のため、東京税関成田支署に行く、2課、山本補佐同行、辻審査官、中西次長に会い、説明と理解の要望。
・TPI. Mr. Dodemanとの打合せを畠山課長に指示。
・SCARAB作業終了に伴う、後処理、措置の確認。
- 25日 (金) ・幹部会。(10:00~12:00)
・新技術開発委員会(14:00~17:50)
・Mr. Gaylord Chan(C&W)の招待により、会食(京王プラザホテル)
志村常務、福地常務、ほか関係者。
- 26日 (土) ・休み。
桂井氏夫妻、来訪。
- 27日 (日) ・伝送同門会 G.C. (五日市C.C)
- 28日 (月) ・役員・部長打合せなし、(臨時常務会のため)。
・二宮中継所松本所長より。
TPC-1の調査に関し、漁協関係者への協力を謝する会合の開催について。
・NTT通研吉田庄司氏より、“永井先生を囲む会”の開催について、KDD新宿会館を使用する

- ことに伴う、出席参加の要請:了承.
- ・OCC 新山下工場 訪問:光ケーブルの製造設備の視察と懇談.
14:30～志村常務ほか、研究所関係者.
- 29日 (火) ・日韓 再埋設工事の報告, MOC との会合, および日中ケーブル障害対策の今後の進め方等を検討.
- 30日 (水) ・長期構想に関する打合せ(第1回), 10:00～12:00.
志村常務 以下.
・日韓, 日中ケーブル関連の今後の作業について, 次長, 課長と討議.
- 10月
- 1日 (木) 休み.
- 2日 (金) ・幹部会, 10:00～12:40.
・海技部 打合せ, 13:40～16:00.
・当面の状勢.
・日韓・日中ケーブル関連の作業の進め方.
- 3日 (土) ・志村常務と討議.
・日中ケーブル対策の進め方と, 関連技術開発の社内決定のし方.
・長期構想の進め方.
・部レク旅行(戸倉, 上山田温泉).
10月3日～4日.
- 5日 (月) ・役員・部長 打合せ.(10:00～11:00)
・日中ケーブル対策の推進 と 埋設技術開発の推進の関連について,
常務, 海技・建部長, 技計部吉田次長, 太田課長と討議, 11:00～12:00.
・海底ケーブル委, 技術小委員会.(第6回)14:00～17:30
- 6日 (火) ・次長, 2課長と, 日中ケーブル臨時障害対策協議会開催に向けての準備打合せ,
9:30～10:30.
・TPC-3陸揚地の調査の進め方について, 部内関係者打合せ.(11:00～12:00)
江幡役, 湯口役, 矢口補佐, 高橋次長 ら.
- 7日 (水) ・海底ケーブル委計画小委員会, (14:00～16:30).
TPC-3計画の見直し, 沖一本ケーブルのNTT接衝状況など.
- 8日 (木) ・日韓ケーブル再埋設工事の完了報告(志村常務宛)の作成を進める.
・NEC 鈴木(欽)氏 来訪.
PENANG-MEDAN ケーブルの応札に当り, KDD丸の使用を依頼してくる.
'83の後半なら可能と返事.
・JASCに漁網がかかり, レベル変化が起きたと, 直江津より情報.
- 9日 (金) ・幹部会議(10:00～12:45)
・東北大松尾教授より依頼され, ブルガリアソフィア大講師 Mr. Stoyanov(東北大留学中)及び夫人に対し, KDDビル内施設見学を案内(水野君に依頼).
・次長と人事問題を協議.
・NEC 田畑氏より, PENANG-MEDAN ケーブルへのKDD丸の使用について問合せ.
・直江津 柳原所長より, JASCケーブルの漁網によるトラブルについて Tel. あり, 漁協に

- よく話すよう依頼。また、2課にMARCASによる inspection の検討を指示。
- ・スカラブによる工事の関係者の慰労宴(常務主催)。新宿会館
- 12日 (月)
 - ・部内打合せ。
 - ・幹部会議の様態など。
 - ・日刊工業紙に、NTT/KDDの光海底ケーブルの共同開発の記事が出て、富士通 新川顧問、郵政省 松尾技術室長から問い合わせの Tel. 事ムレベルでの話し合いの程度であることを説明。
- 13日 (火)
 - ・午前、小金井、自動車運転免許証 更新。
 - ・午後、出社、日中ケーブル臨障協 会議資料 作成。
- 14日 (水)
 - ・海底ケーブル委員会(第8回)：14:00～16:30。
 - ・TPC-3計画の見直し、(計画小委)。
 - ・海底ケーブル技術開発関係(技術小委)。
 - ・光海底ケーブル方式に関する技術協力協定について、NTTと事ムレベルの話し合いをするための、資料について打合せ、(技計部主管)。
- 15日 (木)
 - ・日韓ケーブル再埋設工事完了報告の作成。
- 16日 (金)
 - ・幹部会議、10:00～12:30。
 - ・臨時障害対策協議会(日中ケーブル)第3回会合の資料作成について、佐藤君に指示。
- 17日 (土)
 - 出社。
 - スカラブの写真 整理。
- 19日 (月)
 - ・役員・部長打合せ、10:00～11:20。
 - ・新技術開発委員会、14:30～17:45。
 - ・副社長に、SCARABによる日韓ケーブル再埋設工事の完了について、報告。
- 20日 (火)
 - ・午前、胃 X 線検査、佼成病院にて。
 - 午後、出社。
- 21日 (水)
 - ・日中ケーブル臨時障害対策協議会 第3回会合(14:00～16:30)。
 - ・対策及びその推進について。
 - ・いかなる対策案がよいか、結論を得るに到らず。
 - ・中国側の意向打診、技術的検討、をさらに進めたいと、KDDとしての案が確定できない。
- 22日 (木)
 - ・日中ケーブル障害対策をどう進めるか、前日の臨障協会の意見を踏まえ部内で討議。(建設部長も交え)。(14:00～15:30)
 - ・FJT. 室井顧問より Tel. ベルギースペイン間ケーブルの入札の結果、フランスが受注し、日本はとれなかったとのこと。
 - ・研究所 天野、新納、江尻君ら、光ケーブルの研究開発に関する BTL との打合せ会合(米国、10月13～14)の結果について報告に来訪。(17:00～)
- 23日 (金)
 - ・電気通信記念日。
 - ・日韓ケーブル再埋設工事についての MOC との協議、ACMC 第6回会合への対応、日中ケーブル

- ル障害対策についての SPT との協議，等につき志村常務に意見を述べる。
- ・ 荅北町 浜崎町長，浜口 町議会議長 ほか，KDD へ来社。(15:00～16:00)
 - 九電の火力発電所建設問題について，町，漁協が了解したので関係省庁への挨拶に上京し，当社へも挨拶にきたもの。
 - 社長，福地常ム，志村常務，東支保全部長，小職らで会う。
 - ・ OCC 齋脇氏 来訪。(16:30～17:20)
 - ・ 光ケーブルの動向。
 - ・ 日中ケーブル対策，ケーブルの圧壊試験など，懇談。
- 24 日 週休
(土)
- 26 日 幹部に対するパソコン講習会(人事部，コンピュータシステム部 主催)に参加，聴講，
(月) 9:30～12:00，13:30～17:00.
- 27 日 同上，午後，13:30～17:00.
(火)
- 28 日 午前，佼成病院：胃カメラ。
(水) 午後，出社。
- 29 日 57 年度技術開発の中で調査項目とする“光海底ケーブル方式の開発”のグループ構想，
(木) リーダ，方針などについて，部内協議。
同友会との懇親会，京王プラザホテル。
あと，石川，内山君と懇談。
- 30 日 埋設機，探線機の開発のため，海洋実験を行なう計画について，組合へ説明協議。
(金) (10:～10:30)
直江津 海底線中継所 柳原所長より Tel.
漁協との話し合いについて：船頭の集会に出席した模様など。
- 11 月**
- 2 日 SCARAB による日韓ケーブルの再埋設，及び TPC-1 の二宮沖ケーブルの調査のビデオ記録
(月) をみる：[KCS にて編集したもの] 13:30～16:00.
- 3 日 祝日。
- 4 日 海底ケーブル計画(長計 23 号)案の総企会審議に参加，15:30～17:00。
(水) 日中ケーブル障害対策について，SPT と情報交換，意見交換する件について
宮副社長に説明：あまり大げさでなく気軽に接触を望むとのコメントあり。
- 5 日 2 級，3 級 管理者の評定記録表を常務に提出。
(木) 4 級，5 級 “ ” 人事部長に提出。
佼成病院：胃カメラの結果をきく。
NEC 田畑氏，鈴木(欽也)氏，別個に来訪
Medan-Penang (MENAN) ケーブルの応札について。
KDD 丸の使用は，スケジュール上，不都合のため，NTT に要望し，黒潮丸を借りるつもりで
応札書を出す，(黒潮丸，その他の船によるとする)。
- 6 日 部内打合せ，(10:00～11:30)。
(金) ケーブル計画の状況と，今後の施策，など打合せ。

- ・ NTT 武蔵野通研 施設公開, を見る(午後).
- 7日 (土)
 - ・ 出社.
 - ・ 太平洋方面のケーブル計画に対する多角的検討の要について, 志村常ムより, 話しあり.
ループ選択を, 既設ケーブル(TPC-1, 2)の life と, 最適網構成の両面からとらえること.
 - ・ 日本-ハワイ, 日本-米本土, グワム経由ハワイ, での長さの差異.
 - ・ TPC-1 の使用限界年数と, グワム経由豪州へのループの確保.
 - ・ 手段.
- 9日 (月)
 - ・ 幹部会議(10:30~12:00)
中間決算報告など.
 - ・ 猪股課長より: 57年度事業計画として, 経理部へ送付するケーブル関係の案の説明: 了承.
- 10日 (火)
 - ・ ㊸~
 - ・ ケーブル保管庫 及びケーブル船に関する 部内討議(13:30~16:30).
- 11日 (水)
 - ・ 総務部 榎本 監理課長より.
叙勲に絡み, 元 KCS 社長森氏を明年4月1日創業記念日に社外功労者として表彰することとしたので, その功績に関する資料を提供してほしいとの依頼.
 - ・ KCS 関 総務部長にも話しておくよう求める.
 - ・ 小山送信所敷地内で実施中の, 新形埋設機に関する第2次実験(1/2.5モデルによる)を見る, 志村常務に同行(14:06 上野発 往, 17:25 小山発 復).
- 12日 (木)
 - ・ 直江津 出張 11/12~11/13, 畠山, 松崎 両君同行.
9:16 上野 発, 13:30 直江津 着.
 - ・ 直江津漁協 宮本組合長宅を訪問, あいさつ, 石山次長案内.
 - ・ 柳原所長の案内で, 名立漁協を訪問し, 斎藤組合長にあいさつ.
 - ・ 夜, 神田次長, 田中寛君と 夕食.
- 13日 (金)
 - ・ 新潟市へ, 第九管区海上保安本部 訪問.
松崎本部長, 後藤次長 にあいさつ.
午後 14:48 発 特急で帰京.
- 14日 (土)
 - ・ 休み.
- 16日 (月)
 - ・ 役員・部長 打合せ, 9:00~9:50.
 - ・ 猪股課長より, 富士通からの希望で, デンマーク-オランダケーブルの技術打合せで来日する技術者(デンマーク PTT4名, BTI 3名, オランダ PTT 1名)が, 埋設, 及び修理に関し, KDD と discuss したいとのこと. 12月10日午後を予定し, 先方から talking item をきいて, FJT 社より正式に依頼したいとのこと. 了解.
 - ・ 江幡君より, 日中ケーブル中継器 SV でループ沿いの温度測定を行っていることに東大海洋研寺本教授が関心をもち, データを見たい, 近く中国から海洋関係の専門家が来るので討議したいとのこと. 外部へ資料を出すことについての社内処理を検討のうえ措置するよう指示.
 - ・ 松本浩太郎氏の告別式(四谷, 12:00~13:00).
 - ・ SPT へ, 日中ケーブル障害対策に関し, Tel. (水野→汪義舟).
 - ・ SCARAB 経費について, ATT からの配分案の検討.
畠山, 山本両君から説明を受け, ATT へのコメントについて討議.
 - ・ 喜安さんを囲む会(竹橋会館).

- 17日 (火) ・国際部 里見部長より。
 ・ANZCAN ケーブルの建設推進のため、Management Comm. が設置されているが、そのKDD 代表として、国際部長、sub.として国際部佐藤次長、総計部渡辺(恭)次長のほかに海技部から一人出してほしい。
 技術部 1課長を当てることとする。
 ・三信工業 樽松氏、来訪、(15:00~16:00)雑談。
 ・光海底ケーブルの開発における、メーカーの役割りと立場、日米間の経済摩擦の問題(半導体、コンデンサなどの部品輸出が減少、現地での組立て、等)など。
 ・技計部 吉田次長、より。
 ・沖一本ケーブルについて、KDD 社長が郵政省電政局長への説明が求められており、最終段階に来ている模様(郵政省の判断にNTT も従うことは止むを得ぬとの状況か。)
 ・WE Co. との特許契約問題：技術範囲を限定することで双方が妥当とする線がでるかどうか協議。
 ・研究所 高橋次長、技計部 服部課長に、COHDE Corporation 原沢氏からのファックス用感熱紙に導電性ポリマ(同社開発)が使用できるかどうかの検討依頼に関し、調査を求める。
- 18日 (水) ・NEC 田畑氏より Tel.
 シンガポール-メダンケーブルの入札が近く行われる。インドネシアからの情報では、入札締め切り '82年、1月末、システム完成は '83年末目標とのことである。
 (応札に当り、KDD 丸の使用が問題になる可能性あり。)
 ・SCARAB 経費のTPC-1 への配分について、ATT 案に対する反論 TLX 案を山本君と討議。
- 19日 (木) ・光海底ケーブル開発計画に関する役員・部長間打合せの対応について、猪股・湯口両君と討議。(14:00~15:30)
- 20日 (金) ・幹部会議(10:00~12:00)
 ・研究所 田森君急逝し、その告別式に中村社宅へ。(13:00~)。
 ・KCS 関 総務部長へ Tel:元 KCS 社長森氏の事績について。
 ・全国まき網漁協 官本専務理事に Tel.
 金子会長へのあいさつを年内に行ないたい旨伝える。
 ・原沢堅治氏より依頼の件、(導電性ポリマーの test)。
 研究所 高橋次長より、現状を聞いたうえでないと判断できないとのことで、来る24日(火)に研究所を訪問するよう原沢氏と連絡。
- 21日 (土) ・出社。
- 23日 (月) 祝日(勤労感謝の日)
- 24日 (火) ・志村常務に、状況報告。
 1. 日中ケーブル、SPT に電話連絡し(16日)、返事 待ち。
 2. 日韓ケーブル再埋設工事の報告打合会議、MOC の都合で明年に延期。
 3. 全国まき網漁業協会 金子会長へのあいさつ。先方の都合を問い合せ中。
 ・COHDE Corporation 原沢氏 来訪、(13:30~14:20)。
 研究所へ紹介。
 ・FJT. 室井顧問 来訪。
 1. デンマーク-オランダケーブル関係の技術打合せに伴う、各国 PTT 代表の KDD, KDD 丸の訪問。
 2. M-S-T ケーブルの布設に伴う、KDD 丸使用についての KCS との折衝状況。

- 25 日 (水) ・ SCARAB による日韓ケーブルの再埋設, ならびに TPC-1 の調査の状況を記録したビデオテープを関係者に披露。
午前, : 志村常務, KCS 木村社長, 技計部, など。
午後 : 東京支社長福地常務, 関係部長 ほか。
・ 光海底ケーブル開発に関する関係役員懇の資料等の打合せ。
湯口役, 猪股課長 ら。(16:30~17:30)
・ マドリッドより帰国の柴田(清)君の歓迎会(三井ビル, きくみ)。
石川, 内山, 小関 君, 東北大同窓関係。
- 26 日 (木) ・ 富士通 磯部氏 ほか 国際協力部より, デンマーク・オランダ海底ケーブルの建設について打合せのため来日する, 各主管庁技術者などの KDD 訪問, KDD 丸見学に対する依頼文書を持参, (海外協力部あて)。
- 27 日 (金) ・ 幹部会議。(10:00~12:00)
・ 光海底ケーブル開発に関する関係役員, 部長 打合せ(14:00~16:30)
・ 小林夏雄さんの叙勲祝(通研線路会主催)に出席, (京橋会館)。
- 28 日 (土) 休み。
東北大 同級ゴルフ, 常盤湯本にて。(いわき市植田 泊)。
- 30 日 (月) ・ 定期 健康診断。
- 12 月**
- 1 日 (火) ・ ケーブル船に関する検討状況について, 江幡君より報告, 部内で検討, (10:00~)。
・ CBC の明年度幹事の依頼, 及び, KDD 新宿会館の継続使用について, 竹中君, 田代君らと協議。KDD 新宿会館の使用について, 労厚部 大矢 労厚課長, 東支 労厚課 本多補佐らに問合せと, 懇請。
・ ケーブルデポに関する部内検討(次・課長 ほか関係者)。
・ 全国まき網漁業協会 金子岩三会長へのあいさつ訪問について, 同協会 宮本誠専務理事と打合せ。3 日午後の約束を取り付ける。
・ 国際部長より, ASEAN T-M-S ケーブルの布設における KDD 丸使用時の問題として他作業従事時に, 保守範囲のケーブルに障害が起きた場合 24hour 内に修理に向う義務について富士通室井氏より免除方を要請されたとのこと。他船の back-up で問題ない旨, 答える。
- 2 日 (水) ・ 佼成病院, 胃カメラ, 結果良。
・ 午後・出社。
SPT より, KDD との打合せについて同意の旨, 水野君より電話問合せの結果について報告あり。
・ 光ケーブルの開発の進め方について, 役員, 部長 打合せ。(15:00~17:30)
志村, 中込, 大山, 鍛冶, 亀田, ほか(太田, 湯口, 新納)
・ OLU ケーブルのパイロットに微小変化・出現と, ETPI より TLX 来信。
- 3 日 (木) ・ 全国まき網漁業協会の金子岩三会長(自民党議員)を, 第 2 議員会館に, 志村常務に同行し, 訪問。(15:00 のアポイントメント)
日中, 日韓ケーブルの現状と, その保護について まき網漁業関係者の協力を得たい旨, 説明。
同会長より次の指示あり。
・ 協同組合に話すより, 船長, 漁撈長等へ直接伝わるようそれらの会議等を利用して協力を求めたらよい。
なお, 同会長への面会には, 宮本専務理事の仲介の労を求めた。

- 4日 (金)
- ・ 畠山, 江幡両君に全国まき網協会長金子先生を訪問した件を話し, 具体的には宮本専務事と協議する様指示.
 - ・ 宮本氏に Tel. し, 12月中旬, 長崎方面その他のまき網漁協関係を訪問すること, 船長会議, 漁撈長会議に関し, 開催等の情報を得たいこと, 漁具補償についての方向を相談したいこと, そのため江幡君ほか訪問(赤坂の事ム所)したいことを伝える. 回答として12月7日(月)午後, 同所の遠洋まき網協会尾崎理事も同席し, 面談することとなる.
 - ・ 産業図書出版 野口氏より Tel.
 - 近く出版を計画している海洋土木ハンドブックに, 海底ケーブルの布設・埋設等の関係を含める件について意見をききたいとのこと.
 - 12月7日(月), 午前11:15に面会を了承.
 - ・ 午後, 二宮方面 関係漁協(五ッ浦, 前川, 二宮, 相模湾振興協会)と懇親. (大磯, 滄浪閣にて, 15:00~17:00).
- 7日 (月)
- ・ 役員・部長 打合せ. (9:00~10:00).
 - ・ (株)産業調査会 野口氏 来訪. (11:00~11:30).
 - 「海洋土木事典」の企画(57年9月発行予定)の中で, 海底ケーブル関係について, 執筆, まとめの協力依頼.
 - 趣意は了解, 依頼文書を要望.
 - ・ NEC 図書「国際海底ケーブル通信」の英訳の推進打合せ. (14:00~16:00)
 - KEC 主催, 各編 責任者で会合.
- 8日 (火)
- ・ 前日話しのあった, 「海洋土木事典」の中の“海底ケーブル”の項については, 電力ケーブル関係の方が土木の観点からは関係が深いところから, 古河電工 村田浩氏の意見をきき, 電源開発(株)工務室補佐峰村忽三氏を電力ケーブルについての執筆または紹介を依頼する様, 産業調査会 野口氏に 電話連絡.
 - ・ 海底ケーブル委員会 ケーブル船小委員会(第12回)を開催, (14:00~16:30).
 - ・ ケーブルデポ, 及び ケーブル船について討議.
 - ・ 畠山, 山本君から, SCARAB 再埋設の経費について説明を受ける.
 - かなりの増額となるので, なお ATT と接衝するも, MOC に対しては, 会議の事前に, 協議方法を畠山-朴間で電話で相談すること, 志村常務に来週状況を説明きでよう資料を整理すること, を指示.
 - 又, ATT とは, スジを通して再度配分を協議することとする.
- 9日 (水)
- ・ 海底ケーブル保護協力依頼に, 山陰地方へ出張. (12/9~12/12)同行, 2課山本補佐.
 - 羽田発, 9:55.
 - 福岡着, 11:30.
 - 遠洋旋網漁業協同組合事ム所を訪問.
 - 小原 総務課長 に面会, あいさつ.
 - ・ 新幹線で 下関へ, 浜田中継所, 磯貝所長と合流.
 - ・ 山口県漁連を訪問, 本間会長にあいさつ.
 - 懇親.
- 10日 (木)
- ・ TAXI で門司市へ, 海上保安庁, 第7管区 保安本部, 門司保安部 訪問.
 - ・ 〃 長門市仙崎へ, 海上保安部 訪問.
 - ・ 長門市湯本温泉 泊.
- 11日 (金)
- ・ 浜田へ.
 - ・ 浜田市漁協組合 松田会長に面談.
 - ・ 米子 泊.

- 12日 (土) ・帰着。(米子空港 9:40 発 11:35 羽田着)
- 14日 (月) ・志村常務 より。
 児島常務から、“郵政省より最近 KDD の東南ア・太平洋方面のケーブル計画に関する活動が以前ほど積極的でないように見受けられると云われたので、状況を説明してほしい(郵政に).”と要望された。ASEAN, ANZCAN, TPC-3 等に対する KDD の対応について資料をまとめてほしい。
 湯口, 江幡, 佐藤 君らと相談し, 今週末までに素案を作るよう指示。
 ・日中ケーブルの抜本策策定と, 新形埋設機の開発推進状況の打合せ。(14:00~15:30)
 志村常務, 織間部長, 佐藤調査役。
 ・CBC の来年度幹事を引受けることとなったので, その実行について打合せ。
 Tel 竹中, 太田君。協議—湯口, 田代君。
- 15日 (火) ・SCARAB による日韓ケーブルの再埋設工事に要した経費について, 詳細を検討。(2 課 山本補佐)。
 志村常務に, 状況を説明。
 ATT の配分案によれば, 日韓ケーブルのへは計 3 億余円かかり 4,700 万円増加しているが, 止むを得ないものとして, これで社内で決定し, ATT, MOC へも通知, MOC との会合に備えることとする。
- 16日 (水) ・NTT の光ケーブル方式(陸上)の商用試験に当り, システムの公開案内があり, 大手町電話局で見る。(9:40~10:40)
 研究所 鍛冶所長と, 電気通信科学館に河合貞夫氏を訪問。
 ・日通建(株)の創立 30 周年記念の宴に出席。(高輪プリンス)。
 春山 専務(東北大 20), 大友 常ム(元通研 東北大 通 26), NEC 系 山本氏, 岸上氏, 杉崎氏。警視庁 加藤 通信局長らに会う。
- 17日 (木) ・昭和 57 年の CBC 幹事を KDD で担当することになったので, 本社, 支社, 研究所の有志と協議。(12:00~13:00)
 ・郵政省 電政局 松尾技術室長に Tel.
 22 日, PM 3:00 に訪問の約束。
- 18日 (金) ・幹部会議なし。
 ・日中ケーブル関係。
 ・上海出張の手続き, 近畿ツアーリスト。
 ・資料の準備。
 ・国際部 皆谷君より, ケーブル船利用の Memorandum と, 第 2 経常費の支払いの件などで, 韓国 MOC への説明に煩わされているとのこと。
- 19日 (土) ・出社。
 志村常務に, 14 日(月)に話しのあった海底ケーブル関係の KDD の活動状況の資料を提出。その際, 米国における最近の FCC を廻る太平洋の通信施設計画の動きについての情報を供給される。
- 21日 (月) ・役員・部長間 打合せ(9:00~11:00)
 ・FCC による 通信施設計画の策定動向を踏まえ, これへの対応を海底ケーブル委員会で検討するため, 傘下の三つの小委員会の joint working party で study する件につき, 猪股課長, 湯口調査役と協議。
 ・部忘年会。

- 22日 (火) ・横浜税関監視部長 ほかを訪問。松崎主任同行。(午前10:30)
早川運輸 中田参事の案内。
ケーブルデポの問題、海底ケーブル通信等の映画フィルムの貸与等を話題とし懇談。
- ・ハワイ, ATT Mr. Meierdiercks より Tel. : 明年政府関係者が調査のため, 二宮を訪問する。
- ・午後, 郵政省 電政局 松尾 技術室長 を訪問。(15:00~15:40)
織間 海建部長, 猪股 課長 同行。
日中ケーブル障害復旧対策の検討状況と, SPT との意見交換打合せの予定を説明。“あんこう網に対する補償”について, 郵政大臣から韓国通信部長官あて協力依頼文書を出した経緯もあり, KDD と韓国漁協とのより密接な話し合いが要望される。しかし, 中国側が, この問題をどう受けとめるかが問題との指摘に対しては了解する。
- ・NASC, 忘年 懇親会 社長招宴。(センチュリ・ハイヤット, ひすい宮にて)
- 23日 (水) ・幹部会議(臨時)10:00~12:00
長計 23 号案の審議。
- ・日韓大陸棚開発に対する日中ケーブル保護協力要請, およびあんこう網漁具に対する補償の問題の打合せに, 畠山課長ら, 郵政へ。
- ・SCARAB による日韓ケーブルの再埋設の経費について, ATT, MOC と協議のための, 社内決定処理を進める。
- 24日 (木) ・古河電工 村田浩氏 来訪, (10:30~11:40)。
・光海底ケーブルの開発, 明年6月開催の ICC における光海底ケーブル session の話しなど。
- ・富士通 室井氏より Tel, : 光海底ケーブル方式の実用実験時期, 沖一本ケーブルの状況など。
- ・富士通 奥村, 風間, 池田, 小野の各氏, 組織変更に伴うあいさつ。
海底伝送事業部の新設など。
- 25日 (金) ・ケーブルデポの用地に関し, 郵政省電政局監理課 柴田補佐から説明を求められたとのことで, 畠山課長と訪問 説明(14:40~16:00)
・自民党山下代議士(佐賀県)より, 去る7月にケーブルデポの問合せがあり, KDD に聞いて答えておいたが, その後の検討状況と見通しについて最近再度質問がでているので, それに対応したい。
- とのことで, 現状は, なお検討中 と説明。
- 26日 (土) ・上記の件, 志村常務に報告。
その後, 郵政より, 回答について, 数次にわたり畠山課長と協議が電話で行われ, KDD としての最終案をまとめる。
- 28日 (月) ・日中ケーブル障害対策に関する SPT との打合せの資料について佐藤(正紀)調査役と打合せ。
- ・SCARAB の経費, 日中ケーブル保護のためのアンコ網漁具補償に関する郵政省との打合せについて, 副社長へ報告。
- ・SCARAB による再埋設工事の報告(KDD→MOC)の英文の検討。
- ・“海洋土木事典”の海底ケーブルに関する項の構成について猪股課長と協議。
- ・OCC 斎脇氏 来訪。
- 29日 (火) ・SPT との打合せの 対応について, 織間部長, 佐藤役, 水野君と打合せ。
・年末あいさつ, 副社長, 志村常務, 大島, 木村 両氏へ。
昭和56年の,
仕事納。

1982年（昭和57年）

1月

- 4日
(月)
- ・仕事始め.
 - ・関連会社役員に対する会長，社長主催の新年祝賀会.
 - ・海技部 若手との新年懇親.
- 5日
(火)
- ・JTEC 主催 新年祝賀会(東京ヒルトン)11:30～13:00.
NTT，業界，関連法人等から多数出席.
(今野，佐渡，斎藤二郎など同窓生にも会う).
 - ・帰路，赤坂山王ビル まき網漁協に寄り，宮本，尾崎両氏に年賀。(両氏とも不在)
 - ・志村常務より.
来る1月18日～20日，ハワイで開かれる Pacific Telecomm. Confr. に出席する MPT 電政局 西次長から，太平洋方面のケーブル計画の推移，現状，動向等の資料提供を依頼された.
また，郵政省から，KDD における将来のケーブル計画の展望をきかせてほしいとの話もあるので，これらの資料を準備したい.
 - ・湯口，矢口 両君に これら資料の作成を頼む.
- 6日
(水)
- ・日中ケーブル障害復旧対策に関する SPT との会合の準備.
- 7日
(木)
- ・同上.
- 8日
(金)
- ・太平洋方面のケーブル計画の推移に関する資料について，打合せ.
志村常務，矢口，湯口君。(14:00～15:30)
 - ・志村常務 担当の技計，海底線 両部，の管理者(副参事以上)に対する常務招宴，について，1課長に arrange を頼む.
 - ・NEC 鈴木(欽)氏，シンガポール-メダンケーブルの応札について相談に来訪.
- 9日
(土)
- ・宮副社長に，日中ケーブル復旧に関する SPT との会合の対処について説明.
- 11日
(月)
- ・役員・部長 打合せ(9:00～11:00).
 - ・部内打合せ，(14:00～).
 - ・日中ケーブル，沖一本.
 - ・TPC-3，光ケーブル方式開発，船・デポ等 関連計画の取りまとめと実施の推進.
 - ・社内の協議決定の道のつけ方.
など.
 - ・人事部 林次長より，副参事クラス人事についての相談.
 - ・国際技術懇談会メンバーと関係部室長との懇親会，(17:30～).
- 12日(火)～16日(土)
- ・日中ケーブル復旧に関する SPT との意見交換会合に出席のため.
上海 出張.
- 18日
(月)
- ・上海での SPT との会合の様態を，志村常務，副社長，社長に報告.
 - ・TPC-3 に光海底ケーブルを適用するための問題 等について，討議。(14:00～16:00)
志村常務，湯口，矢口.

- 19日 (火) ・KCS 接続要員の増員について、KCS 関部長より資料送付さる。
 ・部内打合せにて、SPT との打合会合の様様を説明。
 ・NEC 田畑氏, FJT 奥村氏に、光海底中継器の生産への見通しについて意見を伺いたい旨、Tel. 連絡。来週、来訪を受けることとする。
 ・志村常務より、社長から ① 日中ケーブルの早急復旧を計るための資金等の問題の早急な検討、② TPC-3 計画についての検討を促進すること、について指示があったとのこと。
- 20日 (水) ・NTT 高橋敏郎氏夫人死去、告別式(本願寺和田堀霊廟)に参列。(14:00～)
 ・研究所 新納室長と昼食。
 ・郵政省 松尾技術室長に Tel. 日中ケーブル復旧、上海会合の報告のAppointment、(1月22日、14:00～)。
 ・斎藤二郎君 来訪。(15:00～)
 ・志村常務 担当、技計、海技、海建、各部 副参事 以上の常務招宴。(新宿会館)
- 21日 (木) ・日中ケーブル復旧の対策に関する上海会合の様様をまとめる。
 ・NASC 取締役会(11:00～)。
 ・参院通信委員長の 二宮中継所 訪問 視察の資料について、総務部 大矢調査役より相談あり。
 ・元通研 斎藤収三氏より、子息のKDD 入社希望について TEL あり、早稲田政経在学中、1月28日午後 15:30 より訪問を受けることとする。
- 22日 (金) ・幹部会(10:00～12:00)
 ・事ム簡素化分科会報告など。
 ・郵政省 電政局 技術室長 松尾氏に、日中ケーブル復旧に関する SPT との意見交換会合の様様を報告、(14:00～15:00) 織間部長 同行。
- 23日 (土) ・出社。
 ・CBC、新年パーティ、新宿会館、本年度はKDD が幹事を引受ける。
- 25日 (月) ・役員・部長 打合せ(9:00～9:45)。
 本年より、第2、第4月曜 9:00 より定例的に開く、こととなる。
 ・NEC 田畑氏来訪(14:00～15:30)
 光海底中継器に関し、問題点、生産体制確立までのプログラム、予想される生産能力、などについて情報を得る。
 ・「日中ケーブル復旧に関する SPT との意見交換の概要報告ならびに郵政省への報告」について、連絡カードにより、志村常務、副社長に報告。
 ・人事異動内命。(発令 1月29日。)
 高橋次長→建設部 次長へ。
 猪股課長→技計部 調査役へ。
 湯口調査役→海底線技術部 1 課長へ。
- 26日 (火) ・富士通 奥村氏、小野氏 ほか 来訪。(9:30～11:00)
 光海底中継器に関し、問題点とその解明状況、生産体制確立までのプログラム、予想生産能力などについて情報を得る。
 ・社長に、「日中ケーブル復旧に関する SPT との意見交換」の概要を報告し、併せて郵政省へも報告したことを、報告。
 ・日経新聞 松本記者より Tel. にて、日中ケーブルの修復関連の技術事項について問い合わせあり。
 1. 障害頻発時期(55年)と抜本策の検討開始時期の確認。
 2. 埋設深度の増大による工事費の増加の可能性：スピードを余り落さずにすむような技術開発を進めている、と説明

- 3. 新形埋設機の開発の見直し：モデル実験を経て、見通しを得ている。
 - 4. 回線は、衛星のみで疎通し、ホンコン経由のケーブル等は用いていない。
 - ・日中ケーブル臨時障害対策協議会への対応について、2課長らと協議。
 - ・国際部長と、OLUHOの次回調整委(12回)会合への出席者について協議。
- 27日 (水)
- ・OCC 齋脇氏 来訪, (10:30~11:30).
 - 1. A1 ケーブル撤去について、郵政省より、処分の仕方、経費の問い合わせがあった。
 - 2. 日中ケーブル, 沖一本ケーブルの様様。
2重外装で、5mm/7mm(5mm中張力鋼, 7mm軟鉄線)のものがある、とのこと。その寸法構造、破断張力、重量、価額等について情報提供を依頼。
 - ・猪股課長, 相模湾 A1 ケーブル撤去について、郵政省 総務部にて意向をきく、経費約 3,400万円、その予算がないので、何れ KDD に相談したい、とのこと。
 - ・昭 57 年度、事業計画の海底ケーブルの項について説明。
- 28日 (木)
- ・NTT 宮内一洋氏, (研究開発本部, 副本部長)就任のあいさつ, に来訪。(9:15~)
 - ・OLUHO 調整委 第 12 回会合(フィリピン), 技小委, への出席者について、国際部長より問い合わせ。
北村 海洋課長, 山本 2 課補佐 技小委へ, の案とする。
 - ・斎藤収三教授 子息(謙二郎氏) 来訪。(15:30~16:10)
早大政経学部在学中, KDD への入社試験を考慮中とのことで、会社の業務概要を説明。
 - ・研究所 新納君来訪, 光海底中継の NEC, FJT における製造に対する今後の見通しについて意見を交す。
 - ・ITT World Com. Chairman Mr. Knapp の来日に伴う KDD 関係者の招宴に出席。
- 29日 (金)
- ・人事異動 発令。
高橋次長, 建設部次長へ。猪股 1 課長, 技計部調査役に。
海技部次長に山村研究所次長 発令。
1 課長に, 湯口調査役が命ぜられる。
 - ・NASC 臨時株主総会 14:00~。葉氏の後任として、阿部氏取締役役に就任。
引続き 取締役会にて、社長に代る取締役の順位を決裁。
- 30日 (土)
- ・酒匂会, ゴルフコンペ。箱根カントリーにて。
- ## 2月
- 1日 (月)
- ・志村常務により沖一本ケーブルについて、go がかかったら即応できるようにとのこと。
総計, 技計, 海技・各部長間で、明日 協議することとする。
 - ・OCC 齋脇氏 来訪。5φ 7φ 2重外装ケーブルの資料持参。
 - ・日中ケーブル復旧のための、臨時障害対策協議会(第4回)会合を主催, (14:00~16:30.)
上海における SPT との意見交換の様様の報告と、今後の問題への取組みについての討議。
- 2日 (火)
- ・沖一本ケーブル建設計画の推進方法についての打合せ。(14:00~15:30)
・総計, 技計の各部長と打合せ。
方式として CS-12M を採ることによりいかどうかの議論。
総計部の検討資料を各部で検討し、その結果により以降の社内処理(常務会までのステップ)を考えることとなる。
 - ・商船三井 主催の懇親会(KDD, KCS の関係者)虎ノ門, 商船三井ビル
- 3日 (水)
- ・SCARAB による再埋設工事の費用, その他について、韓国 KTA と打合せのため訪韓の畠山課長と、提出資料, 打合方針等について協議。
 - ・ケーブルデポに関し、横浜市港湾局からの情報とそれに関する港湾局との打合せ状況につ

- いて、畠山、山本 両君から報告をきく。(日本鋼管跡地と、横浜新港の計画など)
- 4日 (木) ・KEC 図書の英訳原稿について、京極君と打合せ。
- 5日 (金) ・NEC 細川専務、田畑氏 来訪。光海底中継の開発についての NEC の計画を志村常務に報告、説明のため。同席し、質疑、(9:30~10:30)。
・山本修三君に、山口衛星通信所へ異動の内命。
・研究所 新納室長、光ケーブル海洋実験を、漁協の希望を入れ、3月から5月に延期する旨の連絡のため 来訪。
- 6日 (土) ・ITU. 国際周波数登録委員会委員 藤木栄氏 夫人の告別式に参列。(世田谷、奥沢教会、14:00~)
- 8日 (月) ・役員、部長間 定例打合、9:00~11:30。
・KCS より、タイマレーシアーシンガポールケーブル布設計画に KDD 丸を使用するに当たっての条件について、富士通との契約の際、如何にするかを打合せたいとのこと。(2月15日予定)。
- 9日 (火) ・海技部、部内 打合せ。
・新陣容後の 業務分担の確認。
・沖一本ケーブル、TPC-3、デポ等の進行状況。
- 10日 (水) ・9日朝発生の日航機羽田事故にて、日本遠洋旋網漁協の役員2人が死去していることが、判り、志村常務と小生名の香典をもって、弔問。(羽田空港さくらラウンジにて、金子会長、宮本、尾崎氏らに会い弔意を表す。遺族にも弔意、松崎君、同行。一遭難者、日本遠洋旋網漁協、副組合長 神徳氏、同専務理事宮田氏、)ー14:00時、KDD ビルに戻る。
・昭和57年度「設備計画案の概要」に関する労組意見書に対する会社見解についての 役員打合せ(15:00~、日中ケーブルの関係のみ 出席。16:00~)
・ケーブルデポ計画の今後の進め方について、部内関係者打合せ。
・湯口 1課長と、沖一本ケーブル、TPC-3、相模湾のアルミケーブル撤去、等の諸問題について意見交換。
- 11日 (木) ・祝日。
- 12日 (金) ・幹部会議 なし。
・人事異動発令。(5級以下、)
山本修三君、山口衛星通信所へ、浅見春雄君、茨城衛星通信所より当部へ。
・昭和57、設備計画に対する労組意見書への会社の見解の説明。(13:30~15:15)。
関係役員、(志村、高仲、赤井)、関係部長 出席。労組 依田委員長 以下。
・OCC 広島顧問 来訪、KDD 丸の他作業 従事時の問題について、話す。
- 15日 (月) ・畠山課長、韓国 KTA との打合せを終え、ソウルより帰り、その模様を報告。
・SCARAB による再埋設工事の経費。
・日韓ケーブル R-24 の故障 原因。
・KDD 丸 第2 経常費の説明。
・KCS/KDD 間の関係部長間 打合せ、(14:00~15:30)
KDD 国際 里見、経理 高橋、亀田。
KCS : 関、小林、秋元。
・ASEAN 三国ケーブルの布埋設に KDD 丸を使用する際の問題について。

1. 目的外使用：保守ケーブルの修理のため、中断するかどうか。
 2. 使用期間：保守用ケーブル等の積下ろし、積込みを除くかどうか。
- 協議の結果、前の東西マレーシアの時と同じにすることが望ましいが、中断したとき発生する費用のことを、考えないわけには行かないので、KDD で関係役員・部長間で協議し、方向を出すこととする。
- ・上記の件に関し、志村常務に報告説明し、了解を得る。
また、経理部長からも、担当役員の了解を得たとの連絡あり。
- 16 日 (火)
- ・ASEAN 三国ケーブルへの KDD 丸の使用条件の件。
△高橋経理部長、小林(見)KCS 部長へ電話し、志村常務の意向を説明。
△次長、2 課長にも状況を説明。
 - ・ケーブルデポの候補地選定のための社内検討処理手順について 次長、2 課長らと打合せ。
ケーブル船小委を経て、事案決定処理により、横浜市港湾局への依頼文書を出す。
(志村常務 名)：3 月末までに処理を要す。
- 17 日 (水)
- ・富士通 小山工場へ 出張。
研究所の海洋実験用試作、光海底ケーブル中継器の視察。
富士通側 新川顧問、川島氏、奥村氏ら 応待。
KDD 側、中込氏始め、本社、研究所より 10 名参加
- 18 日 (木)
- ・ASEAN 三国ケーブルへの KDD 丸使用に関する問題について、KCS へ示すための KDD 社内了解をとるべく、連絡カード用案文を作成し、経理部長、国際部長の了解を得る。
 - ・塚本氏より Tel. 中国との技術フォーラム用、光ケーブル方式の翻訳について KEC より照会があったので、KEC へのすいせん方を依頼したいとのこと。
KEC 稲見技術部長に Tel. 連絡し、以前の日中ケーブル関係での通訳としての技倆及び依頼費等を伝える。
- 19 日 (金)
- ・幹部会議(10:00～11:30)
 - ・OLUHO ケーブルの調整委、技小委への資料、対処方針について
湯口、北村、山本(照)君らと打合せ。(13:45～15:00)
 - ・ケーブルデポに関するケーブル船小委員会資料について、部内 関係者と討議。
 - ・CBC、定例(月例)会合に参加。
- 20 日 (土)
- ・出社。
 - ・志村常務より、TPC-3、関係を RART I とし、ケーブル船、デポを PART II として、2 回にわたり、役員連絡会へ出したいとの話。
資料について検討のこととする。
 - ・江幡君と、ケーブルデポの資料(船小委用)について検討。
- 22 日 (月)
- ・役員・部長打合せ。9:00～11:00)
 - ・ケーブル船小委に出す ケーブルデポ資料の検討。(2 課島山課長など)
- 23 日 (火)
- ・新宿 副都心クリニック にて コレラの予防注射(2 回目)をすませる。
 - ・富士通 奥村、小野両氏 来訪。(14:00～14:45)
OLU ケーブル布設替工事の際の Rep. 障害(電圧低下)の原因、及び日韓ケーブルの R-24 障害(サージによる)についての措置を協議。
 - ・OCC 斎脇氏 来訪。(15:30～16:00)
カプリングの調査等について。
 - ・NEC 清水氏(営業) 来訪。
光海底中継器の開発体制を NEC で新たにすることとなったとの報告。

- 24日 (水) ・OLUHO 調査委員会技小委への資料について 打合せ。
・ケーブル船 小委員会(第13回)開催(14:00~16:30)
ケーブル保守基地について 審議。
- 25日 (木) ・NASC 取締役会(第28回) 11:00~
昭和57年度 事業計画について、審議。
・OLUHO 技小委関係資料の検討
- 26日 (金) ・幹部会(10:00~11:00).
・KCS 関 総務部長に、M-S-T ケーブルへの KDD 丸使用に関する問題に対する KDD の考え方を説明。
・OLUHO 技小委への資料について、北村、山本君らと協議。

3月

- 1日 (月) ・海技部内打合せ、(10:00~11:30).
・幹部会議の様様。
・当面の主要業務。
・役員連絡会上げる、海底ケーブル関係の基本構想(PART I : TPC-3, PART II : ケーブル船、デポなど)の資料作成について、志村常務と打合せ。(山村次長、湯口課長 同席)
- 2日 (火) ・OLUHO 調整委員会 第12回会合、技小委、第12回会合に出席のため、フィリピン(マニラ、バギオ、クリマオ)に出張。
- 3日 (水) ・マニラよりバギオに移動。
- 4日(木)~5日(金)
・技術小委、12回会合。
議長を務める。
- 6日 (土) ・クリマオ ケーブル局 訪問。
- 7日 (日) ・バギオへ戻る。調整委員会へのレポートを作成。
- 8日 (月) ・調整委員会 会合、技小委の討議状況をレポート。
- 9日 (火) ・バギオよりマニラへ移動。
- 10日 (水) ・東京へ帰着。
- 11日 (木) ・志村常務にフィリピン出張の報告。
・NASC 古橋社長に 帰社の報告。
沖一本ケーブルに関する郵政省裁定に関し、この件を台湾へ伝える方法について、阿部取締役と協議するよう、指示あり。
- 12日 (金) ・幹部会議(10:00~)、途中で山村次長と交替。

- (金) ・ JASC, 及び日韓ケーブルの「MARCAS」による inspection について, 組合説明.
(11:20~11:40).
・ 浅見君, 矢口君と会食, 懇談.
・ 海技部内 打合(14:30~16:00).
・ 15 日からの日韓ケーブル保守専門家会議の準備.
- 13 日 ・ 出社.
(土) ・ 理髪.
・ OLUHO 資料の整理.
・ 午後, CBC, カルバートソン杯.
- 15 日 ・ 日韓ケーブル保守専門家会議.
(月) 昨年実施の, SCARAB による再埋設工事の経費, KDD 丸の back up charge など.
KTA より 3 名来日.
・ 夜, KTA 職員の志村常務招宴.
- 16 日(火)~17 日(水)
・ 同上会合.
- 18 日 ・ KTA 職員 二宮中継所, 見学 畠山課長 案内.
(木) ・ ケーブルデポ関係の関係役員懇談会(3 月 24 日)資料 打合せ.
・ 富士通 奥村氏, 小野氏と懇談.
- 19 日 ・ 日韓ケーブル保守専門家会議.
(金) ・ ミニッツ作成, 確認. 夜, 23:30 終了.
- 20 日 ・ 志村常務と諸問題, 打合せ.
(土) 1. 日韓・保守専門家会議の報告.
2. 沖一本ケーブルの推進: 海底ケーブル委, 事ム局で検討.
3. TPC-3, 等の役員連絡会: リハーサルと, 意見交換.
4. 日中ケーブル: 埋設機の開発.
・ 午後, 家族で, 日生劇場でミュージカル, 観劇.
- 21 日 ・ 山村, 佐藤, 畠山君らと ゴルフ, (寄居 CC).
(日) 春分の日.
- 22 日 ・ 振替休日.
(月)
- 23 日 ・ 湯口課長と, 沖一本ケーブルの建設推進に関する海底ケーブル委員会の開催について, 又,
(火) TPC-3 関係の役員連絡会のリハーサルについて, arrange の協議.
- 24 日 ・ 海底ケーブル保守基地(ケーブルデポ)についての関係役員懇談会. 14:00~15:45
(水) 大方について, 了承される.
・ 夜, 畠山課長と 懇談.
- 25 日 ・ 横浜市 港湾局 港務部長 中新井氏 を 訪問し, (MO 横浜支店長 前田氏同行), ケーブルデ
(木) ポ用地についての配慮方要請の文書(KDD 志村常務より, 港湾局長 あて)を手交, 協力に
ついて横浜市側から回答を得ることとする.
・ 横浜にて, 前田氏, 吉田船長, 畠山課長 らと 懇談.

- 26日 (金) ・星歯科医にて、前歯の欠損を治療：幹部会 欠席。
・海底ケーブル委員会の開催等について、総計、技計部と幹事会。(15:00～16:00)
・沖一本ケーブルの建設推進について、4月7日、午前に開く。
・その他、TPC-3計画等の役員連絡会での照会が変更され、関係役員懇談会で扱うことについて、意見交換。
- 29日 (月) ・役員・部長 打合せ。(9:00～11:00)
・引続き、“TPC-3計画の動向”等に関する社内打合せの方法について、打合せ、(11:00～12:30)。
4月7日、開催予定の海底ケーブル委員会において、沖一本ケーブルの建設推進に関する審議に加え、TPCの動向とそれへの対応について討議することとなる。
- 30日 (火) ・日中ケーブルの復旧に関するKDD/SPT間打合せについて、会合を5月の連休明けに開くことで、中国側も同意を示したので、その準備を進める、こととする。
・江幡君より、ケーブル船の技術調査の報告をきく、(山村次長、山本2課補佐)。
“事前検討”に関し、作業を進めるよう指示。
・星歯科医院にて、再度の前歯の欠損の治療。
- 31日 (水) ・志村常務、山村次長、小山へ、新形埋設機2/5モデルの最終実験を視察に行く。
・部内関係者と、沖一本ケーブルの建設推進について打合せ。
・星歯科、X線による検査結果をきく。

昭和56年度、終了。

昭和 57 年度

4 月

- 1 日
(木) ・ 第 29 回 会社創業記念日.
帝国ホテルにて式典, 祝賀パーティ, 11:00~14:00.
・ TPC-3 計画の見直し, 光海底ケーブル開発推進の必要性と対応についての, 海底ケーブル委員会資料作成の打合せ. (湯口課長と.)
- 2 日
(金) ・ 休暇.
吉田船長, 石川室長, 服部課長とゴルフ, (ごてんば).
- 3 日
(土) ・ 出社.
海底ケーブル委員会 資料(太平洋ケーブル計画の動向とそれへの対応)を作成.
- 5 日
(月) ・ NEC 細川専務, 西条常務, 田畑氏ら, 来訪, (10:00~11:00)
志村常務他と, 沖一本ケーブル, 光海底ケーブル開発等につき懇談.
とくに, 光海底中継器の開発のための NEC の体制, 及び開発計画について説明あり.
・ 20 年勤続, 40 年勤続 他の事業所長表彰が, 京王プラザホテルで行われ, 参列.
(11:30~14:00).
・ OCC 齋脇氏 来訪.
・ NTT における海底ケーブル建設時の調達方法, 等化処理方法の情報を受ける.
- 6 日
(火) ・ 大阪商船三井船舶 前田氏(横浜支店長), 観世氏 来訪.
ケーブルデポに関する調査 及び, 工事, 建設後の運用(荷扱い)等について.
・ KCS 白井工事課長の母堂の告別式(調布, 自宅にて), 弔問, 14:00~.
- 7 日
(水) ・ 海底ケーブル委員会 第 9 回会合 10:00~12:00.
・ 沖一本ケーブルの建設推進.
・ 太平洋域のケーブル計画の動向と, それへの対処.
について, 資料を提出, 審議.
・ 相模湾の実験用アルミケーブルシステムの撤去について郵政省と協議した結果と今後の措置について, 社長に報告. (連絡カードにより説明).
・ 成城尋常科, 同級のクラス会. (市ヶ谷会館.)
- 8 日
(木) ・ シンガポール TAS 総裁 Go Sen Kim, 及び, Mr. Sung Sio Ma, Dr. Chia Choo Wei 来訪.
国際部長 主催で, 総計部長らと, 会合に出席, 意見交換, (10:00~12:00).
・ 午後: 社長 ほか 会社首脳部への表敬の席に列席. (14:30~).
- 9 日
(金) ・ 幹部会議, 10:00~12:00.
・ 2 課長と, MARCAS による JASC, 日韓ケーブルの調査計画, 日中ケーブルの意見交換会合の準備状況など打合せ.
・ OLU の布設替え工事の関係者の慰労.
- 10 日
(土) ・ 出社.
- 12 日
(月) ・ 役員・部長打合せ. 9:00~10:30 (月)
・ 常務より, 5 月 17 日(月)に, 日高会長を KDD 丸及び辰巳倉庫(ケーブル保管庫)に案内する件について, KCS と arrange の協議方の話しあり.
- 13 日
(月) ・ 春闘, 朝 妥結.

- (火) ・終日、KEC 図書「国際海底ケーブル通信」英文原稿の check.
 ・畠山課長より、① MARCAS による JASC 調査の件。
 ② M-S-T ケーブルに従事する KDD 丸の使用契約(KCS/Fujitsu 間)の KCS 案。
 ③ 大阪支社に保全業務が移管したことに伴う、非常通信障害対策の改訂までの措置。
 等について報告。
- 14 日 (水) ◎研究所、計測研、石原室長、岩本主任研究員 来訪。
 MARCAS について、意見 交換。
 ◎GNTC. Mr. Larsen と、MARCAS による JASC の inspection の打合せ。(14:00~15:00)
 ・夜、Mr. Larsen と会食、(セリナ)
- 15 日 (木) ・KEC 図書、英文原稿の Check。
 ・SPT との打合会合(5 月 10 日~14 日)への対応について検討。
 ・WUI 招宴。(ホテルオークラ)
- 16 日 (金) ・郵政省 電政局 松尾技術室長に Tel。
 SPT との打合会合が予定され、準備を進めている。来週後半に説明に行く旨、伝える。
 ・幹部会議。(10:00~12:30)
 ・日中ケーブル復旧に対する SPT との打合せの対応について、次長以下と部内で協議。
 ◎広報室の要請により。
 東京新聞 杉山記者に、日中ケーブルの復旧についての取材に対応、:主として、埋設深度増大の技術開発、復旧対策に関するケーススタディ、SPT との会合の性格、経費と効果、アンコウ網漁協への働きかけ(協力要請)等。広報室長、同席。
- 17 日 (土) ・出社。
 常務に、東京新聞記者への対応について報告。
- 19 日 (月) ◎新形埋設機の開発の状況と見直し、問題点、進めるための社内手続き処理について、志村常務、織間部長と協議、(10:00~11:20)。
 ① SPT との意見交換会合で、SPT の意向を把握しつつ、開発を進める。
 ② 6 月に行なう、アンカ貫入度、底質調査の結果を入れて、実機大の試作設計を進める。また、KDD 丸の補強について検討する。
 ③ 実機大の試作、KDD 丸の補強等の実施について、7 月中旬に常務会へ付議する。
 ④ その結果を元に、SPT と特別会議を開き、復旧計画を確定する。
 ◎新技術開発委員会、海底線部会(第 6 回)に出席。(14:00~19:30)
 ・窪小谷さん(成城先輩)から Tel. 現、東北工大、(0222-29-1151, EXT 759)
- 20 日 (火) ・日高会長の KDD 丸、ケーブル保管施設視察スケジュール案について、加藤秘書と打合せ、(10:00~12:20)。
 ・斎藤収三氏(元通研、現東大医学部教授)子息、謙二郎君、来訪。
 早大政経学部在学中で、明年 KDD に就職したいとのことで、49 年早大卒の国際部皆谷君を紹介。(11:00~12:10)。
 ・KEC 図書、「国際海底ケーブル」の英語版 作成打合せ、(13:30~15:30)。
 ・SPT との打合せ会合の資料作成、等について、経理部と打合せ、(15:30~16:40)。
 ・NEC 田畑氏より Tel。
 12M 中継器部品のうち、金メッキマイカの製造を中止し、シルバードマイカを最近は使っている件について。
 ◎国際部長より、来る 5 月 24 日開催予定の、OTC(A)の呼びかけによる“インド洋ケーブル計画”に関する会合(Perth)への参加について相談あり。

- 21 日 (水) ・研究所, 新納室長より, Tel. (10:00)
近く東京で開かれるベル研との会合で, KDD から ATT へ照会中のケーブルカプリングの問題についても discuss したいと, BTL, Mr. Gleason から TLX で言ってきたとのこと, 5月6～8日にそのための時間を割いてほしい旨, 希望.
- 22 日 (木) ・KEC 図書「国際海底ケーブル通信」英文版について, 京極, 高井 両君と打合せ.
・東京新聞, 夕刊に, 日中ケーブル復旧対策の記事出る.
- 23 日 (金) ・幹部会議, 山村次長に代理出席依頼.
◎郵政省 電政局 松尾技術室長に, 「SPT との打合会合」に関する説明, 経理部 田中財務課長同行, (14:00～14:40).
・東京新聞の記事(22日夕刊)に関し, 警視庁 外事部 薬丸刑事 来訪し, 復旧への対策, 中国との協議状況などを説明. (15:00～16:00)
・社内, 東北大 出身者 同窓会.
- 24 日 (土) 休み, 寄居へ行く.
- 26 日 (月) ・役員・部長 打合せ. (9:00～10:30).
・荅北 高須所長へ Tel. (11:30～).
新聞記事(西日本新聞)に関し, 現在の状況等を話す.
・佐藤, 水野 両君と, SPT との会合の対処方針, 資料等について打合せ.
- 27 日 (火) ・KEC へ 国際海底ケーブル通信, 英語翻訳原稿の一部チェック済み返送.
- 28 日 (水) ・KDD 丸 吉田船長, 来訪. (11:00～)
日韓ケーブル再埋設部分の MARCAS による検査結果について, 意見をきく.
- 29 日 (木) 天皇誕生日, 祝日.
- 30 日 (金) ・SPT との日中ケーブル復旧に関する第2回意見交換会合の対処方針について, 水野, 佐藤君と打合せ.
・海技部内の異動昇進の上申について山村次長と協議.

5月

- 1 日 (土) ・出社.
・執務月報, 作成.
・理髪.
- 2 日, 3 日 休日.
- 4 日 (火) ◎MARCAS により行なった, 日韓ケーブル再埋設部分, 及び JASC 浅海部の inspection 結果について video による報告. (13:30～15:00)
研究所 岩本君, 白崎君 説明.
・日韓ケーブル再埋設部の調査結果の検討方法, ケーブルデポの推渉状況と対応について, 山村次長を通じ, 2課長へ指示.
・沖一本ケーブルの実施設計(計画), (業者選定, 調達を含む)を常務会へ付議する件につき, 湯口課長に指示.

- ・ OTC(A) 提案のインド洋方面の将来ケーブル計画に関する会合(豪州, Perth)へ, 海底線技術部から湯口課長を参加させる事案(国際部起案)の協議を了承.
- 6日 (木)
- ・ 日中ケーブル復旧に関する SPT との打合せ会合に出席の件につき, NASC 古橋社長に了解を得る.
 - ・ NEC 田畑氏より Tel.
MEDAN-PENANG ケーブルの契約調印(CS-5M 方式)が5月3日行われた.
布設は, NTT の黒潮丸に頼む予定, 58年4~5月頃.
 - ・ OCC 斎脇氏 来訪, (15:00~).
カプリング調査について, ほか.
 - ・ BTL, Mr. Runge, Dr. Gleason, 光ケーブルの討議に来日.
夜, 新宿会館で, Cocktail Party.
- 7日 (金)
- ・ 幹部会議.
海技部について, トピックの報告.
 - ・ 日中ケーブル復旧についての話し合いに上海へ出張する件について, 副社長, 社長にあいさつ.
- 8日 (土)
- ◎BTL, Dr. Gleason と, Cable Coupling の問題について, discussion.
- 9日(日)~14日(金)
- 日中ケーブル復旧に関する SPT との打合せ会合に出席のため, 上海 出張.
- 15日 (土)
- 出社, 資料 整理.
- 17日 (月)
- ・ SPT との会合の様態について, 志村常務に報告.
 - ・ 同上, 要点を, 建設部長 ほか 関係者に報告.
 - ・ 同上, 報告書の作成を進める.
 - ・ 1課長, 2課長より, 各業務の進捗, 問題等の報告を受ける.
 - ・ 総計部長より, 国際通信施設計画に関する MPT/KDD 連絡会議について, 話しあり.
- 18日 (火)
- ・ KEC 技術図書「国際海底ケーブル通信」英語版作成打合せ.
 - ◎SPT より依頼の, NTT 施設見学, 技術的討議を目的とする技術調査団の受け入れの件について, NTT 技術局 副島次長に Tel.
- 19日 (水)
- ・ NASC 取締役会 10:00~.
5期決算について.
 - ・ JASC/日韓ケーブルの MARCAS による検視のビデオを, 志村常務にみてもらい, 対策等につき 意見交換.
 - ・ 東京 保全部 徳江調査役を, 関東通信病院に見舞う.
- 20日 (木)
- ・ 特記事項なし.
 - ・ 昼, 湯口課長, 山村次長 と会食.
- 21日 (金)
- ・ 幹部会議.
 - ・ OCC 斎脇氏 来訪: 日中ケーブル復旧対策.
沖一本ケーブル, coupling の件など.
 - ・ Mr. Handley (ETPI, マニラ)より Tel. ICPC の件.
 - ・ 星沢氏と会食, 石川, 柴田 両君とも.

- 24 日 (月) ・役員、部長 打合せ、(9:00~9:45.)
・ASEAN M-S-T ケーブルによる KDD 丸を使用する際の契約条件、使用料について富士通と話し合うための案が KCS より示され、とくに全額については、これを KCS の最終案としたい旨である、との件、経理部長より話しあり。
- 25 日 (火) ・沖縄-台湾ケーブル保守会議の準備打合せ。
・NTT 国際局 坂下 次長に Tel.
中国 SPT より依頼の、技術調査団の派遣希望に対する、対応について。
- 26 日 (水) ・定期 健康診断。
- 27 日 (木) ・郵政省 技術室長 松尾氏 を訪問。(9:30~10:30)
日中ケーブル打合会合の報告。
・臨時 幹部会議：決算報告書案。
・新技術開発委。(14:20~17:00).
・海洋土木辞典 原稿 作成 打合せ(18:30~22:00).
NTT 側執筆者と、新宿会館にて。
- 28 日 (金) ・OKI-TAI ケーブル保守会議準備打合せ。
NASC, 社長以下。
- 29 日 (土) ・休。東北大同窓 21, G.C. つくばね。
- 30 日 (日) ・沖台ケーブル保守会議に出席のため、来日の ITDC. T.C. Chiang 社長 以下 3 名を羽田空港に出迎え。
- 31 日 (月) ・沖台ケーブル 第 2 回保守会議。
会合の Chairman を勤める。
- 6 月**
- 1 日 (火) ・同上。
・NASC 社長 招宴。
- 2 日 (水) ・ITA/KDD 間の ケーブル計画に関する意見交換会合に出席。(9:30~12:00)
KDD 側、総計部 渡辺次長、国際部 里見部長。
海技部、亀田、湯口課長。
・OKI-TAI-LUZ. 3 ケーブルによる restoration の問題についての、笹本常務, Mr. T. C. Chiang 間の会談に 同席。
- 3 日 (木) ・沖-台ケーブル保守会議 Minutes 確認。(10:00~11:30).
会議終了。
・郵政省主催、“国際通信施設に関する連絡会議” に出席。(13:30~15:40)
・OCC との懇談。(宮川社長 以下, KDD 志村常務 以下)
- 4 日 (金) ・幹部会議。
・CW(HK), Mr. Forestal より, Tel. (13:50~)
6 月 8 日(火)に KDD を訪問し, cable project(とくに, 将来の OKI-Hong Kong)について, 意見交換したいとのこと。

- ・志村常務と懇談.
- 7日 (月) ・富士通 奥村氏, 小野氏, 来訪. 14:00～ .
ASEAN M-S-T ケーブル建設進捗状況の説明.
- 8日 (火) ・施設近代化計画の一環として, 労組に対し, 沖縄-本州間ケーブルの建設について説明,
(10:00～10:15).
・CW(HK). Mr. Forestal 来訪.
Mr. Pemberton の名代として, 東南アジア等における海底ケーブル計画の新たな進展の動きに関連して, KDD とホンコン-日本間の新ケーブルに対する意見交換を求めてきたもの.
総合計画部, 国際部が対応し, 当部からは, 山村次長が出席.
シンガポール-ホンコン間のケーブル計画があり, CW(HK)としては, それへの対応に当り, KDD の将来ケーブル計画の意向を知りたいとしている.
・台湾 ITA 局長 他 に対する NASC 社長の招宴 に出席, (南園).
- 9日 (水) ・KEC 図書「国際海底ケーブル通信」英語版 作成 打合せ, (14:00～15:30), KEC 主催.
・海洋土木事典の原稿 整理.
- 10日 (木) ・日韓ケーブルの一部露出部の再埋設等の対策について,
関係者間で, 討議. (13:30～17:00)
・畠山課長と, 懇談, (みよし).
- 11日 (金) ・NASC 取締役会議. (10:00～)
・志村常務に, “海底ケーブル関連のトピック” を提出.
- 12日 (土) ・佼成病院にて, 胃の X 線検査.
- 14日 (月) ・役員, 部長 打合せ, 9:00～10:30.
- 15日 (火) ・KEC 図書 英文原稿のチェック.
・海洋土木事典の原稿のまとめ 一猪股・北村 両君と整理.
- 16日 (水) ・NTT 国際局 松本氏 より Tel.
中国 SPT 袁驊氏より, NTT 施設訪問の依頼文書が, 国際局長あてに来たことに対する問い合わせ経緯を説明.
- 17日 (木) ・海洋土木事典原稿のまとめ 一猪股・北村両君と検討.
次週, 6月22日に, 事ム局へ送付のこととする.
・安藤電気 岡村相談役より Tel.
- 18日 (金) ・佼成病院, 胃カメラ, 検査.
幹部会議, 山村次長に 代理出席 依頼.
・KEC 図書 英文原稿のチェック, 第IV編, 第3章, 終了. KEC へ返送.
・CBC 月例会. 新宿会館
- 19日 (土) ・出社.
- 21日 ・ケーブルデポについて. (畠山課長より.)

(月) 日本鋼管跡地の調査計画を、横浜市港湾局に示し、その実施を進めることについて意向を質す、他に希望者もある模様で、港湾局長にあって頼む必要があろうとのこと。

22日 (火) ・横浜市 港湾局長 小林氏を訪問。
商船三井大阪 前田横浜支店長 同行。
日本鋼管跡地を調査する件について、あいさつ。

23日 (水) 休暇。

24日 (木) ・KEC 図書英文原稿の check, 第IV編 第5章。

25日 (金) ・幹部会議。
・午後、佼成病院、検査結果の聴取。

26日 (土) 寄居。

28日 (月) ・JASC 保守会議, GNTC, ソ連, 代表との会食出席。
・東京支社長 招宴。

29日 (火) ・JASC 保守会議 出席, (午前のみ)。
・KDD 株主総会。
・夜, JCBL, IMP リーグ, (岩井, 内野, 半田 氏)。

30日 (水) ・NASC 株主総会 14:00～。
取締役会
・日韓ケーブル露出部 対策 打合せ: KCS 会議室, 14:00～17:00。
研究所, 海技・建, KCS 関係者, 間。
・NASC 懇親, (社長招宴。)北京大飯店にて

7月

1日 (木) ・“KDD・NTT 間の技術協力に関する協定”のNTT 案に対する検討 打合。技計, 研究所, 海技。
・KDD・関連会社, 役員 懇進, 新宿会館, 17:30～

2日 (金) ・人事部 林次長より, NASC 施設課長の人事について, 協議あり。

3日 (土) 休み: CBC, サマーパーティ, 伊東。

5日 (月) ・第1回, 役員(笹本常務)・部長(技計, 海技建, 建築)連絡打合せ, 14:00～15:00。
・交換職員のSPT 代表団の一員として, 来日中の高銀氏を昼食に招く, 水野君 同席。
・元 喜安研 吉田俊雄氏(現在, ダン科学)より, 子息(明大 法学部在学中)のKDD 就職希望について相談あり。
・元 NTT 技師長 山内正彌氏, NEC 専務へ就任のあいさつに来訪。

6日 (火) ・沖本ケーブルの機材調達に関し, 常務会へ付議する件について
山村次長, 湯口課長, 矢口補佐と協議。

- 7日 (水) ・人事部 林 次長より、石井シンガポール事業所長の異動の是非について照会あり、これに対し、① 人事の停滞を防ぐ、② M-S-TはFJTの仕事である、③ 8月に発令でも、実際に交替するには、月日を要するので、直ぐに当人がいなくなるわけではない、これから、後任者にもよるが、とくにこれを留める必要はない旨の意見を述べておく。
- 8日 (木) ・海底ケーブル委員会を廃止し、代りに“海底ケーブル計画推進連絡協議会”を設置したいとの意向が、総計部より出され、渡辺 同部次長 と討議。
社内の検討を円滑に、効率よく行うことに異論はないが、委員会でそれができないことはない(他委員会で実務を進めている例もある)のではないかと述べる。
・笹本常務に、日中ケーブル復旧対策の検討状況を説明。
・FJT. 室井氏より、M-S-T ケーブル布設時の漁業補償対策の参考にするため KDD での実施例を知りたいとの Tel. 山本 2 課補佐を通じ情報を与えることとする。
- 9日 (金) ・幹部会議、(10:00~12:00)。
- 12日 (月) ・海 技部 部内打合せ、(9:30~11:30)。
・国際通信施設計画に関する連絡会議(第2回)
郵政省にて。(14:00~15:00)。
- 13日 (火) ・日中ケーブル復旧対策の社内協議の進め方について、次長、2課長と協議。
・笹本常務に、TPC-3 計画関連の Telecom Jour. 資料 提供
・志村元常務に対する、海底線 関係者の 謝恩会 (新宿会館)。
- 14日 (水) ・臨障協の会長に、石井副社長をあてる件につき、対外的にそれが妥当との意向を笹本常務が増田社長から得て、副社長に了解を得ることとなる。
・ケーブルデポ用地について、児島常務より、(織間部長 経由)。
自民党通信部会長 山下徳夫代議士から、ケーブルデポ用地について聞かれたので、“横浜に決ったような”話を、社長ともどもしたとのこと。郵政省 監理課 からの話のあった経緯(56.12月)を説明する。
- 15日 (木) ・石井副社長に、臨障協について説明、会長就任の了承を得る。
・KEC. “国際海底ケーブル通信” 英語版 作成 打合せ。(KEC 主催)14:00~16:00。
- 16日 (金) ・幹部 会議。
・笹本常務より。
郵政省 守住次官が就任あいさつに見え、常務以上で会談したが、日中ケーブルについて、
① 建設当時は4人組の時代で、沖縄陸揚げを拒否されたが、現在は考えが変わっている。
② 北京と上海間は(郵電部/SPT 間は)、必ずしも、じっくりしていない。日中ケーブル復旧について、北京は上海に、コメントしている。
③ 資金的には、国庫納付が少なくてよいようになった(40%→20%)ため、復旧費の心配はなくなった。
(以上、何れも、すでに当方では了知済み。)
- 17日 (土) ・出社。
・午後、銀座 詩季画廊にて、中野朝安君の個展を見る。
- 19日 (月) ・人事の問題で、笹本常務、山村、高橋次長らと協議。
シンガポール事業所長の異動に関連して。

- 20 日 (火)
- ・人事部 林次長より。
 - NASC 施設課長の人事：9月30日に実施するとのこと，了承。
 - ・日中ケーブル海域での，アンコウ網錨貫入度の調査実験について報告打合せ。
(13:30～16:30)海技部，海建部，関係者。
 - ・ASEAN M-S-T ケーブルの布設工事实施に当たっての，富士通 主催，KCS，KDD 関係者 懇親。
(ホテル，サンルート)
- 21 日 (水)
- ・人事部 林次長より。
 - シンガポール事務所長の異動人事について，江幡調査役の個人的事情の有無確認を依頼される。確認 OK。
 - ・New York 事ム所 近藤 所長 宅へ Tel. (JST, 12:40.)
9月13日の週にフロリダで開催の ICPC 総会に，N.Y. 事ム所から出席可能かどうかを訊ねる。国別通信事情調査として アラスカの調査を9月に予定しており，又 9月6日からの KDD 局所長会議に出席後，本社で海外事ム所長会議もあるので，どうしても というのでなければ，本社から誰かを出席させるよう計らってほしいとのこと。
 - ・組合本部 書記長 交代で，八旗氏と，新任の松尾氏あいさつに来る。
 - ・臨障協 第5回 資料について，山村次長，畠山課長と協議。
 - ・浜田漁協から，日韓ケーブル保護について，ブイ設置に対する苦情と補償の問題が出ているとのことで，山村次長，畠山課長に建築部と協議を指示。
- 22 日 (木)
- ・埋設関係 開発のうちの，探索開発グループの打合会合に 出席。
 - MARCAS による，日韓・日中ケーブル海域の底質調査等の状況報告をきく，(えびす駅前，マエビルにて，13:30～17:00)。
- 23 日 (金)
- ・島根県機船底曳漁連(松田会長)より，日韓ケーブル露出部保護のためのブイ設置の継続について，強硬な態度が示されているので，その対策としての補償金(迷惑料)の交渉方針について，建設部長より笹本常務に説明，打合せ。小池課長，畠山課長への現地交渉方針を定める。
 - ・第5回臨障協会合の資料について，山村次長，佐藤調査役と協議，最終的なまとめを指示。
- 24 日 (土)
- ・志村杯 取切り戦 ゴルフ・コンペ。(川越カントリー)。
- 26 日 (月)
- ・ASEAN M-S-T ケーブル布設工事に従事のため，出航する KDD 丸を横浜港で見送り。
11時，出港。
KDD 石井副社長，笹本常務，KCS 木村相談役，志村社長 ほか，見送り。
 - ・大阪商船三井の観世氏ほかの案内で，ケーブルデポ候補用地の日本鋼管跡地を海上より見る。(11:00～12:00)。
- 27 日(火)～30 日(金)
- ・夏季 休暇。
沖縄。
- 30 日 (金)
- ・沖縄国際通信事務所で，沖本ケーブルの海洋調査の中間報告を，調査に携った海建部北村課長からきく。
夜，ANA90 便で，沖縄発，東京へ戻る。
- 8 月**
- 2 日 (月)
- ・人事異動発令：江幡調査役，シンガポール事ム所長へ。
 - ・役員・部長連絡 打合せ会，14:00～ 。

- (笹本常務, 技計部吉田次長, 海・技・建 部長, 建築部長).
- 3日 (火) ・第5回日中ケーブル臨時障害対策協議会, 14:00~17:00.
検討 経過, 今後の進め方, 等.
- 4日 (水) ・次・課長と打合せ. (10:00~11:00)
江幡君の異動に伴う, ケーブル船の検討体制について協議.
① 山村次長を中心に, 海技・建部, KCS の関係者でグループをつくり検討する, (海底ケーブル委員会の廃止により, ケーブル船小委が消滅したことの措置として).
② 新技術開発委の「ケーブル船 新技術調査 グループ」のリーダーは, 2課山本補佐が引継ぐ.
・OCC 斎藤氏来訪: 沖本, ANZCAN, カプリング等の状況について.
・笹本常務と, 12日(木)常務会付議の「沖本ケーブル機材, 設備の手配」についての資料の検討.
・宇和野君より, 知人令嬢(東京女子大, 国文科在学)のKDDへの応募について問合せ, 事務を希望とのこと, 電話局要員は募集するが, 事務員は欠補充のみで, 縁故採用となることを説明.
- 5日~7日夏季, 特別休暇.
軽井沢, 阪本, 平山先生, 岩井さん 他.
- 9日 (月) 次長, 課長より, 報告.
1. 苓北沖 水深30m付近で, 漁業者のアンカーがケーブル(防護管?)に掛ったらしいので, ブイを打ってそのままにしてあるとのこと, ケーブル位置の確認と, ケーブルに掛っている疑いが濃ければ, ダイバーを使って処理することを指示.
2. 二宮における台風10号の被害が: ① アースケーブルの羅障をATT(Mr. Meierdietcks, Mr. McCullough)に TLX. ② ボックスカルバート内の舗装: 簡易舗装でなく, 恒久的なコンクリート舗装と, その下を管路化することの可否を沖本ケーブルの工事もあることを考慮して検討するよう指示.
3. GNTC. 日本駐在の Mr. Larsen の代理(Mr. Radich)との会食.
4. 沖一本ケーブル用設備の手配についての常務会資料, の改訂.
・人事異動.
水野君, 東京支社 保全部, 係長へ移動 昇任.
- 10日 (火) ・日中ケーブル臨障協の討議結果に基づき, SPT へ意見交換会合を開いて協議したい旨, 水野君に Tel. させる.
・GNTC, Mr. Radich と会食, (野村ビル, 桃里).
山村次長, 水野君, 同席.
- 11日 (水) ・海底ケーブル建設計画に関する連絡協議会, 第1回会合, (14:30~17:00).
1. インド洋ケーブルに関するデータ集收のためのシドニー会合(8/23~)への対処.
2. TPC-3 計画への対応.
- 12日 (木) ・常務会に 沖一本ケーブルの主要機材の手配について付議.
定例記者会見で, 資料説明を途中で笹本常務が中断のため, 以降の説明を引継ぎ, 了承を得る.
・午前 郵政省通政局での, 国際通信施設に関する連絡協議会(山村次長に代理出席を依頼)に出席の井上総計部長より, 沖本ケーブルの推渉状況について, 郵政省に説明して欲しいとの話して, 五十嵐業務課長に連絡.
・日中ケーブルの復旧対策のその後の進捗状況について, 郵政 通政局 技術室 矢島補佐より問い合わせ. 近く衆院通信委 水野委員長 ほか6名の訪中があるかもしれないが(8月25日~), その資料収集のためとのこと.

- ・笹本常務と、常務会の状況、その他(日中ケーブルの復旧対策の検討状況の社長への報告、郵政への報告 等)について話す。
- 13日 (金)
 - ・幹部会に、昨日 常務会審議の 沖本ケーブルの機材手配について報告。
 - ・臨時障害対策協議会 議事要旨のまとめについて、佐藤 調査役と協議。
- 16日 (月)
 - ・笹本常務、部長 打合せ(臨時). 11:00～
 - ・常務会、定例記者会見(8/12)の模様、常務 米国出張(9月末～10月上旬)の予定など。
 - ・衆院 水野通信委員長 ほか 5名が、中国の招請で、8月25日より 北京、西安を訪問する予定(総務部 梶原調査役より)で、日中ケーブルの障害復旧対策の推進状況について、郵政省 電政局 技術室より問い合わせを受けている件を報告。
 - ・臨障協における日中ケーブル復旧対策の検討状況及びSPTとの意見交換会合について意向打診中であることを、社長に報告。
 - ・人事異動(8月9日)に伴う、歓送迎会、(江幡、水野、藤沢君ら)―北京大飯店。
- 17日 (火)
 - ・ソウル事ム所に依頼した鮫鱈網の動向調査の報告を笹本常務にあげる、社長、副社長へも供覧のこととする。
- 18日 (水)
 - ・副社長への、業務説明のための、資料について検討。
- 19日 (木)
 - ・郵政省 通政局 技術室 松尾室長、矢島補佐に、日中ケーブルの復旧対策の検討状況について訪問、説明。(11:00～11:50)、織間部長 同行。
 - 復旧が永びくと、ケーブルの存在の意義に疑問をもつ動きが出てくるのが懸念されるとの意見あり。
- 20日 (金)
 - ・笹本常務と、日中ケーブルの復旧について協議、SPT ヘルート変更について予め検討して第3回意見公開会合へ臨むよう電話連絡することです。
 - ・KEC. ‘国際海底ケーブル通信’の英語版 作成打合 14:00～16:00。
 - ・研究所 天野主任 研究員と、光海底ケーブル方式の研究開発のあり方等について意見交換。
- 21日 (土)
 - 休み、佼成 HP. 皮膚科。
- 23日 (月)
 - ・日中ケーブルの復旧打合会合に対する、検討。(部内関係者、9:30～11:00)。
 - ・SPTより、会合を9月21～9月28日に開きたい旨の Tel. 同意。
 - その折に、ルート変更についての意見交換をしたい旨を伝える。
 - ・ルート変更が表面に出た場合の反響が大きいと考えられ、とくに、労組、NTT、地元等に対し予め うまく “ウォーニング” をしておく必要がある。
 - 畠山課長を通じ、労厚部 村上次長に、状況を伝え、組合との間に大きな問題が生じないよう配慮を求める。
- 24日 (火)
 - ・部内 打合せ(9:30～11:30)
 - 要員計画、長計24号作成への対応、対漁協の連絡窓口の一本化と漁協への事前説明の要、関係中継所の合同 打合せの要、など。
 - ・広報室長(福田氏)と、日中ケーブルの復旧対策の問題と、ルート変更が事前に報道関係者に洩れた場合の懸念について協議。
 - ・当面、この情勢の変化があり得ることは、できるだけ外部に洩れないようにすることとする。
 - ・笹本常務に、日中ケーブル会合についての SPT との協議の模様、ならびにルート変更案に

より沖縄へ陸揚局を移すことの外部への影響を考慮し、関係方面への事前の非公式説明の要を述べ、了解を得る。

なお、ソウル事ム所からの調査報告の供覧により、社長もアンコウ網操業域が北緯 30° 付近までという点に関心を示されているとのこと。

- 山村次長、湯口課長と 光海底ケーブル方式の開発の進め方について意見交換。
- 25 日 (水)
- 郵政省にて、電政局 業務課 内田補佐 ほかに、沖一本ケーブルの建設推渉状況について報告：(営業企画部長、ほかと)、10:00~11:30.
 - KCS 志村社長に、Mr. McCullough の retire に対する返電 TLX copy を渡す、ケーブルデポ等について雑談。
- 26 日 (木)
- 日中ケーブル復旧に関する意見交換会合の開催について SPT と協議中の状況を、社長まで連絡カードで報告。
- 27 日 (金)
- 幹部会議。
- 28 日 (土)
- 休み。
安藤電気 岡村相談役、KCS 志村社長 と ゴルフ。
- 30 日 (月)
- 笹本常務に 報告。
 1. 日中ケーブル意見交換会合。
 2. Mr. Tuttle, Jr. からの Mr. McCullough の退職と、その後任に Mr. Poythress になる旨の TLX 通知。
 3. TPC-3 関連のこれ迄の会合の経緯の資料。
- 31 日 (火)
- ダン科学 吉田俊雄氏に本年度の職員募集要項について連絡。
来訪を受ける。

Memorandum 8

(KDD 本社)

1982年9月1日～1984年2月17日

1982年（昭和57年）

9月

- 1日
(水)
- ・新技術開発委員会(第57回), 14:00~17:30.
 - ・東大海洋 研那須先生の招待について 笹本常務に諮る.
- 2日
(木)
- ・TPC-3計画に関するATT/KDD 予備会合への対応について打合せ。(関係部長間)
 - ・総計部 主催, 10:00~12:20.
 - ・ICPC 会合への対応方針について山本補佐と打合せ.
 - ・日中ケーブル復旧のためのSPTとの意見交換会合への対応について, 部内打合せ, 対処方針の作成を指示, (次長, 2課長, ほか).
- 3日
(金)
- ・幹部会議, (10:00~11:10).
 - ・ソウル事務所 木下所長, 局所長会議出席のため, 帰国し, 来訪.
 - 日中ケーブル海域の漁業操業状況の図面を持参.
 - ・OCC 斎脇氏 来訪, 懇談(15:00~15:40).
 - 日中ケーブル復旧に際しての, ケーブル価格の推定について, 光海底ケーブルの問題について.
- 4日
(土)
- ・出社.
- 6日
(月)
- ・57年度, 局所長会議.
 - 総合会議, 10:00~12:30.
 - 個別会議, 16:15~17:30. (笹本常務, 担当 各部).
 - ・役員, 部長 連絡打合せ 14:00~15:00.
 - ・局所長に対する懇親会: 会長, 社長以下全役員, 部室長.
 - ・ルックジャパン 井上氏より, 寄稿依頼, 多忙を理由に先へ伸ばす.
- 7日
(火)
- ・研究所 太田次長, 新納室長, と昼食懇談. (京王プラザホテル, 樹林).
 - ・笹本常務に, 日中ケーブル意見交換会合の対処方針の了承を得, さらに, 埋設深度増大の技術開発(江副式, ハイブリッド方式など), ケーブル船の問題など, の討議.
 - ・大阪商船三井船舶(MO)の横浜支店長の交替で, 新旧支店長ほか挨拶来訪.
- 8日
(水)
- ・ICPC '82 総会に対する準備打合. (10:00~12:00)
 - 山本2課 補佐, 法務部 栗林課長
 - ・大阪支社 鈴木(欽)保全部長, 来訪: KTA(韓国)とのケーブル保守会議について.
 - ・荅北中継所 小野所長 あいさつに来訪.
- 9日
(木)
- ・ICPC フロリダ会合の準備.
 - ・研究所岩本主任研究員に, MARCAS の諸元詳細をきく.
 - ・各議題についてのメモ作成.
 - ・三井造船 船舶海洋プロジェクト事業本部, 基本設計部長 玉木氏, 営業部長 三橋氏来訪.: ケーブル船の船形に関する調査を終了したことに伴う挨拶.
- 10日
(金)
- ・幹部会議, 山村次長に代理出席依頼.
 - ・電気通信科学館の見学について, 河合貞夫氏に問い合わせ, SPT の代表団を9月23日に案内する件.
 - ・NASC 古橋社長に ICPC 出席のため, 海外出張することについて了承を得る.
 - ・GNTC Mr. Larsen に, ICPC 会合に MARCAS による JASC の海岸部調査結果を報告することについて了解を得る.

- ・局所長会議出席のため、帰日中の近藤 N. Y. 事務所長に、9 月 17 日夜泊のホテル予約を依頼。
- 11 日 (土) ・ ICPC '82 総会 (Ft. Lauderdale, Florida, U.S.A.)に出席のため、米国出張、9/11～9/19。
成田発、同日付で N. Y. J. F. K. 空港着。
直ちに Delta Airline に乗り継ぎ、Fort Lauderdale へ。
Bahia Mar Hotel に check in.
- 12 日 (日) ・休養。
- 13 日 (月) ・ ICPC, 太平洋・極東地域会合。
Mr. Pitt (C&W, PLD) の Chair で行なわれる。
- 14 日 (火) ・ '82 総会, 第 1 日。
夜, reception, (Pool Sside).
- 15 日 (水) 同上, 2 日目。 Mr. Caningham による SCARAB の紹介。
夜, reception, Dinner.
- 16 日 (木) 同上, 最終日
- 17 日 (金) 朝, Ft. Lauderdale 発, N. Y. へ。
N. Y. 事務所 訪問, Balbizon Plaza Hotel 泊。
- 18 日 (土) N. Y. J. F. K. 空港 発, PANAM にて帰国。
- 19 日 (日) 成田着。
- 20 日 (月) ・ 笹本常務に帰国あいさつ。
・ 日中ケーブル復旧, 意見交換会合 (第 3 回) 出席のため来日の SPT 代表を成田に出迎え
袁驊氏 ほか。
- 21 日 (火) ・ KDD/SPT 会合 第 1 日。
・ 夜, 笹本常務 招宴 (北京大飯店)。
- 22 日 (水) " 第 2 日
- 23 日 (木) 祝日 : 電気通信科学館, 大相撲に案内。
- 24 日 (金) ・ 会合 第 3 日。
・ 夜, 東大海洋研 奈那教授と の懇談 (笹本常務, 江幡君, 織間, 北村)。
- 25 日 (土) ・ SPT 代表団, 茨城衛星通信所へ, (織間部長 案内)。

- 26日 (日) ・ SPT 代表団を、富士山観光へ案内。
- 27日 (月) ・ 会合 最終日。
午後、SPT は、NEC、相模原工場へ。
・ 東大海洋研 奈那教授の依頼により、同研究所 友田教授と連絡をとり、水中 TV による海底状況の観測に関する KDD の実績を、日仏共同海溝調査(1985年実施予定)のためのセミナー(昭57. 10月28日, 29日予定)に紹介する件について、KDD 研究所 計測研に伝え、岩本、白崎両君が準備を進めることとなる。
- 28日 (火) ・ 日中ケーブル復旧に関する意見交換会合の様態について、速報を作成。
笹本常務、副社長、社長まで報告。
・ SPT 代表、離日を、センチュリ・ハイアット ホテルにて見送り。(9:15.)
・ ICPC 会合の報告について、法務部 栗林課長と協議。
- 29日 (水) ・ 国境局(海底線中継所)の保守態勢(休日、夜間無人化)についての打合会合、(通信部主催)に出席(10:00~12:00)
- 30日 (木) TPC-3/HAW-4 計画に関する ATT との予備打合会合に出席、(国際部)。
夜、センチュリ・ハイアット ホテル、27F、シュノンソー にて会食。
・ CW より、LUHO ケーブルのレベル低下が再発したので、SEACOM(ホンコンーグアム間)の障害修理(57.8.24~57.10.4)の終了後、C.S. Recorder がシンガポールへの帰途、計画修理を行いたいとの申し出、があり、了承。(ETPI も同意)。
- 10月
- 1日 (金) ・ TPC-3/HAW-4 に関する ATT との会合、第2日。
・ 昼、京王プラザホテル、いなぎくにて会食。
・ 夜、KDD ビル 32F、シャンポール にて レセプション。(副社長 出席)。
- 4日 (月) ・ TPC-3/HAW-4 に関する ATT との会合 最終日。
ミニッツ確認。 : 11:00~12:30。
昼、ATT 側の招待で、新宿センタービル、53F、Leda で昼食。
- 5日 (火) ・ 日中ケーブル復旧に関する臨時障害対策協議会(第6回)の開催日取りについて、石井副社長の都合確認。10月18日(月)14:00~, とする。
・ KCS 江副さん来訪。日中ケーブル復旧と、再埋設、新形埋設機等について意見交換。
- 6日 (水) ・ ANZCAN Cable のケーブル検査に来日中の NZPO Mr. Thompson から Tel. Cable Coupling の改善 modification について、OCC から提案をうけているが、KDD で進めている 1.5" ケーブル用 coupling(Termination Eqpt.)の検討状況、評価により、確かめたい模様。
KDD は、1" cable 用 coupling そのものは検討していないが、1.5" 用と同じ考え方で、main protector と boots の改良をしているなら、問題なからう、と答える。
・ 上記の件、OCC 齋脇氏に Tel. し、情報交換。
・ ASEAN M-S-T ケーブル第3次布設に従事の畠山課長 帰着。
日中ケーブル復旧に。 関し、協議、(臨障協の開催と進め方)。
- 7日 (木) ・ OCC 齋脇氏 来訪。(13:00~14:00)。
ANZCAN ケーブル用 1" カプリングの改修状況と、NZPO(OTC)への対応について。
・ 光海底ケーブル方式の開発体制についての関係 所部長 打合せ
・ 技計部長、研究所長、海技・海建 各部長。(主催 技計部、14:00~16:20)。
・ 海技部に専担組織をおき、専担者を所属させて推進する。

- ・東北大 電通同窓会 東京支部総会, 18:00~, 霞ヶ関ビル.
- 8日 (金)
 - ・幹部会(10:00~12:00)
 - ・NZPO Mr. Thompson 来社. (15:00~)
 - ANZCAN ケーブルの E 区間に用いる OCC 製 1" カプリングの改修に対する KDD の意見を求めに来る. 湯口課長 対応.
- 9日 (土)
 - 出社.
 - 笹本常務 米国出張中の処理事項の報告作成.
- 10日 (日)
 - ・ANZCAN MST ケーブル工事を終了し, 帰港の KDD 丸出迎え. (横浜, 13:00~)
- 11日 (月)
 - ・10月10日のふり替え休日.
- 12日 (火)
 - ・笹本常務 急病のため, 帰国が1週間遅れるとのこと.
 - ・国際通信施設計画に関する連絡会議(第5回) 於 郵政省, 14:00~16:00.
 - ・上記会議終了後, 電政局 松尾技術室長に, KDD/SPT 意見交換会合(第3回, 9/21~9/27)の模様を報告.
- 13日 (水)
 - ・笹本常務代行の松本常務に, 当面の処理状況について説明.
 - ・茶北中継所の保守態勢暫定措置についての労組折衝において, 日中ケーブル復旧策の推進状況を説明, (13:40~14:20).
 - ・法務部 栗林課長と, ICPC '82 総会の報告について打合せ.
- 14日 (木)
 - ・長計 24 号における海底ケーブル関連の計画案について, 海技部内で討議.
 - ・ケーブル船の事前検討の中間報告の取りまとめについて, 山村次長と協議.
- 15日 (金)
 - ・幹部会, 10:00~12:00.
 - ・新技術開発委員会(第58回), 14:00~18:00.
 - ・MST 海底ケーブル敷設工事完了に伴う, 慰労会, (KCS 主催), 18:00~20:00.
- 16日 (土)
 - ・KCS 志村社長 ほかと, 懇親, ゴルフ, (よみうり).
- 18日 (月)
 - ・笹本常務, 病気療養のため, 米国滞在 延期とのこと(秘書室長より).
 - ・日中ケーブル復旧, 臨時障害対策協議会(第6回)会合 14:00~15:30.
 - ・NEC/OCC の依頼により, ANZCAN ケーブル用カプリング(1")の船上テストを KDD 丸で実施, (10/18日~10/19日).
- 19日 (火)
 - ・KDD 丸に代る新船建造に関し, 長計 24 号への対応を含め, 海技建両部関係者間で, free discussion, 15:00~16:30.
 - ・日韓ケーブル保守会議(第2回)出席が決り, 旅行社(スターレーン航空サービス)とスケジュール打合せ.
- 20日 (水)
 - ・ICPC 会合 draft minutes 送付され, 栗林課長と検討.
 - ・長計 24 号, 海底ケーブル関係の計画作成用基礎資料について, 湯口課長と協議.
- 21日 (木)
 - ・NTT との技術協力協定に関する打合会(技術計画部 主催), 総務, 法務, 営業企画, 研究所等 各関係部より出席.

- ・日中ケーブル R8/R9 間に、10月19日 新たな障害発生との報が、SPTより電話連絡(汪義舟→水野)にてあり。

- 22日 (金)
 - ・幹部会
 - ・長計24号海底ケーブル関係の計画作成用基礎資料について、湯口課長と協議。
 - ・ケーブル船の問題について、松本常務と意見交換。

- 23日 (土)
 - ・休み。
 - CBC, 木村 杯。

- 25日 (月)
 - ・YDK(元 吉田電気)のNSビルへの移転, 披露, 12:30~
 - ・KEC 図書 国際海底ケーブル英語版 作成 打合せ, (KEC 主催)14:00~15:30
 - ・ケーブル船の問題について, 畠山課長と協議。
 - KDD 丸の老朽度の調査に関するMOとの打合せ, 状況等。

- 26日 (火)
 - ・長計24号 海底ケーブル計画に関する総合企画会に出席。(14:00~16:00)
 - TPC-3 沖一本, ケーブルデポ, ケーブル船 など。
 - ・シンガポール 江幡事務所長より, C.S. Recorder による M-S-T Cable の Repair No.1 は終わったとの Tel 情報。
 - ・新宿 Guild, 脱会。

- 27日 (水)
 - ・高松取締役より。
 - BT との打合せの席で, TAT-8 について, 多数地点間の接続, sub-dividing を考えているとの話しのほか, 調達については, 複数メーカーの joint venture もあり得るとの情報を得たが, TPC-3 でもこのような情勢になることを予想した方がよいのではないかと, どの suggestion, あり。
 - ・梶山秘書課長より,
 - 笹本常務の帰国は, 当初10月末と考えられていたが, 医師の許可が下りず, 更に1週間延びで, 11月7日頃になりそうである。帰国後の静養期間も不明であるが, 当分, 松本常務に代行してもらおう, とのこと。

- 28日 (木)
 - ・労厚部 村上次長の依頼により, 荅北中継所の保守見直しに関し, 労組本部 松尾書記長, 合対部長が, 日中ケーブル復旧の見直しについて, 非公式意見をききたいとのこと, で, 当方の考え方として調査(11月実施予定)結果によるが, 可能であれば昭58年末の復旧もあり得ることを示唆。(10:00~11:00)
 - ・国際通信施設計画連絡会議 出席。(郵政, 14:00~16:00)
 - 光海底ケーブルシステムの開発, ケーブル船について説明。
 - ・石井調査役(前シンガポール事業所長)本日より出社。

- 29日 (金)
 - ・幹部会議(10:00~12:10)。
 - ・日韓ケーブル保守会議(第2回)への対処方針について, 畠山課長と協議。

- 30日 (土)
 - 出社。

- 11月**
- 1日 (月)
 - ・海技部 内 打合せ, 10:00~11:00。
 - ・石井調査役の担務: 今後のケーブル計画関連。(TPC-3, 日本-香港など)。
 - ・当面の業務, と会合。
 - ・光ケーブル開発体制と, 所掌の見直し。

- ・沖一本ケーブルの 3kHz 運用と 4kHz 運用の是非に関し、関係部門間で打合せ(総計部 主催, 技計, 国際, 計理, 海技, 各部長 出席).
- 2 日 (火)
 - ・日韓ケーブル露出部の保護対策についての, 研究所関係者との打合せ結果について, 山村次長, 畠山課長から報告.
MARCAS による方法と, 船団によりアスファルトマットを蔽せる方法, について
昨日, 討議されたとのこと.
 - ・石井調査役 帰国 歓迎会.
- 3 日 (水) 祝日.
- 4 日 (木)
 - ・光海底ケーブル開発体制に関する打合(9:30~11:30)
技計部, 研究所, 海技, 建, 各部.
 - ・幹部会議(臨時)11:30~12:10.
中間 決算報告.
 - ・国際部長より, ACMC 会合への出席者について協議あり, 石井調査役を考えている旨, 話す.
 - ・OCC, 廻副社長, 斎脇, 今村氏と懇談.
- 5 日 (金)
 - ・当面のスケジュール, 会合予定等について松本常務(笹本常務代行)に説明.
- 6 日 (土)
 - ・東北大 21 会, G. C. つくばね.
- 8 日 (月)
 - ・三菱建設 早川常務ら, 二宮, 直江津の海岸工事の終了のあいさつに来訪.
 - ・笹本常務 帰国に際し, 不在中の主要事項についての報告をまとめる.
 - ・総計部長 来訪し, ケーブル船の計画について意見を交す. 長計に一応のせておく方向で検討したいとのこと, 老朽度(KDD 丸の)の調査の計画ならびに, 中間報告の取りまとめの計画について説明し, 建設計画連絡協議会で了解(新船建造について)を得たいことを述べる.
 - ・夜, NASC, 井上施設課長, 榎戸業務課長, と懇談.
- 9 日 (火)
 - ・Mr. Tuttle, Jr. 夫妻の副社長招待の昼食に参加.
午後, 大山技計部長とともに, TPC-3 計画の engineering 問題について Mr. Tuttle と討議,
14:00~15:30.
 - ・富士通 奥村, 西山氏 来訪.
Gulf ケーブルの受注報告, MST ケーブルの建設記録の一部執筆依頼.
- 10 日 (水)
 - ・日韓ケーブル 第 2 回保守会議 出席のため, ソウルへ向け 出発.
同会議, 11/11~11/17.
- 18 日 (木)
 - ・帰国.
- 19 日 (金)
 - ・松本常務の帰国あいさつ, (笹本常務, 病気療養中).
 - ・郵政省/KDD 間の, 「国際通信施設計画に関する連絡会議」に出席.
 - ・渡辺寧 先生の 7 回忌の研究室 同窓会(京橋会館).
- 20 日 (土)
 - ・出社.

- 22日 (月) ・人間ドック 1日コース, 新宿センタービルクリニック, 9:30~12:30.
 ・午後, 出社.
 ・東支 松田保全部長 より 苓北中継所の保守体制についての労組接衝について話しあり.
- 23日 (火) ・祝日(勤労感謝の日).
- 24日 (水) ・KEC 図書 英語版 作成 打合せ.
 NSビル, KCS 会議室にて, 14:00~16:00.
 ・KCS 志村社長の室で, 研究所 新納室長から BTL との最近の意見交換会合の様相について話しをきく.
- 25日 (木) ・苓北中継所の保守体制の見直しについての関係部門間 打合せ(通信部主催).
 人事, 労厚, 通信, 海技, 海建, 東支 保全, 苓北, 9:30~12:00.
 ・日中ケーブル臨時障害対策協議会(第7回)の開催について, 石井副社長の都合をきき,
 12月2日(木)午後とする.
 ・ケーブル保守基地の常務会資料の打合せ: 次長, 山本補佐.
 ・通研線路会(京橋会館)18:00~20:30
- 26日 (金) ・NTT 横須賀通研施設公開の視察.
 午前に訪問し, 午後2時退出, 会社へ戻る.
 ・CBC 次期幹事について, 通研 高村氏, 富士通 岩井氏と相談.
- 29日 (月) ・ケーブルデポ建設についての常務会資料作成検討: 2課, 畠山, 山本, 松崎君ら.
- 30日 (火) ・NASC 設立5年経過の機に, 設立以来の記録の集積と取りまとめを如何にするかについて,
 打合せ.(NASC 阿部氏以下), 13:30~15:00.
 ・総企会, 長計24号における設備計画の調整について, (計画部 主催), 15:30~17:00.
- 12月**
- 1日 (水) ・「国際海底ケーブル通信」の英語版作成における編集会議メンバーに対する KEC の懇親会,
 18:00~, NSビル.
 ・ATT より来信のハワイ船に対する ATT の取組み方と, これへの対応について国際部長と打
 合せ: 経理部を交え, 3部門間で早急に打合せることとする.
- 2日 (木) ・日中ケーブル臨時障害対策協議会(第7回): 15:00~16:30
 副社長 以下, 全委員 出席.
 障害状況の現状調査, 報告, 埋設関係技術開発状況報告.
 今後の進め方等.
- 3日 (金) ・二宮出張: 関係漁協, 相模湾振興事業団 幹部と懇談.
 ・沖本ケーブルの相模湾内ケーブル構成について, TPC-1 との交差部分を無外装とするよう,
 矢口君に指示.
 ・喜安さんを囲む会: 18:00~20:00 飯田橋会館.
- 4日 (土) 出社
 ・CBC 忘年パーティ, 理事会.
- 6日 ・ケーブルデポ常務会資料を松本常務に渡し, 以後, 細部について2課山本補佐と検討して

- (月) もらうこととなる。
 ・山本補佐, 山村次長 横浜市港湾局へ建築部用地課長らと, ケーブルデポの説明に行く。
- 7日
 (火) ・日中ケーブル臨障協 議事要旨のとりまとめ。
 東支 保全部水野主任に, 今後の進め方等について SPT と電話連絡をしてもらう。
 ・日韓ケーブル保守会議報告のまとめ。
- 8日
 (水) ・水野君より, SPT から会合に対する SPT の意向が電話で伝えられてきた旨 報告あり。
 ・国際部長に, ATT か CW あての CW 船利用協定の終結予告の文書写しを渡し, 対応協議。
 ・ケーブルデポ常務会資料の検討。
- 9日
 (木) ・ハワイ圏のケーブル船に関する ATT からの連絡への対応について, 国際部, 経理部の関係部間と協議。13:30~14:30
- 10
 (金) ・幹部会議, 10:00~12:00。
 ・浜田漁協訪問の 畠山課長より, 日韓ケーブル露出部の対策についての松田会長との協議状況の報告をきく。
- 11日
 (土) 出社。
- 13日
 (月) ・部内打合せ: 幹部会の模様を伝達。(10:00~10:30)
 ・海底線保守基地 常務会資料について 建築部と打合せ(10:30~12:00)。
 ・未来工学研 成果報告“非電話形サービスの未来形態”(KDD からの委託研究)の紹介をきく。(15:00~17:00)
- 14日
 (火) ・郵政省 松尾室長(技術室)を訪問。(織間部長同行)。10:00~11:00
 日中ケーブルの復旧についての検討状況を報告。(第7回臨障協の資料による)。
 ・山口県漁連 本間会長, 上京中とのことで, 懇談会食(外松)。
- 15日
 (水) ・ケーブルデポ 常務会資料の検討。
- 16日
 (木) ・常務会に 海底ケーブル保守基地建設について, 付議, 了承を得る。
- 17日
 (金) ・資料廃棄の日。ダンボール, 3箱分資料廃棄。
 ・荅北保守体制の見直しについて, 関係部門打合せ(労厚部 主催)。
 ・幹部会議に ケーブルデポ建設についての常務会 資料 報告。
 ・部 忘年会。
- 18日
 (土) ・ゴルフコンペ, うずしお会(江戸崎)。
- 20日
 (月) ・日中ケーブルについての問題を, 部内関係者間で協議,(10:00~10:30)
 ・SPT への電話連絡。 ・労組説明。
 ・荅北中継所保守体制の問題について, 労組と折衝。(13:30~14:00)
 ・ケーブル建設計画連絡協議会(第3回), 14:00~16:30。
 ・シンガポール-中東-ヨーロッパケーブル に関する シンガポール会合, 対処方針。
 ・香港における 東南ア方面ケーブル計画の会合 対処方針。
 ・関係部長 懇親(松本 常務 招宴) NS ビル 四川。

- 21 日 (火) ・ 郵政省との国際通信施設に関する連絡協議会(第 10 回), 10:00~12:30.
 ・ 富士通からのヒヤリング.
 ・ 国際協力.
 ・ NASC 取締役会 14:00~.
 ・ NASC 設立以来の資料の保存, NASC の活動状況の記録に関する打合せ.
 NASC 社長 以下, で 討議.
 ・ NASC 懇親会: 南園.
- 22 日 (水) ・ 郵政省 電政局 松尾 技術室長から Tel.
 ・ 北京郵電部へ郵政省から働きかけてもよい.
 連絡カードで, 臨障協メンバーへ回報.
- 23 日 (木) ・ ケーブルデポ用地の借用申し入れの正式文書を, 横浜市長あて提出のため, 建築部 糸居次長, 杉町課長と共に, 港湾局を訪問.
 市議会開催で, 局長, 港務部長(中新井氏)不在, 港営課長に文書を預ける.
 MO, 時枝横浜支店長, 元支店長前田氏らと懇談.
- 24 日 (金) ・ CW 船の利用協定の終結を通知した ATT の措置を廻る ATT/KDD 間のやりとりについて, 連絡カードで報告.
 ・ 幹部会議.
 ・ 郵政省 松尾 技術室長に Tel, (16:10~)
 K: 北京への働きかけについて. KDD は目下 SPT と今後の協議の進め方について電話連絡により話し合っている. SPT には R20~R26 の調査が終わってから協議したいと話しており, 協議の方向が出た段階で, 郵政省へも何かお願いすることがあれば, (SPT の意向もきいて), ご相談したいと考えている.
 M: 了解したが, いつまでも復旧のメドが立たないのはまずい. 郵政省の立場もある. もっと KDD が開発についても積極的であっていいのではないか. 開発費を投じて, それは正当なものを認められよう. (誰も, 不当とは見ないだろう.)
 とに角, 早く SPT と協議をするよう進めてほしい.
 K: KDD が一方的に, SPT に考え方を押しつけるのはあとに禍根を残す恐れがあるので, よく SPT と相談し, 納得づくで進めたい.
- 25 日 (土) 休み.
- 27 日 (月) ・ 日経新聞朝刊の“日中ケーブル復旧に合意”の誤報で, 広報室に真相を訊ねる.
 郵政省(技術室, 矢島補佐)より再三問い合わせ, 日経記者の早とちりによる誤報であることを説明.
- 28 日 (火) ・ MO 福田氏(福田広報室長実兄), 観世氏と来訪.
- 29 日 (水) ・ 仕事納め.
 ・ 浜田沖で 12 月 26 日の低気圧で遭難した漁船(96 トン)が, 転覆 漂流し, 日韓ケーブルの西方 700m に接近との報が浜田中継所より入り, 緊張す.
 年末, 年始の休み中の連絡体制を立てるよう指示.
 浜田中継所, 浜田漁協にも Tel. し, ケーブル保護について万全を期するよう要請.

1983年（昭和58年）

1月

- 4日 (火) ・仕事始め, 10:00～
 ・KDD, 関連会社, 団体等, 賀詞交換会, 32F, シャンボール.
 ・畠山, 佐藤, 山本, 松崎, 二瓶, 水越 君ら, 自宅へ来訪.
 ・柴田清栄 夫妻, 来訪.
- 5日 (水) ・佼成病院, 胃カメラの検査.
 ・海外通信, 放送コンサルティング協力(JTEC)主催の新年パーティに出席.
 (東京ヒルトン, 11:30～13:00).
- 6日 (木) ・富士通 室井顧問より Tel.
 ・海底ケーブルプロジェクトの現況, 動向等について 情報交換.
 ・牧野囑託(ケーブル船)来訪, 囑託の辞任の申し出あり.
- 7日 (金) ・浜田沖の転覆漁船(57. 12. 26 遭難)の引揚げが午前 10:30 から行われ, 12:50 完了. 16 時頃 浜田漁港へ回航される旨, 浜田中継所より報告あり. 日韓ケーブルへの危害は回避された.
 ・NEC 田畑氏 来訪: 中継器筐体を日本碍子と別にヤマハでも造らせたい旨, 申し出あり. 今後の検討に委ねたい旨, 答える.
 ・パキスタン-U. A. E. ケーブル計画のコンサルティングの引き合いが, U. A. E. から KDD に来て, 海外協力部から検討の協力依頼があった旨, 湯口課長から報告.
- 10日 (月) ・技術1課と, 当面の業務の推進について協議. (10:00～12:00)
 ・主要業務を Weight 付けし, step で進めるかを考えること.
 ・中間の節目での result, output を表面化すること.
 ・沖一本, TPC-3, ケーブル 船 について討議.
 ・国際通信技術懇談会 委員との懇親会に 出席, (32F, シャンボール).
- 11日 (火) ・技術2課と当面の業務の推進について協議. (11:00～12:40)
 ・ケーブル船, とくに ハワイ船の問題.
 ・日中, 日韓ケーブル 対策.
 ・畠山課長と, 海底ケーブル保全業務の支社移管について討議.
 ・2課の所掌の大部分を東西両支社に移す.
 ・ケーブル船の管理を1課で扱う.
 ・業務系の課を置く, など.
- 12日 (水) ・KEC 図書 国際海底ケーブル通信 英語版 作成 編集打合せ, 14:00～ .
 NS ビル, KCS 会議室.
 ・佼成病院に 胃カメラ検査の結果をききに行く, 経過 良好, 16:00～.
- 13日 (木) ・「ケーブル船に関する情勢」の資料 とりまとめ について, 部内 打合せ
 次長, 1, 2 課長, 補佐.
 ・大阪商船三井船舶 河野氏, 宇徳運輸 前田氏 来訪.
 横浜ケーブルデポの建設, 管理 等について.
 ・建築部との懇親: ケーブルデポ, 漁業補償等の業務上の協力に関し.
- 14日 (金) ・幹部会. (第99回). 10:00～12:00.
 ・横浜税関 尾山 監視部長に 年始のあいさつ 訪問. (午後)
 ・早川運輸 社長, 服部常務, 中田部長と懇談.

- 17日 (月) ・役員・部長 打合せ. (10:00~11:00)
松本常務(笹本常務代行), 技計部, 海技, 海建, 建築, 各部長.
・沖一本ケーブル, システム設計事案決定の作成 協議: 矢口 1 課補佐.
- 18日 (火) ・部内 打合せ. (9:30~11:00)
・各業務の進捗状況.
- 19日 (水) ・特記事項なし.
- 20日 (木) ・沖本ケーブル システム設計の決定事案について, 湯口, 北村課長と協議
: ケーブルルートに関する NTT との協議状況に関して
- 21日 (金) ・幹部会 10:00~12:00.
・OCC 斎脇氏 来訪: 13:40~14:30.
・光海底ケーブルの製造設備の計画状況 など.
- 22日 (土) 出社.
技術部 2 課, レク旅行に参加, (山梨, ^{いさわ}石和温泉).
- 24日 (月) ・TPC-2 ハワイーグワム間, R25/R26 間(ハワイよりグワムへ 200nm)で障害を 1 月 22 日に
生じたとの報, とくに action の要なし.
・松本常務より: 当社訪問中の SPT 局長が, 日中ケーブルの次回意見交換会合を早く開いて
ほしい旨要望しているのので, その方向で対応したいとのこと, 建設部織間部長とともに,
会合への対応, 社内説明資料を作成することとする.
- 25日 (火) ・元海上保安庁 井馬栄氏. (海洋法読本 著者) 来訪.
・2 月 1 日~4 日の業務考査に対する 資料について部内打合せ. (13:30~15:00)
・58 年度 設備計画の 労組協議, 17:45~18:10.
・ケーブル船の情勢に関する, 社内資料の検討.
- 26日 (水) ・郵政省 電政局との 国際通信施設計画連絡会議(第 9 回)に出席.
(郵政省会議室, 10:00~12:00)
・大阪商船三井船舶と KDD(海底線, 建設部,) KCS 間の懇親. (三井商船ビル, 18:00~20:00)
- 27日 (木) ・KDD 丸船上で行われた, ケーブルカップリング改良実験を視察, (午後, 横浜).
- 28日 (金) ・幹部会.
・ハワイ船に関する ATT とのハワイ会合への参加を, 経済部, 国際部に対し, 協議.
・KDD 訪問中の SPT 何永忠局長一行に対する海外協力部主催の懇親パーティに出席.
(18:00~, 32F, 特別食堂).
- 31日 (月) ・ケーブル船の情勢に関する資料について, 湯口, 山本(昭)両君と協議.
- 2 月**
- 1日 (火) ・海底線・技術部に対する業務考査, 開始. (4 日まで).
午前, 全体会合, (業務概要の説明, 質疑).
・午後, 部・次長との懇談(問題点の質疑).

- ・人事異動の内命：海技部審議役へ4日付。
 - ・SPT 局長からの答礼宴。(中国飯店, 六本木, 18:30～)
中国大使館, KDD 会長, 社長, 以下。
松本常務より, 局長に, 日中ケーブル復旧のための会合開催を2月下旬から3月上旬にかけて行うことに同意の旨 表明。
- 2日
(水)
- ・光海底ケーブル方式の開発計画, 体制等に関する打合せ。(10:00～11:20).
松本常務, 技計, 海技, 海建, 研究所。
 - ・ハワイ船に関する ATT とのハワイ会合への派遣者 決定, 海技, 国際, 計理より4名。
- 4日
(金)
- ・人事異動 発令。
海技部, 審議役へ。
 - ・業務考査 終了し, 考査室との懇談。(感想の交換)。15:00～16:00
- 7日
(月)
- 役員・部長 打合せ。10:00～11:00
- 8日
(火)
- ・席の移動。
- 9日
(水)
- ・KEC 英語版図書 打合せ, 14:00～ NS ビル。KCS 会議室
- 10日
(木)
- ・大手町ビル, KTS(国際通信施設)鶴岡社長に移動のあいさつ。
大手施, 小関局長訪問, 雑談。
- 11日(金)祝日～ 12日(土) 海技部第1課レク旅行に参加。(伊豆, 下賀茂温泉)
- 14日
(月)
- ・NASC 古橋社長に 光海底ケーブルの資料 提出。
 - ・ケーブル船に関する ATT とのハワイ会合の開催を延期したいとの TLX 受領。
 - ・日中ケーブル復旧に関する意見交換会合の対処方針について, 畠山課長と協議。
- 15日
(火)
- ・KCS 志村社長の招待で, 大山部長と共に懇談, (NS ビル 30F)。
- 16日
(水)
- ・新技術開発委：光海底ケーブルの開発について。
- 17日
(木)
- ・雪。
 - ・ANZCAN E 区間の布設工事用ケーブル機材積込みのため, 横浜に寄港中の CW 船マーキュリ号を訪問, 視察。NEC 鈴木欽也君案内あと, サロンで, Harrison 船長ほか officers と懇談。
- 18日
(金)
- ・海底ケーブル建設計画連絡協議会 14:30～17:30。
 - ・郵政省 異動で, 技術室長交代し, 松尾氏と後任の細田氏, 挨拶にくる。
 - ・CBC 例会に出席, 新宿会館。
- 19日
(土)
- ・出社。
 - ・笹本常務死去 11:57 分, 心筋梗塞のため。
- 20日
(日)
- ・笹本常務通夜：四谷 霊廟にて, 18:00～19:00。

- 21日 (月) ・ 笹本常務 葬儀：四谷霊廟にて 14:00～15:00.
葬儀後、堀、内葬祭場へお伴し、火葬に参列。
御遺骨を会社近くのマンションに安置し、お浄め。
- 22日 (火) ・ ATT, Mr. Rickman より Tel.
ハワイにおけるケーブル船の会合は、ATT 出席者 (Messrs. Poythress, Rickman, Roe)
が多忙で3月は難しいので4月にしてほしいとのこと。
3月を希望するが、4月も止むを得ない、cost analysis の data を事前に送付してほしい旨 要望。
・ 日中ケーブル意見交換会合の資料等について、畠山課長、佐藤調査役と協議。
- 23日 (水) ・ 郵政省へ、日中ケーブル意見交換 会合の開催について説明に行く。(10:00～11:15)
細田 技術室長へ説明、(織間部長 同行)。
・ NEC 田畑氏 来訪：STC へ 光海底中継器レーザダイオードを売る話し。
・ 大山 海技部長 歓迎会：北京大飯店。
- 24日 (木) ・ NASC 取締役会(33回) 11:00～11:15。
・ SPT との会合出席のため、上海へ出張。
Lv. 成田, 15:50, 織間, 畠山, 水野君ら同行。
CA 928
Ar. 上海, 錦江飯店泊。
- 25日 (金) ・ 会議。
- 26日 (土) ”
- 27日 (日) ・ 上海郊外, ケーブルデポ, 衛星通信所 視察。
- 28日 (月) ・ 会議。
- 3月**
- 1日 (火) ・ 北京へ, 北京郵電部 訪問。
- 2日 (水) ・ 観光, 万里の長城, 明の十三陵。
- 3日 (木) ・ 帰国。
- 4日 (金) ・ 石井 副社長に帰国あいさつ。
- 7日 (月) ・ 故 笹本常務 社葬, 青山葬儀所。
13:00～14:00～葬儀, 14:00～15:00 告別式

- 8日 (火) ・SPTとの意見交換会合報告 とりまとめ。
・笹本常務葬儀関係者 慰労, (庶務部, 秘書室)。
- 9日 (水) ・KEC 英語図書 打合せ。(国際海底ケーブル通信の英語版)。
KCS 会議室(NSビル)にて, 14:00~16:00。
あと, KCS 志村社長, 小林囑託と日中ケーブル復旧対策等につき雑談。
- 10日 (木) ・臨障協 第8回会合 14:00~ 15:40
SPTとの意見交換会の概要報告。
- 11日 (金) ・織間部長, 畠山 課長と日中ケーブルの回収等の進め方を協議。
郵政 技術室へ来週, 報告のアレンジ。
- 12日 (土) ・出社
- 14日 (月) ・役員, 部長 打合せ。(中込取締役, デ通, 海協, 海技, 海建, 研究所。)
- 15日 (火) ・郵政 電政局 技術室(細田室長, 矢島補佐)に, KDD/SPT間の日中ケーブル復旧に関する
意見交換会合(第4回)の概要を報告。(10:00~11:20)。
- 16日 (水) ・休暇。(湯口, 石井君と御殿場 G.C.)
- 17日 (木) ・日中ケーブルの回収 実施案の協議:(畠山課長)。
- 18日 (金) ・特記事項なし。
・夜, KDD Bridge Club, 大会。
- 19日 (土) 休 : 午後, 新宿会館にて CBC. カルバートソン杯。
- 21日 (月) ・祝日。
- 22日 (火) ・SPTへ, ケーブル回収計画案の送付の事案処理。
・海技2課, 山本補佐より。
3月18日來訪のSRI International Mr. Schreibachとの会議の様様をきく, 海底作業無人
ビークル(主に, 海底ケーブル関連の調査, 修理, 埋設等を扱う)の needs, requirement
の調査により, Marketing Researchを各方面(日本ではKDD, OCC, 富士通, 住友電工等)
に対し行っているとのこと。
・1月26日に, この件について, MOの福田専務に話しをしたが, とくに紹介の要なしと思わ
れるので, 機を見て状況を話すこととする。
- 23日 (水) ・光海底ケーブル開発の推進に伴う, 海底線・技術部, 建設部 両部の再編成と所掌の分担に
ついて 打合せ, 13:30~15:30。
海底線両部, 技計部, 研究所, 東支保全部。

- 24日 (木) ・特記事項なし.
- 25日 (金) 同上
SPT へ堀越さんから Tel. してもらい, ケーブル回収, 特別会議等の連絡をはかる.
SPT 袁驊氏, 3月26日より, 5月始めまで, 米国出張とのこと.
- 26日 (土) KCS との懇親ゴルフ, 愛鷹 600, 大山, 山村, 阿部氏らと.
- 28日 (月) ・ケーブル船に関するハワイ会合の準備, :
資料の review.
- 29日 (火) ・Agenda の検討.
討議の進め方等について考える.
・SPT より電話連絡.
ケーブル回収, 特別会議 開催については, 北京郵電部へ上申しているのので, その回答待ち
とのこと. 4月15日に KDD へ SPT から Tel. 連絡するとのこと.
・織間部長と埋設機開発の推進手順等について協議.
- 30日 (水) ・KCS 阿部部長 来訪.
NS ビルにおける KCS の専有面積の拡張計画に, 将来のケーブル船建造に関する作業がどの
程度見込まれるか, 現在新船建造計画はどういう状況か, をききたい, とのこと. 目下
ハワイでの ATT との会合を控えており, また郵政の意向もあり, それらを見極めたうえで
ないと明確なことは云えないと回答.
・58年度事業計画の認可の際, 郵政省電政局長から, 社長に, ケーブル船の建造計画の推進
の要望があったとのこと, この件は, 次官にあいさつした際にも話題が出たとのこと.
・GNTC 招宴. Mr. & Mrs. Christensen の来日に伴い, ホテルオークラにて, この席でも, 社
長よりケーブル船の話題がでる.
- 31日 (木) ・海技2課 山本補佐と, ケーブル船の問題について 協議.
ハワイ会合 出席者間 打合せを設定するよう指示.

昭和 58 年度

4 月

- 1 日 (金) ・ 会社創業記念日. (30 周年記念式典：帝国ホテルにて)
- 2 日 (土) ・ 出社
- 4 日 (月) ・ ケーブル船に関する ATT とのハワイ会合の打合せ, 14:00~16:00.
- 5 日 (火) ・ 故 笹本常務, 忌明け法要, (49 日)に参列.
四谷 長善寺(笹寺)にて, 11:00~11:30.
- 6 日 (水) ・ ケーブル船に関する今後の検討の進め方について, 海技部, 次 課長と協議, (山村, 湯口, 山本(昭)), 状況と動向のまとめを行い, 役員連絡会等へ報告することを考えるよう指示.
- 7 日 (木) ・ KEC 図書, “国際海底ケーブル通信” の英語版 作成打合せ, 14:00~16:00.
- 8 日 (金) ・ ケーブル船に関するハワイ会合の出席者間打合せ.
・ 研究所, 新旧の有線システム研究室(岩本, 新納君)と昼食 懇談.
- 4 月 12 日(火)~17 日(日)
・ ケーブル船に関する ATT との会合 出席のため, ハワイ出張.
- 12 日 ・ 成田発, ホノルル着.
- 13 日~15 日
会議: Hilton Hawaiian Village にて
- 16 日 ホノルル発 : TPC-3/HWA4 ケーブルに関する会合に出席後, 帰途に着かれた.
- 17 日 成田着, 増田社長と同じフライトにて帰国.
- 18 日 (月) ・ 役員, 部長 打合せ, 10:15~.
・ 日中ケーブルの羅障区間の回収について, 役員連絡会にて説明する件について, 中込取締役, 大山海技部長と共に, 石井副社長の了解をとる.
・ NASC 榎戸課長の KDD 退職, NASC への転任の記念写真 撮影.
・ 前歯 欠け, 星歯科にて治療.
- 19 日 (火) ・ 日中ケーブル羅障区間の機材回収について, SPT との間で協議中の問題を役員連絡会で討議.
基本的に早期回収の必要が認められる.
・ 国際通信施設計画 連絡会議 (第 11 回)出席(MPT/KDD 間), 14:00~16:00.
- 20 日 (水) ・ ケーブル船に関するハワイ会合の速報 作成について, 関係者と打合せ.
- 21 日 (木) ・ 日中ケーブル羅障区間の回収の実施について: 常務会の審議(5 月 12 日予定)のための資料について, 畠山課長と打合せ.

- 22日 △特記事項なし
(金)
- 23日 ・伝送同門会 G.C. (五日市)
(土) 帰路, KCS 志村社長に同行し, ケーブル船の話し 等.
- 25日 ・横須賀通研にて, 光伝送シンポジウム(第1日)に出席. 10:00~17:10.
(月) 講演後の懇親会に出席.
- 26日 ・ケーブル船に関するハワイ会合の報告の検討.
(火) ・夜, IMP リーグ戦(六本木).
- 27日 ・星歯科にて検診, (X-Lay).
(水) ・KDD 東北大 同窓会, (18:30~, 新宿).
- 28日 ・ケーブル建設計画 連絡協議会(第6回)
(木) ハワイ船に関する ATT とのハワイ会合の様様について報告.
・郵政 細田 技術室長より Tel.
光ケーブル, TPC-3, 等についての紹介の希望.
二宮等, 施設案内についても協議.
- 29日 ・祭日. (天皇誕生日).
(金)
- 30日 ・出社.
(土) SPT への PIX(回収に関する)に sign, 発送.
- 5月**
- 2日 ・役員, 部長 打合せ, (10:00~12:00).
(月) ・KDD 丸吉田船長 来訪: 日中ケーブル回収について 打合せ.
・ケーブル回収に関する 常務会資料作成 打合せ
- 3日(火)~5日(木)
休み, 祝日と休暇.
- 6日 ・中込取締役と意見交換, (日中ケーブル回収常務会, 社長への復旧対策状況の説明, 郵政 細
(金) 田 技術室長の二宮中継所 案内 等).
- 7日 ・研究所 ゴルフコンペ.
(土)
- 9日 ・KEC 図書“国際海底ケーブル通信”英語版 編集 打合せ(14:00~)
(月) NS ビル, KCS 会議室.
・郵政省 技術室に, 細田室長の二宮海底線中継所 視察案内の連絡.
・北村君, 北京駐在準備事務局 所長として赴任の歓送会(海技・海建有志).
- 10日 ・大山部長とともに, NTT 厚木通研の施設公開案内に応じ, 視察. (午前中).
(火) ・午後, 帰社.
社長に, 日中ケーブルの復旧対策の検討状況について, 臨障協 資料, 「第4回意見交換会
合報告」に基づき, 説明.

- 11日 (水) ・ 常務会付議の日中ケーブル回収実施についての資料 整備.
- 12日 (木) ・ 日中ケーブル羅障区間の回収実施について, 常務会付議, 了承を得る.
・ 郵政省 細田 技術室長の二宮中継所視察案内スケジュールについて 同室長に電話連絡.
・ 高松取締役より, NEC が策したフィリピンでの光海底ケーブル布設実験に KDD を利用する件につき, 日本電気システム建設の曾山会長が話しをしたいとのことで, 問い合わせ. 技計部 (猪股役, 織間部長) に事情をきき, 既に KDD はその件については進める意向のないことを NEC に回答済みである旨を, 連絡.
- 13日 (金) ・ 幹部会議に, 日中ケーブル回収の件につき報告.
- 14日 (土) 出社.
- 16日 (月) ・ 役員・部長 打合せ, 10:00~
- 17日 (火) ・ 郵政省 電政局 技術室よりの, 海底ケーブル関連質問の回答を検討.
- 18日 (水) ・ 郵政省 電政局 技術室 細田室長, 久保田技官を二宮海底線中継所に案内.
9:00 郵政省, 10:00 二宮着, 中継所及び海底ケーブル実験室を案内.
- 19日 (木) 休み, (竹中君のジェネーブ事務所長 就任の送別, ゴルフ) ごてんば.
- 20日 (金) ・ 日中ケーブル回収のための KDD 丸乗船前の健診. : 心電図, 肝機能検査 OK, 血圧やや高, 再 check.
・ NASC 取締役会 10:00~
・ 星齒科, (義齒補修).
- 21日 (土) 休み.
東北大 21 会 G.C. つくばね.
- 23日 (月) ・ 役員・部長 打合せ.
- 24日 (火) ・ 日中ケーブル回収のため KDD 丸に乗船する際の健康診断.
・ SPT 代表出迎えに成田空港へ, 11:50 分着.
・ ATT/Teleglobe とのトラフィック, network 計算プログラム打合せメンバーとの懇親, カクテルパーティ, 32F.
- 25日 (水) ・ 日中ケーブル回収専門家会議. (27 日まで).
・ TPC-1 障害発生. (二玄沖 6.3km, 11:40 分)
・ SPT 代表の歓迎宴.
- 26日 (木) ・ 会議.
・ 決算取締役会.

- 27日 (金) ・日中専門家会議。
・議事録確認。
- 28日 (土) ・TPC-1 障害修理の準備中の KDD 丸に，SPT 代表を案内。
- 30日 (月) ・役員・部長 打合せ。
・日中ケーブル回収工事に立会うため，KDD 丸に乗船する件について，NASC 古橋社長に了承を得る。
・TPC-1 障害修理終了。
- 31日 (火) ・SPT 張徳忠，李達章，汪義舟の3名と，長崎へ。

6月

- 1日 (水) ・SPT 代表3名を長崎市内および雲仙観光に案内。
- 2日 (木) ・SPT 張，李，汪氏，上海へ。長崎空港で見送り，14:50，CA。
王渭漁，徐勇，高琨3名 東京より 長崎着。
- 3日 (金) ・KDD 丸長崎入港。
・KCS，MO，SPT 代表らと，会食。(KCS 社長招宴，東急ホテルにて)
- 4日 (土) ・KDD 丸 長崎，出航。乗船し，日中ケーブル回収工事に立会う。(26日まで)

*4/6-4/26，日中ケーブル回収工事に従事。

- 25日 (土) ・第1次工事終了し，長崎へ補水等のため帰港。
- 26日 (日) ・長崎 入港，KDD 丸下船。
・理髪。
・KCS，MO，SPT の関係者に対する慰労宴。(江山楼にて)。
- 27日 (月) ・SPT ビザ延伸手続き。
- 28日 (火) ・SPT3名を野母崎に案内後，KDD 丸に乗船させる。
・KDD 丸 出港 見送り，16:00～
- 29日 (水) ・長崎より 東京へ。
- 30日 (木) ・NASC 株主総会 14:00～
NASC 社長招宴，(北京大飯店)。

7月

- 2日(土)～3日(日)
・CBC. Summer Party，箱根，富士通 山荘にて。

- 4日 (月) ・KDD, 関連会社, 法人 役員の懇親会(新宿会館).
- 8日 (金) ・日中ケーブル回収工事の完了見込みが立ち, 急遽, 長崎へ, ワシントン ホテル泊.
- 9日 (土) ・KDD 丸 長崎入港(8:00) 出迎え, 小ヶ倉ふ頭にて.
・KCS, MO, SPT の工事関係者の慰労, (三十三間堂).
- 10日 (日) ・長崎より苓北へ, 茂木より 15:30 発フェリーで富岡港へ.
井上次長の出迎えで, 下田温泉, 湯本ホテルへ.
- 11日 (月) ・苓北町役場, 漁協 訪問.
・苓北中継所.
・苓北町長, 漁協組合長と懇談.
- 12日 (火) ・苓北より長崎へ.
- 14日 (木) ・SPT 王, 徐, 高3氏の帰国を長崎空港で見送り.
14:25, ANA で帰京.
- 19日 (火) ・ケーブル建設計画連絡協議会 13:30~, 26F 特A.
- 20日 (水) ・日中ケーブル回収工事 結果 打合せ, 10:00~.
・KDD 丸にて, 横浜 花火大会 19:00~21:00.
- 22日 (金) ・海底線 ゴルフ・コンペ(亀田杯) ごてんば.
- 25日 (月) ・日中ケーブル対策 打合せ, 13:00~.
- 26日 (火) ・佼成病院, 胃の X-Ray 検査, 9:10~.
・KEC 英文図書打合せ, 14:00~ NS ビル.
- 27日 (水) ・日中ケーブル対策打合せ, 9:30~.
- 28日 (木) ・郵政省 電政局 細田 技術室長, 補佐, 係長計3名を KDD 丸に案内.
9:30 郵政省 出発.
- 29日 (金) ・KCS 社長, 阿部部長, 吉田船長と Golf, 平塚富士見.
・JCBL IMP リーグ戦, 6:45, 四谷.
- 30日 (土) ・入社.

8月

- 1日 (月) ・佼成病院, 胃 カメラ 検査, 9:00~.
- 3日 (水) ・海底ケーブル建設計画連絡協議会 14:00~ .
- 4日 (木) ・佼成病院, 結果確認, 14:30~ .
・柴田君歓送会(あしび)
- 5日 (金) ・KCS 志村社長に同行し, 車で栃木県二宮へ, 午後 5:30, KDD ビル発.
- 6日 (土) ・酒匂会 G.C.
にのみやC.C. にて.
- 8日 (月) ・沖一本ケーブル ルート細部調査 結果の報告と打合せ, 海技建 両部, 10:00~ .
・KEC 図書 英語版 第2編の最終 Check, 志村, 末永 両氏と, 14:00~19:00.
- 9日 (火) ・ATT とのケーブル船に関する会合の準備打合せ, 13:30~, 各部関係者と.
- 10日 (水) ・KCS 江副顧問 らと, 埋設深度増大のための KS-1 形埋設機の改良開発について打合せ, :
10:00~.
・海底線関係者 懇親会:新宿会館.
- 11日 (木) ・ATT とのケーブル船 打合せ会合, 9:30~. (~12日)
Messrs. Poythress, Rickman, Dolan.
- 12日 (金) ・昼食(あしび)後, ATT 出席者, 帰途につく.
- 16日 (火) ・KCS 社長招待による, 海技建 両部長, KCS 専務, 運航部長との懇談, 夕食.
(青山, Daini[大貳]).
- 17日 (水) ・海技部歓送迎会(栄ずし).
- 18日(土)~20日(土)
・夏休み, 京都旅行.
- 22日 (月) ・KEC 図書 英語版, 第2編 図面 check 打合せ 14:00~ .
- 23日 (火) ・ケーブル建設 計画 連絡協議会 15:00~18:00.
- 24日 (水) ・光ケーブル技術開発状況 報告会, 13:30~17:00, 新納グループ.
・木本氏 死去の通夜に参列.
- 25日(木)~27日(土)

- ・特休.
軽井沢, 岩井杯.

9月

- 1日 (木) ・星子幸男氏(元通研, 現 東北大教授)死去, 告別式, 小金井 自宅にて, 13:00～ .
・北京 事務所 開設.
- 6日 (火) ・Jet Air サービス, マニラ出張(9/26～10/1)旅程 打合せ.
・矢口君(バンコク事務所長)歓送会, (北京大飯店).
- 7日 (水) ・GNTC, 駐日代表交替に伴い reception, 18:30, HTL オークラ.
- 8日 (木) ・TPC-1 障害, : グワムより約 40nm R73-R74 間.
台湾 ITA へ Tel, Mr. Y. Y. Yang, シンガポール出張中にて不在.
Mr. C. W. Chu (Eng, Dept.) へ, TAI-GU ケーブルの位置情報を知らせて欲しい旨, 依頼.
直ちに, TLX を受ける.
- 9日 (金) ・KDD 丸, TPC-1 修理のため, 横浜 出航, 12:00.
- 12日 (月) ・海技術部, 建設部, 両部 打合せ, 10:00～ .
・KEC にて, 末永氏と, KEC 英語版図書, PART IV, II の amendment について打合せ.
- 13日 (火) ・ケーブル建設計画連絡協議会(第10回), 10:00～12:00.
・ソウル事ム所 木下所長に Tel.
ICPC に対する KTA の加盟申込みがなされているかの問い合わせ. すでになされており, 今次
会合に observer として出席要請が ICPC 事ム局からあったとのこと.
- 14日 (水) ・新技術開発委員会 14:00～
- 15日 (木) 祝日(敬老の日)
- 16日 (金) ・郵政省との国際通信施設計画連絡会議:10:00～ 郵政省.
・NASC 資料打合せ, 32F, 14:00～17:00.
・NASC 阿部取締役ほかと 懇談.
- 17日 (土) ・出社.
- 19日 (月) ・臨障協 資料(日中ケーブル回収工事報告, 復旧対策案 等)打合せ.
海技・建 両部 関係者, 10:00～12:00.
・TPC-1/HAW-4, 計画責任者 会合 開始, 22日まで.
- 20日 (火) ・来日中の ETPI, Messrs. Bane, Handley 両氏と Lunch 会食(あしび).
大山, 小林(好), 松本(眞), 各氏 同席.
・KEC 図書 打合せ 予定 延期.
・成城高 合同クラス会, 18:30～ 市ヶ谷会館.

- 21日 (水) ・理髪.
・臨時障害対策協議会(第10回), 14:30~17:00.
- 22日 (木) ・全国まき網漁業協会 宮本専務理事, 日本遠洋旋網漁協組合 尾崎常務理事に, 小林 海建 部長を紹介, 訪問. 10:00~
・ICPC 会合 出席の 準備打合せ(松本, 山本, 施設課長, 補佐と).
・JCBL, IMP リーグ, 四谷ブリッジクラブにて.
- 24日 (土) ・出社.
- 25日 (日) ・ICPC 総会 出席のため, マニラへ, 成田 10:00 発 JL741, マニラ着 13:05.
- 26日 (月) ・地域会合(Pacific Far East), 9:30~12:10.
・午後市内 Tour.
- 27日(火)~29日(木)
・1983 年度総会.
- 30日 (金) ・Excursion, Pagsangan River.
- 10月**
- 1日 (土) ・帰国, Lv. マニラ 11:00 PA 012.
Ar. 成田 15:55.
- 4日 (火) ・日中ケーブル専門家会合 準備 打合せ.
- 6日 (木) ・日中ケーブル復旧専門家委員会への対処方針, 常務会.
- 11日 (火) ・海 技術・建設 両部 打合せ. 10:00~
・牧野 囑託と懇談(大山, 石川, 小林), 囑託を辞退された.
- 12日 (水) ・日中ケーブル会合準備打合せ.
・JCBL, IMP リーグ 18:45~, 四谷.
- 15日 (土) OCC, KCS と囲碁大会.
- 18日 (火) ・日中ケーブル復旧 専門家会合へ出席のため 成田発, 9:00, JL795.
小林(好), 山本, 佐藤, 堀越, 同行.
上海着, 12:40.
興国賓館 泊.
- 19日(水)~ 22日(土)
・会議, 北京より北村事△所長参加.
- 23日(日)~ 24日(月)

杭州, 見物.

25日 (火) ・午前, 呉徑にて, 郵電1号 視察.
・帰国, 上海 発 13:50, JL796.

27日 (木) ・古池 相談役 社葬, 青山.

29日 (土) ・CBC 木村杯, 新宿会館.

30日 (日) ・晴海, Motor Show.

31日 (月) ・海 技術・建設 両部 打合せ. 10:00～

11月

2日 (水) ・海底線 G.C. (亀田杯) 寄居 CC. にて.

3日 (木) 祝日. (文化の日)

4日 (金) ・ケーブル船 打合せ. (関係部長間), 14:00～

5日(土)～6日(日)
・NASC 社内レク旅行. (日光)

7日 (月) ・CW Mr. Pitt 来訪, 意見交換, 大山, 石川, 小林.
・亀田杯, 懇親パーティ, (ラインゴールド).
吉田船長, 畠山君と, 「北山」で懇談.

10日 (木) ・旧 海技部2課 所属の 畠山, 山本, 松崎君と 懇談. (三崙)

14日 (月) ・海技・建 両部 打合せ.

16日 (水) ・海底ケーブル臨障協. (第10回).

17日 (木) ・常務会, 日中ケーブル復旧専門家会合 報告.
・NASC, 社暦の記録 資料 作成 打合せ, 13:30～ .

18日 (金) ・東北大 同窓 有志の会合(晴菊).

21日 (月) ・ケーブル連絡協議会.

24日 (木) ・小野田元君 結婚式, 17:30~, ホテル・ニューオータニ.

28日 (月) ・海技・建 両部 打合せ.

30日 (水) ・星沢氏の招宴, 石川, 内山君と.

12月

1日 (木) ・OLUHO 第13回 調整委員会合 出席者 打合せ.

2日 (金) ・伝送同門会, 忘年会. (京橋会館).

3日 (土) ・森山, 加藤, 松崎君と, 津久井湖 CC にてゴルフ.

4日 (日) ・第13回 OLUHO 調整委員会 会合に出席のため,
ホンコンへ出張. 成田発 18:00 NW017.

6日~7日

・TSC, 13th 会合.

8日 (木) ・調整委員会.

10日 (土) ・ホンコン 発, 11:50 JL002.

14日 (水) ・志村 KCS 社長と, ATT Mr. Tuttle, Jr. BTL, Dr. Syres との懇親 dinner (大山氏 arrange)
に同席.

15日 (木) ・NASC, 社歴 資料作成 打合せ.

17日 (土) ・伝送同門会 G.C. 五日市 C.C.

19日 (月) ・海・技・建 両部 打合せ.

20日 (火) ・NASC 取締役会 14:00~ .
・沖縄ケーブル 進捗状況 報告 打合せ.
・NASC 忘年会. (野村ビル, 銀茶寮).

22日 (木) ・F への話し, 松本氏より.

- 23 日 ・田畑, 鈴木(欽)氏ら, NEC 海洋エンジニアリング社の発足のあいさつに來訪.
(金) ・F, 峰 氏 訪問.
- 26 日 ・FIE, 室井氏 訪問.
(月) ・海技部 打合せ.
・日通建 高呂氏 來訪.
・海技部 忘年会.
- 27 日 ・松本市と, F への話しについて協議.
(火) ・ケーブル船 打合せ.
- 28 日 ・日中ケーブル 復旧 対策打合せ, 検討状況の中間報告.
(水)

1984年（昭和59年）

1月

- 9日
(月) ・海底線 技術部, 建設部, 両部 打合せ.
・松本洋氏より.
Fが顧問として迎えたいとの意向を示した.
条件等についてはF側 渡辺常務が担当するので, 当社側は, 人事担当の赤井取締りに引継ぐとのこと, 了承す.
- 11日
(水) ・郵政省/KDD間, 国際通信施設計画連絡会議(14回).
10:00~12:00, 郵政省, 臨障協 14:00~16:00.
・夜, 住友ビル, 朝日 culture center.
- 12日
(木) ・OCC 新山下工場, ケーブル coupling, 光海底ケーブルの製造設備等を見る.
夜, 多田診療所にて, 聴力検査.
- 10日
(火) ・ケーブル船 打合せ.
・NEC 田畑氏, NTT ECL 吹抜氏を招き, 新納君と共に 懇談.
- 18日
(水) ・住友ビル.
・八千代江商 坂和氏 来訪. : ごてんば C.C. のメンバー手続き.
- 19日
(木) ・FIE 室井氏より TEL. : その後の状況について問い合わせ, 原則的に進んでいる旨を伝える.
・大雪降る.
- 21日
(土) ・CBC, 平山杯, トーナメント, 1:30より 渋谷 NEC 保健会館にて.
- 22日
(日) ・除雪. 窓際に頭頂部をぶつけ, 裂傷.
小原病院に行き, 縫合.
- 23日
(月) ・海技・建 両部 打合せ.
・午後, 小原病院.
- 27日
(金) ・横浜山下ふ頭, KDD 丸訪問, 光ケーブル中継器の joint 状況を見る.
・夜, 石川君の好意で, 読売日響の演奏会(モーツァルトの曲)を聴く, (五反田, 簡保ホール).
- 28日
(土) ・法事, 母 十三回忌, 和子 二十三回忌, 兄 五十回忌, 11:00~ .
法要後, 京王プラザホテル, メダリオンにて, 会食.
・朝, 小原病院で, 抜糸.
- 30日
(月) ・昼, 石川君と会食. (京王プラザホテル, プルニエ)
・夜, 鈴木(寅)氏と会食, 退職関係の懇談.

2月

- 1日
(水) ・住友ビル, 朝日 culture center. T.J.C.
- 2日
(木) ・KDD 保健センタの精密検査を受ける, (血液, 心電図). 9:00~
・人事部 村松次長から, 退職関係の情勢を聴取.

- 3日 (金) ・TPC-3 光ケーブル, ケーブル船等の技術打合せ, 海技部, 海建部 関係者, 14:00~16:00.
・夜, KDDブリッジクラブの総会.
- 6日 (月) ・郵政省とのケーブル施設計画連絡会議. 14:00~15:30
・夜, MO(大阪商船三井船舶KK)との懇親会. 虎ノ門, 三井商船ビル).
- 7日 (火) ・FIE 室井氏来訪. : TPC-3 計画に関し, 状況を説明.
- 8日 (水) ・所得税 確定申告に関する 経理部の説明会に出席. 13:30~15:00
・夜, 住友ビル, T. J. C.
- 9日 (木) ・“国際通信に関する諸問題” 誌に投稿を予定し, 「海底ケーブルの保護と ICPC の役割」の執筆の準備を開始.
- 13日 (月) ・海技・建両部 打合せ.
- 15日 (水) ・小室 受信所 訪問. 光海底ケーブルの水圧実験の状況, 国際電気通信学園, 受信所の船舶電話受信設備等を見る.
上野 9:37, 上尾 10:16 着, 帰り上尾 15:10 発.
・夜, 住友ビル, T. J. C.
- 16日 (木) ・NASC 取締役会 14:00~14:30.
・NASC 関係資料の取りまとめ 打合せ, 14:30~17:00.
阿部 総務部長 ほか, 各課長.
・夜, 上記メンバーで懇談(三崙).
- 17日 (金) 空欄
- (以上、終了)

主要参考文献一覧

【関連書籍】

- ・『太平洋横断ケーブル』(KDD シリーズ ; 第 16 号), 国際電信電話株式会社, 1965 年
- ・日本電信電話公社海底線施設事務所編『海底線百年の歩み』電気通信協会, 1971 年
- ・国際ケーブル・シップ株式会社編『KCS 10 年の歩み』国際ケーブル・シップ, 1976 年
- ・『国際電信電話株式会社二十五年史』国際電信電話株式会社, 1979 年
- ・志村静一編著『国際海底ケーブル通信』KEC, 1979 年(英文版, 中文版も刊行)
- ・『KDD 社史』KDDI クリエイティブ, 2001 年
- ・宮川岸雄編著『海底同軸ケーブルを世界に広げた 25 年』アクセスニッポン社, 2002 年
- ・『わが国における海底同軸ケーブル通信技術－国際通信への幕開け』海底線同友会, 2003 年

【雑誌『国際通信の研究』日本電信電話株式会社, 所収論文】

- ・通号 62 「(特集)日本海ケーブル」, 1969 年 10 月
 - ・通号 85 (永田秀夫「海底ケーブルの回線容量に対する一考察」), 1975 年 7 月
 - ・通号 86 (中井泰一郎・新納康彦・若林博晴「CS-5M・CS-12M 海底ケーブルシステムの中継器監視方式」), 1975 年 10 月
 - ・通号 88 (亀田治他「第 2 太平洋横断ケーブルの建設」), 1976 年 4 月
 - ・通号 92 (日中間海底ケーブルの建設特集), 1977 年 7 月
 - ・通号 95 (沖縄・ルソン・香港間海底ケーブルの建設), 1978 年 1 月
 - ・通号 100 (〔国際通信の研究〕発刊第 100 号記念特集), 1979 年 4 月
 - ・通号 101 (村上康憲他「日中間海底ケーブルシステム 2 年間の実績」), 1979 年 7 月
 - ・通号 109 (〈特集〉日韓間海底ケーブルの建設), 1981 年 7 月
 - ・通号 126 (松崎晃他「MARCAS による日韓間海底ケーブルの再埋設工事」), 1985 年 10 月
 - ・通号 133 (小林好平他「日中間海底ケーブル復旧工事」), 1987 年 7 月
- * 諸般の事情から、『沖縄・台湾間海底ケーブル建設記録』(国際電信電話株式会社, 1980 年 10 月)は、『国際通信の研究』の特集号として編纂されず, 独立に刊行された。

【論文・雑誌記事】

- ・樽松鏡逸「日本海海底ケーブルについて」『早稲田電気工学会雑誌』43(1), 1968 年 12 月
- ・亀田治「最近の海底ケーブル通信方式」『電気学会雑誌』93(9), 1973 年 9 月
- ・亀田治他「国際通信(特集:伝送帯域の高度利用技術)」『通信学会誌』57(2), 1974 年 2 月
- ・雑誌
- ・本郷馨他「日中海底ケーブルシステム(CS-5M システム)」『日本電気技報』通号 120, 1977 年 4 月
- ・池田忠俊他「日中間海底ケーブル方式」『Fujitsu』29(2), 1978 年 3 月
- ・池田忠俊他「デンマークーノルウェー間海底ケーブル方式」『Fujitsu』29(3), 1978 年 5 月
- ・志村静一・亀田治「日中間海底ケーブル」『電子通信学会誌』61(5), 1978 年 5 月

【報告書】

- ・『東南アジア海底ケーブル計画(タイ)調査報告書』海外技術協力事業団, 1966 年
- ・『東南アジア・ケーブル計画(フィリピン)調査報告書』海外技術協力事業団, 1964 年
- ・『マレーシア国東西マレーシア海底ケーブル敷設計画フィービリティ調査報告書』国際協力事業団, 1977 年 12 月
- ・『タイ・マレーシア・シンガポール海底ケーブル建設計画ケーブル布設ルート調査報告書』国際協力事業団, 1978 年 9 月
- ・亀田治他「CCITT SG 12(1966 年 5 月, ジュネーブ)報告」『国際通信の研究』通号 50, 1966 年 10 月
- ・亀田治「CCITT SGX2 および SGX6(1967 年 10 月, ジュネーブ)報告」『国際通信の研究』通号 56, 1968 年 4 月
- ・亀田治「CCIT SG12 および SG X6 会議報告(1970 年 2 月-3 月, メルボルン)」『国際通信の研究』通号 65, 1970 年 7 月

【付記】

CIAS Discussion Paper Series No. 29 は、科研・基盤(B)「エスニック・メディアにおける 太平洋戦争と戦後の記憶と記録－東アジアと東南アジア」(代表：貴志俊彦)、科研・基盤(B)「実データ(史資料)に基づく海域アジア交流ネットワークの時空間分析」(代表：柴山守)、および京都大学地域研究統合情報センター共同利用・共同研究拠点・共同プロジェクト(萌芽研究)「メディアとテクノロジーからみる地域間情報」(代表：貴志俊彦)による研究成果の一端である。

CIAS Discussion Paper Series No. 29

東アジア地域研究モノグラフ・シリーズ I

貴志 俊彦 編

『亀田治メモランダム

(旧 KDD 同軸海底ケーブル建設事業覚書)』

発行 2013年3月

発行者 京都大学地域研究統合情報センター

〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46

TEL:075-753-9603

FAX:075-753-9602

<http://www.cias.kyoto-u.ac.jp/>

